

體
育
市

GUIDE BOOK 2026

日本体育大学

Nippon Sport Science University

GUIDE BOOK

- 2026 -



日本体育大学

體育富強之基

スポーツに挑む。 スポーツを学ぶ。

日本体育大学は「体育・スポーツの全ての分野を学べる総合大学」です。
 スポーツの研究・分析に注目する人、教師を目指す人、救急救命士を志す人、
 選手の心身を支える人、マネジメントの知識・技術を習得したい人、
 子どもたちや海外に向けてスポーツの楽しさを伝えたい人など、様々な学生が集い、
 自身の成長と、体育・スポーツの未来を夢見る人のための大学です。体育・スポーツ分野は
 ますます多様化し、社会で求められる能力、活躍の場は広がっており、
 日本体育大学は体育・スポーツに携わる全ての分野で活躍できる人材を育てます。

体育学部

スポーツ文化学部

スポーツマネジメント学部

児童スポーツ教育学部

保健医療学部

Contents

目指す仕事×日体大 2 体育・スポーツの素朴な疑問×日体大 ... 8 建学の精神 12 学長挨拶・理事長挨拶 14 日体大、挑戦の軌跡 16 全国から集結 20 学部・学科、大学院紹介 学びの領域 22 学科によって目指せる多様な将来像 24 日本体育大学が定める3つの方針 26	体育学部 30 体育学科 34 スポーツ科学専攻 36 スポーツ教育専攻 38 健康学科 40 ウェルネスライフ専攻 42 ヘルスプロモーション専攻 44 スポーツ文化学部 46 武道教育学科 50 スポーツ国際学科 54	スポーツマネジメント学部 58 スポーツマネジメント学科 62 スポーツライフマネジメント学科 66 児童スポーツ教育学部 70 児童スポーツ教育学科 74 児童スポーツ教育コース 74 幼児教育保育コース 78 保健医療学部 82 整復医療学科 86 救急医療学科 90	大学院 94 体育学研究科 96 教育学研究科 98 保健医療学研究科 100 オリンピック・パラリンピック特集 そして、栄光は続く 102 世界で活躍する 日体大アスリート Special Interview 104 学生会クラブ 108 アスリートの医科学をサポートするNASS 110 国際交流センター 111	就職・キャリア キャリア支援 112 キャリア支援講座・ガイダンス・主な就職先一覧 114 教員志望の学生への充実した支援！ 116 免許・資格 118 OB OGインタビュー 120 キャンパスライフ 東京・世田谷キャンパス 124 横浜・健志台キャンパス 128 日体コラム 132 キャンパスカレンダー 134	入試案内 選抜制度 136 2026年度入学者選抜スケジュール 138 2025年度入試データ 140 奨学金制度案内・学費案内 142 オープンキャンパスレポート／日程案内／ 進学相談会／入学願書の入手方法／ アクセス 144
---	--	---	---	--	--

目指す仕事 日体大

1 プロスポーツ選手

日体大には、大きな夢を叶えた卒業生や、目標を持って入学し、それを叶えた卒業生、誰もが知る団体に就職した卒業生など様々な先輩がいます。先輩たちがどんな意識で入学し、学生生活を過ごしたのか、インタビューしてみました。



Professional Athlete

1軍のマウンドに立つもケガで戦線離脱。復帰からプロ入りまでの軌跡

大学2年の春、リーグ戦で1軍デビューするもケガで離脱。4年秋に復帰しました。入学当初はプロ入りを考えておらず、就職活動を続けていましたが、監督の勧めで社会人野球へ。1年目の都市対抗後、「プロに行けるチャンスは長くてあと3年。この3年で結果を出せなければ野球をやめる」と強く決意しました。その覚悟が少しずつ形になり、2年目の都市対抗予選から好結果が続き、念願のプロ入りを果たしました。ドラフトで横浜DeNAベイスターズから3位指名を受けたときは、うれしさと同時に評価の高さに驚きました。

入学してレギュラー入りを目指すが…

日体大硬式野球部に入学して最初に驚いたのは、選手層の厚さでした。自分はスポーツ推薦で入学しましたが、甲子園の出場経験はありません。一方、推薦で入部している選手たちは、甲子園出場が当たり前のような状況で、ここで勝負できるのだろうかと思いを寄せました。レベルの高い環境だったからこそ、自分の能力も育ててもらえたのだと思いますが、1年後には、「いけるかも」と自信を持てるように。しかし、2年の春にケガをし、秋には完全にチームから離脱。リハビリもうまく進まず、遊んだりして現実から逃げた時期もありました。それでも、野球部の仲間たちは変わらずに声をかけてくれ、支え続けてくれたことに今でも深く感謝しています。リハビリ中、アーチェリーやサッカーなど、体を使う実技の授業がいい意味でリフレッシュになりました。しっかり勉強したかどうかはさておき、座学で得た体の部位や機能に関する知識は今でも役立っています。

4年生で復帰

資格があれば将来、心強い武器になると思っていたので、教員免許の取得を目指して勉強を続け、卒業後は一般企業に就職しようと考えていました。実際、就職活動も行い、製薬会社から内定をいただきました。4年の秋にマウンドに復帰した頃のこと、教育実習で高校生に野球を指導する機会があり、その時間は本当に貴重でした。純粋にひたむきに野球を楽しんでいる彼らを見て、「これが楽しい野球だよな。つらいリハビリだけじゃないよな」と思い出すことができた気がします。



社会人野球を経てプロへ

野球部の監督に社会人野球を勧められ、悩んだ末に続ける決断をしました。復帰後はケガの違和感もなくなり、技術的にも成長。野球から離れた経験を通じて、あらためて野球の良さを実感し、人間的にも成長できました。あの期間がなければ、今の自分はなかったと思います。社会人1年目にプロ入りを意識したとき、「自分は何も頑張っていない」と感じ、結果を出せなければ監督にも申し訳ないと思っていました。覚悟をもって野球に向き合ったことが実を結び、プロの世界へ進むことができたと感じています。



これからの目標

年齢とともに身体の衰えは避けられませんが、そこは頭を使いながら、身体もしっかり鍛えて、さらに成長していきたいと思っています。自分は物事を慎重に考える性格で、セカンドキャリアについて考えることも多いのですが、教員免許を持っていることは、心の保険になっています。将来は、何か自分がワクワクするようなことにもチャレンジしたいと思っています。

野球界で多くのOBが活躍中！仲間とともに楽しんでください

プロ野球界には多くの日体大OBがいて、選手だけでなく、トレーナーや裏方として活躍している方がたくさんいます。球場で日体大OBに会うと、同じ環境で過ごした経験や価値観を共有しているため、自然と安心感を覚えます。日体大は知名度が高く、日本でもトップクラスの施設が整った体育大学です。日体大で得た友人とは、今でも強いつながりがあり、興味深い授業もたくさんあります。ぜひ日体大に入学して、たくさんの友人と一緒に楽しいキャンパスライフを送ってください！

横浜DeNAベイスターズ
大貫 晋一さん
2015年度 体育学部
体育学科 卒業



目指す仕事 × 日体大



2

体育教師

Physical Education Teacher
**教員としてサッカーとともに
 生きることを決断。行動が未来をつくる!**

高校時代にサッカーを一生続けられる職業を模索した結果、教員になってサッカー部の顧問を目指すことを決意しました。大学では自ら行動を起こしたことで、目標を実現できたと感じています。1年次の寮生活はとても楽しく、部活仲間とのつながりはかけがえないものです。高校までの自分はどちらかというと受け身のタイプでしたが、大学生活を通じてコミュニケーション能力も身に付きました。この力は職場でも大いに活かされています。

大学1年生

体育教師を目指して日体大に入学しましたが、1年次に何をすべきか悩み、キャリアセンターに相談しました。自分は「日体大に入れば教員になれる」と思っていたのですが、教員免許を取得するだけでなく、教員採用試験に合格しなければならないと知り、驚愕! 「勉強しないと」と焦るものの、サッカー部の活動や寮生活で忙しく、勉強との両立は簡単ではありませんでした。部活では、後期から試合に出場する機会を得ました。



大学2年生

寮を出て実家から通うことになったため、通学時間を利用して教員採用試験向けの対策書を読みあさるように。また、教員を目指す同級生たちに便乗して、先生に教員採用試験の対策について、相談しに行くようになったのもこの頃です。



大学3年生

勉強に本腰を入れたのは、3年次。大学の近くに家を借りたことで時間的にも余裕ができ、図書館に通って過去問に取り組むようになりました。1日平均5~6時間は勉強し、勉強合宿にも参加。その原動力になったのは、同じく教員を目指す友人たちの存在です。図書館に行けば必ず誰かが勉強しているので、「ヤバイな、負けられないな」と刺激を受けながら取り組みました。もし彼らがいなければ、ここまで続けられなかったと思います。



大学4年生

4年次には教育実習があり、「勉強する時間はほとんどない」と聞いていたため、ノートを活用して、確認作業を徹底。新たに勉強するというより、知識を補填しながら、教育実習に専念しました。



やってみて初めてわかることがある。 日体大で自分を成長させよう

教師としては、正しい生徒と頑張っている生徒が損をしないことを心がけています。生徒の成長を実感できる瞬間はとても楽しく、この仕事の素晴らしさを実感します。教員の仕事には、やってみて初めてわかる魅力があります。教員を目指す熱意のある人は、挑戦をあきらめないでください。日体大にはスポーツに打ち込める最高の環境と、多くの学びの機会があります。自ら行動すれば、親身になって指導してくれる先生方がいます。体を動かすのが好きな人や専門的な知識を学びたい人は、ぜひ日体大を目指してください。

東京都板橋区立
 中台中学校教諭
麻生 直人さん
 2011年度 体育学部
 体育学科 卒業



目指す仕事

日体大

3

プロスポーツ

団体



飛び込む勇気が未来を拓く。 サッカーとスポーツビジネスへの挑戦

中学・高校でサッカー部に所属し、高1のときにスポーツ業界で働く人に憧れ、日体大を目指すことになりました。大学1年のときから積極的にさまざまな環境に飛び込み、企業が運営するスポーツビジネススクールに入学。その後、インターンシップを経験し、3年次には休学をして、カンボジアで1年間サッカースクールのコーチを務めました。この経験がきっかけで川崎フロンターレとのご縁が生まれ、現在に至ります。

コロナ禍のなかで行動を

大学で学んだことは知識もそうですが、人間性も大きく育まれたと感じています。さまざまな考えを持つ人との対話の楽しさや、試行錯誤しながら声をかける中で、コミュニケーションが不得意だった自分が大きく成長。大学1年のときはコロナ禍の真っ只中でしたが、リモートよりも直接的なコミュニケーションのほうが自分には合っていると思ったので、2年次には新しい環境に飛び込む決断をし、インターンに参加するなどしました。

就職を意識して海外へ

私は海外志向が強く、コロナ前には1カ月だけオーストラリアに行ったこともあります。コロナの影響で海外に行く機会がなくなり、このまま就職していいのだろうか悩んだのが、3年の夏。その頃、たまたまSNSで本田圭佑氏が発起人を務めるサッカースクールの募集を見つけ、興味本位でDMを送ってみたところ、カンボジアのコーチとして採用され休学してカンボジアに行く決断をしました。

苦勞や成長

カンボジアの公用語はクメール語ですが、指導は英語で行っていたため、自分の意図を子どもたちにうまく伝えられないこともあり、もどかしい思いをしました。それでも1年間続けられたのは、毎日本当に充実していたからです。言語面や指導面でも成長を感じ、ひたむきに目の前のことに取り組んでいたら、国内外のさまざまな方とつながる機会に恵まれ、今の自分があると実感しています。これも日体大で培ったコミュニケーション力のおかげだと思っています。

今の仕事とこれから

入社して2年目の現在は、日本国内でのスポンサー営業と、フロンターレが運営するベトナムのサッカースクール関連の海外事業に携わっています。スポンサー営業では、新規のスポンサーを獲得したことが大きな転機となり、仕事の手応えを感じることができました。今後はグローバルに働きたいという夢を実現するため、英語力をブラッシュアップし、サッカー業界に関わりながら世界で活躍できる人材を目指します。



©KAWASAKI FRONTALE

行動がチャンスを生む！ 夢をつかむためにできること

自分は大学1年のときにサッカーチームで働く職種を調べ、スポンサー営業を目指すようになりました。やりたいものを見つけたら、とにかく行動すること。今はSNSもありますし、興味を持った人に連絡する手段はいくらでもあります。メールやDMでアポを取って、話を聞くだけでもいいと思うので、いろいろな価値観を持った人から話を聞いてください。

川崎フロンターレ 営業職
平野 真悟さん
2023年度 スポーツマネジメント学部
スポーツマネジメント学科 卒業



素朴な

疑問×日体大

「身体にまつわる文化と科学の総合大学」には知のスペシャリストが勢揃い。そんな先生たちが、皆さんも疑問に思ったことがあるかもしれない「体育・スポーツの素朴な疑問」に答えます。「こんな疑問にも答えられるんだ」という日体大の知識・学問の深さが見えてきます。

Q. 利き手はなぜある？

A. 万物には左右が存在します。進化し続けていく過程で私たちヒトは、常に右側の手を使うか、左側の手を使うかの選択を迫られ続けてきました。



回答者 体育学部 准教授
大塚 光雄

授業科目 スポーツバイオメカニクス

利き手とは、大きな力を出せる手や操作しやすい手を指します。利き手が存在する理由はまだまだわかっていませんが、私たちは右手・左手に別々の役割分担をさせ、すぐに大きな力を出しやすくしたり、作業効率を高めたりしていると考えられます。左右の手が役割分担されていないと、中枢での情報のやり取りが複雑になるため、目の前で起こったことに対する反応時間が遅くなったり、疲弊したりします。「同調圧力が強いチームだと何をしたいかわからない」、「複数のリーダーの意見が合わない」と何をしたいかわからない状態は、チームにおいて役割分担が整理されていない状況であり、利き手が存在していないのと似ています。

世界の約9割の人が右手を利き手としており、利き手の握力は0.1~16.5%ほど高いことがデータで報告されています。大学レベルだと、動作分析の結果、左手が利き手のピッチャーは、右利きのピッチャーと比べて、踏み出し足接地の瞬間、投球腕の肘関節は曲がっていることが明らかにされています。そのため、左利きのピッチャーの方が、上腕骨がねじれる力が大きく、骨折につながる可能性が高いと考えられます。また左利きのボクサーは、右利きのボクサーよりも成功しやすいとの報告があります。さらに私の研究室でも、円盤投げ選手の利き手の一部の骨格筋は、非利き手側よりも肥大していることを明らかにしてきました。このように、「右手・左手のどちらが利き手か?」「利き手側のみがトレーニングされていく」は、体育・スポーツ科学では、パフォーマンス向上やスポーツ傷害の予防において重要であるため、日々、研究が進められています。



Q. 健康に良い、適度な運動ってどの程度？



回答者 体育学部 教授
鈴川 一宏

授業科目 衛生学・公衆衛生学、免疫学 など

A. 我が国はこの数十年の間に世界でトップレベルの長寿国となりました。しかし、2022年における国民の平均寿命と健康寿命との差は男性8.49年、女性11.63年となっています。では、今後さらに健康寿命を延伸し、不健康な期間を短くするためにはどのようにすれば良いでしょうか。そのためには運動習慣の確立が重要になります。現在、厚生労働省は健康づくりのための身体活動として、成人では歩行またはそれと同等以上(3メッツ以上の強度)の身体活動を1日に60分以上(男女ともに1日約8,000歩)とし、さらに筋力トレーニングを行うなど4メッツ・時以上の運動を1週間に60分以上行うことを推奨しています。そこで、今回は質問にあった「適度な運動」の程度を歩数から話したいと思います。

健康に良い運動負荷は対象者によって異なりますが、健康に良い「適度な運動」とは、身体にとって運動負荷が弱すぎず強すぎずという「ちょうど良い」運動になります。運動負荷が弱すぎると効果は得られませんが強すぎると逆効果になります。例えば、65歳以上を対象に身体活動と心身の健康について調べた中条研究によると、75歳以上の場合には1日の平均歩数が8,000歩、そしてそのうち運動強度が中強度の活動が20分含まれると、生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防ができることが報告されています(75歳未満の場合には10,000歩以上・30分)。しかしながら、4,000歩を下回ると予防できる病気がなくなることや、そして過度な運動を行ってしまうと健康を害することが指摘されています。つまり、1日に20~30分の中強度運動を含む8,000~10,000歩の運動が、翌日に疲れが残らず、健康の保持増進そして健康寿命の延伸が期待される運動となります。すなわち、この程度の運動が健康にとっての「適度な運動」と言えるでしょう。



参考:厚生労働省, 健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023. 青柳幸利. 中条研究-高齢者の日常身体活動と健康に関する学際的研究-, 医学のあゆみ 253(9), 793-798, 2015.

Q. 世界で最も古いスポーツは？

A. 「世界最古のスポーツは○○だ!」と特定することは、容易ではありません。なぜなら、ホモ・サピエンス(現生人類)が現れ、その拡がりとともに多種多様なスポーツが地球上で確認されているからです。走る、跳ぶ、投げる、泳ぐ、踊る、さらにはボール・ゲームや格闘技など、私たちの目の前にあるスポーツのほとんどが揃っていました。しかし、その姿はいまとは大きく異なるものばかりです。

例えば、100kgの丸太を担ぐリレーや作物の豊凶を占うフット・ボール、プロポーズの権利を得る棒試合など、地域や民族毎にそれぞれ固有のスポーツが存在していました。



ブラジル先住民族の丸太担ぎリレー (AFPBB News)



エチオピア・スリ族のスティックファイティング (AFPBB News)



回答者 体育学部 教授
萩 浩三

授業科目 スポーツ史・スポーツ人類学

これまでの研究によると、その頃、食糧を獲得するために1日平均2、3時間を費やせば、十分なカロリーを摂取できたそうです。つまり、24時間から労働の2、3時間と睡眠時間を差し引くと、たくさんの自由な時間が

残されていたことになります。人びとは、この豊かな栄養と余暇のもとで、スポーツに興じ、そしてその多くが、祭りや儀礼の一部に組み込まれていました。スポーツは、優勝劣敗をもたらす活動です。予測できない「勝ち負け」は、「神の意志」の表れであり、勝者はそのメッセージを体現したからこそ、「勝利」を授けられたのだと考えられました。

人類の始まりの頃に遡ると、スポーツは「神さまの想い」の在処を探し出す手立てとして、その生活のなかで重要な役割を担っていたことがわかります。

わたしが担当する「スポーツ史」「スポーツ人類学」の授業は、人間にとって「スポーツ」とはなにか、という根源的な問いかけに対して、その答えを導き出すためのひとつの手がかりを提示するものです。体育大生は、これらの学びから独自の「強み」(教養)を身につけることができます。



萩浩三 「図説スポーツの歴史」 (大修館書店)

Q. 筋肉っていつ、つくられるの？ 寝ているとき？栄養摂取しているとき？

A. 24時間365日



回答者

体育学部 教授

岡田 隆

授業科目 トレーニング
実践演習

筋肉は、常に合成と分解を起こしています。したがって、筋肉は24時間365日つくられていると言えます。そして、筋肉をつくり続けるためには、筋肉の材料であるタンパク質などの栄養素の供給が常に必要です。定期的かつバランスのよい食事を心がけましょう。

もう少し深く考えてみましょう。合成と分解が同じでは、筋肉は増えません。穴の開いたバケツに水を入れる事をイメージしてください。バケツにいくら水を入れても(合成)、穴から流れて出てしまう水が多ければ(分解)、水はたまりません(筋肉量)。合成が高まり、分解を上回った時に筋肉は増えていくのです。合成を高める刺激は、筋力トレーニングなどの強度の高い運動、そして栄養摂取です(図1)。タンパク質

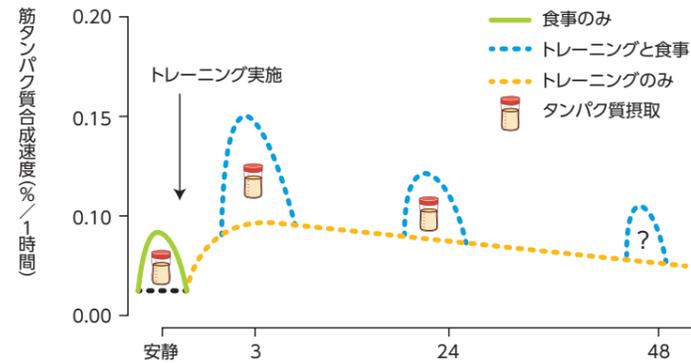
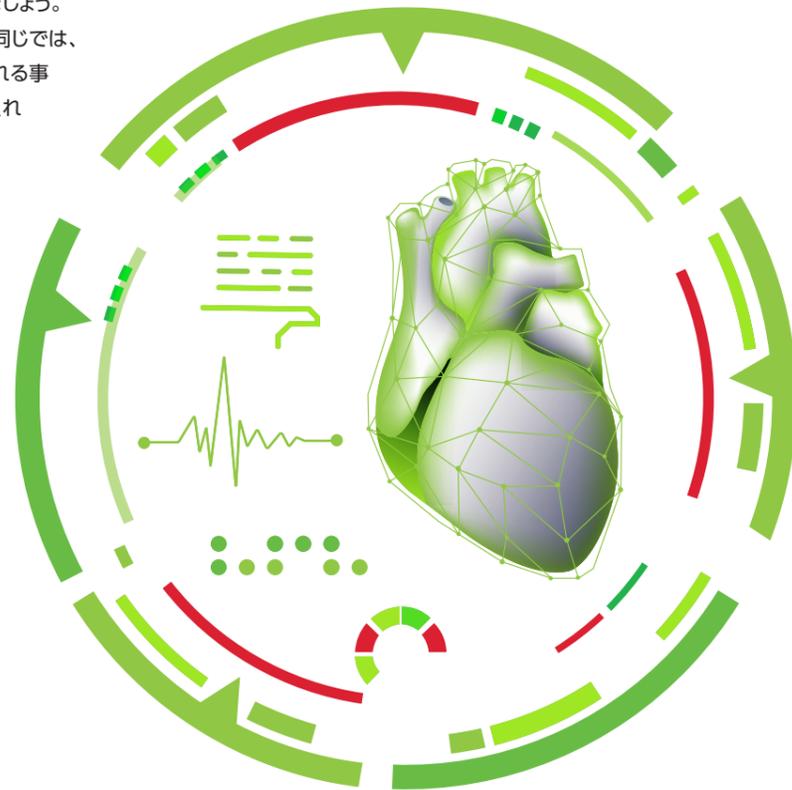


図1 Phillips SM, Sports Med. 2014; 44: 71-77.を改変

は筋肉の材料となりますが、ここに含まれるアミノ酸のロイシンの摂取は、筋肉の合成を高めるスイッチになります。従って、トレーニングとロイシン摂取で筋合成のスイッチを押し、筋肉を合成する材料となるタンパク質などの栄養素を摂る、という戦略が重要なのです。トレーニングをしたらプロテインを飲むというのは、筋肉の合成のスイッチをトレーニングとロイシンで押しつつ、筋肉の材料であるタンパク質を供給する行為なのです。これは、肉、魚、卵、乳製品などを食べる事も同じです。

また、睡眠も重要です。睡眠は筋肉の回復を助け、十分な睡眠は翌日のトレーニングパフォーマンスを高め、それによって筋肉の成長が後押しされるのです。スポーツで勝ちたい人はなるべく長く寝るようにしてください。寝る時間の確保が最重要です。マットレスや枕などの寝具を整えることは、睡眠の質を高めるためにおすすめです。トレーニングだけでなく、食事も、睡眠も、アスリートの仕事だと思って妥協なく取り組んでください!



Q. 子どもって筋肉痛にならないって本当？

A. ① 子どもは運動による筋損傷が起こりにくい

運動によって筋肉に負荷がかかると、微細な損傷が発生し、炎症反応が起こります。この炎症が「遅発性筋痛」として痛みを引き起こします(Cheung et al., 2003)。大人では激しい運動の24時間後に、筋損傷の指標であるCK(クレアチンキナーゼ)活性が大きく上昇しますが、子どもではこのCK活性の上昇が大人よりも有意に低いことが報告されています(図参照)。つまり、子どもは筋肉へのダメージが少なく、炎症が起こりにくいため、筋肉痛になりにくいと考えられます。さらに、子どもは組織の修復能力が高く、筋肉の回復が早いことも、痛みが軽度で済む要因の一つです。



回答者

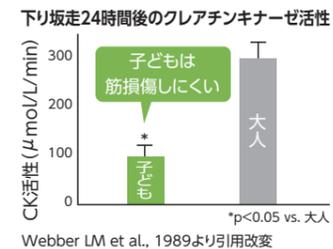
児童スポーツ教育学部 教授

須永 美歌子

授業科目 スポーツ生理学、
トレーニング学

② 子どもの筋肉は大人と違う

筋肉を構成する筋線維のタイプは、大きく分けて速筋線維と遅筋線維の2種類に分類されます。速筋線維は、大きな力を発揮し、スピードが速い短距離タイプ、遅筋線維は、持久力に優れた長距離タイプの特徴を持っています。しかし、子どもの筋線維は機能的に分化しておらず、主に遅筋線維として働きます。つまり、体重の軽い子どもにとっては、どのような運動も有酸素運動に近いものになります。その証拠に、子どもは激しい運動後も乳酸があまり蓄積しません。ちなみに、「乳酸がたまと筋肉痛になる」と思われがちですが、これは誤解です。筋肉痛の主な原因は微細な筋損傷であり、乳酸の影響ではありません(Proske & Morgan, 2001)。子どもが筋肉痛を感じ始めるのは、小学校中学年頃からだと言われていますが、個人差があります。



Cheung K, Hume P, Maxwell L. Sports Medicine, 33(2), 145-164, 2003
Proske U, Morgan, DL. Acta Physiologica Scandinavica, 171(3), 233-239, 2001
Webber LM, Byrnes WC, Rowland TW, Foster VL. Pediatr Exerc Sci. 1(4):351-359, 1989



Q. 集中したいときに音楽を聞くアスリートが多いのはなぜ？

A.

アスリートは、日々、ストレスを受ける環境に身を置いています。その中で、彼らは外部からの雑音を遮断し、集中するための手法として音楽を聞くことがあります。実際、これまでの研究によって、音楽には脳内のドーパミン(快楽ホルモン)やアドレナリンなどのホルモンを分泌させる働きがあり、集中力を高める効果が示されています。特に、ランニングなどのトレーニング中や試合前には、音楽が集中モードに入るきっかけをつくらせたり(ルーティン)、集中モードを維持したりする目的でアスリートに聞かれています。なお、アップテンポの音楽は緊張を高める効果があり、意図的に利用されることがあります。また、ストレスによる緊張や不安を低減する目的で、アスリートはスローテンポの音楽を聞くこともあります。ちなみに、オリンピックの金メダリストである、競泳のマイケル・フェルプス選手は試合前にラップを聞いて集中力を高め、陸上競技のウサイン・ボルト選手はレゲエを聞いてリラックスしていたといわれています。



回答者

体育学部 准教授

高井 秀明

授業科目 スポーツ心理学



アスリートにとって音楽を聞くことは、集中力を高めるだけでなく、音楽のリズムに合わせて動くことでパフォーマンスの安定性をもたらす可能性があります。スポーツ心理学の専門家として最後に個人的な見解も述べさせていただきます。アスリートには、どのような状況であっても、身ひとつで勝負の舞台に立つことが求められます。したがって、アスリートは、環境適応する目的で段階的に音楽を聞いても良いと思いますが、最終的には外部からの雑音を遮断して自己防衛しながらパフォーマンスを発揮するのではなく、自分を取り巻く環境を受け入れ、その中で自分をコントロールしてパフォーマンスを発揮してもらいたいと思っています。

建学の精神

た い い く ふ き よ う の も と い

體育富強之基

真に豊かで持続可能な社会の実現には、心身ともに健康で、
体育スポーツの普及・発展を積極的に推進する人材の育成が不可欠である。

MISSION

ミッション 社会的使命：果たすべき役割、存在意義

本学は、「建学の精神」の具現化、即ち、「体育・身体活動・スポーツを通じた健康で豊かな社会・人づくりの実現」のため、次の使命を果たす。

1. 体育スポーツ学、教育学、保健医療学分野における先駆的・実践的研究を通じて、人間の「活力ある身体」について、その真理を探究する。
2. 国際社会・地域社会において、先導的役割を担う有為な人材を輩出し、人類共通の願いである、幸福で豊かな社会の構築に資する。
3. スポーツ文化の深化・発展に努め、オリンピック・パラリンピックムーブメントの精神の実践・普及を推進し、スポーツのもつ様々な「力」を活用して、国際平和の実現に寄与する。
4. 高度な国際競技力を有し、他者の「生き方」モデルとなる優れたアスリートを育成するとともに、人間の心身の可能性（生命の輝きや身体の躍動）を追究し、活力に満ちた社会の創生に貢献する。

VISION

ビジョン 目標：目指すべき姿、将来像

本学は、その社会的使命を果たすとともに、「身体に纏わる文化と科学の総合大学」として、かかる分野のリーディング・ユニバーシティを目指し、「教育」「研究」「社会貢献」について、次の目標を定める。

【教育】

人間の「活力ある身体」を熟知し、その多様性を受け入れ、地球市民として各分野で活躍できるグローバルリーダーを育成する。そのため、教養及び専門的知識・技能の修得、涵養はもとより、コミュニケーション力（言語・表現力）、課題発見・解決力、創造的思考力などを身につけ、複眼的な視点をもって協働・共生のできる人材を養成する。

【研究】

真摯な基礎研究と課題解決に向けた実践的研究を高い水準で展開し、各専門分野の連携を図りながら、学際的研究に取り組むとともに、その成果を広く社会に発信する。とりわけ、体育・身体活動・スポーツの実践から生じる諸問題について、人文科学・社会科学・自然科学の諸分野から総合的に分析・検討を加え、得られた新たな知見や解決法を実践現場に還元する双方向的研究活動を推進する。

【社会貢献】

あらゆるステークホルダーとの関係強化を図るとともに、国内外の諸機関との連携・協力関係を構築し、本学の教育・研究活動の成果、人的・知的財産などを還元する。これにより生涯学習の機会を提供し、地域の教育、福祉の発展に貢献するとともに、大学と社会との「知と技」の好循環を創出することにより、地域社会の力を引き出す大学として、その拠点を形成する。



体育会創設者：日高藤吉郎像

私たち日本体育大学の歴史は、1891（明治24）年に設立された体育会（翌年、日本体育会に改称）から始まりました。この時、創設者・日高藤吉郎が掲げた建学の精神（基本理念）が、今日まで続く「體育富強之基」（「体育は富国強兵の基本である」）です。

その解釈は時代とともに変わり、1949（昭和24）年には日本体育大学体育学部設置に際して「体育は肉体をより強靱に富ます基礎である」と変化。今日では、私たちが創設以来、一貫して、スポーツを通じ、全ての人々の願いである「心身の健康」を育み、あわせて世界レベルの優秀な競技者・指導者の育成を追究し続けてきたことから、上記の通りの解釈とし、本学における学問の基本姿勢としています。

体育・スポーツの学びで

自己実現を目指す

学長

石井 隆憲

Ishii Takanori

北海道出身。日本体育大学大学院体育学研究所修士課程修了、1998年に博士(社会学)を取得。東洋大学の文学部・社会学部・ライフデザイン学部で教鞭を取ったのち、2014年より日本体育大学へ。保健医療学部教授、スポーツマネジメント学部長を経て、2021年4月第13代学長に就任。専門はスポーツ人類学。チャンマーの伝統スポーツ、チンロンの普及・指導を行う日本チンロン連盟の代表も務める。



いまやスポーツは生活の一部

私たちの日常はスポーツで溢れかえっています。朝、目覚めてスマートフォンを手に取りれば、まずは海外で活躍する日本人のスポーツ選手のニュースが目飛び込んできます。また、都心を中心にウォーキングやランニングに励んだり、週に何度かは身体を動かす人たちにいくわたり、健康のためにと身体を動かす人たちも目にするところがあるでしょう。また、学校に通う生徒たちは学校教育の中で週に何回かの体育の授業を受け、また中には、何らかのスポーツ種目と出会うことで、そのスポーツに打ち込むという青春時代を過ごす人もいますのではないかと思います。

スポーツが生活の中に入り込むようになるのは、20世紀の後半以降のことですから、21世紀はまさにスポーツと共にある時代と言えるのかも知れません。

体育スポーツの社会的役割の拡大

日本体育大学のルーツは1891(明治24)年に設立された「体育会」まで遡ります。明治の中頃は富国強兵の目標を背景にしながらも、学校制度が改革されていく時期でもありました。この時代に求められていたことは、「身体の成長を均等にするとともに健康にし、精神を快活にして、強固な意志を育み、規則を守る習慣を養う」というもので、これは長い間続きました。第二次世界大戦後となる1949年に本学は日本で最初の体育大学として認可されます。この時期になると「体力の向上」や「健康の保持増進」に重きが置かれました。少なくともこの時代においては、体育は芸術や音楽と同じように運動技術の向上が重要な目的とされていましたし、この技術の向上を通して人間形成を図っていくという考え方が主流でありました。こうした考え方は、その後、体育スポーツの役割が「余暇活動」「青少年の健全な育成」

へと拡張されてもその本質は大きく変わることはありませんでした。さらに時代が下った1990年代に入ると体育からスポーツへと人々の意識がシフトしていく中で「社会経済活動への寄与」、「コミュニケーションツール」、「国際交流や国際開発のツール」、「地域社会の再生」、「夢や感動が生まれる」、「生き方のモデル」など、体育スポーツは、まさに私たちの日常生活に深く入り込むと同時に、その役割は非常に大きなものとなりました。

こうした役割がより明確化されるのは、21世紀に入ってからです。体育スポーツに対する関り方の多様性が示されたからです。体育スポーツは「する」だけでなく、「みる」こと、さらには「ささえる」という関わり方が具体的に示されるようになり、その多様性が謳われるようになったからです。つまり、体育スポーツは、運動技術本位であることに限定されるものではなく、これ以外にも広い世界が存在していることが示されたわけです。

体育大学としての認識の転換

体育系の大学は、これまで運動技術の向上に最も注力してきました。なぜなら体育の教員養成やスポーツ指導者の養成、さらにはアスリートの育成など運動技術を身に付けることを前提にして、卒業後の出口(就職先)が想定されていたからです。ところが、2010年に出された我が国の「スポーツ立国戦略」の中で多様な関り方が示されたことによって、大学教育は体育スポーツの役割と運動するような新たな認識に基づく教育の在り方が検討されるようになってきました。もちろん本学も、こうした社会的な変化を受けて大きな改革へと舵を切ることになりました。多様性に対応した教育の提供、つまり学部の増設です。複数の学部が存在するということは、運動技術の向上を中心とした核に据えていた体育スポーツの教育に留まらず、複数の核を持つようになっ

たことを意味しています。体育スポーツをすることが「苦手であってもよい」という関わり方が可能な教育も提供できるようになったということです。つまり、体育スポーツを学ぶことは、必ずしも実践することを意味するわけではなくなったということです。

このような認識の転換によって、本学は2012年から学部の増設をおこない、現在では「体育学部」「スポーツ文化学部」「スポーツマネジメント学部」「児童スポーツ教育学部」「保健医療学部」の5学部が設置されています。

日体大は「体育スポーツで学ぶ」大学

体育スポーツを通して学ぶことの出来る日体大には大きな特徴が2つあります。1つ目は体育スポーツに関する専任教員が日本で一番多いということです。これは何を意味しているのかと言うと、専門性の異なる教員を多く抱えていることになるわけですから、日本で最も多くの体育スポーツの研究分野を提供していることとなります。つまり、学びの多様性が提供されているということなのです。

2つ目に学びの多様性が提供されているということは、従来の教育のように実技を中心とする学びに縛られないということです。つまり、「体育スポーツを学ぶ」のではなく、「体育スポーツで学ぶ」ことが出来るようになったわけです。体育スポーツはあくまでも社会から求められている「教育・研究・社会貢献」のためのツールであり、大学で学ぶ学生さんには、学問としての体育スポーツだけでなく、人としての生き方、人間関係、社会性など実に多くのことを学ぶことができます。このことは卒業後の就職先についても、とても開かれたものとなっています。体育スポーツで学ぶということは、教員や指導者に限定されるものではないということです。例えば、法学部に入学した学生さんが法曹界や公務員を目指すだけでなく、とても幅広い分野に就職をしています。「体育スポー

ツで学ぶ」ことは、他の学問分野と同様に学問の中心的な役割に縛られないということの意味しているわけです。

体育スポーツで学ぶための必須条件

それでは体育スポーツで学ぶためには何が必要なのでしょうか。答えは皆さんが予想しているように、「体育スポーツが好き」とであると

いうことです。「好きこそ物の上手なれ」ということわざがあるように、好きなものは上達が早く、そのことについて多くの知見を得ることができます。

これまで「体育スポーツ」という用語を使用してきましたが、体育はもともと身体教育を言い表す言葉であり、教育分野の用語として日本で造語されたものでした。学校教育において体育の用語が使われるのには、このよう

な理由があるわけです。一方でスポーツは身体行為を表象する言葉で、アカデミックな世界では使われてきませんでした。

日本体育大学は日本における体育スポーツ教育の最高峰の大学の一つです。さらに、日本で最も多くの体育スポーツの学びが提供されている大学です。日本体育大学でぜひ皆さんの未来を拓いてください。私たちは皆さんを応援しています。

若者の「夢」を育み、進化させる。

そのための環境がここにはある。

理事長

松浪 健四郎

Matsunami Kenshiro

1965年、日体大入学。全日本学生レスリング選手権、全米選手権等で優勝。東ミシガン大に留学。日体大学院文学研究科博士課程単位取得。アフガニスタン国立カブール大講師、専修大教授を経て、1996年に衆議院議員に初当選。外務政務官、文部科学副大臣を歴任。2011年より日体大理事長。博士(体育科学)。日本体育・スポーツ・健康学会名誉会員。旭日重光章を受章する。著書に「古代宗教とスポーツ文化」等多数。



若者の特権は、「夢」を持てる点にある。「夢」は、大きければ大きいほど、やりがいがある。大学は、一人一人の運命を変えるところに存在価値がある。「夢」を現実のものにしてくれる装置と運命を変えてくれる指導者が、日体大には準備されている。

毎年、卒業生や現役学生たちが、JICA(国際協力機構)から発展途上国へ体育・スポーツ等の指導者として派遣されている。その数は日本一、日体大の国際化を識る人は多くはないだろうが、「夢」の第一歩は国際人になることから始めてもよいだろう。

吉田松陰が言う。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に、夢なき者に成功なし」。夢に向かって前進すれば、己の人生を豊かにしてくれる。そのために、好きな身体活動を生かすべきである。

日体大は、戦前まで軍部に協力する学校であった反省から、戦後は平和のために貢献する大学へと転じた。小さいことにクヨクヨせず、世界平和への使者としての脱皮を求めま

す。世界平和の構築、それよりデッカイ「夢」はありません。世界を舞台に活躍してくれる学生を求めています。オリンピックは、平和の祭典でもあるのですから。

大学には、学生たちを刺激する工夫と情報、人生を左右する確かな羅針盤とプログラムが必要です。創立134年を迎えようとする日体大は、歴史と伝統に支えられながら、各方面で才能を開花させる卒業生を多数輩出してきた。かれらが真摯に社会で活動してくれた結果、大学の評価も高まり信頼を獲得できたのです。日体大の特徴は、それほど大きな大学でないのに、全国に卒業生が散らばっていること。学校のある所には、日体大OBが意気揚々と教壇に立っている。そこに日体大の凄さがあるから。

米国の有力な半導体メーカーの副社長、大手の食品チェーンの社長、全国の地方自治体の議員や市町長等、卒業生は多彩な場で存在感を発揮してくれている。個性を尊重した教育は、魅力的な人材を育成する。どんな場においても、常に犠牲的精神を宿わせ、貢献す

る特異な人材を日体大は世に出したいと願っている。まず体力があれば、気力もある。それらをどの方向に向かわせるか、教授陣の腕の見せどころであろう。

日体大はアスリートだけを養成する大学ではない。己の身体的、技術的な可能性に挑戦しながら、強い精神力と好奇心を養う場でもある。つまり、社会人として役立つ教養を身につけつつ個性を磨き、立派に自立できる有為な人づくりの大学である。保育士から大学教員まで、全教育機関へ指導者を送り出す稀有な大学でもある。資格社会、免許社会の日本にあって、日体大の強さはどんな時代を迎えようとも輝きを失わない。

日体大は、アジア最古、世界最大の体育大学です。「身体にまつわる文化と科学の総合大学」として、今後もより発展すべく、あらゆる企画を立てています。入学して良かった、学んで良かった、と誇れる大学、それが日体大です。

日体大、挑戦の軌跡

1891(明治24)年の「体育会」創立から始まり、2021(令和3)年に創立130周年を迎えた日本体育大学。その歴史は、日本における体育とスポーツ文化の発展とともにあったと自負しています。これからも、日本だけでなく世界の体育とスポーツ文化、そして国際平和に貢献していきます。

1857

日高藤吉郎、栃木県佐野町堀込郷にて誕生

本学の創設者である日高藤吉郎は、幕末の1857(安政4)年に栃木県佐野町近郷の堀込郷で誕生しました。幼くして父親と死別し、親戚筋の養子になるものの、17歳で陸軍に入隊。西南戦争などに従軍しました。

その経験から、日本人の体位・体力が著しく劣っていることや、将校が軍人としての指揮能力を欠いていることを痛感。20代後半で除隊した後、「国家建設の基は体育にあり」と考え、1885(明治18)年に士官学校の予備教育機関として文武講習館(後の成城学校、現在の成城中学校・高等学校)を開校。さらに、1891(明治24)年に私財を投じて「体育会」を創設しました(翌年に「日本体育会」と改称)。

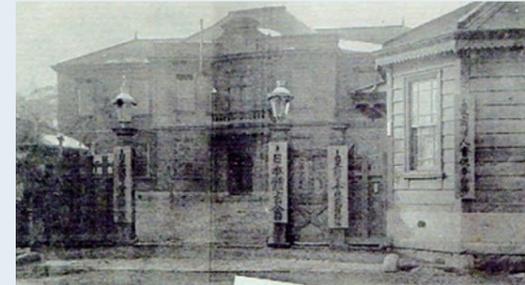
日高は日本体育会の発展に尽力し、1901(明治34)年には同会を私的機関から公的な社団法人に改組。1932(昭和7)年、76歳にて死去しました。



1900

体操練習所および模範体操所が麴町区飯田町1丁目字牛が淵に完成、移転

体操練習所を日本体育会体操学校と改称、文部大臣の監督を受ける各種学校となり、本科1年、別科6か月の課程を置く。

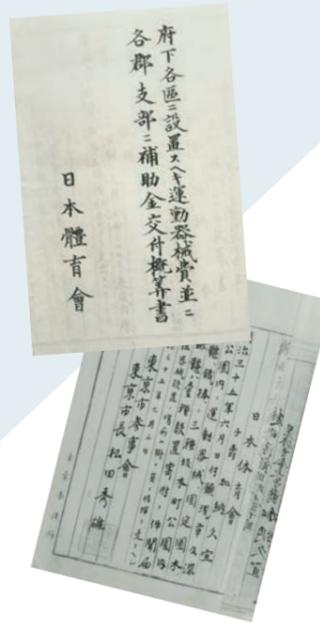


1903

一般への体育普及のため日比谷公園に運動機器設置

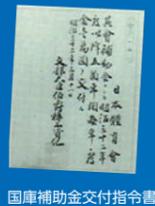
日本体育会は、体育の必要性を広く理解してもらい、普及させるために、会の運動施設を一般に開放していました。こうした試みは、今日では当たり前となっている学校の運動施設開放に先鞭をつけることとなりました。

さらに、誰でも自由に運動できる環境を実現したいと考えた日本体育会は、東京府に対して補助金の交付を申請。1902(明治35)年に上野、芝、浅草、深川、日本橋の公園に、3、4の運動機器を設置しています。1903(明治36)年には、日比谷公園に大掛かりな運動機器を設置。これらの公園には多くの若者たちが集まり、気軽に体育に親しむようになりました。



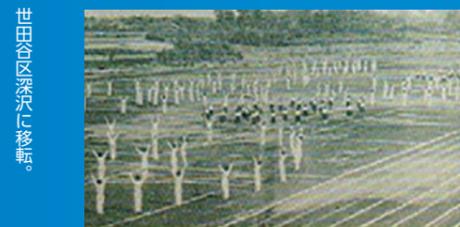
1857 1868 1877 1891 1893 1899 1900 1903 1904 1926 1937 1940 1941 1945 1946 1949 1951 1952

1857 日高藤吉郎、栃木県佐野町堀込郷にて誕生。
 1868 明治維新(明治改元)
 1877 西南戦争
 1891 日高藤吉郎、東京市牛込区に体育会を設立(翌年、日本体育会に改称)
 1893 日高藤吉郎、東京市牛込区に体育会を設立(翌年、日本体育会に改称)
 1899 西南戦争に陸軍兵士として従軍。



国庫補助金交付指令書

1900 日体大独自の応援スタイル「エッサッサ」完成。
 1903 体操練習所および模範体操所、麴町区飯田町1丁目字牛が淵に完成、移転。
 1904 荏原郡大井村へ移転。
 1926 一般への体育普及のため日比谷公園に運動機器設置。



深沢移転後の体操学校の全景

1937 世田谷区深沢に移転。
 1940 社団法人を解散、財団法人日本体育会に組織変更。
 1941 太平洋戦争開戦。
 1945 日本体育専門学校に昇格。
 1946 ボツダム宣言受諾(敗戦)。
 1949 茨城県土浦市の元海軍航空隊跡地へ移転。
 1951 新制大学となり、日本体育大学体育学部体育学科を開設。
 1952 世田谷区深沢の旧日本体育専門学校のキャンパスに復帰。
 校章が現在のデザインに決定。

1891

日高藤吉郎、東京市牛込区に体育会を設立

19世紀末、世界中で欧米列強の帝国主義が吹き荒れており、その中で独立を守り、アジアの先陣を切って近代化を進めるため、明治政府は富国強兵・殖産興業の方針を掲げました。民間の立場からこの方針を支えるべく、日高藤吉郎により1891(明治24)年、創設されたのが「体育会」(翌年に「日本体育会」に改称)です。

日高が自ら執筆した「体育会設立ノ要旨」には次のように記されています。



夫し身体健康ナラザレハ、心志剛強ナル能ハズ。心志剛強ナラザレハ、事二堪へ業ヲ遂クルコト能ハズ。而シテ身体ノ健康ヲ欲セハ、身体ヲ運動スルヨリ善キハ莫シ。(中略)体育ノ重キハ既ニ此クノ如シ。即チ余力ヲ以テヒラク、体育ヲ盛ニシテ國民ノ強壯ヲ謀ルハ、蓋シ國家富強ヲ圖ル大本ナリト。

国民の体位・体力を増進するため、「日本体育会」が当初、目指していたのは現在のスポーツクラブのような会員制の組織を全国展開することでした。ドイツ語に堪能であった日高は、当時のドイツで普及していた体育協会(ツルンフェライン)をモデルにしたようです。日本体育会では、3回にわたって内国勸業博覧会に参加し、「総合体育会館」の建設・出品も行っています。しかし、あまりに先駆的なこの試みは会費徴収に問題を抱え、資金面で安定を得ることができませんでした。そのため、日本体育会の事業は実質的には学校経営に絞られていきました。

1893

日本体育会体操練習所を東京市麴町区飯田町4丁目に設置

日本体育会が1893(明治26)年に設けたのが「日本体育会体操練習所」です。これは日本体育会の会員制組織において体育を教える専門家を養成することを目的とし、さらに学校体育の教員となる予備機関としての役割も担うものでした。この「日本体育会体操練習所」こそ、今日の日本体育大学の前身に他なりません。明治期には他にも、多くの私立の体操教員養成機関が設立されました。しかし、その多くは間もなく消えていきました。

そのような状況下において「日本体育会体操練習所」が存続できた大きな理由は、国の信頼と支援を得ることができたからです。総裁に皇族の閑院宮載仁親王を推戴し、会長・副会長のポストには軍の高官や華族を置き、1899(明治32)年、国庫補助金(5ヵ年)を受領することになりました。

文部省直轄学校として開校した「体操伝習所」(明治11年設置、現在の筑波大学体育専門学群)が廃校となり、代わって体育教員養成の機能を委ねられた高等師範学校の体操専修科も1889(明治22)年以来、実質的に体育教員の養成を中断していたため、国の体育教員養成機関の肩代わりをする機関が必要とされていたのです。こうして、「日本体育会体操練習所」は実質的には国立に準じる団体とみなされ、文部省直轄機関の一つに加えられることになりました。1900(明治33)年には、「日本体育会体操学校」と改称しました。

1904

荏原郡大井村へ移転

「日本体育会体操学校」となったものの、国庫補助金の交付が5年で打ち切られると、日本体育会の経営は悪化しました。そのため東京の中心地を離れ、1904(明治37)年、東京府内荏原郡大井町字浜川に移転します。ここに体操学校の大井時代がはじまります。



立地の関係から入学志願者が減り、廃校の危機に直面しましたが、日露戦争の勃発により体操(体育)教師の大部分を占めていた予備役軍人が召集され、体操教師に大幅な欠員が生じ、卒業生に対する需要が増えました。

また、大井村に移転するにあたって新たに中学校(現在の日本体育大学荏原高等学校)を併設することで、体操学校の経営の安定が図られました。

1926

日体大独自の応援スタイル「エッサッサ」完成

当時の在学生・平井一が、アメリカから導入された「ピストン・ロッジ・アーム・モーション走法」をモチーフに考案。その後、時代に合わせたアレンジを加えられながら継承され続け、「月明かりに獅子が月に向かって咆哮する様子」を表したといわれる現在の形になりました。



1941

日本体育専門学校に昇格

昭和になると、各種学校としての体操学校を専門学校へと昇格させ、さらに大学を目指すという声が高まってきました。

キャンパスが手狭になったこともあり、日本体育会体操学校は1937(昭和12)年に世田谷区深沢の現在地に移転し、1940(昭和15)年には財団法人へと改組。1941(昭和16)年に念願の日本体育専門学校となりました。



1946

茨城県土浦市の元海軍航空隊跡地へ移転

1949

日本体育大学設立

戦争は終わりました。しかし、1945(昭和20)年の東京大空襲により、世田谷区深沢の日本体育専門学校の諸施設は甚大な被害を受け、復興の目途が立ちませんでした。そこで1946(昭和21)年、茨城県土浦市阿見町にあった元海軍航空隊跡地へ移転。5年にわたる土浦時代が始まります。1949(昭和24)年、新制大学として認可され、日本体育大学が設立されました。当初は体育学部体育学科のみという単科大学としてのスタートであり、新時代に求められる体育教員の養成を目指しました。ただ、東京から遠く離れたため、初年度の入学者は64名にすぎませんでした。

その後、戦後復興が進むにつれ、世田谷区深沢の旧キャンパスへの復帰の機運が高まり、1951(昭和26)年に実現。これによって入学志願者が急増し、大学の教育と研究、それを支える経営は安定していきました。

高度経済成長が始まった昭和30年代後半からは、時代の変化に対応するため、1962(昭和37)年の健康学科など徐々に新しい学科を増設しました。



土浦時代のグラウンド

1964

東京オリンピック 全学をあげて東京オリンピックに協力

戦後、日本体育大学は体育教員の養成に力を注ぎ、どちらかといえばトップアスリートや競技スポーツの指導者の育成については二義的なものと捉えていました。

その方針を転換する契機になったのが、1964(昭和39)年の東京オリンピックです。体操、柔道、レスリング、女子バレー、マラソンなどでの日本人選手の活躍に国中が沸きました。本学では全学的な協力体制を整え、多くの学生や教職員がオープニング・セレモニーに出場したり、大会補助員として参加したりしました。

こうして、学内外においてスポーツに対する見方や取り組み方が大きく変わり、本学ではトップアスリートや競技スポーツの指導者育成に真正面から取り組むよう方針転換を図ることになったのです。その結果、今日まで日本体育大学はどの大学よりも多くのオリンピック選手とメダリストを輩出することとなりました。

また、このオリンピックの後、暫くして「ニホン」体育大学から「ニッポン」体育大学へ呼称を改めました。スポーツの国際舞台ではたいてい「NIPPON」ないし「JAPAN」が用いられることから、文字通り日本を代表するスポーツ大学になろうという決意の表れです。



写真提供：共同通信社

1971

体育専攻科を開設 横浜・健志台キャンパスで グラウンド開きを行う

トップアスリートや競技スポーツの指導者を育成するため、また学生数の増加によって世田谷・深沢キャンパスが手狭になってきたことから、運動施設、運動部の強化策として新たなキャンパスを設けることになりました。

1968(昭和43)年、横浜市緑区(現青葉区)鴨志田町に3万7700坪の用地を確保し、運動施設の建設に着手。これが健志台キャンパスです。

まず、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート、アーチェリー場、バレーボールコート、ハンドボールコートなどが建設され、その後体操競技専用の体操競技館、管理棟などが完成しました。

「健志台」の名称は、当時の日本体育会の米本卯吉理事長の発案によるもので、「健」は健康を意味し、「志」は学および鴨志田町にちなみ、「台」は丘陵を指しています。

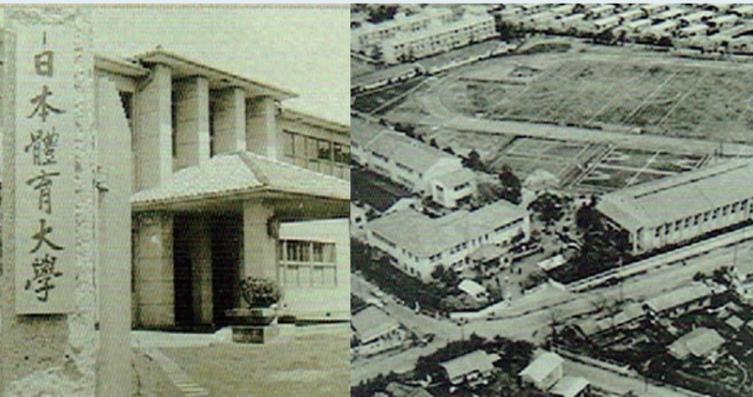


横浜・健志台グラウンドの全景

1953	1960	1962	1963	1964	1965	1971	1975	1991	1998	2005	2006	2007	2012	2013	2014	2017	2018	2020	2021	2022	2024	
日本体育大学女子短期大学体育科を開設。	日体保育科(保育養成施設)を大学内に開設。	体育学部健康学科を開設。	日本体育大学女子短期大学保育科を開設。	東京オリンピックに全学をあげて大会に協力。	体育学部武道学科を開設。	横浜・健志台キャンパスでグラウンド開きを行う。	体育専攻科を開設。	大学院体育科学研究科(前期・後期)課程開設。	日本体育大学創立100周年。	日本体育大学女子短期大学を、日本体育大学女子短期大学部に名称変更。	日本体育大学女子短期大学部保育科を、日本体育大学女子短期大学部幼児教育保育科に名称変更。	東京・世田谷キャンパスの再開発工着工。	東京・世田谷キャンパス再開発工着工。	学校法人日本体育会を学校法人日本体育大学に名称変更。	児童スポーツ教育学部を開設。	保健医療学部整復医療学科、救急医療学科を開設。	スポーツ文化学部武道教育学科、スポーツ国際学科を開設。大学院教育学研究科博士(前期・後期)課程開設。	大学院保健医療学研究科、運動器系道整復学専攻博士課程、救急災害医療学専攻博士課程を開設。	日本体育大学創立130周年。	東京オリンピック・パリンピック。	大学院体育学研究科(前期・後期)課程を開設。	アカデミックコア棟(仮)横浜・健志台キャンパス再開発

1951

世田谷区深沢の旧日本体育専門学校のキャンパスに復帰



東京・世田谷キャンパスの正門と全景

1952

校章が現在のデザインに決定

1949(昭和24)年9月20日に日本体育大学は新制大学としての歴史を刻み始めました。当時の記章(校章)は「大學」の文字の左右に「體」と「育」とを配したものでしたが、1952(昭和27)年に今の形に決定。現在、大学を象徴する校旗や学友会各部の部旗にもデザインされています。この他にも日本体育大学には、1955(昭和30)年に制定されたシンボルマーク、2006(平成18)年に投票で決まったロゴマーク、シンボルマークがあります。



日体大

2019

「レオ丸」誕生

日体大のシンボルマークがライオン(獅子)であることから、日体ファミリー公式マスコットキャラクター「レオ丸」が誕生しました。ギリシャ語でライオンを「レオン」ということ、世田谷キャンパスの像「獅子丸」が名前の由来。現在、日体大の試合やイベントなど、さまざまな場面で活躍しています。



2021

2020東京オリンピック・ パラリンピック全学をあげて 大会に協力



日本体育大学 創立130周年



日本体育大学併設校

体育・スポーツの発展と指導者の養成に取り組む
学校法人 日本体育大学

日本体育大学とは系列校関係にある学校です。心身の健康向上に力を注ぎ「体・徳・知」を養いながら未来に挑戦していきます。



中国

主な出身校

- 鳥取**・鳥取中央育英・鳥取東・鳥取城北・米子北
- 島根**・石見智翠館・開星・立正大学瀬南・大社・益田・平田・島根中央
- 岡山**・玉野光南・関西・岡山学芸館・就実・山陽学園・創志学園・作陽学園
- 金光学園・倉敷商業・高松農業・岡山商科大学附属
- 広島**・広島皆実・崇徳・佐伯・御調・沼田・広島翔洋・西条農業・如水館
- 清水ヶ丘・加計・呉港
- 山口**・西京・野田学園・誠英・華陵・柳井・高水・下関北・慶進 …他



近畿

主な出身校

- 滋賀**・草津東・長浜北星・比叡山 京都・洛南・東山・乙訓・京都外大西
- 鳥羽・京都工学院・京都橘・龍谷大学附属平安 大阪・清風・桜宮・履正社
- 大阪桐蔭・箕面自由学園・大商学園・太成学院大学・関西創価・四天王寺
- 東大阪大学柏原 兵庫・明石商業・報徳学園・日ノ本学園・社・尼崎(市立)
- 須磨学園・育英・滝川第二・西脇工業・滝川・神戸国際大学附属
- 奈良**・智辯学園 和歌山・和歌山北・智辯学園和歌山 …他



北海道

主な出身校

- 北海道・クラーク記念国際・北海・駒澤大学附属苫小牧
- 酪農学園大学附属とわの森三愛・旭川南・武修館・北見北斗
- 池田・白樺学園・札幌第一・北海道栄・星槎国際・恵庭南・札幌光星・帯広緑陽
- 東海大学付属札幌・帯広三条・北見柏陽・北海道科学大学・名寄・清水・帯広農業
- 旭川実業・帯広大谷・札幌静修・札幌国際情報 …他



北陸

主な出身校

- 福井**・北陸・羽水・啓新・丸岡・福井工業大学附属福井・美方・若狭・鯖江
- 大野・福井商業・敦賀
- 石川**・星稜・金沢・能登・小松大谷・金沢市立工業・日本航空高等学校石川
- 金沢学院大学附属・津幡・遊学館・小松商業・七尾・野々市明倫
- 富山**・富山第一・水橋・小杉・高岡商業・高岡向陵・富山商業・八尾・高岡西
- 滑川・富山国際大学附属・大門・龍谷富山・南砺福野・富山いずみ・富山 …他



甲信越

主な出身校

- 山梨**・駿台甲府・山梨学院・日本航空・白根・日川・富士河口湖・韮崎
- 長野**・松商学園・飯山・佐久長聖・長野東・東海大学付属諏訪・上田東
- 野沢南・長野日本大学・長野西・中野立志館・大町岳陽・岡谷南・岩村田
- 伊那弥生ヶ丘・下諏訪向陽
- 新潟**・開志学園・開志国際・新潟第一・新潟産業大学附属・北越・十日町
- 帝京長岡・新潟明訓 …他



全国から集結。

日本全国、各都道府県から
学生が集まる日体大。
様々な地域から学生が
集まる環境は、多様な価値観や
考え方を理解し、より深く学びを
追究できる理想的な環境です。



九州・沖縄

主な出身校

- 福岡**・東福岡・九州国際大学付属・東海大学付属福岡・福岡第一
- 筑紫台・希望が丘・柳川・筑紫・九州産業大学付属九州・福岡大学附属大塚
- 福岡工業大学附属城東・福岡工業・筑陽学園・大牟田
- 佐賀**・龍谷・佐賀工業・佐賀清和 長崎・長崎南山・長崎北陽台
- 九州文化学園 熊本・九州学院・千原台・八代東・ルーテル学院
- 熊本学園大学付属・鎮西・開新 大分・大分雄城台・杵築・別府翔青
- 宮崎**・小林・日章学園・都城商業・宮崎日本大学
- 鹿児島**・鹿児島南 沖縄・那覇西・名護 …他



四国

主な出身校

- 香川**・尽誠学園・高松北・高瀬・高松商業・高松西・香川中央・善通寺第一
- 愛媛**・新田・松山工業・新居浜東・帝京第五・三島・西条・今治西・松山北
- 松山東雲
- 高知**・岡豊・高知西・高知・高知商業・高知南・高知追手前・高知工業
- 徳島**・城東・小松島・鳴門渦潮 …他



東海

主な出身校

- 静岡**・浜松日体・静岡学園・富士東・島田・星陵・沼津西・沼津市立沼津
- 御殿場西・富士宮北・東海大学付属静岡翔洋・飛龍・静岡西・日本大学三島
- 静岡市立・伊豆中央・加藤学園・静岡東・三島南・袋井・磐田東・藤枝西
- 浜松湖南・掛川東・知徳・城南静岡・浜松学芸 岐阜・中京・岐阜女子
- 大垣西・八百津 愛知・名城大学附属・中部大学第一・三好
- 愛知工業大学名電・東邦・中京大学附属中京・豊川・杜若
- 三重**・いなべ総合学園・三重・四日市中央工業・高田・津商業・宇治山田商業 …他



在学生出身都道府県データ

令和6年度 在籍者数 7,637名

入学者出身高等学校ランキング(在学生)

1st	埼玉栄高等学校 (埼玉県) ……	55名	8th	川崎市立橋高等学校(神奈川県) ……	30名
2nd	荏田高等学校 (神奈川県) ……	43名	10th	桐蔭学園高等学校(神奈川県) ……	29名
3rd	東京高等学校 (東京都) ……	40名	10th	伊奈学園総合高等学校(埼玉県) ……	29名
4th	県立相模原弥栄高等学校(神奈川県) ……	35名	併設校		
5th	都立東大高等学校(東京都) ……	34名	日本体育大学荏原高等学校 ……	542名	
6th	横浜創英高等学校(神奈川県) ……	33名	日本体育大学柏高等学校 ……	203名	
7th	湘南工科大学附属高等学校(神奈川県) ……	32名	日本体育大学桜華高等学校 ……	107名	
			浜松日体高等学校 ……	48名	

東北

主な出身校

- 青森**・青森山田・田名部・八戸西・八戸工業大学第一・五所川原第一
- 八戸東・青森西 秋田・能代・金足農業 岩手・花巻東・黒沢尻北
- 盛岡北・盛岡南・盛岡中央・不来方・盛岡白百合学園・黒沢尻工業
- 宮城**・東北・仙台育英学園・常盤木学園・聖和学園・柴田・利府・仙台北南
- 仙台大学附属明成 山形・山形中央・鶴岡東・日本大学山形
- 福島**・ふたば未来学園・石川(私立)・原町・郡山・田村・郡山東・いわき湯本・尚志 …他



北関東

主な出身校

- 茨城**・藤代・水城・茨城キリスト教学園・常総学院・常磐大学・藤代紫水
- 水戸商業・下館第一・東洋大学附属牛久・鹿島学園・鉾田第一・石岡第一
- 水戸啓明・霞ヶ浦・日立北・水海道第二・取手第一 栃木・國學院大学栃木
- 作新学院・鹿沼東・佐野東・宇都宮南・白鷗大学足利・宇都宮短期大学附属
- 足利・日光明峰・佐野日本大学 群馬・前橋育英・前橋商業
- 高崎健康福祉大学高崎・太田東・桐生第一・東京農業大学第二・館林
- 前橋南・太田女子・渋川 …他



南関東

主な出身校

- 東京**・日本体育大学荏原・日本体育大学桜華・東京
- 東大和・堀越・東京成徳大学・高島・岩倉・駒場・石神井・駒場学園・府中西
- 大崎・駿台学園・昭和第一学園・紅葉川・小岩・日本女子体育大学附属二階堂
- 神奈川**・荏田・相模原弥栄・横浜創英・湘南工科大学附属・橘・桐蔭学園
- 旭・横浜・横浜隼人・横浜商業・相模原(私立)・百合丘・相洋・上溝南
- 埼玉**・埼玉栄・伊奈学園総合 千葉・日本体育大学柏 …他



学部・学科、大学院紹介

詳細は
ホームページへ！



5学部 9学科 4専攻 2コース 大学院3研究科

Graduate School

大学院 P94	研究科の構成		学びのポイント 日本体育大学大学院は、体育及びスポーツ、教科教育並びに保健医療に関する高度の学術研究により、その深奥をきわめ、学術の応用に貢献して競技力向上、教科教育の実践並びに保健医療に関する研究を推進するとともに、高度な学識と研究能力を持った専門家の養成と、社会の多様な分野で活躍し得る人間の育成を目標とし、スポーツ科学・文化の進展、新たな教科教育学の構築並びに保健医療の推進と人類の友好・親善に貢献することを目的としています。
	体育学研究科	» P96	
	教育学研究科	» P98	
保健医療学研究科		» P100	

キャンパス	学部	学科/専攻・コース	学びのポイント	在籍者数 (2024年5月現在)	取得可能な免許・資格	進路データ (2024年度データ)
東京・世田谷 キャンパス	体育学部	体育学科 スポーツ科学専攻 »P36	アスリート、コーチ、スポーツ医・科学で競技を支える人材(スポーツ科学者・スポーツアナリスト・アスレティックトレーナーなど)として活躍するために必要な知識と実践力を身につける。	3,350名 男子：2,240名 女子：1,110名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者) * スポーツ教育専攻のみ ■ 水泳コーチ3(受験資格) ■ アスレティックトレーナー(受験資格) *1 ■ ハンドボールコーチ1(受験資格) ■ バドミントンコーチ2(受験資格) ■ JPSUスポーツトレーナー資格(受験資格) * スポーツ科学専攻のみ ■ 日本トレーニング指導者協会認定 トレーニング指導者(受験資格) 	
		体育学科 スポーツ教育専攻 »P34 »P38	主に中学校・高等学校(保健体育科)教諭、特別支援学校教諭として必要な知識・実践力を身につける。			
横浜・健志台 キャンパス	体育学部	健康学科 ウェルネスライフ専攻 »P42	活動の舞台は身近な地域！ 健康増進と福祉に関する実践力を身につける。	773名 男子：335名 女子：438名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 養護教諭一種免許状 *ヘルスプロモーション専攻のみ ■ 社会福祉士(受験資格) *ウェルネスライフ専攻のみ ■ 水泳コーチ3(受験資格) ■ ハンドボールコーチ1(受験資格) ■ バドミントンコーチ2(受験資格) ■ 日本トレーニング指導者協会認定 トレーニング指導者(受験資格) ■ 健康運動指導士 ■ 健康運動実践指導者 ■ 介護予防運動指導員 *ウェルネスライフ専攻のみ 	
		健康学科 ヘルスプロモーション専攻 »P40 »P44	活躍の舞台は学校！ 必ずしも運動が得意でなくても体力向上や健康の保持増進に貢献できる高い専門性を備えた指導者を目指す。			
東京・世田谷 キャンパス	スポーツ文化学部	武道教育学科 »P50	武道や日本舞踊、民俗舞踊や和太鼓などの伝統芸能における実践的な技術や理論を中心に学ぶ。	386名 男子：295名 女子：91名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) 	
		スポーツ国際学科 »P46 »P54	スポーツを通して国際協力・交流、開発援助を促進するための知識や技術を学ぶ。	431名 男子：284名 女子：147名		
横浜・健志台 キャンパス	スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科 »P62	スポーツイベントやスポーツ施設経営などの事業にビジネスチャンスを見つけ出し、スポーツ奨励・促進のための活動を支援する能力を学ぶ。	739名 男子：538名 女子：201名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 初級/パラスポーツ指導員 *スポーツライフマネジメント学科のみ ■ スポーツ・レクリエーション指導者 *スポーツライフマネジメント学科のみ ■ 公認アシスタントマネージャー(受験資格) ■ スポーツ施設管理士(受験資格) ■ スポーツ施設運営士(受験資格) 	
		スポーツライフマネジメント学科 »P58 »P66	すべての人々に心身の健康な生活の提供と健康寿命の延伸を図ることを目的に、ライフステージに応じてスポーツや運動を処方し、自ら示範して指導する能力を学ぶ。	483名 男子：296名 女子：187名		
東京・世田谷 キャンパス	児童スポーツ教育学部	児童スポーツ教育学科 児童スポーツ教育コース »P74	児童・生徒の心とからだの成長を支えることのできる小学校・中学校教員を目指し、各教科指導や、運動・スポーツの指導のための知識と実践力を学ぶ。	533名 男子：249名 女子：284名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小学校教諭一種免許状 ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 准学校心理士 ■ ジュニアスポーツ指導員(受験資格) ■ 初級/パラスポーツ指導員 	
		児童スポーツ教育学科 幼児教育保育コース »P70 »P78	幼稚園教諭や保育士を目指し、幼児の発育・発達を総合的に支援できる知識や実践力を学ぶ。	193名 男子：19名 女子：174名		
横浜・健志台 キャンパス	保健医療学部	整復医療学科 »P86	国家資格「柔道整復師」取得を目指し、スポーツと健康増進に貢献するための専門知識と臨床技術を学ぶ。	398名 男子：236名 女子：162名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 社会福祉主事(任用) ■ 柔道整復師(受験資格) ■ アスレティックトレーナー(受験資格) *人数制限あり ■ 日本トレーニング指導者協会認定 トレーニング指導者(受験資格) ■ 第一種衛生管理者 	
		救急医療学科 »P82 »P90	救急救命士国家試験合格に主眼を置き、救急医療分野の従事者に必要な専門知識や実践力を学ぶ。	351名 男子：271名 女子：80名		

※1 サブプログラムアスレティックトレーナー養成プログラムを履修することで取得可能です。 ※2 教員に幼稚園教諭を含む。 ※3 医療機関に柔道整復師を含む。
 ※4 医療機関および消防に救急救命士を含む。

学科によって目指せる多様な将来像

あなたの夢や希望、目的を、日体大がしっかりとバックアップ。幅広い学びの領域で一人ひとりの向上心に応える。

体育学部

体育学科

競技者・コーチ・教員

日本の競技力を牽引し、世界で活躍するアスリート、教員の養成を目指します。



健康学科

地域住民の健康と福祉を支える専門職

・健康運動指導士・介護予防運動指導員
・ソーシャルワーカー(社会福祉士)

スポーツ文化学部

武道教育学科

武道指導者

各種競技団体の指導者資格を取得し、連盟や道場などに所属して、武道の指導と普及を行います。現在は海外での武道人気が高く、国内だけでなく、海外での武道の普及活動も求められています。



スポーツ国際学科

国際的なスポーツ指導者

途上国文化の子どもたちに遊びやスポーツを指導できる人材育成を目指しています。例えば、JICAの海外協力隊ではサッカーや野球、柔道、空手など多様な種目の指導者や体育や小学校教育を支援できる人材が求められています。海外協力隊を経てさらなるステップアップを目指す人材や国際的NGOなどで活動できる人材育成を目指します。

マネジメント学部

スポーツマネジメント学科

スポーツ関連企業で活躍!

スポーツ関連企業において、企画、広報、プロジェクトマネージャーなど、様々な職種で活躍できる人材を育成します。市場や顧客ニーズを分析し新たな商品やサービスを企画する力、自社の商品やサービスの広報戦略を立案する力、チームマネジメントにより組織の成果を最大化する力を養います。



スポーツライフマネジメント学科

まちづくり関連企業・団体

スポーツを基盤としたコミュニティを形成するために地域クラブなどを運営することができます。また、スポーツボランティアの組織をマネジメントすることができます。

児童スポーツ教育学部

児童スポーツ教育コース

小学校・中学校教員

発育発達の途上にある子どものこころと体には密接な関係があり、子どもたちが身体的・精神的に健康であることは、学校教育での豊かな学びの基礎になります。児童スポーツ教育コースでは、こうした子どものこころと体について深く理解し、子どもの成長に寄り添うことのできる確かな力量を持った小学校・中学校教員を目指す学生を育てます。また、体育・スポーツの魅力を主体的に発信し、体育専科指導にも対応できる強みを持った教員となることを期待します。



幼児教育保育コース

幼稚園教諭・保育士

保育園や幼稚園など現場への就職が多いです。2023年度は私立保育園は14名、私立幼稚園は13名、公立保育士は6名、障害福祉サービスは2名となっています。公務員志望(保育士など)の学生に対しては、個別に試験に必要な対策への対応を行っています。

保健医療学部

整復医療学科

柔道整復師

スポーツに多い骨、関節、筋肉や靭帯のケガを治療することができる国家資格で、接骨院を開業するのに必要な資格です。介護領域においては機能訓練指導員として働くことや、実務経験5年以上で介護支援専門員(ケアマネージャー)の受験資格が得られます。接骨院、整形外科、介護施設など医療・介護施設での活躍が期待されます。



救急医療学科

臨床領域

消防組織・救急病院・海上保安庁・自衛隊

法令順守のもと、医療従事者の業として生命の危機に瀕する傷病者を救うことに全力でむかう救急救命士を育成します。

3つの方針

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)



体育学部では、本学の「教育目標」に基づき、体育学・スポーツ科学・健康科学に関する専門教育並びに教養科目に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士(体育学)」を授与する。

■ 幅広い教養と専門分野の知識・技能

- ①幅広い教養と専門分野(体育学・スポーツ科学・健康科学)に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
- ②体育とスポーツ文化への理解をもち、体育・スポーツの発展に貢献できる人物になるための科学的知識・思考並びに実践力を身に付けている。

■ 汎用的能力

- ①専門的知識を使って体育・スポーツ・健康に関する課題の発見・解決の方法を見出すことができる。(課題発見・解決能力)
- ②現象を筋道を立てて思考し、課題解決のために科学的思考と規範的判断力を運用できる。(論理的思考力・規範的判断力)
- ③ICTをはじめとする多様な手段を使って情報を収集・分析し、日本語と外国語を使った高度なコミュニケーションができる。(リテラシー)
- ④競技力向上から教育・健康・福祉まで、人々の多様な多様な体育・スポーツ・健康への取り組みを専門的知見に基づいてサポートすることができる。(未来社会を構想・設計する力)

■ 態度

- ①世界、日本、地域社会における様々な体育・スポーツ・健康の課題解決に向けて主体的に参画し、多様な活動を立案・運営できる。
- ②共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、思いやりのある態度を取ろうとしている。
- ③現実の社会生活において規範やルールを尊重し、高い倫理観を備えようとしている。
- ④教養並びに専門的知識を活用しつつ自己への洞察を深め、生涯学び続けながら自己を大切に生きようとしている。



体育学部

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)



体育学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

■ 教育課程の編成

- ①本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
- ②体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンパス実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外(野外)実習科目を設ける。
- ③体育・スポーツの専門家として、また人権意識を持つ地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
- ④多様性を受け入れ、共生・共感的態度を持った体育・スポーツの専門家として幅広い教養を身に付け、生涯学び続ける態度を養うために「スポーツ教養科目」並びに「基礎教養科目」を配置する。
- ⑤体育学の専門性を養うために、体育学全般の基礎を扱う「研究ゼミナールA」を1年次に、各コースでの専門への導入を扱う「研究ゼミナールB」を2年次に、卒業研究のための基礎的研究活動を行う「研究ゼミナールC」を3年次前期、「研究ゼミナールD」を3年次後学期に配置する。卒業研究のための実践的研究活動を行う「研究ゼミナールD」を4年次前期、卒業研究を含む「研究ゼミナールDⅡ」を4年次後学期に配置する。以上の科目設置によって体育学の専門家としての段階的、体系的な能力向上を図る。
- ⑥多様な社会や人材へ対応することができるよう「サブプログラム」を設ける。**【体育学】** スポーツ科学に関する専門分野の知識・技能を身に付けるため、体育学共通科目を設ける。**【スポーツ科学専攻】** 競技スポーツを中心としたスポーツ科学における専門的知識と実践的応用を養うために「アスリートプログラム」「スポーツコーチングプログラム」「競技サポートプログラム」を設ける。プログラム専門科目については、各プログラムで次のように配置する。**①アスリートプログラム** 競技力向上に関する専門的知識と実践力を身に付けるため、アスリートに関わる専門的知識と実践力を養うためのプロジェクト科目を設ける。

スポーツ文化学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

■ 教育課程の編成

- ①本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
- ②体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンパス実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外(野外)実習科目を設ける。
- ③多様性を受け入れ、共生・共感的態度をもって、地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
- ④よき市民及び国際人として身に付けるべき基本的な素養としての社会人基礎力と調和のとれた人間力を形成するため、学部共通科目に「教養科目」を設け、基礎教養に関わる科目と言語コミュニケーション科目を置く。
- ⑤体育・スポーツを通じて国際的な社会的課題を主体的に解決できる能力を育成するために、「総合科目」の中に研究科目を設ける。

スポーツマネジメント学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

■ 教育課程の編成

- ①本学が果たしてきた歴史的・社会的使命を理解すると同時に我が国の体育・スポーツの歴史を知り、本学で学ぶ意味の醸成を目的として「日体大アイデンティティ科目」を設け、「日体大の歴史」及び「オリンピック・パラリンピック概論」を置く。
- ②体育・スポーツにおける実践的指導力のみならず、広く社会一般で先導的役割を担うためのチームワークやリーダーシップ、コミュニケーション能力並びに規範的意識を養成するため、「日体大アイデンティティ科目」に「海浜実習」、「キャンパス実習」、「スキー実習」、「スケート実習」の4つの学外(野外)実習科目を設ける。
- ③多様性を受け入れ、共生・共感的態度をもって、地球市民として各分野で活躍できる力を養うために「グローバルコミュニケーション科目」を設ける。
- ④幅広い教養を身に付け、生涯学び続けることのできる前向きな態度を育成するために、初年次と2年次に「教養科目」を設ける。
- ⑤スポーツマネジメントにおける課題を主体的に解決できる能力を育成するために、初年次から4年次までを通して「総合教育科目」の中に研究科目を設ける。この科目群では、初年次に「スポーツマネジメント研究A」、2年次に「スポーツマネジメント研究B」、

- ⑥「ヘルスプロモーション専攻」 学校現場をはじめとして人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた指導者を育成するためのカリキュラムとして「身体教育プログラム」「養護教諭プログラム」を設ける。プログラム専門科目については、各プログラムで次のように配置する。**①身体教育プログラム** 子どもや学校に関わる人々のヘルスプロモーションに必要な専門的知識と実践力を身に付けるため、身体活動と保健教育に関する「身体教育プログラム科目」を設ける。**②養護教諭プログラム** 子どもや学校に関わる人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた養護教諭に必要な専門的知識と実践力を身に付けるための「養護教諭プログラム科目」を設ける。**③サブプログラム** 以上のほか、多様な社会や人材へ対応することを目的に以下のサブプログラムを配置する。**④アカデミックプログラム** **⑤保健体育教諭養成プログラム** **⑥アスレティック・トレーナー養成プログラム** **⑦航空産業プログラム** **⑧モータースポーツ産業プログラム** **⑨留学生プログラム**

- 教育方法
①講義、演習、実技、実習をバランス良く組み合わせ、学生が主体的に学ぶための教育内容の充実を図る。
②科目及びプログラムの特性に応じて知識伝授型、グループワーク、集団討論、スポーツ実践の現場を対象とした演習などを展開し、学生の動機づけ、目的意識の向上、スポーツ科学理解の深化を促す。
- 学修の評価
①各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準についてはルーブリックを作成する。
②学生自身が学修を振り返り、自己評価を行う機会を設ける。
③卒業研究によって提出された論文または制作物等から4年間の学修成果を総合的に評価する。

- この科目群では、初年次に「スポーツ文化研究A」、2年次に「スポーツ文化研究B」、3年次に「スポーツ文化研究C-D」、4年次に「スポーツ文化研究E-F」を必修とし、課題解決力、コミュニケーション能力、情報収集力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- ⑤スポーツ・健康科学並びにスポーツ指導の基礎的知識、技能、態度を修得するために、「基幹科目」、「展開科目」、「専門科目(体育実技)」を設ける。
- ⑥スポーツを通じて国際貢献の基幹となる知識、技能並びに態度を習得するために「学科基礎科目」を設ける。**【武道教育学科】** わが国固有の精神文化に立脚した体育・スポーツを中心とする内容を構成する。**【スポーツ国際学科】** 海外の体育・スポーツを中心にその内容を構成する。
- ⑦体系的かつ専門的な学修を通じて体得した知識、技能等を総合的に活用するために「学科専門科目」を設ける。**【武道教育学科】** 武道教育、伝統芸能、体育指導などに関わる教養とスキルを向上させる科目を置く。**【スポーツ国際学科】** スポーツ国際交流、スポーツ支援、スポーツ国際開発援助などで今日の課題を実践的に解決する力を獲得するために、国際的な教養とスキルを向上させる科目を置く。

- 3・4年次に「スポーツマネジメント研究C-D-E-F」を必修とし、論理的思考力、表現力、情報収集・活用能力、課題解決力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- ⑥体育・スポーツ学、スポーツマネジメント学に関する基礎的知識と技能を身に付けることを目的とした「基幹科目」と「展開科目」を設ける。
- ⑦専門分野の知識・技能を身に付け、社会の状況に応じた実践的マネジメント能力を高めるために、各学科に「学科基礎科目」と「学科専門科目」を設ける。**【スポーツマネジメント学科】** スポーツに関係する組織や団体、企業等をマネジメントしたり、スポーツをビジネスと関連付けてマネジメントするための専門的知識や技能を身に付けるために、「学科基礎科目」を設ける。また、世界中で展開しているイベント・商品開発・施設経営など様々なスポーツビジネスの実践現場に活かせる企画力・実践力・プレゼンテーション力を養い、新たな価値を生み出す意欲と態度を培うために、「学科専門科目」を設ける。**【スポーツライフマネジメント学科】** 多様な人々のスポーツライフをマネジメントし、現代社会の様々な課題を解決するための専門的知識や技能を身に付けるために、「学科基礎科目」を設ける。また、部活動、地域スポーツ、まちづくり、

- 教育方法
①講義、演習、実技、実習をバランス良く組み合わせ、学生が主体的に学ぶための教育内容の充実を図る。
②科目及びプログラムの特性に応じて知識伝授型、グループワーク、集団討論、スポーツ実践の現場を対象とした演習などを展開し、学生の動機づけ、目的意識の向上、スポーツ科学理解の深化を促す。
- 学修の評価
①各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準についてはルーブリックを作成する。
②学生自身が学修を振り返り、自己評価を行う機会を設ける。
③卒業研究によって提出された論文または制作物等から4年間の学修成果を総合的に評価する。

3 アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)



体育学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

■ 求める学生像

- ①世界、日本、地域社会における様々な体育・スポーツ・健康の未来構想及び課題解決に関心のある人
- ②体育とスポーツ文化並びに健康への関心をもち、体育・スポーツの発展に貢献しようとする人
- ③他者と協調・協働し、課題解決や未来に向けて活動することに意欲を有している人
- ④体育学部で学修する上で、中等教育などで身につけるべき基礎学力を有している人
- ⑤体育・スポーツ・健康の専門的知見を基礎として、それらに関係する領域をはじめ広く社会で活躍したい人

■ 入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、高等学校などにおいて修得すべき知識・技能・思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。



スポーツ文化学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

■ 求める学生像

- ①スポーツを通じた日本国内外の社会的課題の解決に関心のある人
- ②体育・スポーツに関して、自己アピールできるものを持っている人や見つけたい人
- ③他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をすることに意欲のある人
- ④社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとする人
- ⑤多様な文化・価値観を学び、国・地域や国際社会で活躍したい人

■ 入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

スポーツマネジメント学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

■ 求める学生像

- ①スポーツに関わる組織や個人のマネジメント及びスポーツをめぐるビジネスについての知的好奇心の旺盛な人
- ②体育・スポーツ学、スポーツマネジメント学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校などで身につけるべき各教科に関する基礎的学力を有している人
- ③授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をするに意欲を有している人
- ④国内外において体育・スポーツを推進し社会に貢献できるリーダーを目指す人

■ 入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

スポーツ文化学部

スポーツ文化学部では、本学の「教育目標」と本学が培ってきた伝統に基づき、我が国の体育・スポーツ界並びに来るべき社会を国際的にリードできる人材の育成を図るための独自の教育・研究プログラムを通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士(体育学)」を授与する。

■ 幅広い教養と専門分野の知識・技能

- ①幅広い教養と、伝統に由来する体系化された「我が国固有の伝統スポーツ文化」である武道並びに伝統芸能に関連した科学的な知識と技能を身に付けている。
- ②武道並びに伝統芸能を通じて国際的に貢献するために必要な科学的な知識と技能を身に付けている。
- ③日本の精神文化に立脚した体育・スポーツを通じた国際的な社会的課題の解決に必要な知識と技能を身に付けている。

■ 汎用的能力

- ①スポーツを通じて国際理解、国際平和の実現に向けて、適切な課題を解決することができる。(課題解決力)
- ②スポーツを通じて国際理解、国際平和の実現に向けて、適切なコミュニケーションを営むことができる。(コミュニケーション能力)
- ③課題解決に必要な情報を収集、評価、活用できる。(情報収集力)

■ 態度

- ①主体性をもって多様な人々と協働し、スポーツを通じた国際理解、国際平和の実現に向けて取り組もうとしている。
- ②多様な他者の意見や思いを共感的に理解しようとしている。
- ③生涯にわたり新しい知識やスキルを積極的に身に付けてようとしている。
- ④スポーツの価値や礼節を尊重し、その実現に向けて責任をもって行動しようとしている。



スポーツマネジメント学部

スポーツマネジメント学部では、本学の「教育目標」に基づき、体育スポーツ学、スポーツマネジメント学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士(体育学)」を授与する。

■ 幅広い教養と専門分野の知識・技能

- ①幅広い教養と専門分野(体育スポーツ学、スポーツマネジメント学)に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
- ②現代のスポーツ全体を見渡し、スポーツの価値を有効に活用することで個人や組織、社会の課題解決を図るとともに、スポーツビジネスの発展や地域における豊かなスポーツライフの実現を推進し得る実践的なマネジメント力を身に付けている。

■ 汎用的能力

- ①課題の発見・設定をし、その解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決の方法を見出し、解決のための方策を企画・実行することができる。(企画力、課題解決力)
- ②筋道を立てて思考し、適切な根拠に基づき、自分の考えを表現できる。(論理的思考力、表現力)

- ③日本語及び外国語を使って読み、書き、聞き、話すことができる。(コミュニケーションスキル)
- ④ICTを使って多様な情報を収集・分析し、判断・活用することができる。(情報収集・活用能力)

■ 態度

- ①スポーツを事業として捉えてビジネスチャンスを見出す、ライフステージに応じたスポーツや運動プログラムを企画するなど、スポーツの新たな価値を創造する意欲を有している。(新たな価値の創造)
- ②様々な立場の人と協調・協働し、体育スポーツ学、スポーツマネジメント学における課題の解決に向かって主体的に参画し、リーダーシップを発揮しようとしている。(チームワーク、リーダーシップ、参画)
- ③共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、共感し、思いやりのある態度を取ろうとしている。(共生、共感)
- ④社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとしている。(規範意識、倫理観)
- ⑤自己への理解を深め、確たる自己や前向きな態度をもって、自律して生涯学び続けようとしている。(自己理解、自己効力感、自律、生涯学習)

3つの方針

ディプロマ・
ポリシー

卒業認定・
学位授与の方針

カリキュラム・
ポリシー

教育課程編成・
実施の方針

アドミッション・
ポリシー

入学者受入の方針

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

Diploma
policy

児童スポーツ教育学部では、本学の「教育目標」に基づき、教育学・保育学、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下のような資質・能力を獲得した学生に「学士(児童スポーツ教育学)」を授与する。

■ 幅広い教養と専門分野の知識・技能

- ① 幅広い教養と専門分野(教育学・保育学、体育・スポーツ科学)に関する基礎的な知識・技能を体系的に身に付けている。
- ② 児童(乳幼児を含む)の状況に応じた実践的指導力を身に付けている。
- 汎用的能力
- ① 課題の発見・設定をし、その解決に必要な情報を収集・分析・整理し、解決の方法を見出し、解決することができる。(課題解決力)
- ② 筋道を立てて思考し、適切な根拠に基づき、自分の考えを表現できる。(論理的思考力、表現力)
- ③ 日本語及び外国語を使って読み、書き、聞き、話すことができる。(コミュニケーションスキル)
- ④ ICTを使って多様な情報を収集・分析し、判断・活用することができる。(情報収集・活用能力)

■ 態度

- ① 様々な立場の人と協調・協働し、教育学・保育学、体育・スポーツ科学における課題の解決に向かって主体的に参画し、リーダーシップを発揮しようとしている。(チームワーク、リーダーシップ、参画)
- ② 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、共感し、思いやりのある態度をとろうとしている。(共生、共感的態度)
- ③ 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとしている。(規範意識、倫理観)
- ④ 自己への理解を深め、確たる自信や前向きな態度をもって、自律して生涯学び続けようとしている。(自己理解、自己効力感、自律、生涯学習)

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

Curriculum
policy

児童スポーツ教育学部のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

■ 教育課程の編成

- ① 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、チームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、本学独自の「日体大総合科目」を設ける。
- ② 幅広い教養を身に付け、生涯学び続けることのできる前向きな態度を育成するために、初年次と2年次に「教養科目」を設ける。
- ③ 外国語でのコミュニケーションスキルを高めることを目的とした「言語コミュニケーション科目」を2年次までに設ける。
- ④ 教育・保育、体育・スポーツにおける課題を主体的に解決できる能力を育成するために、初年次から4年次までを通した「児童スポーツ教育学部基礎・キャリア科目」を設ける。この科目群では、初年次に「基礎ゼミナール」、2年次に「児童スポーツ教育演習」、3・4年次に「児童スポーツ教育研究」を必修とし、論理的思考力、表現力、情報収集・活用能力、課題解決力の段階的・体系的な能力の向上を図る。
- ⑤ 教育学・保育学、体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識と技能を身に付けることを目的とした「共通専門科目」を2年次までに設ける。

【保健医療学部 救急医療学科】

保健医療学部救急医療学科では本学の「教育目標」に基づき、救急医療学、医学・伝統医学、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士(救急医療学)」を授与する。

■ 幅広い教養と専門分野の知識・技能

- ① 幅広い教養と救急・災害医療学及び体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。
- ② 救急医療学の知識を活かし体育・スポーツを含めた幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を身に付けている。

■ 汎用的能力

- ① 国際的視野と地域的視点を持ち、新たな課題を発見し解決までの道筋を考え解決に導くことができる。(課題発見力、問題解決力)
- ② ICT等を用いて、適切な情報を選択・統合し論理的な判断ができる。(情報リテラシー、論理的思考力)
- ③ 他者を十分に理解し思いやりのあるコミュニケーションをはかることができる。(コミュニケーションスキル)

■ 態度

- ① 社会や組織の一員として他者と連携・協働し、専門性を活かした活動を主体的に行うことができる。(チームワーク、リーダーシップ)
- ② 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、思いやりのある態度を取ろうとしている。(共生、共感的態度)
- ③ 社会における規範やルールを尊重するとともに、医療人としての倫理観と使命感を備えている。(規範意識、社会的責任、倫理観、使命感)
- ④ 省察を深め、確たる自信や前向きな態度をもって自律して探究心を持ち続けようとしている。(自己理解、自律、探究心)

【保健医療学部 救急医療学科】

保健医療学部救急医療学科では本学の「教育目標」に基づき、救急医療学、医学・伝統医学、体育・スポーツ科学に関する専門教育並びに教養科目等に関する共通教育を通じて、以下の資質・能力を獲得した学生に「学士(救急医療学)」を授与する。

■ 幅広い教養と専門分野の知識・技能

- ① 幅広い教養と救急・災害医療学及び体育・スポーツ科学に関する基礎的な知識・技能を身に付けている。
- ② 救急医療学の知識を活かし体育・スポーツを含めた幅広い現場の保健医療学的諸問題に対する応用力を身に付けている。

■ 汎用的能力

- ① 国際的視野と地域的視点を持ち、新たな課題を発見し解決までの道筋を考え解決に導くことができる。(課題発見力、問題解決力)
- ② ICT等を用いて、適切な情報を選択・統合し論理的な判断ができる。(情報リテラシー、論理的思考力)
- ③ 他者を十分に理解し思いやりのあるコミュニケーションをはかることができる。(コミュニケーションスキル)

■ 態度

- ① 社会や組織の一員として他者と連携・協働し、専門性を活かした活動を主体的に行うことができる。(チームワーク、リーダーシップ)
- ② 共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、利他の精神をもって思いやりのある態度を取ろうとしている。(共生、利他性、共感的態度)
- ③ 社会における規範やルールを尊重するとともに、医療人としての倫理観と使命感を備えている。(規範意識、社会的責任、倫理観、使命感)
- ④ 省察を深め、確たる自信や前向きな態度をもって自律して探究心を持ち続けようとしている。(自己理解、自律、探究心)

【保健医療学部 救急医療学科】

保健医療学部救急医療学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

■ 教育課程の編成

- 1 学部共通教育課程
- ① 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、体育・スポーツ場面を中心としたチームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、「日体大アイデンティティ科目」を設ける。
- ② 保健医療学・医学分野における基礎的な知識と技能及び体育・スポーツ現場における実践的課題解決能力を身に付けるために「保健医療学系科目」を設ける。
- ③ 体育・スポーツ科学の基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、この分野に関わる保健医療学的課題発見・解決能力を育成するために「体育・スポーツ科学系科目」を設ける。
- ④ 幅広い教養を身に付け、コミュニケーション能力や倫理観を高めるために「教養科目」、「グローバルコミュニケーション科目」、「社会貢献科目」、「教職科目」、「航空関連科目」、「モータースポーツ関連科目」等を設ける。
- 2 学科専門教育課程
- ① 1年次と2年次を中心に、人体の構造や機能を学ぶ科目や柔道整復学の基礎を学修する科目を設ける。
- ② 2年次から4年次にかけて、病理学や整形外科等の現代医学に関する科目と発展的な柔道整復学やアスリートの外傷予防や治療リハビリテーションについて学修する科目を設ける。
- ③ ライフステージや健康状態、スポーツ活動等の特徴に応じた柔道整復の実践を身に付けるため、1年次から4年次にかけて学修段階に応じた臨床実習科目を設ける。
- ④ 学部共通教育及び学科専門教育で学修する知識・技術を統合し、主体的な学びを実践するため救急医療総合演習や卒業研究等の科目を設ける。

■ 教育方法

- ① 講義・演習：知識の定着と技術の正確性を高めるため、反復して学修することを重視する。また、アクティブラーニングを適宜行い、意見や解釈の多様性を理解する。
- ② 実習：参加型実習を重視する。倫理観、協調性、自己の役割と責任を認識し、主体的に行動できるよう促す。また、プレゼンテーションの場を適宜設定し、知識の整理と伝える力を養成する。
- ③ 臨床実習：多様な患者ニーズに応えるための総合的な実習をスポーツ現場や接骨院でおこなう。

■ 学修の評価

- ① 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示する。
- ② 学修の評価は授業形態や到達目標に応じて筆記試験、レポート、学修態度、成果発表、実技試験等によりおこなう。

- ⑥ 専門分野の知識・技能を身に付け、児童(乳幼児を含む)の状況に応じた実践的指導力を高めるために、「スポーツ実技科目」と「コース専門科目」を設ける。「コース専門科目」については、各コースで次のように配置する。
【児童スポーツ教育コース】
初等教育に関する知識と指導力を身に付けるために、2・3年次を中心に「教育の基礎に関する科目」、「教科の内容と指導法に関する科目」、「中学校関連科目」を配置する。併せて、本コースの特徴である身体・健康・スポーツに関する「発展・展開科目」を3年次までに設ける。
【幼児教育保育コース】
幼児教育・保育に関する知識と指導力を身に付けるために、1・2年次を中心に「保育の基礎に関する科目」を設け、2年次を中心に「保育の内容と指導に関する科目」を各学年に配置する。併せて、幼児教育・保育の様々な分野に関する専門的知識と技術を身に付けるために、「発展・展開科目」を3年次以降に配置する。さらに、「教育・保育実習科目」を2年次から3年次までに段階的に配置する。

⑥ 教職界に限らず、多様な形で社会に貢献できる能力を育成するために、「自由科目」を設ける。

■ 教育方法

- ① 講義、演習、実技、実習をバランスよく組み合わせ、主体的な学修の充実を図る。
- ② 科目の特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を初年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

■ 学修の評価

- ① 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示し、具体的な評価基準については、ルーブリックを作成し、授業内で学生に周知する。
- ② 学生自身が学修履歴を記録するポートフォリオを用意し、学修をふり振り返り、自己評価を行う機会を「児童スポーツ教育学部基礎・キャリア科目」の授業の中に設ける。
- ③ 「児童スポーツ教育研究」によって提出された論文・成果物等から4年間の学修を総合的に評価する。

【保健医療学部 救急医療学科】

保健医療学部救急医療学科のディプロマ・ポリシーを踏まえ、カリキュラム・ポリシーを次のように定める。

■ 教育課程の編成

- 1 学部共通教育課程
- ① 共生、共感的態度で、自己効力感を持って前向きに学ぶ意欲を身に付けるとともに、体育・スポーツ場面を中心としたチームワークやリーダーシップ、規範意識を養うために、「日体大アイデンティティ科目」を設ける。
- ② 保健医療学・医学分野における基礎的な知識と技能及び体育・スポーツ現場における実践的課題解決能力を身に付けるために「保健医療学系科目」を設ける。
- ③ 体育・スポーツ科学の基礎的な知識と技能を身に付けるとともに、この分野に関わる保健医療学的課題発見・解決能力を育成するために「体育・スポーツ科学系科目」を設ける。
- ④ 幅広い教養を身に付け、コミュニケーション能力や倫理観を高めるために「教養科目」、「グローバルコミュニケーション科目」、「社会貢献科目」、「教職科目」、「航空関連科目」、「モータースポーツ関連科目」等を設ける。
- 2 学科専門教育課程
- ① 1年次に医療の基礎的な分野の知識を学び、実習では救護対応で必須の観察・判断・処置を学ぶ科目を設ける。また、医の倫理を学ぶために、解剖学に関する科目を設ける。
- ② 2年次からより専門的な分野の知識を学び、実習では救急救命処置に必須の知識と技術を学ぶ科目を設ける。
- ③ 2・3年次には実際の現場においてより実践的に学ぶための病院内実習、救急車同乗実習等を設ける。また、災害医療の実践力を育成するために災害現場を想定した実習科目を設ける。
- ④ 3・4年次には学部共通教育及び学科専門教育で学修する知識・技術を統合し、主体的な学びを実践するため救急医療総合演習や卒業研究等の科目を設ける。
- ⑤ 国際的な視野を身に付けるために、国際的な救急システムに関する科目を設ける。

⑥ 教職界に限らず、多様な形で社会に貢献できる能力を育成するために、「自由科目」を設ける。

■ 教育方法

- ① 講義、演習、実技、実習を配置し、学修の充実を図る。特に演習、実習を充実させることで実践力を醸成する。
- ② 講義：インプットとアウトプット(レポート課題など)を両立させながら、知識の定着や論理的思考を養う。
- ③ 演習・実習：医学の根拠を含めた知識の定着と技術の正確性を向上させるため、反復して修得することを重視する。
- ④ 学生の習熟度に合わせたリメディアル教育を実践する。

② 科目特性に応じて双方向型授業、グループワーク、集団討論、反転授業、PBL型授業等を1年次から展開し、動機付け・目的意識の向上を促す。

■ 学修の評価

- ① 各科目の到達目標と評価方法はシラバスに明示する。
- ② 学修の評価は授業形態や到達目標に応じて筆記試験、レポート、学修態度、成果発表、実技試験等で評価する。
- ③ 救急救命士国家試験における厚生労働大臣の指定する科目については、国家試験水準での点数評価を重視する。
- ④ 学修到達度の確認には各科目での成績評価に加え、全ての科目においてルーブリックによる評価基準の可視化を実施する。さらに科目特性や必要に応じてポートフォリオによる学修者の省察を実施する。
- ⑤ 専門知識と医療技術に関する実践能力は、OSCE(Objective Structured Clinical Examination:客観的臨床能力試験)で評価する。



3 アドミッション・ ポリシー (入学者受入の方針)

Admission
policy

児童スポーツ教育学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

■ 求める学生像

- ① 教育・保育への関心を持ち、それらの職への強い使命感や志のある人
- ② 教育学・保育学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校などで身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有している人
- ③ 授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をするに意欲のある人
- ④ 社会の規範やルールに従い、責任感をもって行動しようとする人

■ 入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協調性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

【保健医療学部 救急医療学科】

保健医療学部救急医療学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

■ 求める学生像

- ① 救急・災害医療学への強い関心を持ち、これらの知識・技術をおとして社会に貢献する意欲がある人
- ② 救急医療学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校までに身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有する人
- ③ 自分の考えを論理的にまとめ、表現するためのコミュニケーション力を有する人
- ④ 多様な人々と協調・協働し、主体的な学びや問題解決への取り組みに意欲がある人

■ 入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協調性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。

【保健医療学部 救急医療学科】

保健医療学部救急医療学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、アドミッション・ポリシーを以下に明示する。

■ 求める学生像

- ① 救急・災害医療学への関心を持ち、それらの職への強い使命感や志のある人
- ② 救急・災害医療学、体育・スポーツ科学を学修する上で幅広い教養を担保するものとして、高等学校までに身に付けるべき各教科に関する基礎的学力を有する人
- ③ 授業、大学行事、課外活動、ボランティア活動などにおいて、他者と協調・協働し、課題解決に向けた活動をチームで実践できる人
- ④ 国家資格である救急救命士を理解し、倫理観や責任感を有する人

■ 入学者選抜の種類

入学者選抜にあたっては、上掲の高等学校などにおいて修得すべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性、協調性などを備えているか否かを評価するため、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「特別選抜」など多様な選抜区分を設ける。



自身の強みを
プログラムしていくカリキュラム

Faculty of Sport Science

体育学部

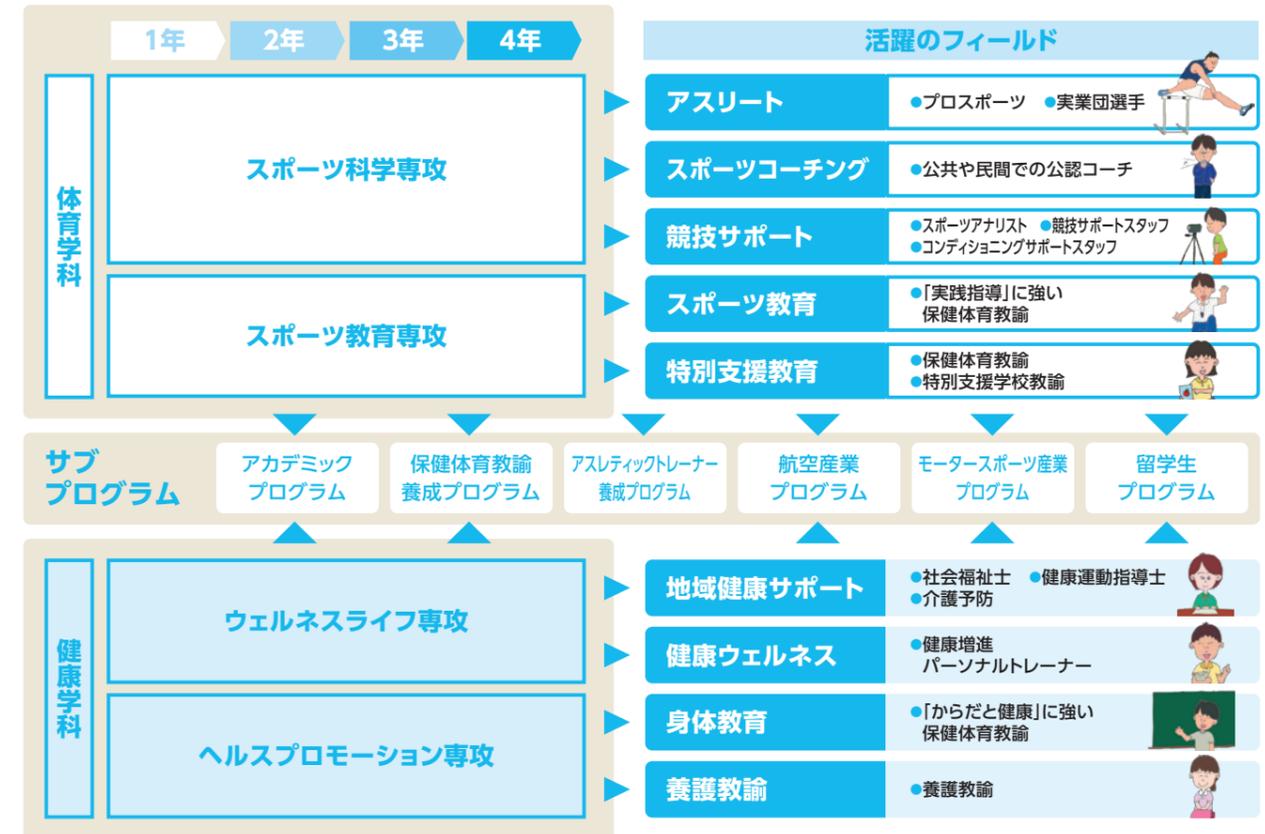


体育学科 入学定員 / 800名 スポーツ科学専攻/スポーツ教育専攻
東京・世田谷キャンパス 横浜・健志台キャンパス

健康学科 入学定員 / 195名 ウェルネスライフ専攻/ヘルスプロモーション専攻
東京・世田谷キャンパス 横浜・健志台キャンパス

体育学部カリキュラム 人材養成イメージ

体育学部のカリキュラムがより活躍のフィールドをプログラムできる魅力を増したカリキュラムに。



目指す人物像

体育学部では、体育学・スポーツ科学・健康科学に関する4つの専攻、9つのプログラムを用意し、それぞれの専攻・プログラムの選択を進めることで、より専門的な思考力・実践力を身に付けることを可能とし、活躍のフィールドに応じてスポーツ・健康科学の普及発展に貢献出来る人材を養成します。また、主専攻プログラムに加えてサブプログラムを用意し、科学的知識や専門的スキルを身に付け、多様な知識・能力・技術をもった人材も育成していきます。



習得できるスキル

共生社会の実現に向けて、様々な立場の人を尊重し、世界、日本、地域社会における様々な体育・スポーツ・健康の課題解決に向かって主体的に参画し、多様な活動を立案・運営でき、専門的知識を活用しつつ自己への洞察を深め、生涯学び続けられるスキルを育てます。

専門知識技能	科学的知識・思考・実践力	課題発見・解決能力
倫理的思考力・規範的判断力	情報・コミュニケーション	

**優れた総合的能力を持つ、
学士力・就業力の高い
人材を育成**

授業 Pick up

学部共通カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次	
共通科目	全学	日体大 アイデンティティ科目 グローバル コミュニケーション科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む) オリンピック・パラリンピック概論 02	アウトドアスポーツ論 体育研究発表実演会	海浜実習 キャンプ実習	スキー実習 スケート実習
	スポーツ教養科目	実技科目	運動方法・体づくり運動(体操) 運動方法・器械運動 運動方法・陸上競技 運動方法・水泳 運動方法・ソフトボール(野球を含む) 運動方法・ダンス(フォークダンスを含む) 運動方法・バスケットボール	運動方法・ハンドボール 運動方法・サッカー 運動方法・ラグビー 運動方法・武道(柔道) 運動方法・武道(剣道) 運動方法・武道(相撲)	英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII 04	運動方法・バレーボール 運動方法・テニス 運動方法・卓球 運動方法・バドミントン
学部共通科目	基礎教養科目	言語リテラシー科目 一般教養科目 外国語科目 ICT科目	国語表現I 基礎英語I 基礎英語II ダイバーシティ&インクルージョン 法学(日本国憲法) 心理学 01	国語表現II 文学 芸術(音楽)	哲学 経済学 社会学 生命科学	統計学
	総合科目	研究科目 キャリアデザイン 科目 スポーツコーチング 科目	研究ゼミナールA(体育スポーツの世界) 03	研究ゼミナールB(研究法) キャリアデザインA 体育・スポーツ現場実習	研究ゼミナールCI 研究ゼミナールCII キャリアデザインB	研究ゼミナールDI(卒業研究を含む) 研究ゼミナールDII(卒業研究を含む)
	共通サブプログラム	アカデミック プログラム 航空産業 プログラム モータースポーツ 産業プログラム 留学生プログラム	日本語基礎 日本語応用	体育・スポーツ科学研究法(総論) 研究ゼミナール(プレ1)(前期) 研究ゼミナール(プレ2)(後期) 航空基礎(前期) クルーリソース・ 航空概論(後期) マネジメント(後期) 航空産業論(前期) 飛行安全(後期) モータースポーツ概論 モータースポーツ産業論 日本事情I 日本事情II	研究計画法 (実験統計学/ 臨床統計学を含む) モータースポーツ演習	競技研究AI(前期) 競技研究AII(後期) 競技研究BI(前期) 競技研究BII(後期) アカデミック・ライティング アカデミック・ プレゼンテーション
	自由科目					

■必修科目 ■選択科目 ■自由科目

01 ダイバーシティ&インクルージョン

今の時代に求められる
D&Iの実践に関わる知識を習得

近年、教育、スポーツ、ビジネス等の多分野で注視されているD&Iの考え方と課題を学び、スポーツにおいて多様な個性や価値観、ライフスタイルがどのように活かされるべきなのかを考えていきます。本講義を通して、様々な活動を行う際に、ダイバーシティを意識し、インクルージョンの理念が実践できるようになることを目指します。

03 研究ゼミナールA

体育学・スポーツ科学・健康科学領域の
研究課題や知識を習得

体育学部で学修するにあたって、体育学・スポーツ科学・健康科学で取り扱われる研究分野を概観します。その学びを通じて自分が特に興味ある領域を発見し、基礎的知識を習得することで自ら課題を解決していく力を身につけることを目的とします。また、専攻選択の一助となります。

02 オリンピック・パラリンピック概論

世界的なスポーツの祭典である
オリンピック・パラリンピックの価値に触れる

オリンピック・パラリンピックの歴史、思想、大会開催、組織、現状、教育的意義、現代社会への影響などについて学びます。本講義を通して、現代社会におけるオリンピック・パラリンピックの価値を理解し、スポーツそのものの価値について説明できるようになることを目指します。

04 英語コミュニケーションI・II

国際社会における共通語である
英語を習得する

さまざまな文化的習慣をもつ人々とのコミュニケーション手段として、英語の習得を図ります。Iでは基礎的な英語表現を使えるようリスニングとスピーキングを重点的に、IIでは自分の考えをわかりやすい英語表現で伝えることと、異文化の価値観に触れることを目標とします。

Topics サブプログラム

自身の強みをプラスする!!

多様な社会人材に対応するためにサブプログラムを履修する事で、主プログラムで獲得できる能力にプラスして自身の強みを付加できます。

**アスレティック
トレーナー養成**
※体育学科のみ

アカデミック

保健体育教諭養成
※スポーツ科学専攻・
ウェルネスライフ専攻・
ヘルスプロモーション専攻・
養護教諭プログラム

サブプログラム

**モーター
スポーツ産業**

留学生 ※留学生のみ

航空産業

アカデミックプログラムの概要

本学では、先端的な研究開発を実施するための環境が整備されています。アカデミックプログラムでは、これらの環境を存分に活用した「発展的な学びの機会」や「早期からの研究活動の機会」を提供します。また、本学の大学院や研究系附属機関と密に連携し、我が国の体育・スポーツ科学を牽引する科学者となるための知識・技能・思考の礎を築きます。

Topics 研究活動の一例

研究室で得られた成果を スポーツ現場へ

より安全で効果的な運動指導方法は、スポーツ現場だけではなく、研究室からも産声を上げます。下記に、効果的な運動指導方法の開発を見据えた研究活動の一例を示します。

- 運動による生体の応答を分子/細胞レベルで解き明かすことで、新しい運動指導方法を開発する
- 遺伝的背景/性/年齢の差異の理解を通して、オーダーメイド型の運動指導方法を開発する
- 機能性を有する栄養素を探索また有効性を検証し、新たなサプリメントを開発する



研究発表



実験風景(生化学)

スポーツ現場での疑問や課題を 研究室で解き明かす

スポーツ現場では、様々な疑問や課題に直面します。そのような疑問や課題は、科学的なアプローチによって解決することができます。下記に、そのような研究活動の一例を示します。

- 経験に基づき実施されてきた運動指導方法が真に有効であるか否かを科学的に検証する
- 初心者と熟練者の動作の違いを比較することで、トップアスリートの巧みな動きのメカニズムを紐解く
- 統計解析を駆使して、最適なゲーム戦術を立案する

```

1 #include <stdio.h>
2 #include <string.h>
3 #include <math.h>
4 #include <stdlib.h>
5 #include <time.h>
6 #include <sys/time.h>
7 #include <sys/types.h>
8 #include <unistd.h>
9 #include <fcntl.h>
10 #include <sys/stat.h>
11 #include <sys/mman.h>
12 #include <sys/wait.h>
13 #include <sys/resource.h>
14 #include <sys/epoll.h>
15 #include <sys/ioctl.h>
16 #include <sys/socket.h>
17 #include <net/if.h>
18 #include <net/route.h>
19 #include <netdb.h>
20 #include <arpa/inet.h>
21 #include <arpa/nameser.h>
22 #include <arpa/inet.h>
23 #include <arpa/nameser.h>
24 #include <arpa/nameser3.h>
25 #include <arpa/nameser4.h>
26 #include <arpa/nameser.h>
27 #include <arpa/nameser3.h>
28 #include <arpa/nameser4.h>
29 #include <arpa/nameser.h>
30 #include <arpa/nameser3.h>
31 #include <arpa/nameser4.h>
32 #include <arpa/nameser.h>
33 #include <arpa/nameser3.h>
34 #include <arpa/nameser4.h>
35 #include <arpa/nameser.h>
36 #include <arpa/nameser3.h>
37 #include <arpa/nameser4.h>
38 #include <arpa/nameser.h>
39 #include <arpa/nameser3.h>
40 #include <arpa/nameser4.h>
41 #include <arpa/nameser.h>
42 #include <arpa/nameser3.h>
43 #include <arpa/nameser4.h>
44 #include <arpa/nameser.h>
45 #include <arpa/nameser3.h>
46 #include <arpa/nameser4.h>
47 #include <arpa/nameser.h>
48 #include <arpa/nameser3.h>
49 #include <arpa/nameser4.h>
50 #include <arpa/nameser.h>
51 #include <arpa/nameser3.h>
52 #include <arpa/nameser4.h>
53 #include <arpa/nameser.h>
54 #include <arpa/nameser3.h>
55 #include <arpa/nameser4.h>
56 #include <arpa/nameser.h>
57 #include <arpa/nameser3.h>
58 #include <arpa/nameser4.h>
59 #include <arpa/nameser.h>
60 #include <arpa/nameser3.h>
61 #include <arpa/nameser4.h>
62 #include <arpa/nameser.h>
63 #include <arpa/nameser3.h>
64 #include <arpa/nameser4.h>
65 #include <arpa/nameser.h>
66 #include <arpa/nameser3.h>
67 #include <arpa/nameser4.h>
68 #include <arpa/nameser.h>
69 #include <arpa/nameser3.h>
70 #include <arpa/nameser4.h>
71 #include <arpa/nameser.h>
72 #include <arpa/nameser3.h>
73 #include <arpa/nameser4.h>
74 #include <arpa/nameser.h>
75 #include <arpa/nameser3.h>
76 #include <arpa/nameser4.h>
77 #include <arpa/nameser.h>
78 #include <arpa/nameser3.h>
79 #include <arpa/nameser4.h>
80 #include <arpa/nameser.h>
81 #include <arpa/nameser3.h>
82 #include <arpa/nameser4.h>
83 #include <arpa/nameser.h>
84 #include <arpa/nameser3.h>
85 #include <arpa/nameser4.h>
86 #include <arpa/nameser.h>
87 #include <arpa/nameser3.h>
88 #include <arpa/nameser4.h>
89 #include <arpa/nameser.h>
90 #include <arpa/nameser3.h>
91 #include <arpa/nameser4.h>
92 #include <arpa/nameser.h>
93 #include <arpa/nameser3.h>
94 #include <arpa/nameser4.h>
95 #include <arpa/nameser.h>
96 #include <arpa/nameser3.h>
97 #include <arpa/nameser4.h>
98 #include <arpa/nameser.h>
99 #include <arpa/nameser3.h>
100 #include <arpa/nameser4.h>

```

実験風景(プログラミング)



実験風景(生理学)

教養に関する知識と実践力を身に付ける。
必要となるスポーツ科学や
教育的役割を担うために
スポーツの競技力向上や社会での



体育学部 体育学科
競技スポーツ領域
篠原 颯斗
徳島県/
池田高等学校
所属 / 硬式野球部

体育学科

スポーツ科学専攻
スポーツ教育専攻

Department of Physical Education

東京・世田谷キャンパス

横浜・健志台キャンパス

学科のポイント

01

専門知識・技能の獲得



基幹科目の「トレーニング学」「コーチング学」「スポーツバイオメカニクス」「スポーツ心理学」「スポーツ生理学」や、展開科目の「スポーツインテグリティ論」「スポーツ科学サポート論」「スポーツ栄養学」などでアスリートやコーチ、サポートに必要な専門知識と技能を習得。また、学校教育や特別支援学校教員に必要な人材育成のための高度な知識や実践力を修得します。

02

競技力の向上



高い競技力獲得のために必要な「コンディショニング論」「アスリート論」「競技戦術論」「メンタルトレーニング論」などで最新スポーツ科学を学び、プログラム科目の「競技パフォーマンス実践プロジェクト」「コーチングプロジェクト」「競技サポートプロジェクト」でアスリートやコーチ、競技サポートに関する課題を自らが見つけ解決する能力を身に付けて競技力向上と競技自体の発展に貢献します。

03

指導力・リーダーシップの育成



競技スポーツに関わる人物や、学校現場をはじめとする体育・スポーツ実践に寄与できる高い専門性を備えた指導者を目指す人物、また学校現場だけではなく広く社会で求められる人物に必要な指導力、リーダーシップ、コミュニケーションなどを身に付けるために様々な実技科目や教育現場に必要な科目を学び体育・スポーツを通して社会に貢献できる人材を養成します。

体育学科 教員一覧

伊藤 雅充	大石 健二	大本 洋嗣	荻 浩三	角田 貢	梶 規子	菊池 直樹	清水 雅彦	杉田 正明
瀬尾 京子	関根 正美	田辺 勝	鄭 泰應	津田 博子	中澤 幸子	長沼 俊夫	西山 哲成	根本 研
畠田 好章	林 忠男	黄 仁官	堀尾 哲也	松本 慎吾	松本 真咲	水野 増彦	三宅 良輔	山本 博
米地 徹	青柳 宏幸	池田 祐介	市川 純	市川 優一郎	岩原 文彦	大塚 幹太	大東 忠司	大塚 光雄
木下 佳子	小畑 直之	小林 史明	佐良土 茂樹	篠原 秀典	高井 秀明	田村 優樹	辻 昇一	中瀬 卓也
藤田 将弘	村井 敬太郎	村田 由香里	矢野 晴之介	山崎 博和	山本 健之	安達 瑞保	氏家 史人	清水 咲子
白井 健三	関口 遼	辻 孟彦	畑山 茂雄	長田 舞	久保田 茉莉			



※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください。

体育学科では、高度なスポーツ科学や教養の専門的知識と実践的応用力を兼ね備えるだけではなく、広く社会一般で先導的役割を担うために必要となるチームワーク、リーダーシップならびにコミュニケーション力に優れた人材の育成を目指しています。2年次より「スポーツ科学専攻」と「スポーツ教育専攻」に分かれ、本学独自のプログラムにより、競技力向上やコーチング、競技サポート、スポーツ教育、特別支援などに求められる必要な能力を身に付けます。

篠原先輩に聞く! Questions for seniors

体育学科を選んだ理由は?

授業や実習を通して自らの競技に活かすことができると考えたからです。トレーニングや投球フォームもやり方は知っていても正しいフォームや具体的な筋肉の動かし方というはあやふやでした。それを体育学科で学ぶことで理解を深め競技力の向上に繋げていくことができるのではないかと思います。また、他競技のレベルの高い同級生と関わっていくことで自分も成長していけると思い志望しました。

日本体育大学に進学して成長した点は?

3年間の大学生活で競技レベルはもちろん、人間的にも成長できたと感じています。私が所属している硬式野球部は人間力野球をテーマに活動しています。私は、自分の成績を追い求めてプレーしていましたが、チームのためにプレーできるようになってから成績が良くなりました。自分が良ければ良いと思っていると周りもついてきてくれません。周りに応援してもらえるような人間力を身につけることでおのずと結果もついて来るかと大学生活で学ぶことができました。

体育学科を選んでよかった点は?

身体の動かし方であったりメンタルの安定について学ぶことができたと自分の競技に生きてきていると思います。また、授業の中でストレッチの仕方、トレーニングの仕方を学ぶこともできるので直接競技に落とし込めることが多いのが体育学科に進んでよかったと感じる点です。また、選手としてだけでなく、コーチングの仕方を教わることもできるので人に技術を伝える際に活用できるところも良い点だと感じています。

将来の目標は?

目標は大学日本一とドラフト1位です。まずはチームとして日本一になるという目標に向かって1年間全力でプレーしていきたいと思っています。昨年、一昨年と全国大会には出ていますが、勝ちきれないで今年は勝ち切ります。個人的には今年のドラフト会議で1位指名されるということです。幼い頃からの夢であるプロ野球選手になるためにもこの1年がとてとても大事になるので一日一日を大切に必ず指名していただけるように頑張ります。

授業 PICK UP

効果的な筋力トレーニングを理解する

「ストレングス&コンディショニング演習A(実習含む)」

情報豊かな現代のスポーツ指導者に必要な知識と実践の習得を目指す。

「ストレングス&コンディショニング」は、スポーツパフォーマンスを最大限に高めるために、筋力やパワーを向上させつつ、柔軟性、全身持久力など競技パフォーマンスに関連するすべての要素をトレーニングし、身体的な準備を整えることです。また柔軟性、全身持久力など競技パフォーマンスに関連するすべての要素を調整することも含まれ、競技能力の向上や損傷の予防、健康増進などの目的のために幅広く実施されています。

一方、現代は道具の多様化により、トレーニング方法も多様化し、様々な方法が混在しています。多くの情報が入手可能な現代において、情報を正確に捉え、競技力向上のために本講座では、座学や実技練習、グループ学習などを用いて、理論と実践の両面を深めます。

日常の筋力トレーニングを改めて見直し、パフォーマンスを高める。

具体的には筋力トレーニングに特化し、ストレングス&コンディショニング理論の学習やトレーニングプログラムの作成、実技能力の向上を目指します。下肢、上肢、全身の各トレーニングの実践と指導方法を理解し、トレーニング強度や休憩時間に関するトレーニングテクニックの評価を学習し、グループでトレーニングプログラムを作成。実施や指導にあたります。自身もアスリートとしてこれまで多くのトレーニングを行っていると思いますが、その中の疑問点を持ち寄り、授業で学んだことを通じて今後のトレーニングやコンディショニング管理の質を向上させてください。



これまでのトレーニング経験を活かせる。

トレーニング指導者に必要な知識も身に付く。

座学だけでなく、実技練習やグループワークも重視。



担当教員 菊池 直樹

Sports Science

スポーツ科学専攻

アスリート、コーチ、スポーツ医・科学で

競技を支える人材(スポーツ科学者・スポーツアナリスト・

アスレティックトレーナーなど)として

活躍するために必要な知識と実践力を身に付ける。

競技スポーツを中心としたスポーツ科学における専門的知識と実践の応用力を養うために、「アスリートプログラム」「スポーツコーチングプログラム」「競技サポートプログラム」を設け、競技力に優れたアスリート、質の高い指導者・コーチ、およびスポーツ医・科学サポートスタッフになることを目指します。



WEB版はこちら

授業 PICK UP

01 アスリート論

アスリートやアスリートを支える人々に必要な教養を学びます。

アスリートやアスリートを支える人々にとって必要なアスリート教養として社会性、ライフキャリア、アスリートパスウェイ、アスリート助成、医・科学研究、インテグリティ、メディア対応、危機管理等について包含的に学びます。



02 スポーツ科学サポート論

競技力向上におけるスポーツ科学サポートの実際とその有用性を学びます。

アスリート、コーチ、医・科学サポート者の3者における連携の重要性を理解するとともに、競技力向上におけるスポーツ科学サポートの実際とその有用性を学びます。



03 パフォーマンス分析演習

スポーツ科学の知識を駆使して、競技力向上に繋がる活用を学びます。

スポーツバイオメカニクスやスポーツ生理学、スポーツ心理学といったスポーツ科学の様々な知識を駆使して、アスリートやチームのパフォーマンスを分析していく能力を向上させ、競技力向上に繋がるような活用を学びます。



04 コーチング実践演習

コーチに必要なスキルを学びます。

コーチングの長期・中期・短期計画を立案するスキル、効果的なコミュニケーションスキルなど、コーチに必要なスキルをアクティブラーニングで磨いていきます。



カリキュラム		1年次	2年次	3年次	4年次		
体育学科 共通科目	基幹科目	スポーツ哲学 機能解剖学 スポーツ生理学 衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	スポーツ心理学 アスリート論 救急処置 01	スポーツ史 スポーツバイオメカニクス トレーニング学	コーチング学 スポーツ測定評価学(演習を含む) 発育発達学	スポーツ社会学 健康管理学	
	展開科目	コンディショニング演習 教育原理 教師論	専門運動方法(トランポリン) エアロビックダンス 専門運動方法(アーチェリー)	専門運動方法(レスリング) ストレッグス&コンディショニング演習A(実習含む) ストレッグス&コンディショニング演習B(実習含む)	専門運動方法(水球) 専門運動方法(新体操)	専門運動方法(ゴルフ) スポーツマネジメント論	ゴルフ(集中)
スポーツ科学専攻 共通科目	基幹科目		スポーツ医学A(内科系) スポーツ医学B(外科系) スポーツ栄養学(食品学を含む)	スポーツインテグリティ論 スポーツ科学サポート論 02			
	展開科目		メンタルトレーニング論 自由選択科目(卒業要件)	競技戦術論A(個人) 競技戦術論B(対人) 競技戦術論C(団体) スポーツ生化学・遺伝学	運動疫学 コーチング戦略論 コンディショニング論 パフォーマンス分析演習 03	自由選択科目(卒業要件) 04	コーチング実践演習 自由選択科目(卒業要件)
アスリート プログラム科目	展開科目			競技パフォーマンス実践 プロジェクトAI 競技パフォーマンス実践 プロジェクトAII		競技パフォーマンス実践 プロジェクトBI 競技パフォーマンス実践 プロジェクトBII	
スポーツコーチング プログラム科目	展開科目			コーチングプロジェクトAI コーチングプロジェクトAII		コーチングプロジェクトBI コーチングプロジェクトBII	
競技サポート プログラム科目	展開科目			競技サポートプロジェクトAI 競技サポートプロジェクトAII		競技サポートプロジェクトBI 競技サポートプロジェクトBII	
専攻共通 サブプログラム	保健体育教諭 プログラム		学校保健(小児保健・精神保健を含む) 体育科教育法 保健科教育法	教育心理学 道徳教育の指導法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	学校安全(救急処置を含む) 体育科教育実践法 保健科教育実践法 教育の制度と経営 特別支援教育概論	教育課程論 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む) 生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む) 教育相談(カウンセリングを含む) 人権教育	教育実習(事前事後の指導を含む) 教職実践演習(中・高)
	アスレティック トレーナー プログラム	アスレティックトレーニング論(基礎) アスレティックトレーナー実習(基礎)	アスレティックトレーニング論(応用I) アスレティックトレーニング論(応用II) アスレティックトレーニング論(応用III)	アスレティックトレーニング論(応用IV) アスレティックトレーナー実習(応用)	アスレティックトレーニング論(応用V) アスレティックトレーニング論(応用VI) アスレティックトレーニング論(応用VII) アスレティックトレーニング論(応用VIII) アスレティックトレーニング論(応用IX)	アスレティックトレーニング論(応用X) アスレティックトレーニング論(総合I) アスレティックトレーニング論(総合II) アスレティックトレーナー実習(総合)	

Sports Education

スポーツ教育専攻

主に中学校・高等学校(保健体育科)教諭、
特別支援学校教諭として
必要な知識・実践力を身に付ける。

日本体育大学の歴史を紐解けば、保健体育科教諭・スポーツ指導者の養成の歴史と重なります。これからの社会において、建学の精神である「體育富強之基」を具現化するためには、人権尊重の精神に基づくダイバーシティとインクルージョン(D&I※)の実現がその鍵となります。アジア最古、世界最大の体育大学としてのスポーツ教育の伝統を継承し、D&I推進により発展させるため、その理念と実践をカリキュラムとして具現化したのが、スポーツ教育専攻です。



※日本体育大学は令和4年4月1日にダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進を宣言し、多様性を包摂し組織を活性化させるための施策を推進しています。体育学部ではD&Iや人権について学びを深める科目を必修科目として開設します。



授業 PICK UP

スポーツ教育プログラム

トップアスリートの指導者や保健体育のスペシャリストからスポーツ実践指導法を学べる

01 スポーツ実践指導法

多様なスポーツの指導法について
実技を通して実践的に学ぶ

開設科目から10単位(10種目のスポーツ)以上選択し、その指導案を学生自身が作成します。学生は、指導案に沿った内容で授業を展開し、教える難しさや伝える難しさを経験しながら、指導法や説明・表現方法などを学修します。中学校・高等学校の保健体育教員を目指している学生を対象に、実技を中心に実施します。



02 体育科教育法・保健科教育法

保健体育教員に必要な基礎的知識を学修する
教員免許状取得のための必修科目

保健体育の体育及び保健についての目標や内容、指導計画、学習指導法、評価方法などについて理解を深め、保健体育教員として授業を展開するための基礎を培います。教員免許状を取得するための必修科目で、学習指導要領に沿った講義や課題学修(指導案の作成など)を進めていきます。



特別支援教育プログラム

障害者スポーツ指導者や特別支援教育のスペシャリストから理論と実践を学べる

保健体育教員に加え、特別支援学校教諭としての専門知識と実践力を身につけるため、特別支援教育に関わる総論と共に、免許領域(知的障害、肢体不自由、病弱)に関する科目を学ぶことができます。知的障害/病弱/肢体不自由児・者の心理・生理・病理と教育について理解を深めると共に、重複障害/発達障害/視覚障害/聴覚障害児・者についての幅広い知識、障害児・者のスポーツ指導などインクルーシブ教育の基盤となる特別支援教育の専門性を培います。

カリキュラム

カリキュラム		1年次	2年次	3年次	4年次
体育学科 共通科目	基幹科目	スポーツ哲学 機能解剖学 スポーツ生理学 衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	スポーツ史 アスリート論 トレーニング学	スポーツ社会学 健康管理学	
	展開科目	コンディショニング演習 教育原理 教師論	専門運動方法(トランポリン) エアロビクスダンス 専門運動方法(アーチェリー)	専門運動方法(水球) 専門運動方法(新体操)	専門運動方法(ゴルフ) スポーツマネジメント論
スポーツ教育専攻 共通科目	基幹科目		02 体育科教育法 保健科教育法 教育心理学	01 人権教育 学校安全(救急処置を含む) 体育科教育実践法 保健科教育実践法	生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む) 教育課程論 教育相談(カウンセリングを含む)
	展開科目		スポーツインテグリティ論 生涯スポーツ論 スポーツ医学A(内科系) スポーツ医学B(外科系)	スポーツ栄養学(食品学を含む) スポーツ科学サポート論 スポーツ行政	スポーツ人類学
スポーツ教育 プログラム科目	展開科目			01 スポーツ実践指導法・体づくり運動(体操) スポーツ実践指導法・器械運動 スポーツ実践指導法・陸上競技 スポーツ実践指導法・水泳 スポーツ実践指導法・ソフトボール(野球を含む) スポーツ実践指導法・ダンス(フォークダンスを含む)	スポーツ実践指導法・バスケットボール スポーツ実践指導法・ハンドボール スポーツ実践指導法・サッカー スポーツ実践指導法・ラグビー スポーツ実践指導法・バレーボール スポーツ実践指導法・卓球
	自由科目		現代教育課題演習		教育実習(事前事後の指導を含む) 他学科・他専攻履修(8単位まで) 教職実践演習(中・高)
特別支援教育 プログラム科目	展開科目		特別支援教育総論(前期) 障害児・者のスポーツ指導(前期) 重複障害児・者等教育総論(後期)	発達障害児・者等教育総論(前期) 知的障害児・者の心理・生理・病理(後期) 病弱児・者の心理・生理・病理(前期)	特別支援教育指導法(自立活動の指導) 視覚障害/聴覚障害児・者教育総論
	自由科目			病弱児・者教育論	知的障害児・者教育論 肢体不自由児・者教育論
専攻共通 サブプログラム	アスレティック トレーナー プログラム	アスレティックトレーニング論(基礎) アスレティックトレーナー実習(基礎)	アスレティックトレーニング論(応用I) アスレティックトレーニング論(応用II) アスレティックトレーニング論(応用III)	アスレティックトレーニング論(応用V) アスレティックトレーニング論(応用VI) アスレティックトレーニング論(応用VII) アスレティックトレーニング論(応用VIII) アスレティックトレーニング論(応用IX) アスレティックトレーニング論(応用X)	アスレティックトレーニング論(応用X) アスレティックトレーニング論(総合I) アスレティックトレーニング論(総合II) アスレティックトレーナー実習(総合)

健やかで豊かな福祉社会を実現する。
スポーツを通じて、心身ともに



体育学部 健康学科
ヘルスプロモーション領域
※旧カリキュラムの名称
河本 奈々
東京都/
私立実践学園高等学校

健康学科

ウェルネスライフ専攻
地域健康サポートプログラム/
健康ウェルネスプログラム
ヘルスプロモーション専攻
身体教育プログラム/養護教諭プログラム

Department of Health Science

東京・世田谷キャンパス

横浜・健志台キャンパス

学科のポイント

01

専門知識・技術の獲得



スポーツ医科学・医学・看護学・社会福祉学など専門的な知識や技術の習得を目指します。具体的には、運動を通して幅広い年齢層の体力向上と健康増進を支援する健康運動指導士やパーソナルトレーナー、教育現場で児童・生徒の健康的な生活を支援する保健体育教諭、養護教諭、福祉的な支援を担うソーシャルワーカーなどに求められる能力を養います。

02

実践的技術の獲得



健康運動指導士としての実践力を学ぶ「健康管理学」「運動処方演習」、養護教諭として現場で求められる判断力や対応力を学ぶ「基礎看護学」「看護臨床実習」、ソーシャルワーカーに求められる相談援助を実践的に学ぶ「相談援助演習」「相談援助実習」など、各種の実践科目で実用的なスキルを体得します。

03

指導力・企画力・応用力の育成



健康運動指導士や養護教諭、ソーシャルワーカーとして支援や指導を担うに相応しい人間力を獲得。「救急処置」「スポーツ生理学」「スポーツ栄養学」といった体育学部ならではの多彩な科目での学びをもとに、心身ともに健やかで豊かな福祉社会の実現に向けた企画力やプレゼンテーション能力、問題解決能力などを習得します。

健康学科 教員一覧

伊藤 正明 岡田 隆 岡本 孝信 奥田 拓史 北島 洋美 小林 正利 鹿野 晶子 鈴川 一宏 津山 薫 野井 真吾
橋本 典生 半田 勝久 横山 順一 城所 哲宏 今野 哲 三瓶 舞紀子 廣瀬 圭子 田中 良

※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください。



健康学科では、健康・スポーツ医科学の実践的な技術や理論を兼ね備え、地域や学校現場で活躍できる人材の育成を目指しています。2年次より「ウェルネスライフ専攻」と「ヘルスプロモーション専攻」に分かれ、本学独自のプログラムによりスポーツで生じる外傷や障害への対応も含め、体力の向上や健康の維持・増進、さらには安全の確保に必要な実践的技術も学んでいきます。

河本先輩に聞く! Questions for seniors

健康学科を選んだ理由は?

まずは、「養護教諭一種免許状」を取得するためです。私自身運動が得意な方ではなく、入学当初は実技の授業に不安を感じていましたが、今では挑戦する楽しさを実感しております。また保健体育教員を目指す学生と学べる点にも、魅力を感じました。そして、教員養成に力を入れているためです。健康学科で学ばれた多くの先輩方が、全国各地の学校現場でご活躍されています。教員養成に恵まれた環境で、夢を叶えるために健康学科を志望しました。

健康学科を選んでよかった点は?

「健全な精神は健全な肉体に宿る」健康学科で学びを深めていく中でそう強く実感いたしました。健康学科では、心と身体の両面から、「健康」について学ぶことができます。身体を動かす経験は、人間性を豊かにし、周囲の人とのコミュニケーションを円滑にしてくれることを実感いたしました。将来、子ども達の健康を守る立場となる上で、自身の健康について深く考えるようになったことは、この学科に進んでよかったと感じる点です。

日本体育大学に進学して成長した点は?

私は2年間、日体教学舎(P.116)に所属しておりました。日体教学舎は、小中高保体・特支・養護の教員を志望する学生が集い、実践力を培う場所です。学部や学年の垣根を越え、様々な出会いのもと、教育課題や授業づくりに向き合っていました。その過程で得た「多様な他者と協働する力」こそが、日本体育大学で学び、成長したと感じる点です。この経験は、養護教諭を目指す私に自信と誇りを与えてくれました。

将来の目標は?

コミュニケーション能力と実践力を兼ね備えた養護教諭になることです。実技を交えた授業や健康学科ならではの実習を通じて、様々な出会いがありました。積極的なコミュニケーションを通じて繋がりを深め相手の気持ちに寄り添う姿勢を育んでまいりました。そして、日体教学舎やボランティア活動を通じて、現場で活かせる実践力を培ってまいりました。健康学科で得た経験を遺憾なく発揮し、保健室から子ども達の健康と学校生活を守ることが私の目標です。

授業 PICK UP

健康を保持増進する能力を取得する

「ヘルスプロモーション論」

健康学科で学ぶための土台をつくる。

ヘルスプロモーションは健康学科の根幹を成す学修領域の一つで、ヘルスプロモーション論は1年次でまず学ぶ基幹科目です。ヘルスプロモーションの知識の上に、スポーツや医療、福祉、教育等の各科目が展開され、養護教諭や指導者を目指すための総合的な知識が身に付きます。

ヘルスプロモーションとは「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」とWHO(世界保健機関)では定義づけられています。

幅広い視点からヘルスプロモーションを考える。

現代社会では、生活習慣や睡眠、嗜好品、生活習慣病、環境問題等、さまざまなファクターが健康的な生活に影響を与え、時には脅かしています。本講座ではヘルスプロモーションとそれらの関係性を照らし合わせ、ヘルスプロモーションの手法を学び、健康的なライフスタイルの理解を深めます。またヘルスプロモーションの在り方を健康教育にも落とし込みます。授業で学ぶだけでなく、自らの生活も見直し、健康を保持増進する力を高め、日常生活で実践してください。



健康学科で学ぶための基礎知識が養われる。

日常生活を健康的なものに組み立てられる。

健康について、影響をおよぼす要素との関係性から学べる。



担当教員 野井 真吾

Wellness Life

ウェルネスライフ専攻

活動の舞台は身近な地域！

健康増進と福祉に関する

実践力を身につける

健康長寿社会において、地域住民の健康で安心な生活を支えたり、自他の身体作りをサポートしたりするために必要な専門的知識と実践力を身につける。



WEB版はこちら



授業 PICK UP

01 健康管理学

健康増進、疾病予防に必要な知識を獲得し、実践に役立てる

超高齢社会を迎えた我が国では、栄養管理と運動療法による健康増進と生活習慣の改善が今後より重要になっています。現代人が置かれている生活習慣病の現状を踏まえて健康増進、疾病予防に必要な知識を獲得し、実践に役立てられることを目標に学習を進めます。



02 相談援助演習I

生活上の課題を抱える人をサポートするためのコミュニケーション技術等の習得を目指す

病気や障がい、貧困などの理由により生活上の課題を抱える人をサポートするために必要な知識や技術を学びます。演習Iでは相談援助に求められるコミュニケーション技術等の習得を目指します。



03 介護予防運動指導論

疾病や疾病リスクのある人への運動の効果について幅広く学習する

超高齢社会において求められている疾病や疾病リスクのある人への運動の効果について幅広く学習し、プログラム作成から実施までの方法を習得します。



04 健康ウェルネス実践論C

(ボディメイク)(実習を含む)

ボディメイクにおけるトレーニング実践能力を、指導に活用できるレベルまで習得する

ボディメイクのためのトレーニング実践能力を、他者への指導に活用できるレベルまで習得します。世界に通用する指導論を学びます。



カリキュラム

■必修科目 ■選択科目 ■自由科目

		1年次	2年次	3年次	4年次		
健康学科 共通科目	基幹科目	ウェルネスライフ論 社会福祉I ヘルスプロモーション論 救急処置 衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)					
	展開科目	スポーツ哲学 教育原理 スポーツ生理学 教師論 スポーツ心理学 フィットネス 機能解剖学	スポーツ史 ストレングス&コンディショニング スポーツバイオメカニクス 演習B(実習含む) トレーニング学 スポーツ測定評価学(演習を含む) コーチング学 スポーツ栄養学(食品学を含む) スポーツマネジメント論 発育発達学 ストレングス&コンディショニング 演習A(実習含む) 子ども保健学(小児看護を含む) スポーツ医学A(内科系) スポーツ医学B(外科系) 衛生学・公衆衛生学II ソーシャルワーク概論I ソーシャルワーク概論II 相談援助演習I	01 スポーツ社会学 ヘルスカウンセリング 健康管理学 運動疫学 臨床心理学(カウンセリングを含む) リプロダクティブヘルス	社会保障A 児童・家庭福祉 障害福祉 高齢者福祉 医学概論 地域福祉A		
ウェルネスライフ専攻 共通科目	基幹科目		運動プログラム論				
	展開科目		相談援助演習IIA 介護予防運動指導論(前期)	03	02		
	自由科目			長寿社会の医学 社会福祉II 社会保障B 相談援助演習II B	健康体操 運動とリカバリー(睡眠科学を含む) スポーツ生化学・遺伝学	地域健康スポーツ企画運営	
地域健康サポート プログラム科目	展開科目	介護予防運動指導演習I(後期) 介護予防運動指導演習II(後期) 老年学総論		地域福祉B 生活保護 社会福祉調査 相談援助実習指導I 相談援助実習I	04	ソーシャルワークの理論と方法IA ソーシャルワークの理論と方法IB ソーシャルワークの理論と方法IIA ソーシャルワークの理論と方法IIB	ケア概論 福祉経営 権利擁護と成年後見 司法福祉 医療福祉 相談援助演習III 相談援助演習IV 相談援助実習指導II 相談援助実習指導III 相談援助実習II
健康ウェルネス プログラム科目	展開科目	健康ウェルネス実践論A (健康増進)(実習を含む)(前期) 健康ウェルネス実践論B (スポーツパフォーマンスアップ) (実習を含む)(後期)	メンタルトレーニング論 コーチング戦略論	経営学概論 スポーツビジネス論 スポーツマーケティング論 パフォーマンス分析演習 スポーツ栄養学II	健康ウェルネス実践論C (ボディメイク)(実習を含む)(前期) 健康ウェルネス実践論D (コンディショニング)(実習を含む)(後期)	健康ウェルネス指導論・実習A(健康増進・ボディメイク)(前期) 健康ウェルネス指導論・実習B(スポーツパフォーマンス)(後期)	
専攻共通 サブプログラム	保健体育教諭 プログラム	学校保健 (小児保健・精神保健を含む) 体育科教育法 保健科教育法	教育心理学 道徳教育の指導法 特別活動及び 総合的な学習の時間の指導法	学校安全(救急処置を含む) 体育科教育実践法 保健科教育実践法 教育の制度と経営 特別支援教育概論	教育課程論 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む) 生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む) 教育相談(カウンセリングを含む) 人権教育	教育実習(事前事後の指導を含む) 教職実践演習(中・高)	

Health Promotion

ヘルスプロモーション専攻

活躍の舞台は学校。必ずしも運動が得意でなくても

体力向上や健康の保持増進に貢献できる

高い専門性を備えた指導者を目指す

学校現場をはじめとして、からだの専門家として人々の健康の維持・増進に寄与できる高い専門性を備えた指導者を育成するための「身体教育プログラム」「養護教諭プログラム」を用意しています。からだの健康はもちろん、心の健康の知識や子どもの本音を引き出す技能、子どもたちの心を受け止める包容力は、子どもたちが楽しく安心して学校生活を推進する力になります。



授業 PICK UP

01 子どものからだ(教育生理学)

到達可能な最高水準の健康を享受するという子どもの権利を目指して思考、行動するための能力を養う

日本の子どもの現代的健康課題を網羅的に紹介するとともに、子どもの権利(生きる権利、守られる権利、育つ権利、参加する権利)についても解説します。子どものからだを守り育てて到達可能な最高水準の健康を享受するという子どもの権利条約の精神に則って、この権利の実現を目指して思考、行動するための能力を養うことを目指します。



02 保健科教育実践法

中・高等学校の段階に応じて、生涯に亘る健康に関する課題を把握・解決する能力を身につける

学校における体育・健康に関する指導は、子どもの発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行われる必要がある。そのため、保健科教育実践法では中学校及び高等学校の段階に応じて、生涯に亘る健康に関する課題を把握すること、ならびに、それらを解決するための取り組みを立案し、実践することができるようになることを目指します。



03 養護概説(養護教諭の職務を含む)

子どもたちが健康的に生きるために力になれる養護教諭を目指す

養護教諭として子どもの健康を守り育て、発達の可能性を引き出し、健康に生きてゆく力を育てるために、養護教諭の職務と内容を理解し、健康科学の基礎知識を習得。専門的機能も把握し、現代の子どもたちの健康課題を解決できる養護教諭を目指します。



04 看護臨床実習

医療現場で体験的に学び、保健室や校内で実践力のある養護教諭を目指す

保健室や校内で発生するケガや疾病に対応する救急看護、応急処置、予防・保健管理等を病院の現場で体験的に習得します。3年次の夏に本学が指定する実習病院で4週間実施。緊急性の判断力、子どもの生命と健康を守るために必要な対応力を身につけます。それまでに得た知識や技術の応用確実な実習で、養護教諭を目指すための必修科目です。



カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
健康学科 共通科目	基幹科目	ウェルネスライフ論 社会福祉I ヘルスプロモーション論 救急処置 衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)			
	展開科目	スポーツ哲学 教育原理 スポーツ生理学 教師論 スポーツ心理学 フィットネス 機能解剖学	スポーツ史 ストレンギス&コンディショニング スポーツバイオメカニクス 演習B(実習含む) トレーニング学 スポーツ測定評価学(演習を含む) コーチング学 スポーツ栄養学(食品学を含む) スポーツマネジメント論 発育発達学 ストレンギス&コンディショニング 演習A(実習含む)	スポーツ医学B(外科系) 衛生学・公衆衛生学II ソーシャルワーク概論I ソーシャルワーク概論II 相談援助演習I	スポーツ社会学 社会保障A ヘルスカウンセリング 児童・家庭福祉 健康管理学 障害福祉 運動疫学 高齢者福祉 臨床心理学(カウンセリングを含む) 医学概論 リプロダクティブヘルス 地域福祉A
ヘルスプロモーション専攻 共通科目	基幹科目		01 子どものからだ(教育生理学)		
	展開科目		教育心理学 道徳教育の指導法 学校保健(小児保健・精神保健を含む) 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	教育の制度と経営 特別支援教育概論 教育課程論 人権教育 学校安全(救急処置を含む)	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む) 生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む) 教育相談(カウンセリングを含む) 衛生学・公衆衛生学実験実習
	自由科目				他学科・他専攻履修(8単位まで)
身体教育 プログラム科目	展開科目		体育科教育法 学校体育・保健実践法 保健科教育法	02 体育科教育実践法 保健科教育実践法 保健科教育実践法B	スポーツ生化学・遺伝学 機能解剖学II
	自由科目			03 フィールドスタディ(保体)	教育実習(事前事後の指導を含む) 教職実践演習(中・高)
養護教諭 プログラム科目	展開科目		03 養護概説(養護教諭の職務を含む) 精神保健 基礎看護学 予防医学	04 栄養学(学校給食を含む) フィジカルアセスメントI (救急処置演習を含む)(前期) フィジカルアセスメントII(後期)	免疫学(前期) 微生物学(前期) 学校保健II(保健室経営を含む) 教師論(養護)
	自由科目			04 看護臨床実習	フィールドスタディ(養護) 養護実習(事前事後の指導を含む) 教職実践演習(養護)
専攻共通 サブプログラム	保健体育教諭 プログラム		体育科教育法 保健科教育法	体育科教育実践法 保健科教育実践法	教育実習(事前事後の指導を含む) 教職実践演習(中・高)

■必修科目 ■選択科目 ■自由科目



Faculty of Sport Culture



国際相互理解や国際貢献など、
スポーツを通じて
他者との共生を推進する。

スポーツ文化学部



武道教育学科
入学定員 / 90名

東京・世田谷キャンパス



スポーツ国際学科
入学定員 / 90名

東京・世田谷キャンパス

「スポーツ」をコミュニケーションツールとする国際人を育成。

スポーツ文化学部は、スポーツによる国際相互理解を基軸としながら、日本の精神に根ざしたスポーツを活用した開発援助、国際協力、国際交流などを行う実践的な技術や理論を活用できる人材の養成を目的としています。学科は「武道教育学科」「スポーツ国際学科」の2学科を用意しています。



目指す人物像

異文化や多様性を理解し、国際交流や社会貢献のできる人材、国際競技連盟や国内外のスポーツ関連企業などにおいて活躍できる人材、国内の自治体でスポーツを中核とする活動に従事できる人材を育成します。

習得できるスキル

スポーツを通じた国際相互理解を念頭に、開発途上国を中心とした海外への開発援助を支える知識と技術を身に付けるとともに、日本固有の伝統文化である武道や身体文化を正しい指導で普及させる技量を培います。また、スポーツ分野での人的・物的な国際交流を推進できる能力を養います。

<p>スポーツによる国際相互理解</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツによる開発援助 スポーツによる国際協力 スポーツによる国際交流 	<p>日本の精神に根ざした 実践的な知識・技術・ 理論を習得</p>
--	--

授業 Pick up

学部共通カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通開設科目	日体大 アイデンティティ科目 グローバル コミュニケーション科目 社会貢献科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む) アウトドアスポーツ論 オリンピック・パラリンピック概論 体育研究発表実演会	海浜実習 キャンプ実習	スキー実習 スケート実習	
	地域社会とスポーツ	英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII			
学部共通科目	教養科目	情報処理 (情報機器の操作を含む) 国語表現A 法学(日本国憲法) 芸術 哲学 心理学 文化人類学 基礎英語A 基礎英語B	海外語学研修 (国内留学プログラムを含む) ドイツ語I ドイツ語II フランス語I フランス語II 中国語I 中国語II ロシア語I ロシア語II	国語表現B 社会学 経済学 生命科学 歴史学	
	総合科目	スポーツ文化研究A キャリア実践実習	スポーツ文化研究B スポーツと組織 キャリアデザイン	スポーツ文化研究C スポーツ文化研究D	スポーツ文化研究E スポーツ文化研究F 卒業研究
	基幹科目	スポーツ哲学 機能解剖学 スポーツ史 発育発達論 衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	スポーツ生理学 スポーツ医学	スポーツ社会学 スポーツ心理学	
	展開科目	救急処置概論 スポーツの安全指導(リスクマネジメント)	身体文化論 異文化交流論 スポーツボランティア論		
共通開設科目	航空関連科目	航空基礎 航空概論	航空産業論 飛行安全 クルー・リソース・マネジメント		
	モータースポーツ関連科目 留学生科目	モータースポーツ概論 日本語基礎 日本語応用 日本事情I 日本事情II	モータースポーツ産業論	モータースポーツ演習	

■必修科目 ■選択科目 ■自由科目

01 異文化交流論

グローバル化が進展する社会において、
様々な人びとと共生を目指す

異文化交流を円滑に進めていくためには、異文化のみならず、自文化、自己、他者に対する認識を深めなければなりません。本授業では、文化を創造する人びとが築き上げてきた文化規範や身体性、現代における文化摩擦に注目しながら、多文化共生社会で生きていく「知」を学びます。

03 運動方法・体づくり運動(体操)

基礎的理論と実践への理解を深め
体操の指導方法を学修

体操は健康の維持・増進を目的とし、学校体育・社会体育においても重要な位置を占めており、生涯体育の基礎的な役割を果たす運動領域です。この実技科目では、体操について基礎的理論と実践の側面から理解を深め、基本運動と体操の指導方法を習得します。

02 身体文化論

「身体」を「心」と一体不可分のものとして
捉え、身体技法の修練について学ぶ

わが国では、「心身一如」「心技一体」という「身体」のありかたと「心」のあり方を「一体不可分」のものとして捉えてきました。本講義では、中世、近世の芸道論や伝書などから、「稽古論」また「身体修練」における身体技法の修練について学んでみて、「心身一元論」としての「身体」そして「文化」について学びます。

04 英語コミュニケーションI・II

国際社会における共通語である
英語を習得する

さまざまな文化的背景をもつ人々とのコミュニケーション手段として、英語の習得を図ります。Iでは基礎的な英語表現を使えるようリスニングとスピーキングを重点的に。IIでは自分の考えをわかりやすい英語表現で伝えることと、異文化の価値観に触れることを目標とします。

Topics

「スポーツ」をコミュニケーションツール とする国際人を育成。

学部の 特色

日本人としてのアイデンティティを育成し、スポーツを通じて
国際交流、社会貢献活動に寄与できる力を養います。

スポーツ文化学部では、日本の文化を正しく伝えられるだけの知識、技術を持った上で、スポーツ指導、スポーツ援助による国際交流を行える人材の育成を目指します。そのため、質の高い指導力を習得できるカリキュラム編成を実現し、中学校教諭一種免許状(保健体育)・高等学校教諭一種免許状(保健体育)の取得も可能です。また、スポーツを国際交流に用いる意義を正しく理解し、学生自ら適切な行動をとれる能力を習得できるように、問題解決型の授業を主体として思考力を鍛えます。



スポーツ文化研究 A ~ F 基礎英語 ドイツ語 フランス語 中国語 コリア語 ほか

日本固有の「スポーツ」を
伝える力をつける

武道教育学科

(伝統芸能の領域も学ぶことができます)

武道・伝統芸能×指導力×国際性を中心としたカリキュラム

日本固有の文化に関する知識・技術を習得するためのカリキュラムを多彩に用意しています。柔道、剣道、相撲、空手道、少林寺拳法などの日本発祥の武道はもちろん、能、歌舞伎など伝統芸能についても学ぶことができます。

- 武道論(芸道を含む)
- 礼法
- 武道教育論
- 武道技術論
- 稽古論
- 比較武道文化論

ほか



取得できる
免許・資格

中学校教諭一種免許状(保健体育)・
高等学校教諭一種免許状(保健体育)

国際的に「スポーツ」を
指導できる力を習得する

スポーツ国際学科

文化の多様性×指導力×国際性を中心としたカリキュラム

国際交流には、相手の国の文化習慣を理解する姿勢が不可欠です。そのため、スポーツを中心に文化を相対的に捉える力を養うカリキュラムを多彩に用意しています。さらに、フィールドワークで実践力を養います。

- スポーツ文化論
- 文化人類学
- スポーツ人類学
- スポーツ国際概論
- スポーツフィールドワーク論
- スポーツと国際協力

ほか



取得できる免許・資格

中学校教諭一種免許状(保健体育)・
高等学校教諭一種免許状(保健体育)



日本固有の身体運動文化、
「武道」「伝統芸能」の知識や
技術を身に付ける。

スポーツ文化学部
武道教育学科
大塚 美波
神奈川県／相洋高等学校
所属／空手道部

武道教育学科

Department of Budo Education

東京・世田谷キャンパス

学科のポイント

01

武道理論の習得



基幹科目(理論)では、武芸に関連する教育論や技術論、精神論、文化論、稽古論、礼法などを学び、芸道全般や日本伝統の思考を体系的に理解することを目指します。また、これに加えて武道の国際的な普及や国際交流にかかわる科目を必修・選択科目として履修し、海外での実習に臨みます。

02

海外交流の実践



基幹科目(実践)の「伝統文化交流実習」では、海外での武道の実践を通じて、国籍を問わずに広く他者と交流する能力を養います。また、展開科目では芸道にかかわる各論を学修し、それまでに学んだ基本的な知識を補完しつつ、理論を通じてより幅広い知識を獲得することを目指します。

03

問題解決力の育成



さまざまな場面で問題を解決できる能力が身に付くよう、4年間を通じ、考える力を養うための「スポーツ文化研究」を履修します。実践的な科目については、実技の技量が高まるように配慮され、実践を通して日本の精神文化を理解し、その知識や理論を教え諭す能力をはぐくみます。

武道教育学科 教員一覧

内山 治樹 小嶋 新太 齋藤 一雄 南部 さおり 八木沢 誠 山本 洋祐 齋藤 雅英 新里 知佳野 古澤 伸晃 伊東 良 仲間 若菜

※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください。



伝統に基づいて体系化された「日本固有の身体運動文化」である武道(柔道、剣道、相撲、空手道、合気道、なぎなた、弓道、少林寺拳法)、それと関連する日本舞踊や古来民俗行事として伝承されてきた民俗舞踊、和太鼓などの伝統芸能について、日本の「道」の精神とともに実践的な技術や理論を理解し、国の内外を問わずに指導できる能力を養います。

大塚先輩に聞く! Questions for seniors

武道教育学科を選んだ理由は?

自身が専攻する空手はもちろんたくさんの武道を経験できるということ、伝統文化交流実習を通して国境を越えて文化に触れ合うことができ、そして武道の歴史や文化に深く触れたり学ぶことを世界の前線で戦ってきた講師の先生から教わることができ、教員免許を取得するために必要な知識やスキルを身に付けることができるというところに魅力を感じて選びました。また部活を通じて身体的な向上だけでなく人間性や協調性と言ったことをどの大学よりよく学べると思い志望しました。

武道教育学科を選んでよかった点は?

伝統的な武道の教えを通じて、礼儀の重要性を学びました。また、実技を通じて多様に渡り武道を学び身につけることで仲間との絆も深まりました。さらに、武道の歴史や哲学を学ぶことで、自身の価値観も広がりました。教職では自身で作成した指導案をもとに実際に模擬授業を行ったり教育実習や教員になる準備を大学の授業を通して学ぶことができた点です。

日本体育大学に進学して成長した点は?

授業や実習を通じて、社会で活用できること、礼法や社会に出ていく上で必要なルールマナー、自己管理能力やチームワークの重要性も学び成長できたと感じています。さらに、スポーツの技術向上を目指す中で、上下関係、組織、困難を乗り越える力や継続する大切さを実感し、社会に出ていく上で自信を持てるようになりました。

将来の目標は?

大学卒業後は、大学で学んだ知識や技術、武道で培った精神力、忍耐力、体力で人の役に立ちより良い社会を作って行けるような人格になりたいです。武道教育学科でしか学べない武道の歴史や魅力を多く学び海外普及など自身ができることを考え可能性を広げたいです。そのためにまずは文武両道を目指し努力を忘れず立派な人間になりたいと思います。

授業 PICK UP

海外でコミュニケーションの実践

「伝統文化交流実習A」

武道や伝統芸能を海外で披露し、ワークショップや稽古会をとおして異文化交流を図る。

伝統文化交流実習Aでは、これまで積み上げてきた武道や伝統芸能の技術や理論を海外において披露するとともに、海外の団体との交流を通して国際社会において武道や伝統芸能を伝える能力を磨き、将来的に海外において指導ができるような素養を身に付けることを目的としています。



Department of Budo Education

武道教育学科

武道や伝統芸能について国内外で

正しく指導し、伝える能力を養う。

武道や伝統芸能の技術指導だけでなく、日本の「道」の精神を相手に伝えることで国際交流や社会貢献が図れる能力を獲得します。また、学校教育機関において日本の身体運動文化や精神文化を教育できる能力、さらに国家、社会の平和と繁栄に寄与できる人格の育成を図ります。

WEB版はこちら



授業 PICK UP

01 舞踊創作論(作品論を含む)

舞踊について幅広く学び、
審美眼を養う

さまざまな作品を映像で鑑賞し、舞踊の歴史、動き、テーマ、表現、創作のあり方について総合的に学習。創作者の時代背景なども重ね合わせ、創作意図を深く追求します。創作技法を理解すると、ひとつの動きから多様な変化の可能性があることがわかり、創作の楽しさが広がります。



02 武道実技(弓道)

正しい所作での的を狙い、落ち着いた気持ちで
弓を射、武道の心を知る

弓道は、正しい所作で弓を用いて的を射ることを目的とした日本古来の武道です。個人の体力に応じた強さの弓を引くことで、誰でも行えることも特徴の一つです。本講義では、弓具の操作に慣れ、弓道の基本ルールである「射法八節」について、礼法も含め弓道実技を学びます。



03 武道科教育法

学校教育の中で必要な武道の指導力を
理論的に学ぶ

武道の授業が中学校の必修科目として行われる中で、より良い指導には指導者自身の技能や見識、経験、態度が重要になります。本講義では、適切な指導方法や指導の原則を理論的に把握し、実際の指導現場に活かせる指導力を養います。講義を中心とした授業です。



04 専攻武道実技(剣道)Ⅶ・Ⅷ

本物の日本刀を使用する、
日体大だけの授業

武道教育学科には5つの武道種目がありますが、この授業は4年次の実技科目です。この科目では「有効打突」の要件の一つである「刃筋」について、本物の日本刀を使用して巻き藁を切る授業(抜刀術)を行っています。日本でもこのような内容の授業を実施しているのは日体大だけです。



カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次			
学校基礎科目	基幹科目	スポーツ文化論 スポーツ人類学	武道論(芸道を含む)	コーチング学 礼法				
	展開科目	教育原理	トレーニング学 武道史各論 教育心理学 伝統芸能史 人権教育 比較舞踊学 国際情勢理解	教育の制度と経営 特別支援教育概論 教育課程論 スポーツと国際協力 国際保健学 伝統芸能論				
学校専門科目	基幹科目(理論)		武道教育論 比較武道文化論 武道国際化論	稽古論 武道技術論(柔・剣・相・空・少) 伝統芸能技術論(伝)				
	基幹科目(実践)			伝統文化交流実習A(事前事後の指導を含む) 伝統文化交流実習B(事前事後の指導を含む)				
	展開科目(理論)		舞踊創作論(作品論を含む) 伝統芸能交流論	03 武道科教育法 武道用具論	04 古典芸能論(能・舞踊) 芸能鑑賞論			
展開科目(実践)	専攻武道実技I(柔・剣・相・空・少) 専攻武道実技II(柔・剣・相・空・少) 専攻伝統芸能実技I(伝) 専攻伝統芸能実技II(伝) 武道技能向上実践I(その他武道) 武道技能向上実践II(その他武道)	02 01 03 04 02 武道実技(弓道) 専攻武道実技III(柔・剣・相・空・少) 専攻武道実技IV(柔・剣・相・空・少) 専攻伝統芸能実技III(伝) 専攻伝統芸能実技IV(伝) 専攻伝統芸能実習I(伝)	武道技能向上実践III(その他武道) 武道技能向上実践IV(その他武道)	国際武術実技 競技スポーツ実技 武道実技(形) 専攻武道実技V(柔・剣・相・空・少) 専攻武道実技VI(柔・剣・相・空・少)	専攻伝統芸能実技V(伝) 専攻伝統芸能実技VI(伝) 専攻伝統芸能実習II(伝) 武道技能向上実践V(その他武道) 武道技能向上実践VI(その他武道)	04 専攻武道実技Ⅶ(柔・剣・相・空・少) 専攻武道実技Ⅷ(柔・剣・相・空・少) 武道技能向上実践Ⅶ(その他武道) 武道技能向上実践Ⅷ(その他武道)		
学校専門科目	資格関連科目	教師論	体育科教育法 保健科教育法 学校保健(小児保健・精神保健を含む)	03 04 05 03 04 05 道徳教育の指導法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 地域スポーツ演習	03 04 05 03 04 05 体育科教育実践法 保健科教育実践法 学校安全(救急処置を含む) 教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用を含む)	03 04 05 03 04 05 生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む) 教育相談(カウンセリングを含む) スポーツ経営管理学 スポーツバイオメカニクス	03 04 05 03 04 05 スポーツ栄養学(食品学を含む) 地域ボランティア実習 (事前事後の指導を含む)	03 04 05 03 04 05 教育実習(事前事後の指導を含む) 教職実践演習(中・高)



世界の空気に触れ、
スポーツによる開発援助や
国際交流を推進する。

スポーツ文化学部
スポーツ国際学科
佐々木 章人
広島県/広島大学附属福山高等学校
所属/NIS(国際交流団体)

スポーツ国際学科

Department of Sport Studies for International Community

東京・世田谷キャンパス

学科のポイント

01

スポーツ文化について考える



スポーツ基本法の前文で、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」とうたわれています。そこで基幹科目(理論)では、「スポーツ国際概論」「スポーツフィールドワーク論」「アジアのスポーツ文化論」「欧米のスポーツ文化論」「ニュースポーツ論」の授業を通して、文化を相対的にとらえる視点や考え方、方法について学修します。

02

実践につなげる



基幹科目(実践)では、基幹科目(理論)で学んだ知識を実際に活用するトレーニングとして、「スポーツフィールドワーク実習」「ニュースポーツ実技」が必修科目になっています。他にも、海外でのスポーツ支援を実地体験できる「スポーツ国際実習」「スポーツ国際支援実習」などの学修を通じ、実践につなげていきます。

03

さらに好奇心を広げよう!



展開科目(理論)では、基幹科目(理論)の学問的焦点を深めるとともに、その近接領域を拡大していきます。また、展開科目(実践)では、体を使って自己の内面を表現する技術や、海外で道具を一切使わずにスポーツを指導する技術の獲得、エスニックスポーツという概念に含まれるスポーツの体験などがあり、さらに好奇心を広げていくことができます。

スポーツ国際学科 教員一覧

岡出 美則 金田 英子 西村 拓也 波多腰 克晃 山口 和之 門屋 貴久 高橋 流星 寺岡 英晋 福井 元 松浪 登久馬 梁 凌詩 Nancy 小柳 将吾 日下部 龍太

※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください。



在留外国人が増えた今日、国内でも多様な文化を知る人材が求められています。スポーツを通じた国際協力・国際交流・開発援助を促進するための知識や技術を養います。また、大学の機能として「教育」「研究」に加えて「社会貢献」が重要視されるといった時代の要請に応えるべく、国の内外を問わずにスポーツを通じて社会貢献が図れる人格やスキルを獲得します。

佐々木先輩に聞く! Questions for seniors

スポーツ国際学科を選んだ理由は?

もともと自分が興味があった国際的なこととスポーツが融合した学科であるということに惹かれたからです。カリキュラムなどを見て、自分の好きなスポーツを国際的な面で触れて捉えることが出来る環境が揃っているなど感じ取れました。そんな環境に身を置いて自分の大学生活を過ごしていきたいという気持ちを抱いたことを覚えています。

スポーツ国際学科を選んでよかった点は?

スポーツサイエンスの事柄や保健体育教員免許状取得に向けての授業を受けながらもそれに追加して、この学科オリジナルの授業を受けられることが出来る点です。例えば一般的な国際情勢を理解する授業であったり、そこから世界各国のスポーツ事情と日本のものを比較するものであったり、スポーツを通じた国際協力について学ぶ授業であったりと実に多様な授業を選択し、履修することが出来ます。

日本体育大学に進学して成長した点は?

日体大の提携校リトアニア体育大学への留学を経験したことです。1年間という長い期間日本を離れて新しい環境(文化、人、大学、食事)に囲まれ、揉まれ日々を過ごす中で言葉ではうまく表現できませんが自分のこれまで持っていた物事に対する考え方や価値観、視野といったものが変化してきているように感じました。現在戦争中のウクライナ・ロシアと非常に近い距離に位置するリトアニアで生の声を聴くことも得難い経験でした。(記事作成2025年1月)

将来の目標は?

具体的には決まっていますが、日本体育大学スポーツ国際学科に在学し、学んできて、そしてリトアニア留学の中で得た経験を生かすという私にしかできないことがあると思います。それは何なのか、そしてそれをどのような場所でするのかを留学の経験、そして残りの日本体育大学スポーツ国際学科に在籍する中で決定させていけたらと思っています。(記事作成2025年1月)

授業 PICK UP

スポーツを介して海外の生徒と交流

「スポーツ国際実習」

実技指導できる英語力を習得しアジアの新興国で実習体験。スポーツ国際実習における実習(提携)校

タイ
Chulalongkorn University
(チュラロンコン大学)



ネパール
Kathmandu University High School
(カトマンズ大学高校)



フィリピン
University of the Philippines Diliman
(フィリピン大学デリマン校)



「スポーツ開発」にかかわる知識・技術を自分のものにする実践的な授業のひとつとして、「スポーツ国際実習」があります。本授業では、タイ、ネパール、フィリピンの3カ国から学生が実習国を選択。本学と提携する大学と連携しながら、現地の高校、中学校に赴き、英語で生徒にスポーツ指導を行います。現地では、現地の要望や実態を踏まえ、現地の教員の助言等も受け、自分たちの行った指導をチームで振り返りながら指導しています。また、現地の生徒との交流や文化施設の訪問を通して異文化理解を深めています。

異文化交流で大きく成長。JICA海外協力隊なども将来の選択肢に。

海外でのスポーツ指導として想定されるのは、JICA海外協力隊などでの指導です。赴任地となる新興国では、体操や陸上、サッカーなどを指導します。このような場では、各スポーツ固有の技術はもちろん、整列や準備体操など基本的な指導も協力隊員が行います。英語でのスポーツ指導の知識があれば、即戦力として役に立ちます。また、英語での指導を通じて、国ごとの文化的な違いなども理解することで、視野も広がります。授業は実技中心で行われ、子どもから高齢者まで、幅広い年代が楽しく運動できる指導能力も養います。



アテネオ大学附属高校(フィリピン)での指導場面

キャンパスを飛び出して海外で学ぶ貴重な経験。

アジアの子どもたちと英語で交流。



コロナ禍でもオンラインで海外の子どもたち、学生たちとつながりました。



Department of Sport Studies for International Community

スポーツ国際学科

スポーツを通してさまざまな場面で

活躍できる実践的スキルを培う。

国の内外を問わず、スポーツ活動を基盤として社会貢献を果たせる人格や、国際競技連盟やスポーツ関連企業で活躍できる能力、国内の自治体でスポーツを中核とした活動に従事できるスキルなどを獲得します。また、さまざまな場面で問題の解決が図れるような、直接現場で役に立つ実践的能力を養います。



WEB版はこちら

授業 PICK UP

01 国際スポーツ教育論

スポーツ教育をグローバルな視点で学ぶ

スポーツ教育学を国際的な視点から探求し、スポーツを通じた国際協力の可能性を学びます。特に、学校教育のカリキュラムや学習評価、教師行動に焦点を当て、スポーツ教育の現状と課題を議論します。また、英語でのグループワークやプレゼンテーションを通じて、国際的な視野で意見を論理的に伝えるスキルを養成します。



02 エスニックスポーツ実技

民族固有の伝統スポーツの実技と精神を深く知る

民族固有の伝統文化であり、アイデンティティを高揚させる効果を持つエスニックスポーツ。近年はグローバル化により、マイナースポーツとして広く知られるようになりました。本授業では「太極拳」のスキル修得を目標とし、発表会も開催します。



03 海外スポーツ指導実技

海外で実技指導が可能な実力を身に付ける

1年次の「運動方法・体づくり運動(体操)」で学修した体操やオリジナルの体操を題材に、海外での運動時における指導方法を学びます。英語でのコミュニケーション能力を向上させるため、グループ単位で英語による指導を実施し実践力を高めます。



2024年度カリキュラムから新たに開講された科目!

国際スポーツ教育論

海外スポーツ留学

国際スポーツインターン

etc...

カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
社会基礎科目	基幹科目	スポーツ文化論 スポーツ人類学 スポーツ国際概論	武道論(芸道を含む)	コーチング学 礼法	
	展開科目	教育原理 伝統芸能史	トレーニング学 国際情勢理解 人権教育 比較舞踊学 教育心理学	スポーツ栄養学(食品学を含む) 教育の制度と経営 特別支援教育概論 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む)	スポーツと国際協力 国際保健学 伝統芸能論
学芸専門科目	基幹科目(理論)	ニューススポーツ論 01 国際スポーツ教育論	スポーツフィールドワーク論		
	基幹科目(実践)		スポーツ国際実習B(事前事後の指導を含む)	03 海外スポーツ指導実技 スポーツ国際実習A(事前事後の指導を含む) スポーツ国際支援実習(事前事後の指導を含む)	
	展開科目(理論)		スポーツとコミュニケーションA スポーツ政策論 スポーツとコミュニケーションB 比較スポーツカリキュラム論 スポーツメイベント論	スポーツマネジメント スポーツ運動のメカニズム論 世界のスポーツ情勢 健康スポーツ開発論 スポーツ情報リテラシー	
	展開科目(実践)	02 エスニックスポーツ実技 ニューススポーツ実技	身体表現実技 海外スポーツ留学 国際スポーツインターン(事前事後の指導を含む)		
学芸専門科目	資格関連科目	教師論	体育科教育法 保健科教育法 学校保健(小児保健・精神保健を含む) 道徳教育の指導法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 地域スポーツ演習	体育科教育実践法 保健科教育実践法 学校安全(救急処置を含む) 教育課程論 生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む)	教育相談(カウンセリングを含む) スポーツ経営管理学 スポーツバイオメカニクス 地域ボランティア実習(事前事後の指導を含む)
					教育実習(事前事後の指導を含む) 教職実践演習(中・高)

■必修科目 ■選択科目 ■自由科目



スポーツの感動を創り出す自分になりたい。
私たちは楽しいこと、うれしいこと、
おもしろいこと、すべてスポーツで学ぶ。

Faculty of Sport Management

スポーツ マネジメント学部



スポーツマネジメント学科

入学定員 / 245名

横浜・健志台キャンパス

スポーツライフマネジメント学科

入学定員 / 110名

横浜・健志台キャンパス

スポーツマネジメント学科と スポーツライフマネジメント学科は何が違うの？

スポーツマネジメント学科

何を学ぶか

スポーツビジネスに近い領域について学ぶ

何を目指すか

スポーツビジネスパーソン、スポーツ組織のマネジメント人材

スポーツライフマネジメント学科

何を学ぶか

人々のライフ(健康・生活)により関わりを持つ領域について学ぶ

何を目指すか

スポーツ・レクリエーション、アウトドアスポーツ、健康づくり、学校体育のマネジメントができる人材、各ライフステージに応じた健康マネジメントができる人材

スポーツを **ビジネスシーン** で有効活用

スポーツマネジメント学科

スポーツを **生活の中** で有効活用

スポーツライフマネジメント学科

目指す人物像

現代のスポーツ全体を見渡し、スポーツの価値を創造することで個人や組織、社会の課題解決を図るとともに、スポーツビジネスの発展や地域における豊かなスポーツライフの実現を担う、スポーツマネジメント人材を養成します。



習得できる知識と実践力

企画立案能力

多彩な需要に対して、問題を深く考察し新たな視点や柔軟な発想による企画を立案できる。

課題解決能力

活動の結果と過程の評価から課題を把握し理論的に分析することで解決策を立て、次の活動にフィードバックすることができる。

マネジメント能力

計画などを実行するために適切な組織をつくり、組織の機能の最大化を図れるよう適切な運営ができる。

実践能力

ライフステージに応じたスポーツ活動を推進することができる。

コミュニケーション能力

ビジネスや教育の場で、さまざまな人とやり取りをしながら、効果的にプレゼンテーションを行ったり、しっかりと意思疎通できる。

スポーツを
マネジメントし得る
知識と技術

スポーツ自体の
マネジメント

スポーツライフの
マネジメント



授業 Pick up

学部共通カリキュラム		1年次	2年次	3年次	4年次
共通開設科目	日体大アイデンティティ科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む) オリンピック・パラリンピック概論 体育研究発表実演会	海浜実習 キャンプ実習	スキー実習 スケート実習	
	グローバルコミュニケーション科目		英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII		
学部共通科目	教養科目	基礎英語I 哲学 芸術(音楽) 基礎英語II 法学(日本国憲法) 情報処理 国語表現I 心理学 (情報機器の操作を含む)	国語表現II 生命科学 社会学 統計学		
	総合教育科目	スポーツマネジメント研究A	スポーツマネジメント研究B キャリアデザインA	スポーツマネジメント研究C スポーツマネジメント研究D キャリアデザインB インターンシップ (事前・事後指導を含む)	スポーツマネジメント研究E スポーツマネジメント研究F 卒業研究A 卒業研究B
基幹科目	01	スポーツマネジメント概論	02	スポーツ政策学	
	03	地域社会とスポーツ 国際社会とスポーツ スポーツマーケティング論 ステークホルダーマネジメント	スポーツテクノロジー スポーツ経済学 スポーツとダイバーシティ コーチング	スポーツ社会学 スポーツ法学 スポーツとダイバーシティ	スポーツガバナンス論
	04	スポーツ哲学 スポーツ史 衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	スポーツマネジメント現場演習 スポーツマネジメント現場実習 スポーツ生理学 救急処置実習 トレーニング学 トレーニング実践演習	スポーツ心理学	
グローバルコミュニケーション科目		海外語学研修 中国語II 応用英語I フランス語I コリア語I 応用英語II フランス語II コリア語II ドイツ語I 中国語I			
	航空関連科目	航空基礎 航空概論	航空産業論 クルー・リソース・マネジメント 飛行安全		
共通開設科目	モータースポーツ関連科目	モータースポーツ概論	モータースポーツ産業論	モータースポーツ演習	
	留学生科目	日本語基礎 日本語応用 日本事情I 日本事情II			

■必修科目 ■選択科目 ■自由科目

01 スポーツマネジメント概論

広い対象や領域を見渡し、
スポーツマネジメントの概要を学ぶ

本授業では、スポーツマネジメントの全体像を展望し、その概要や対象について学びます。そのうえで、全国から集まった受講生同士の情報交換・意見交換を通じて視野を広げ、豊かなスポーツライフと豊かなスポーツ文化を実現するためのマネジメントについて考えていきます。

03 スポーツマネジメント現場演習

実習に向けてビジネススキルを
演習形式で学ぶ

ビジネスパーソンとして活躍するための基礎を学び、後期のスポーツマネジメント現場実習に参加するための準備をします。ロジカルシンキング、コミュニケーション、プレゼンテーションなどのビジネススキルを演習形式で学ぶとともに、スポーツビジネスの業界研究、企業研究を行いキャリアビジョンについて考えます。

02 スポーツ政策学

スポーツ政策の基礎知識を習得し、
スポーツマネジメントに必要な政策志向を養う

スポーツ政策に関する諸概念や基礎理論を理解するとともに、近年、スポーツ基本法の制定、スポーツ庁の創設などにより大きく変化してきた日本のスポーツ政策を学修します。また、諸外国の状況についても学び、より広い視野でスポーツについての政策志向を養います。

04 スポーツマネジメント現場実習

ビジネスの現場で
マネジメント力を鍛える

スポーツメーカー、プロスポーツチーム、スポーツイベント会社、スポーツ施設、アウトドアスポーツ施設、競技団体等で5日間程度の実習を実施。顧客ニーズ、経営戦略など、現場ならではの経験を通じてマネジメント力を高めます。

Topics

幅広い分野で求められるスポーツマネジメントの専門性に対応

これからの社会では、スポーツの役割と存在感がますます大きなものになっていきます。それに合わせ、スポーツマネジメントの専門性も幅広い分野で求められています。スポーツマネジメント学科では、社会が求めるスポーツマネジメントの専門性に対応できる人材を育成します。



スポーツライフに関わる多彩な学びと数多くの資格取得が可能

豊かなスポーツライフをおくるために、スポーツを通して人々が相互に関係性を育むために、スポーツを基盤としたコミュニティを形成するために、スポーツライフマネジメント学科では様々な知識と技術を修得できます。



グローバル実社会で活躍できる人材育成！
様々なスポーツビジネスに活かせる
企画力・実践力・プレゼン力を。

スポーツマネジメント学部
スポーツマネジメント学科
佐藤 健太
千葉県／日本体育大学柏高等学校
所属／キャンプインストラクター
アカデミー部

スポーツ マネジメント学科

Department of Sport Management

横浜・健志台キャンパス

学科のポイント

01

世界のスポーツビジネスで活躍する実践力



世界中で展開しているイベント・商品開発・施設経営などの様々なスポーツビジネスに活かせる企画力・実践力・プレゼンテーション力を養います。

02

スポーツ組織を牽引するマネジメント力



スポーツに関係する団体や企業をマネジメントする能力を育成します。また競技チームや運動部のメンバーが協力しながら組織の成果を上げるための動機付けの仕方やリーダーシップの取り方といった組織経営力を育成します。

03

スポーツの新たな価値を創造するマネジメント力



様々なビジネスと連携して、新たな価値を生み出す意欲と態度を培います。

スポーツマネジメント学科 教員一覧

青柳 徹 木原 祐二 齊藤 隆志 竹腰 誠 日比野 幹生 松瀬 学 横田 匡俊 石上 秀昭 金 善淑
佐野 昌行 森井 大治 荻間 英樹 清宮 孝文 矢野 広明

※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください。



スポーツマネジメントの時代が到来し、今、スポーツ界ではスポーツマネジメント人材が求められています。スポーツの持つ価値を活かし、世界中で展開されている様々なスポーツ事業にビジネスチャンスを見つけ出して、スポーツを推進することができる人材が必要とされています。スポーツマネジメント学科では、スポーツ界で即戦力となり得るための、スポーツをマネジメントする知識と技術を身に付けることができます。

佐藤先輩に聞く! Questions for seniors

スポーツマネジメント学科を選んだ理由は?

スポーツを仕事にしたいという思いと、教員免許を取得したいという思いがあり、どちらも両立して学べる学科である点に興味を湧きました。スポーツ経営にも興味があり、最新のスポーツマネジメントに関する理論や知識、技術や能力を育むことができる環境で学びたいと思い、スポーツマネジメント学科を志望しました。他にも多くの部活動がある点や学外での実習などが充実していて、大学から新たな挑戦ができる環境であったことも志望度を高めてくれました。

スポーツマネジメント学科を選んでよかった点は?

スポーツスクールやクラブ、スポーツイベントやメディアなど、スポーツマネジメントに関する講義が幅広く展開され、専門性に特化しており、実際にスポーツに関わる企業で実習をする機会もあり、「スポーツに携わる仕事がしたい」という漠然とした状態から、自身のなりたい姿を見つけることができました。3年生から所属するゼミも、専門的な領域を学ぶことのできる環境が整っていたり、グループワークが多くあるので沢山の友達と関係を築くことができ、とても充実した学生生活を送ることができています。

日本体育大学に進学して成長した点は?

1番は間違いなく人間力です。日本体育大学では様々なことに挑戦できる環境が整っています。私はキャンプ実習、スキー実習の補助学生に従事し、クラブ活動はキャンプインストラクターアカデミーに所属し、体育研究発表実演会や日体フェスティバルなど多くのイベントに参加し、仲間と共に成長をしてきました。新しいことに挑戦する際はとても不安でしたが、同じ熱量を持つ仲間に出会い、支えていただいた先生方や先輩方のお陰で、一歩踏み出すことができ、新しい自分と出会うことができました。

将来の目標は?

スポーツをする人、見る人を支え、スポーツで人と人が繋がる喜びや幸せを実現できる人材に成長したいと考えています。スポーツの価値を正しく広め、スポーツを通じて世の中により良い影響を与えることのできるイベントを立案し、最終的には多岐に渡るスポーツビジネスを展開する会社を経営することが目標です。

授業 PICK UP

ワールドクラスのイベントを理解する

「メガスポーツイベント論」

オリンピックやサッカー、ラグビーのワールドカップの歴史、構造、ビジネスを学び、合理的な知識の体系化を図る。

スポーツをビジネスの視点からとらえ、その価値の創造、最大化を考えるスポーツマネジメント学科。「メガスポーツイベント論」では、オリンピックやサッカー、ラグビーのワールドカップなどに代表されるメガスポーツイベントを取り上げ、その歴史、構造、意義、価値、ビジネス的側面などさまざまな観点から考察していきます。こうしたメガスポーツイベントは地域社会に大きな恩恵をもたらす反面、環境破壊などネガティブな側面もあると言われます。いわゆる正負のレガシーについても理解を深めていきます。

多数のメガスポーツイベントに接してきた教員とスポーツイベントから生み出されるマーケティング活動を考える。

経験豊富な教員と、メガスポーツイベントの経済波及効果、マネジメント、マーケティング活動と一緒に考えます。なぜ、2019年ラグビーワールドカップは経済的に大成功したのでしょうか。2021年の東京オリンピック・パラリンピックの汚職や談合はなぜ、起きたのか。これからのオリンピック・パラリンピックの入場料収入やテレビ放送権料、スポンサー収入などを拡大するためにはどうしたらいいのでしょうか。その他、地域のマラソン大会、サイクリングレースなどのスポーツイベントで地域活性化を図るためにはどう設計すればいいのでしょうか。そのマーケティングプランを作成します。



イベントの設計、戦略づくり、デジタル化、SDGs(持続可能な開発目標)との連動性は。

メガスポーツイベントの社会、経済、環境面における影響って?

経済効果ってなに? おカネの視点からスポーツイベントを考える。

Department of Sport Management

スポーツ マネジメント学科

マネジメント力で

新たなスポーツの価値を創造する!!

スポーツに関する歴史や社会、政策や法律、経済や経営などについて学ぶとともに、経営に必要な会計や組織、経営戦略の知識を身に付けます。そのうえでプロスポーツクラブ、スポーツイベント、スポーツ施設などスポーツ産業の領域について専門的に学ぶとともに、スポーツテクノロジーなど、スポーツビジネスの最新の動向を学びます。さらにスポーツ実技やスポーツ教育、スポーツマネジメントの演習・実習科目によって実践現場での学びを経験し、スポーツ界のリーダーとして活躍する力を養います。



授業 PICK UP

01 スポーツビジネス論A(用品・用具)

スポーツの商品やサービスを多くの人に届ける仕組みづくりを学ぶ

スポーツ用品・用具ビジネスの歴史や現状、特徴や課題について学びます。また、スポーツ用品・用具ビジネスの実際について分析を行い、スポーツ界に新たな価値をもたらす用品・用具のあり方について考えていきます。



02 スポーツクラブマネジメント論

ビジネスとしてクラブスポーツを考える

スポーツクラブマネジメントについて考察します。事例を参照しながらクラブビジネスや経営戦略のあり方を理解し、マネジメントプランを作成します。



03 スポーツデータ解析演習

データ分析から戦略を導く

スポーツや経営に関する様々なデータを題材に集計・分析方法を習得。後半はプロスポーツ等、実際のスポーツビジネスのデータを分析し、集客戦略等を立案します。



04 レジャーマネジメント論

レジャー(余暇)とスポーツの融合を考える

労働時間短縮によって生じた余暇時間にスポーツ活動を行うにはどのような準備・知識が必要なのでしょうか。レジャーとスポーツを融合させる社会の実現に向けて、考えていきます。



カリキュラム(主な科目)		1年次	2年次	3年次	4年次
社会連携科目	基幹科目	スポーツ産業論	スポーツとまちづくり	02 スポーツクラブマネジメント論	
	展開科目	スポーツ行政	04 レジャーマネジメント論	メガスポーツイベント論 スポーツ施設運営論	
社会実習科目	基幹科目(理論)	スポーツライフマネジメント概論 ホスピタリティマネジメント スポーツ情報リテラシー	01 財務会計基礎論 スポーツツーリズム論 スポーツビジネス論A(用品・用具) 健康マネジメント論	経営学概論 スポーツビジネス論B(サービス) 経営戦略論 スポーツビジネス論C(プロスポーツ) ビジネスプラン スポーツイベント計画論	経営組織論 スポーツメディア論 スポーツプロモーション論
	展開科目(実技)	運動方法・水泳 運動方法・器械運動 運動方法・球技A(ゴール型) 運動方法・武道(柔道) 運動方法・武道(剣道) 運動方法・武道(相撲)	運動方法・陸上競技 運動方法・ソフトボール(野球を含む) 運動方法・ダンス(フォークダンスを含む)	運動方法・体づくり運動(体操) 運動方法・球技B(ネット型)	
	展開科目(実践)	機能解剖学 スポーツ栄養学(食品学を含む) 教育原理 教師論	スポーツ・レクリエーション実技 レジャー・アーバンスポーツ 学校保健(小児保健・精神保健を含む) 教育心理学	03 異文化コミュニケーション演習 学校安全(救急処置を含む) スポーツデータ解析演習 教育の制度と経営 専門運動方法(アーチェリー) 特別支援教育概論 スポーツ医学 教育課程論 スポーツ施設管理論 現代スポーツビジネス	スポーツデザイン演習 専門運動方法(ゴルフ)
社会実習科目	資格関連科目	体育科教育法 保健科教育法 道徳教育の指導法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	体育科教育実践法 保健科教育実践法 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む) 生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む) 教育相談(カウンセリングを含む)	教職実践演習(中・高) 教育実習(事前事後の指導を含む)	

実践できる人材育成。
スポーツのマネジメントを
豊かなスポーツライフを実現しよう！



スポーツマネジメント学部
スポーツライフマネジメント学科
野間 希優
神奈川県 / 麻布大学附属高等学校

- スポーツライフマネジメント学科の特性を生かした多くの資格が取得できます！
- スポーツライフマネジメント学科で取得可能な資格
- 中学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
 - 公認スポーツ指導者
 - スポーツリーダー
 - 公認アシスタントマネジャー(受験資格)
 - スポーツ・レクリエーション指導者
 - ライン・ダンススポーツインストラクター
 - 初級/バラスポーツ指導員
 - SAJ(全日本スキー連盟)スキー級別テスト(1~3級)
 - NAUIオープンウォーターダイバーC(認定)カード
 - NAUIレスキューダイバーC(認定)カード
 - スノーケリングインストラクター
 - フィンスイミングインストラクター会員
 - 日本赤十字社水上安全法救助員1
 - 日本赤十字社救急法救急員
 - キャンプインストラクター
 - キャンプディレクター2級
 - ネイチャーゲームリーダー
 - スポーツ施設管理士(受験資格)
 - スポーツ施設運営士(受験資格)
 - 高齢者体操指導員

スポーツライフ マネジメント学科

Department of Sport Life Management

横浜・健志台キャンパス

学科のポイント

01

学校体育マネジメントの
実践力を高める



体育の授業に加えて、臨海学校、林間学校、体育祭などの学校行事を総合的にマネジメントするための実践力を養います。

02

共生社会の
健康づくりを推進



現代社会の様々な課題を解決するために、共生社会のリーダーとしてまちづくり、クラブづくり、健康づくりをマネジメントする能力を育成します。

03

アウトドアスポーツ・
レクリエーション産業を牽引



国内外におけるアウトドアスポーツやレクリエーションプログラムの推進と産業の活性化に資する能力を養います。

スポーツライフマネジメント学科 教員一覧

石井 隆憲 小泉 和史 藤原 義信 佐藤 浩 三村 寛 依田 充代 伊藤 由美子 古城 隆利 高荷 英久

※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください。



アウトドアスポーツやレクリエーション、健康づくりのための運動や障がい者スポーツ、まちづくりなどについて学びます。そして、さまざまなスポーツライフを理解し、共生社会のリーダーとして、学校や地域・職域における多様な主体との協働によるスポーツの普及・拡大や健康づくりをマネジメントする能力を養います。

野間先輩に聞く! Questions for seniors

スポーツライフマネジメント学科を選んだ理由は?

私は入学前から教員になりたいという夢が決まっており、教員免許を取得することができるという点と、取得可能な資格の多さに惹かれ、スポーツライフマネジメント学科を選びました。また、教員を目指す上で様々な資質を身に付けたいと考えていたため、教職に直接関連する授業だけでなく、自然やレクリエーションの分野に関わることでできる授業が履修できる点もこの学科を選んだ理由の一つです。さらに、スポーツライフマネジメント学科には豊富な「理論・実習」があります。自身の興味関心に合わせて選択でき、楽しみながら学べたことで、とても良い経験となりました。

スポーツライフマネジメント学科を選んでよかった点は?

生涯スポーツや余暇時間といった「競技」に囚われない運動を学び、対象者に合わせた指導の資質を磨くことができた点が良かったことだと感じています。スポーツライフマネジメント学科の仲間のおかげで、生活する中で得意なこと・苦手なことを共有し、切磋琢磨して前に進む環境に身を置くことができました。また、レクリエーションや野外活動など、楽しみながら学べる授業の多さも、この学科を選んでよかったと感じる点の一つです。私自身の行動が仲間の助けになっていたらなお嬉しいです。

日本体育大学に進学して成長した点は?

一つ目は、長期的な計画性が身についたことです。将来の夢である教職と、実習や好きなことの両立には、スケジュール管理が欠かせません。そこで、長期的に予定を把握し、やるべきことを整理する習慣がついたことで、両立をすることができたと感じています。二つ目は、何事も「やればできるかもしれない」というマインドです。苦手だと感じる実技の授業も、専門性の高い教授の皆さんのご指導の下、仲間と助け合うことで乗り越えられるということを実感しました。このマインドは、自身が指導する際に大切にしたいことの一つになりました。

将来の目標は?

将来の夢は中学校の教員(保健体育)になることです。夢を実現するために、ゼミ活動に力を入れたり、教職に関する講座に参加するなど、自ら進んで情報を手に入れるように心がけています。また、大学生活における今後の目標は、自己管理能力を高めることです。何か物事に取り組む際には、自分を知るということが必要不可欠であると考えています。自身のニーズに基づいて行動を選択し、悔いのない大学生活を送りたいです。

授業 PICK UP

スポーツ・レクリエーション指導者として
不可欠なマネジメント力とスキルを学ぶ

「スポーツ・レクリエーション実技」

1年次で履修する「スポーツ・レクリエーション実技」は、指導者資格取得のための導入科目です。Sport in Lifeへ向けた指導者として必要な基礎的技術の習得を目標とします。そのコンセプトは「人々の心を元気にする」ことです。

仲間とスポレク活動を楽しむなかで、心の緊張をほぐし良好な集団づくりを実現させるアイスブレイキング、対象者に寄り添って信頼関係を築くホスピタリティの理論に基づいて、体験を通じて学習します。

また、スポレク活動がもたらす心理的効果や動機づけの理論、自主的主体的な活動に繋げる心の仕組みについても「スポーツ・レクリエーション概論」と関連づけて学びます。

カリキュラムの最終段階では、これまでの学習の成果を活かし、やる気を育て活動の継続を促す手法について、安全に楽しみながら活動できるプログラムをグループで作成し、対象者に合わせた指導・支援の方法を実践します。



人々の心を元気にする。

担当教員
馬場 進一郎

コミュニケーションを促進する手法を体験を通じて学ぶ。

集団の緊張をほぐし、メンバー間のコミュニケーションを促進する。

Department of Sport Life Management

スポーツライフ マネジメント学科

人と人をつなぐ学びがここにある。

スポーツや健康に関するマネジメント論や社会学、哲学や歴史、公衆衛生や福祉などに関わる知識を修めた上で、学校体育マネジメント、アウトドアスポーツやレクリエーション、健康づくりのための運動や障がい者スポーツ、まちづくりなどについて学びます。そして、さまざまなスポーツライフを理解し、共生社会のリーダーとして、学校や地域・職域における多様な主体との協働によるスポーツの普及・拡大や健康づくりをマネジメントする能力を養います。

WEB版はこちら




授業 PICK UP

01 スポーツライフマネジメント概論

生涯にわたってスポーツを楽しむ意義や価値について学ぶとともに、健康スポーツや身体活動を通じた持続可能で豊かな社会を普及・推進するための基礎的な知識と能力を修得します。



02 異文化コミュニケーション演習

世界にはどんな国々や言語があるのでしょうか。どのように異文化を認識し、異文化間で意思疎通ができるのでしょうか。昨今、我が国では異文化・異言語と日常的に接触する機会がより多くなってきました。講座を通じて、多様な異文化を知り、自己表現力を養いましょう。



03 健康 マネジメント論

健康マネジメントに必要な健康行動理論とそれらを活用した取り組みを中心に学びます。その上で、個人や集団・組織などの各レベルでの健康マネジメントの取り組みを計画・実践し、評価・改善できる能力を養います。



04 高齢者運動 実践指導法

高齢者の健康づくりを支援できるよう、高齢者の特性と体操の指導法について理解を深めます。運動方法・体づくり運動(体操)で学修した内容をもとに、「高齢者体操指導員」資格取得のための科目として開講します。



05 アウトドア アクティビティ概論

生涯にわたって自然とのふれあいを楽しめる「アウトドアアクティビティ」について、楽しみ方はもちろん、安全に提供するための準備・運営法について基本的な考え方を修得します。



カリキュラム(主な科目)

		1年次	2年次	3年次	4年次
学社基礎科目	基幹科目	スポーツライフマネジメント概論 スポーツ・レクリエーション概論 01	アウトドアアクティビティ概論 05		
	展開科目	スポーツ行政	障害者スポーツ論 健康マネジメント論 03		
学科専門科目	基幹科目(理論)			スポーツ施設運営論 スポーツとまちづくり アウトドアマネジメント論	
	基幹科目(実践)			社会調査演習I レクリエーション現場実習 社会調査演習II 障害者スポーツ現場実習	異文化コミュニケーション演習 02
	展開科目(実技)	運動方法・水泳 運動方法・器械運動 運動方法・球技A(ゴール型) 運動方法・陸上競技 運動方法・ソフトボール(野球を含む) 運動方法・ダンス(フォークダンスを含む) 運動方法・体づくり運動(体操)	運動方法・球技B(ネット型) 運動方法・武道(柔道) 運動方法・武道(剣道) 運動方法・武道(相撲) スポーツ・レクリエーション実技 マリンスポーツ理論・実習	障害者スポーツ実技 04 高齢者運動実践指導法 ウォーターセーフティ理論・実習 スキー理論・実習	アウトドアアクティビティ 海外アウトドアリゾート理論・実習 専門運動方法(アーチェリー) 専門運動方法(ゴルフ) ローオーガナイズドスポーツ キャンプ理論・実習 ゴルフ理論・実習 スケート理論・実習
展開科目(理論)	機能解剖学 スポーツ情報リテラシー スポーツ産業論 スポーツボランティア論 教育原理 教師論	運動処方演習 スポーツ栄養学(食品学を含む) スポーツ医学 学校保健(小児保健・精神保健を含む) 体育科教育法	保健科教育法 教育心理学 道徳教育の指導法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	アウトドアスポーツにおける安全管理 スポーツ施設管理論 スポーツバイオメカニクス 体育科教育実践法 保健科教育実践法 学校安全(救急処置を含む)	教育の制度と経営 特別支援教育概論 教育課程論 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む) 生徒指導論(進路指導・キャリア教育を含む) 教育相談(カウンセリングを含む)
学科専門科目	資格関連科目				教職実践演習(中・高) 教育実習(事前事後の指導を含む)



乳幼児から児童生徒の保育・教育にかかわり、子どもの健康と安心、豊かな社会づくりに貢献する。

Faculty of Childhood Sport Education

児童スポーツ教育学部

児童スポーツ教育学科
児童スポーツ教育コース

児童スポーツ教育学科
幼児教育保育コース



児童スポーツ教育学科

入学定員 / 170名 (児童スポーツ教育コース:120名、幼児教育保育コース:50名)

東京・世田谷キャンパス

公式 Instagram もCheck!



児童スポーツ教育コース



幼児教育保育コース



「なりたい」未来に合わせて2つのコースから選択

児童スポーツ教育コース

児童生徒の心身をたくましく育てる教育力に優れた指導者を養成します。

- ▼取得できる免許・資格
- ジュニアスポーツ指導員(受験資格)
- 小学校教諭一種免許状
- 初級パラスポーツ指導員
- 中学校教諭一種免許状(保健体育)
- 准学校心理士

幼児教育保育コース

乳幼児の興味や運動欲求に応える運動遊びを積極的に実践できる幼稚園教諭や保育士を養成します。

- ▼取得できる免許・資格
- 認定ベビーシッター
- 保育士資格
- 初級パラスポーツ指導員
- 幼稚園教諭一種免許状
- 准学校心理士

目指す人物像

子どもと触れ合って遊び、学ぶことができ、体育やスポーツ、運動遊び、健康についての実践的指導力を発揮できる人材を育成します。乳幼児・児童生徒の発達や教育・保育についての基礎理論、幼稚園・保育所の全領域と小学校全科および教科外教育、中学校保健体育についての幅広い教養、体育学(スポーツ・健康科学)についての高い専門性を身に付けます。

習得すべきスキル

調和のとれた人間力を育む

コミュニケーション能力と幅広い教養



乳幼児・児童生徒の心身から生命に至るまでの

高度な知識と実践力

学びの流れ(カリキュラムの構造)



授業 Pick up

学部共通カリキュラム		1年次	2年次	3年次	4年次
学部共通科目	言語コミュニケーション科目	基礎英語I 基礎英語II	英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII		
	教養科目	法学(日本国憲法) 情報処理(情報機器の操作を含む) 心理学	生命科学 文学 社会学 経済学		
	日体大総合科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む) 地域社会とスポーツ 野外活動論	海浜実習 キャンプ実習	スキー実習 スケート実習	
	児童スポーツ教育学部基軸・キャリア科目	基礎ゼミナールA 基礎ゼミナールB (アカデミックリテラシー)	児童スポーツ教育演習A 児童スポーツ教育演習B	児童スポーツ教育研究A 児童スポーツ教育研究B	児童スポーツ教育研究C 児童スポーツ教育研究D
児童スポーツ教育学部共通科目	共通専門科目	児童スポーツ教育論 スポーツ哲学 児童健康教育論 スポーツ生理学 児童の身体の仕組み	食育論 発育発達論 子どもと人権		
	スポーツ実技科目	運動方法・水泳 運動方法・陸上競技	運動方法・ダンス(フォークダンスを含む) 運動方法・ソフトボール(野球を含む) 運動方法・球技A(ゴール型) 運動方法・球技B(ネット型)	運動方法・体づくり運動(体操) 運動方法・器械運動 トランポリン 新体操	レクリエーション
	外国語科目		ドイツ語A 中国語A コリア語A ドイツ語B 中国語B コリア語B		
自由科目	資格関連科目	航空基礎 航空概論 モータースポーツ概論	手話 飛行安全 スポーツ現場実務論 モータースポーツ産業論 航空産業論 グローバルリソース・マネジメント	スポーツ現場実習 アダプテッドスポーツ論 モータースポーツ演習	アダプテッドスポーツ実技
	留学生科目	日本語基礎 日本語応用	日本事情I 日本事情II		

■必修科目 ■選択科目 ■自由科目

01 児童スポーツ教育学部基軸科目

- 1年次の「基礎ゼミナールA・B」は、20~30名のクラス単位で、学生生活の基礎となる、自らの主体的な学びと仲間との協同的な学びに必要な基礎的な力を身につけます。
- 続いて2年次の「児童スポーツ教育演習A・B」では、1年次に学んだ論文作成の基本をもとに、具体的に様々な手法に基づいた研究論文作成の基礎とその応用について理解するとともに、3年次から所属することになる専門ゼミを主体的に選択し、自らの研究スタイルを確立するための基礎を学びます。
- 3、4年次の「児童スポーツ教育研究A・B・C・D」(専門ゼミ)では、体育・スポーツはもちろん、小学校の各教科の指導法などを学ぶことができるゼミや、子どものこころとからだに関わる内容を学ぶことができるゼミ、子どもの成長を支える教師や保育者のあり方について学ぶことができるゼミなど、自身の興味関心に応じて、所属するゼミを選択します。こうした多様なゼミ活動の中で専門性を高めていき、アカデミックな課題を自ら解決できるような力を高めていきます。

ゼミの紹介はこちらのQRコードから



02 児童スポーツ教育論

子どもへの運動指導・スポーツ指導の原則や工夫について学ぶ

子どもにとっての“良い指導者”となることを目指し、体とこころの成長途上にある子どもに対する理解を深めると同時に、対象にあった運動指導・スポーツ指導の原則や、指導上の工夫などについて学んでいきます。

03 児童の身体の仕組み

子どもの健康保持・増進のために身体そのものの構造について学ぶ

子どもにとって、スポーツなどの身体活動は健康の保持・増進を助長するためにも重要なものであると言えます。そこでこの科目では、身体運動の源となる身体そのものの構造について深く理解し、さらなる子どもの健康の保持増進に関する知識を習得することを目指します。

Topics 子どもたちの成長と健康に寄り添う力を育む3つのポイント

POINT 01 日体大だからこそ学べる 子どもと運動のより良い関係

「児童スポーツ教育学」とは、「体育学(スポーツ科学)」と「教育学・保育学」の中でも乳幼児期・児童期の発達段階に焦点をあてた「児童教育学」とを緊密に融合させた学問領域です。最新のスポーツ科学に基づき、乳幼児・児童と運動の望ましい関係に加え、中学校での豊かなスポーツライフの形成やそれらの指導法について、第一線で活躍するエキスパートから学ぶことができます。

POINT 02 乳幼児・児童生徒の心身の成長をサポートする指導力を習得

運動に期待できるのは、体力・運動能力の向上だけではありません。児童スポーツ教育学部では、乳幼児・児童生徒の意欲的な心やコミュニケーション能力の育成、運動制御機能の発達といった面も重要視した独自のプログラムを用意。乳幼児・児童生徒の健康と成長に寄り添い、見守ることができる指導者を養成します。

POINT 03 現場への理解を深め即戦力となれる人材育成を目指す教育・保育実習

児童スポーツ教育コース

大学で学んだ教科・教職に関する知識・理論を生かし、小学校現場での教育実践を通して学びを深めます。具体的には、各教科・領域に関する指導、児童の社会的資質や行動力を高めるための生活指導、児童相互・児童と教師のよい人間関係を築き、教育活動の基盤となる学級経営、学校行事の指導などについて体験します。また、学校組織や学校運営、学校と地域社会との関わりなどについても学びます。これらの体験や学びは、教師の役割を深く知り、教師を目指す上での自己の資質や課題について考える貴重な機会となります。
※児童スポーツ教育コースでは、教員免許取得希望者の教育実習はすべて小学校で行います。

幼児教育保育コース

保育士資格と幼稚園教諭一種免許状を無理なく取得できるように、段階的に実習を設定しています。2年次前学期に、保育所や幼稚園で子どもと関わり、保育の実際を知るための「保育現場論」を設けており、その経験を2年次後学期から始まる実習に生かせるようにしています。保育士資格取得のための実習は、保育所での実習(2年次2月)から始まり、児童養護施設等での施設実習(3年次8月)、最後に保育所もしくは施設での実習(3年次11月)の計3回実施されます。そして、幼稚園教諭一種免許状を取得するための実習は、4年次5月に幼稚園等で行われます。このように、大学と保育現場を行き来することで、保育への理解をより深めることができます。

実践力を養う多彩な実習

児童スポーツ教育学部では、2年次の夏に「キャンプ実習」「海浜実習」のいずれか、3年次の冬に「スキー実習」「スケート実習」のいずれかを選択して履修します。野外での魅力あるプログラムを体験することで、自然を感じ、自然を知り、自然を楽しむという、大学内での学びに留まらない豊かな経験をすることができます。



キャンプ実習



海浜実習



スキー実習



スケート実習

野外活動実習を通じて取得できる資格

SAJ
スキー検定
(1級・2級・3級)

キャンプインストラクター

キャンプディレクター
2級

Course of Childhood Sport Education

児童スポーツ教育コース

東京・世田谷キャンパス

子どもたちの心身を育てる

教育力に優れた指導者を目指す。

児童の時期に体の基礎をつくり、様々な運動・スポーツを楽しみながら人とのつながりを実感する体験は、その後の人間形成に大きく影響します。児童スポーツ教育コースでは、子どもたちに体を動かす楽しさやスポーツの魅力を伝えられる、指導者に必須の専門知識と実践的な教育方法を学びます。



授業 PICK UP

01 生涯スポーツ論

生涯にわたりスポーツを主体的に楽しむための方策を検討

社会の変化を捉えながら、生涯スポーツの意義・現状・課題について取り上げます。生涯にわたり、多様なアプローチでスポーツを主体的に楽しめる環境の実現について検討し、授業内で生涯スポーツにつながるスポーツイベントの企画・提案、プレゼンテーションを行い、理解を深めます。



02 トレーニング学

子どもの健やかな成長を促すトレーニングの知識を習得

年齢や発育状態に合わせた運動負荷を与えることは、子どもの健やかな心身の成長に不可欠です。本講義では、幼児期から児童期を対象とした適切なトレーニング方法を学び、発育発達に応じたトレーニングプログラムを作成できる知識と能力を修得します。



03 初等理科

小学校理科で行う観察・実験の意義と問題解決能力の育成について学ぶ

小学校の理科で扱う「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の各領域の観察・実験を実際に行いながら、授業者としての基礎的な技能と、児童の問題解決能力を育成するための授業展開について学びます。



04 初等体育

小学校体育で子どもが身につけるべき力とそのための課題設定について考える。

学年によって発達段階が大きく異なる小学生に対して、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を形成するために必要となる力を身につけさせるための、具体的な課題設定の方法について、模擬授業を通じて主体的に考え、学びを深めます。



体育で扱う運動領域を理解する。

子どもを楽しませる工夫を考える。

体育の授業づくりの基礎を学ぶ。

担当教員 鈴木 康介

「学内外での子どもの活動との関わり」

実習科目や社会貢献活動を通じて、子どもとの関わり方を実践的に学ぶ
実習科目である「スポーツ現場実習」において、子どもと運動に関わるスポーツ現場を自ら選び、様々な現場経験を通じて、子どもと運動・スポーツの関係について実践的に学ぶことができます。また、児童スポーツ教育コースの教員が講師を務める公開講座として、小中学生対象のパスポート体験イベントや、小学生児童対象のかけっこ教室、また運動が苦手な児童を対象とした運動チャレンジ教室などを開講しており、これらの活動に児童スポーツ教育学部の学生も参加します。こうした実習やイベントなどを通して実際に子どもと関わることで、小中学校の教員になった際に活かすための実践的指導力を高めることができます。



カリキュラム		■必修科目 ■選択科目 ■自由科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次	
教育の基礎に関する科目	教育原理 教師論 道徳教育の指導法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	教育心理学 教育課程論 教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用を含む)	教育の制度と経営 特別支援教育概論 生徒指導論 (進路指導・キャリア教育を含む) 教育相談(カウンセリングを含む)		
教科の内容と指導法に関する科目	初等国語(書写を含む) 初等算数 初等理科 初等社会 初等英語	04 初等体育 体育科教育法 保健科教育法 03 初等生活 保健科教育法 初等音楽 初等音楽 初等図画工作 初等図画工作 初等家庭科 初等家庭科	初等国語科教育法 初等算数科教育法 初等理科教育法 初等社会科教育法 初等英語科教育法	初等生活科教育法 初等音楽科教育法 初等図画工作科教育法 初等家庭科教育法	国語科教育実践論 算数科教育実践論 理科教育実践論 社会科教育実践論 英語科教育実践論
発展・展開科目	01 衛生学・公衆衛生学(運動衛生学を含む) 生涯スポーツ論	02 スポーツ史 トレーニング学 学校保健(小児保健・精神保健を含む) スポーツの安全指導(リスクマネジメント) コーチング学	スポーツ栄養学 発達心理学 児童医学	スポーツ心理学 スポーツ経営管理学 スポーツ社会学 学校安全(救急処置を含む) スポーツバイオメカニクス	測定評価学 ヘルスプロモーション トレーニング実践演習
教育実習科目					教育実習(事前事後の指導を含む) 教職実践演習(小・中)
中学校関連科目	運動方法・武道(柔道) 運動方法・武道(剣道) 運動方法・武道(相撲)		体育科教育実践法 保健科教育実践法		



児童スポーツ教育学科
児童スポーツ教育コース
斉藤 ゆら
宮崎県／延岡学園高等学校
所属／バスケットボール部

児童スポーツ教育学科

児童スポーツ教育コース

Course of Childhood Sport Education

コースのポイント

01

子どものからだに心に関わる
高度な知識と幅広い教養の獲得



将来、小・中学校教員や、子どもに関わる職業に就くことを念頭に置き、「児童スポーツ教育論」を入門として、児童の身体の仕組み、心身の発育発達、健康教育、スポーツ生理学、スポーツ哲学、食育など、子どもの健康や幸せ(ウェルビーイング)に関わる幅広い学問の基礎を学びます。

児童スポーツ教育コース 教員一覧

石田 有記 稲田 結美 近藤 智靖 白旗 和也 杉本 直美 須永 美歌子 関 芽 田口 結子 東野 裕子 若尾 良徳
宇部 弘子 門脇 大輔 亀山 有希 鈴木 康介 木戸 道治 村田 翔吾 小泉 岳央 豊田 大登

※各教員のプロフィール、担当科目は右記 QR コードよりホームページをご覧ください。



02

子どもの成長に寄り添う
優れた教育実践力の育成



4年次に行う小学校での教育実習のほか、「スポーツ現場実習」や学外での子どもの活動との関わりなど、実際に子どもと関わる多くの経験を積むことで、子どもの身体的・精神的な成長過程を深く理解し、それぞれの年代に応じた適切なアプローチをするための教育実践力を養います。

03

子どもの健康と豊かな社会の
創造に貢献し得る人材の育成



1・2年次での基礎的な学びを核に、3年次以降の特色ある専門ゼミでの活動などを通じ、豊かな社会の創造に主体的に関わりようとする意欲と、そのために必要な実践的力を身につけ、子どもたちのウェルビーイング(心身ともに健康で幸せな状態)の実現に貢献し得る人材を目指します。

斉藤先輩に聞く! Questions for seniors

児童スポーツ教育コースを選んだ理由は?

小学校教員になりたかったからです。私が通っていた高校は、小中高一貫校でした。小中学生と毎日すれ違い、同じグラウンドや体育館を使用していました。特に小学生は、すれ違う度に挨拶をしてくれてとても可愛く、それがきっかけで、将来は小学校の先生になりたいと思いました。また、体育に強みを持つ教育も学びたくて、もともと中学の保健体育の先生にも興味があったので、どちらも免許が取れる児童スポーツ教育コースを志望しました。

日本体育大学に進学して成長した点は?

今までは、学習者目線でしか考えたことのなかったことが、学習者も教育者も両方の目線で考えることができるようになったところだと思います。高校生のときまでは、「もっとおもしろい授業をして欲しいなあ」と思うこともありましたが、授業をするという難しさが分かるようになりました。「どうすればいいのかな」と考えて改善した授業ができるようにこれからまた知識や技術を身につけたいです。

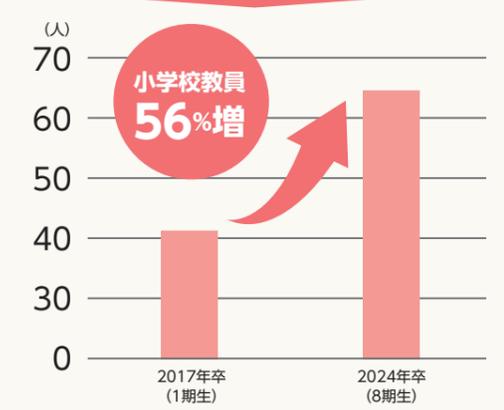
児童スポーツ教育コースを選んでよかった点は?

1年生のうちから、指導案について学べることだと思います。児童スポーツ教育コースでは1年生のときから指導案を実際に書いてそれを元に模擬授業をやってみるなど、これから求められる授業について学べる機会が多いと思います。それだけでなく、体育に強みを持つ教育技術についても学ぶことができるので、どちらも学びたかった私にとってはとても良い選択だったと思っています。

将来の目標は?

これからは模擬授業や、実際に現場でやってみる学びの機会が増えてくると思います。成功も失敗も全部自分の目指す教師像に近づけるよう学んだことを吸収し、たくさん経験を積んで行きたいです。そして、スタートラインである教員採用試験に合格して、一人ひとりに寄り添える小学校の先生になれるようにがんばりたいです!

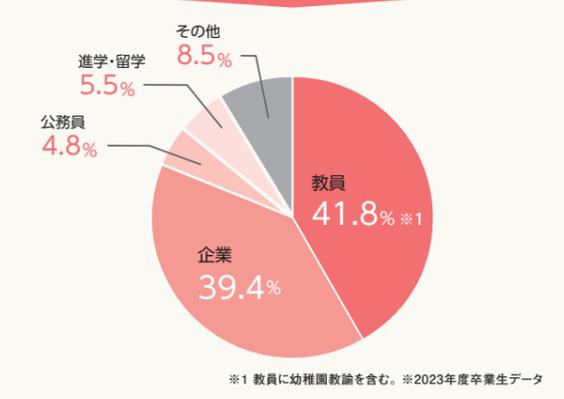
小学校教員養成に強い!



児童スポーツ教育コース出身の小学校教員は増えています!

児童スポーツ教育コースでは、開設以来数多くの小学校教員を輩出し続けています。予測不可能な時代と言われる現代において、子どもたちの明るい未来を実現するために小学校教育はますます重要なものとなります。これからも児童スポーツ教育コースでは時代の変化に対応できる柔軟な実践力を持った教員を多く輩出していきます。

子どもの心と体に深い理解のある 小学校・中学校教員を目指す



児童スポーツ教育コースから子どもの心と体に深い理解のある小学校・中学校教員になろう!

発育発達の途上にある子どもの心と体には密接な関係があり、子どもたちが身体的・精神的に健康であることは、学校教育での豊かな学びの基礎になります。児童スポーツ教育コースでは、こうした子どもの心と体について深く理解し、子どもの成長に寄り添うことのできる確かな力量を持った小学校・中学校教員を目指す学生を育てます。また、体育・スポーツの魅力を主体的に発信し、体育専科指導にも対応できる強みを持った教員となることを期待します。

Course of Early Childhood Sport Education

幼児教育 保育コース

東京・世田谷キャンパス

子どもの興味を引く運動遊びや健康指導を

実践できる幼稚園教諭や保育士を目標に学ぶ。

幼児教育保育コースでは、実習を多く取り入れたカリキュラムを通して、子どもを理解し、子どもの遊びや生活への適切な指導、援助をするために必要な広い視野と実践力を身に付けます。とりわけ、体づくり、運動遊び、健康な生活の指導、援助に強い幼稚園教諭や保育士を目指します。



学外活動 PICK UP

保育現場論(幼稚園・保育所)

初めての实習で不安や緊張で困らないように、大学近隣の幼稚園及び保育所で事前に現場の体験を行います。実際に実習に行く前の学びとして必要なことを事前に体験することができます。保育者の職務や園での子どもたちの過ごし方などを、子どもたちとのかかわりを通して学ぶことができます。



また、観察や子どもたちとのかかわりから、年齢による子どもの姿の違いや幼稚園・保育園の概要を学びます。ほかにも実際に記録の仕方も体験することができます。

実習スケジュール

	2年次		3年次		4年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
保育士	●	●	●	○ (保育所)		○ (施設)
幼稚園教諭	●				●	

※○部分は選択でどちらかを選ぶ。

コースのポイント

1学年50名の少人数制 50名の学生に対し、2名の教員で担任をしています。少人数なので学生同士も打ち解けやすく、目標に向かって楽しく学生生活を過ごすことができます。

01

子どもの発達、運動や健康指導に強い保育者・教育者の育成



子どもの発達や健康などに関する専門科目を学び、次代を担う子どもたちの「健康で豊かな社会」を創造できる保育者・教育者の育成を目指します。

02

現場で協働できる保育者・教育者の育成



専門科目・実習などを通して現場で働く保育者・教育者だけではなく、さまざまな職種の人と協働することの大切さを学び、実践できる保育者・教育者の育成を目指します。

03

子どもファーストの視点で見られる保育者・教育者の育成



実習を多く取り入れたカリキュラムを通して、子どもに寄り添い、子どもの目線に立ち、子どもファーストな視点をもって子どものことを考えられる保育者・教育者の育成を目指します。

幼児教育保育コース 教員一覧

岡本 美和子 齊藤 多江子※ 中島 龍一 河田 聖良※ 佐藤 恵※ 南陽 慶子※ 恒川 丹※
※は全国保育士養成協議会による実習指導者認定講習を修了し、保育実習指導を担当している教員です。

※各教員のプロフィール、担当科目は右記 QR コードよりホームページをご覧ください。

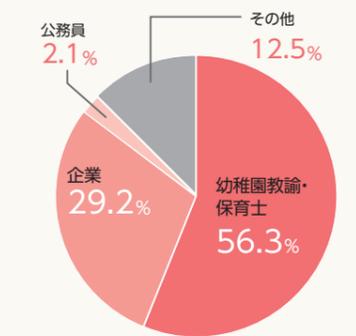


実際の保育現場で活用！



幼児教育保育コースでは、実習や就職後に役立つ実践的なスキルが学べます。授業では、子どもの発達や保育のねらいを踏まえつつ、学生のアイデアを活かした様々な保育教材の制作にも取り組みます。オリジナルの保育教材を実際の現場で活用し、子どもの反応に直に触れることで、子どもと共に保育を創造する楽しさや面白さを体験します。

公務員試験対策も！



保育園や幼稚園など現場への就職が多いです。主な就職先として私立保育園16名、私立幼稚園5名、公立保育士6名、福祉施設2名、行政公務員1名、幼児体育指導員2名となっています。公務員志望(保育士など)の学生に対しては、個別に試験に必要な対策への対応を行っています。

児童スポーツ教育学科
 幼児教育保育コース
岡本 心希
 石川県／鷗学園高等学校
 所属／伝統芸能和太鼓同好会



児童スポーツ教育学科

幼児教育 保育コース

Course of Early Childhood Sport Education

岡本先輩に聞く! Questions for seniors

幼児教育保育コースを選んだ理由は?

私は、子ども一人ひとりにあった保育をして、子どものことを一番に考え行動する保育者を目指す中で、このコースの目標である「子どもファーストな視点をもって子どものことを見て考えられる保育者・教育者を育成すること」に魅力を感じました。また、本格的な実技科目や実際に現場に行き体験できるたくさんの実習から将来に役立つ様々なことが学べると思いこのコースを選びました。

幼児教育保育コースを選んでよかった点は?

学生が中心となって考えたことを実際に体や絵・図などで表現しグループなどで共有する授業が多いため、一方的に話を聞くだけの授業では学べない幼児教育に関する知識をより深く学ぶことができる点です。2年次からは実際に保育の現場に行き実習も行うため、その予行練習として授業では「どうしたら子どもが楽しめるのか」を考えることがとても重要になってきます。日体大だからこそ、体育学を活かしながらこうした実践的で専門的な知識を学べることもこのコースの魅力だと思います。

日本体育大学に進学して成長した点は?

コミュニケーション能力が高まった点です。私は、小学生の頃から習い事として和太鼓をしており、大学でもクラブ活動として和太鼓を続けています。クラブ活動では、顧問の先生方や部員の他に演奏先や他学の方と関わることも多いため、コミュニケーション能力はもちろん、周りを見て行動する力も得ることができます。また、今まで経験してこなかったことを授業などで経験できたり、これまでできなかったことに新たに挑戦する機会もあつたりするため、自身の可能性の広がりを感じることができます。

将来の目標は?

私はずっと過ごしてきた地元が好きなので、将来は地元に戻り保育をすることが目標です。また、地方から上京してきたからこそわかる地元の魅力を他県に発信し、地域貢献につながるような活動をしていきたいと考えています。そのために、子どもたちと地域の方々に関われるような保育の環境をつくることや、保護者の方々安心して子どもたちを預けることのできる保育者になれるよう頑張っていきたいです。

授業 PICK UP

01 幼児の運動遊びI

乳幼児期の運動遊びの意義を学び、保育における実践力の向上を目指す。

「幼児の運動遊びI」は、乳幼児期の体を動かす遊びの意義やその目的について理解し、子どもの発達に応じた遊びの環境構成だけでなく、子どもの心に寄り添う保育者としての関わり、安全管理の視点等について学びます。授業では、自然や身近にある素材・廃材を使った遊び、なわ等の遊具を使った遊び、伝承遊び等の活動に取り組みます。子どもの発達段階ごとの特徴・姿を想定した模擬保育をグループで実践し、保育実践力を磨きます。



カリキュラム		■必修科目 ■選択科目				
	1年次	2年次	3年次	4年次		
幼児教育保育コース専門科目	教育・保育の基礎に関する科目	教育原理 保育原理 保育者論 発達と教育の心理学 ことばと文化 子どもの保健 社会福祉学	子ども家庭福祉 乳児保育I 社会的養護I 保育の心理学 保育カリキュラム論 子どもの理解と援助 保育現場論(幼稚園・保育所)	教育の方法と技術(メディア教育を含む) 教育の制度と経営 特別支援教育概論		
	保育の内容と指導法に関する科目	幼児の運動遊びI 音楽表現I 保育内容総論	幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と環境 幼児と言葉 幼児と表現 幼児の運動遊びII	音楽表現II 保育内容の指導法I 保育内容の指導法II 子どもの表現I 子どもの表現II		
	発展・展開科目		乳児保育II	子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 子どもの健康と安全 障がい児保育演習 社会的養護II 保育実践論	幼児教育・保育研究法 子ども家庭支援論 子育て支援	病児・病後児保育 在宅保育論
	教育・保育実習科目		保育実習指導I(保育所) 保育実習I(保育所)	保育実習指導I(施設) 保育実習I(施設) 保育実習指導II 保育実習II		保育実習指導III 保育実習III 教育実習指導 教育実習(幼稚園) 保育・教職実践演習(幼稚園)



体育スポーツの専門性を備えた医療の担い手となり、柔道整復師・救急救命士として身体活動を通じた心身の健康づくりに貢献する。

Faculty of Medical and Health Science

保健医療学部



整復医療学科
入学定員 / 90名

横浜・健志台キャンパス

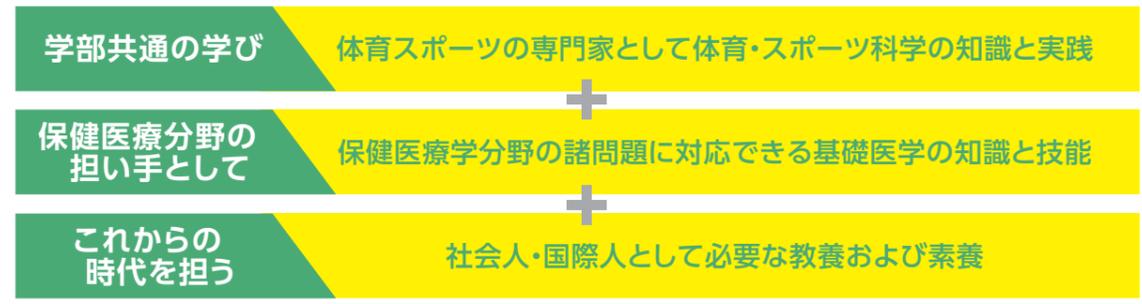
救急医療学科
入学定員 / 80名

横浜・健志台キャンパス

目指す人物像

保健医療学部が共通して養成したい人材は、幅広い教養と体育スポーツ科学ならびに医学の知識と技能を備え、体育スポーツ分野を中心とした保健医療学的諸問題に高い倫理観と科学的思考をもって対処できる国際的な医療人です。保健医療学部共通科目での学びを通じて体育・スポーツ科学、基礎医学、語学、教養を修得する過程で各学科の専門性に応じた高度な医学的知識・技能修得の基礎を築きます。

習得すべきスキル



習得できる資格など

整復医療学科 スポーツや日常生活で発生するケガの治療を専門とする柔道整復師養成を主軸にトレーナーや体育教員を目指す幅広いカリキュラム構成。

- 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 社会福祉主事(任用)
- 柔道整復師(受験資格) ■ アスレティックトレーナー(受験資格)*人数制限あり
- 日本トレーニング指導者協会認定 トレーニング指導者(受験資格) ■ 第一種衛生管理者

2025年入学生より取得可能

中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)

NSCA-CSCSおよびCPT※1受験資格

(整復医療学科、救急医療学科)

養護教諭一種免許状(救急医療学科)

救急医療学科 スポーツ、体育の現場からプレホスピタルケアまで幅広く命を守る救急救命士の医学的素養を持った人材を養成するカリキュラム構成。

- 中学校教諭一種免許状(保健体育) ■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
- 救急救命士(受験資格) ■ 第一種衛生管理者 ■ 防災士(受験資格) ■ 養護教諭一種免許状

学部長から皆様へのメッセージ

日体大保健医療学部ではスポーツ、医療、サイエンスを通して唯一無二の学びができます



保健医療学部長 中里 浩一

- スポーツ** 本学の競技スポーツ界での華々しい栄光はご存じのとおりですが、それを支えたのは本学学生教職員による医科学サポートです。本学部では指導者養成に実績のある体育・スポーツの学びはさることながら、アスレティックデパートメントとの連携により他大学には真似のできない世界トップレベルのスポーツ環境および医科学サポートの現場が体験できます。
- 医療** 本学部は設立10周年を迎え、650名を超える柔道整復師、救急救命士を養成しました。トップレベルのスポーツ系大学でありながら国家資格受験に耐えうる医学教育を実施しているのは本学のみです。
- サイエンス** 本学部担当教員のほとんどは大学院保健医療学研究科を兼担しています。従ってその教育は単なる資格取得にとどまることなく、大学でしか得られない科学に立脚した学修から構成されています。

以上の特徴から日本体育大学保健医療学部では「スポーツ×医療×サイエンス」を通じて他大学の追随を許さない唯一無二の学びが得られます。

※1 NSCA(National Strength and Conditioning Association)はアメリカに本部を置く団体であり、CSCS(認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト)とNSCA-CPT(NSCA認定パーソナルトレーナー)は1993年設置以来米国はもとより全世界で認知されているトレーニング指導者資格です。

授業 Pick up

学部共通カリキュラム		1年次	2年次	3年次	4年次	
共通開設科目	日体大アイデンティティ科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む) オリンピック・パラリンピック概論 体育研究発表実演会 アウトドアスポーツ論	海浜実習 キャンプ実習	スキー実習 スケート実習		
	グローバルコミュニケーション科目		英語コミュニケーションI 英語コミュニケーションII			
	社会貢献科目	地域社会とスポーツ				
学部共通科目	保健医療学系科目	医学概論 細胞生物学 生化学	スポーツ医学概論 (保健医療学実習含む) 医療英語I 医療英語II			
	衛生学系科目	衛生学・公衆衛生学		予防医学	産業保健学 労働衛生法規I 労働衛生法規II	
	体育・スポーツ科学系科目	トレーニング学 スポーツ史 運動方法・陸上競技 運動方法・体づくり運動(体操)	学校保健 (小児保健・精神保健を含む) 運動方法・球技A(ゴール型) 運動方法・球技B(ネット型)	スポーツ心理学 スポーツ経営管理学 スポーツ生理学 学校安全(救急処置を含む) 運動方法・水泳	運動方法・器械運動 運動方法・ダンス (フォークダンスを含む) 運動方法・ソフトボール (野球を含む)	
	教養科目	法学(日本国憲法) プレゼンテーション技法論	数理科学 心理学	情報処理 (情報機器の操作を含む)	国際コミュニケーション	
	外国語科目		ドイツ語I ドイツ語II フランス語I フランス語II	中国語I 中国語II 韓国語I 韓国語II		
	教職科目	教育原理 教師論	体育科教育法 保健科教育法 教育心理学 道徳教育の指導法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	体育科教育実践法 保健科教育実践法 教育の制度と経営 特別支援教育概論 教育相談 (カウンセリングを含む)	教育実習 (事前事後の指導を含む) 教職実践演習 (中・高)	
	航空関連科目	航空基礎 航空概論	航空産業論 クルー・リソース・マネジメント 飛行安全			
共通開設科目	モータースポーツ関連科目	モータースポーツ概論	モータースポーツ産業論	モータースポーツ演習		
留学生科目	日本語基礎 日本語応用	日本事情I 日本事情II				

■必修科目 ■選択科目 ■自由科目

日体大アイデンティティ科目

トップアスリートが在籍する他学部との共通科目

01 日体大の歴史(日体伝統実習を含む)

歴史を振り返りながら
本学で学ぶ自覚と誇りを培う

日体大の歴史を紐解くことは、近代日本の体育スポーツの歴史を語ることに通じます。この講義では、本学が果たしてきた社会的使命を再確認し、未来を見すえ、日体大生としてのアイデンティティを醸成します。



02 オリンピック・パラリンピック概論

現代社会にとってのオリンピック・パラリンピックの価値について理解する

オリンピック・パラリンピックの価値を理解するために、それらの基礎的知識ならびに考え方について知識を深めることを目的とします。



Topics



医学概論

医学・医療の歴史、基礎知識から医療の本質を学ぶ

健康とは何か、医療の本質、医学・医療は誰のものか、医の倫理、生命倫理、患者の人権、死生観、医療従事者に求められるもの、日本の医療システム、ヘルスプロモーション、医療事故と医療裁判、医療と科学技術等、医療に関わる様々な現代的課題から医療の本質を学びます。



トレーニング論

トレーニングの基礎から学び、プログラムの作成能力獲得を目指す

トレーニングとは筋力、持久力、調整力など、体力要素を向上する目的で行われる運動です。体育スポーツの現場で活躍する柔道整復師、救急救命士にとって必要なトレーニング理論および方法について学びます。



細胞生物学

次世代医療において細胞生物学の理解は必須

細胞を基盤とした再生医療が次世代医療の中核とされている現代、細胞生物学の理解は医療従事者には必須です。本学修ではまず細胞と遺伝情報の関わりなどを概観、次に細胞分裂など多細胞系の理解を、最終的には細胞を基礎とした個体の生理学的理解の学修を目指します。

大学院教育まで見据えた保健医療学部での学修





日体大だから実現できる
スポーツと柔道整復の融合。

保健医療学部
整復医療学科
青木 美樹
兵庫県/県立龍野高等学校
所属/アメリカンフットボール部

令和6年度柔道整復師国家試験新卒合格率**88.4%**
(全国総合格率57.8%、全国新卒合格率75.9%)

整復医療学科

Department of Judo Therapy and Medical Science

横浜・健志台キャンパス

学科のポイント

01

専門知識・技能の獲得



大学の特徴である「スポーツ科学」に関する科目、現代医学の「人体の構造と機能」や「疾病と障害」に関する科目を学ぶことを通してスポーツと現代医学の基礎知識を獲得します。本学科ではこうした科学・医学科目と並行して柔道整復学を学びます。

02

実践的技能の獲得



柔道整復学では、スポーツに多いケガ(骨折や脱臼、捻挫や打撲など)について、検査法、包帯法、運動療法、物理療法、予防とコンディショニングなど豊富な実技科目をとらして実践的スキルを獲得します。多くのアスリートが来院する附属接骨院で実習をおこないます。

03

国際性の育成



社会の模範となる人間、国際人としてふさわしい基本的な教養を身に付けます。「英語コミュニケーションI・II」「海外整復医療総合実習」などを学修し、国際的に幅広く活躍する人材の育成を目指し、調和の取れた人間性と国際性を獲得します。

整復医療学科 教員一覧

伊藤 謙 稲川 郁子 久保山 和彦 河野 徳良 小山 浩司 白石 聖 中里 浩一 橋本 俊彦 服部 辰広 平沼 憲治
松田 康宏 上倉 将太 鴻崎 香里奈 樋口 毅史 渡邊 学 小林 喜之

※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください。



整復医療学科は、ケガの予防や治療を通して国民医療に貢献できる柔道整復師の育成を目標とした学科です。多くのアスリートが学ぶ日本体育大学でスポーツ環境を活かした授業が展開されているのも本学科の特徴です。学生会クラブに所属し競技力を一層高めたり、学生トレーナーとして継続的に実践的経験を積み重ねる学生も少なくありません。こうした活動ができるのも日本体育大学の整復医療学科だからです。

青木先輩に聞く! Questions for seniors

整復医療学科を選んだ理由は?

ケガを治す柔道整復とアスリートの健康を管理するアスレティックトレーニングを学ぶことができるからです。子供から高齢者、スポーツ選手まで、多くの方々の悩みを和らげ痛みを治せる人になりたいと思い、スポーツが盛んな日本体育大学を志望しました。

整復医療学科を選んでよかった点は?

私はアメリカンフットボール部に所属し、学生トレーナーとしてトレーニング指導やテーピングなどの実践を通して学んでいます。こうした活動ができるのも、整復医療学科で学ぶ医学的知識とトレーナーとしての知識、そしてこのような環境が整っている日本体育大学だからです。アメフト部では、同じ目標に向かって取り組む仲間ができ、切磋琢磨しながら日々の学習や実習に取り組んでいます。

将来の目標は?

ケガや身体の悩みに対して適切な対応ができるトレーナーを目指しています。そして、ケガや悩みを持った時に真っ先に思い浮かべてもらえる存在になりたいです。そのために、ケガやトレーニングに関する知識を一層高めていきたいです。また、人間性を高めることも重要だと考えています。勉強だけでなく、部活動などで多くの人と関わることで、選手や患者の思いを受け止められるようになりたいです。

日本体育大学に進学して成長した点は?

人とのコミュニケーションや大勢の前で話すことへの抵抗が少なくなったことです。部活動では、コンディショニングやトレーニング方法について選手の前に立つことも多く、そのための知識を自分で集めてまとめます。こうした経験を積み重ねることで、選手への説明や人前で話すことへの抵抗が徐々に少なくなりました。



授業 PICK UP

「目指せ! 柔道整復師」

「運動器損傷治療学実習」

日常生活やスポーツ現場で

頻繁に発生する怪我の治療法を学ぶ

運動器損傷治療学実習はIからIVの授業に分かれており、骨や筋肉、靭帯など運動に関わる身体の器官、すなわち運動器に関する怪我の治療法を学ぶ実習授業です。接骨院や病院等での勤務経験を有する教員が指導しますので、実践的な知識と技術を学ぶことができます。卒業後、柔道整復師として接骨院や病院で患者さんへの確かな治療を提供できるように技術を身につけます。



繰り返すことで技術を身につける

運動器損傷治療学実習II(固定法)の授業では、怪我をした部位を一定期間安静にするための固定法を修得します。包帯、テーピング、アルミニウムやプラスチック、伝統的な厚紙など様々な材料から、怪我の部位や症状に応じて材料を選定、加工し患部を固定します。繰り返し練習することで治療効果の高い固定を作製・処方できるようになります。

Department of Judo Therapy and Medical Science

整復医療学科

国民の健康とスポーツ活動を
支えることのできる柔道整復師、
トレーナー、保健体育教員を目指す。

医療機関やスポーツの現場で柔道整復師に求められる高度な知識や臨床技術はもちろん、解剖学や生理学といった基礎医学をはじめとする医療全般の知識を学修します。また、近年海外で柔道整復術の普及活動が活発になっていることを踏まえ、語学力とともに国際的感覚を身に付けることも重視。豊かな教養と高い倫理観を持った医療人を目指します。



授業 PICK UP

01 アスレティックリハビリテーションI

アスリートの競技復帰を支えるリハビリテーション

アスレティックリハビリテーションとは、アスリートが競技に復帰することを目標とするリハビリのこと。当講座では基本的な定義や概念から始まり、部位や能力ごとのエクササイズ、さらには再発予防や関連療法について学びます。柔道整復師の仕事にも役立つ知識と技術を習得できます。



02 運動器損傷の検査・測定法実習II

エビデンスに基づく検査法でケガを正しく評価する

患者さんのケガの状態を正しく評価・判断するために必要な筋力検査や関節可動域の測定方法を習得します。また、超音波診断装置を用いた実習では、筋肉や靭帯を観察しケガの状態を体内の画像から究明できるように練習します。



03 予防とコンディショニングI (アスリートの外傷予防)

競技者の外傷・障害の予防とパフォーマンスを最高に高める

コンディショニングの概念を理解した上で競技者の状態把握と障害発生の予防について実習を通して具体的に学びます。様々な競技種目や競技特性に応じたコンディショニングの立案と実践ができることを目標としています。



04 整復治療学実習I

治療者役と患者役に分かれて実践に即した実技を行う

肩関節脱臼や上腕骨骨折など肩甲骨から上腕部の主な外傷の治療法について実技実習をおこないます。骨折や脱臼の診察方法、骨を正しい位置に戻す方法(整復法)、包帯やギプスによる固定方法を実践的に学びます。



カリキュラム		■必修科目 ■選択科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次	
スポーツ科学	アスレティックトレーニング スポーツ栄養学	コーチング論			
人間の構造と機能	解剖学I 解剖学II 解剖実習(骨学・総合実習) 生理学I 生理学II(生理学実習を含む)	解剖学III(運動器解剖) 生理学III(高齢者・各年齢層) 運動学			
疾病と傷害		病理学総論 外科学概論 リハビリテーション医学 救急医学	病理学各論 一般臨床医学	整形外科学	スポーツ整形外科学
柔道整復術の適応		臨床測定評価学(柔道整復術の適応)			
保健医療福祉と 柔道整復の理念 社会保障制度		整復柔道実技	運動方法・武道(柔道)		柔道整復法規 職業倫理
基礎柔道整復学	整復外傷学総論I(骨損傷) 整復外傷学総論II(関節損傷) 整復外傷学総論III (軟部組織損傷)	運動器損傷治療学総論(外傷の保存療法) アスレティックリハビリテーション論			
臨床柔道整復学		骨損傷I(肩甲骨～上腕) 骨損傷II(前腕～手指) 関節損傷I(上肢) 関節損傷II(下肢と体幹) 軟部組織損傷I(上肢と体幹)	骨損傷III(下肢と体幹) 軟部組織損傷II(下肢)		臨床評価と医用画像の理解 臨床評価と医用画像演習
柔道整復実技	運動器損傷治療学実習I(包帯法) 運動器損傷治療学実習II(固定法)	運動器損傷の検査・測定法実習I(頭部・上肢) 運動器損傷の検査・測定法実習II(体幹・下肢) 運動器損傷治療学実習III(運動療法) 整復治療学実習I(肩甲骨～上腕) 整復治療学実習II(医療面接)	運動器損傷治療学実習IV(物理療法) 整復治療学実習II(前腕～手指) 整復治療学実習III(頭・頸部・体幹) 整復治療学実習IV(下肢)	スポーツ現場の救急処置 予防とコンディショニングI (アスリートの外傷予防) アスレティックリハビリテーションI 整復治療学総合実習II(CBT&OSCE)	02 03 04 01
臨床実習	臨床実習I(スポーツ現場等)	臨床実習II(見学実習)	臨床実習III(臨床評価、臨床技能)		臨床実習IV(総合)
総合	海外整復医療総合実習	4年次 整復医療総合演習I 整復医療総合演習II 整復医療総合演習III 整復医療総合演習IV 卒業研究A 卒業研究B			

整復医療学科 で目指す

柔道整復師

スポーツによる骨、関節、筋肉や靭帯のケガを治療することができる国家資格で、接骨院を開業するために必要な資格です。介護領域においては、機能訓練指導員として働くことや、実務経験5年以上で介護支援専門員(ケアマネージャー)の受験資格を得ることができます。接骨院、整形外科、介護施設などの医療・介護現場での活躍が期待されます。

アスレティックトレーナー

アスリートの健康管理やケガの予防・コンディショニングを担当します。目標に応じてアスレティックトレーナー、ストレンクス&コンディショニングスペシャリスト(CSCS)、トレーニング指導者などの資格を取得できます。柔道整復師とこれらの資格を組み合わせることで、ケガの治療から競技復帰までトータルサポートができるトレーナーを目指します。

保健体育教諭

中学校・高等学校教諭一種免許(保健体育)を取得し、保健体育の教員を目指します。体育やスポーツを通して生徒の健全な心と身体を育み、競技力を高めるための実践的な理論と技術を学びます。学科の特徴を活かし、ケガの予防や対処法を熟知した保健体育教諭・指導者として活躍することが期待されます。

一般企業

大学で学ぶ幅広い教養科目、医療・福祉、体育・スポーツ科学に関する科目を学び、これらの知識や資格を活かして医療・福祉系商社やスポーツに関する一般企業、行政機関等での活躍が期待されます。



救急救命士を育成する。
総合的な実践力を持った
人命に関わる重責を担える
切迫した危機的状況下で、

保健医療学部
救急医療学科
関根 夏鈴
東京都/
日本体育大学桜華高等学校

令和6年度救急救命士国家試験新卒合格率**98.8%**
(全国総合合格率94.4%、全国専門学校・大学新卒合格率94.8%)

救急医療学科

Department of Emergency Medical Science

横浜・健志台キャンパス

学科のポイント

日本体育大学だからこそ実現できる、各種スポーツシーンでの人命救助活動
スポーツには、様々な楽しみ方があります。救急医療学科では、スポーツを理解して支援する喜びとアスリートを助けた感動で学生が成長していきます。

青葉区民まつり

プロスポーツ事業への参画
一般社団法人F・マリノススポーツクラブ
「#命つなぐアクション」
日産スタジアムでライフサポートチームとして、巡回活動を実施!スタジアムの安全・安心に貢献しました。

日体大体育研究発表実演会

校友会のサポート

独立行政法人国立病院機構本部
DMAT事務局と協定を締結

(写真提供 一般社団法人F・マリノススポーツクラブ)

救急医療学科 教員一覧

川上 康彦 木村 直人 鈴木 健介 中澤 真弓 増野 智彦 阿藤 聡 成川 憲司 山田 真史奈 原田 諭

学事顧問(野口 英一/遠山 純司) 名誉顧問(山本 保博) 救急医療特定教授(高藤 祐治)
救急救命専門指導教員(宇田川 美南/小倉 勝弘/齋藤 達/鹿野 信一/藤 雅茂/藤本 賢司/星光長/三橋 正典/宮永 彩加)

※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください。



救急医療、蘇生医療、災害医療を3つの柱として、それぞれ国際的な立場で実践活動・指導できる救急救命士を育成します。
医療人として求められる高い倫理観と崇高な精神を徹底的に教育するとともに、
日本の各分野で活躍中の多数のエキスパートからの特別講義や充実した国家試験対策・就職対策などの
質の高い講義と実践的な実習を行っています。

関根先輩に聞く! Questions for seniors

救急医療学科を選んだ理由は?

救急救命士という職業に憧れがあり、本学の実践的なカリキュラムが豊富な点に魅力を感じました。また、消防、病院、海上保安庁、自衛隊、一般企業など先生方のネットワークが強力な進路に対する選択肢が豊富であり、就職支援にも力を入れているため不安が軽減できるので、自分と向き合う時間を確保できると思い志望しました。

日本体育大学に進学して成長した点は?

医療人としての自覚を再確認することができ、私という人間性の構築に繋がりました。ひとつひとつの言動に責任をもち行動することで、他者との信頼関係の構築に繋がることと社会人になるための心構えができたと思っています。

救急医療学科を選んでよかった点は?

様々な現場で活躍してきた先生方のもとで実践的な訓練に参加したことにより、新しい考え方や見方を得ることができた点です。1年次では、集中講義や野外活動実習、2・3年次では病院実習や救急車同乗実習などで実際の現場に足を運び、将来の視野を広げる機会が設けられています。その結果、広い視点から物事をみることができるようになりました。

将来の目標は?

大学卒業後は、救急救命士として消防機関で働くことが目標です。大学で学んだ実践的な知識や技術を最大限に生かし、救急現場にいる傷病者のみならず同僚にも安心感を与えられるような救急救命士になります。また、教育面で活躍したいという目標もあります。教える立場として、人間性の構築による影響を与えることのできる人材になるよう自分自身も成長していきます。

授業 PICK UP

経験豊富な救急救命士のパイオニアから学ぶことができるのが日体大の救急救命士教育の特色です!

「災害ロジスティクス演習」



災害被災地等を想定して行う実践演習。災害現場の最前線で活躍する経験豊富な講師から直接学び、災害時における情報管理の重要性と技術を学びます。また、単位取得者は、実際の災害支援に派遣され、非常に高く評価されています。



担当教員 鈴木 健介
救命救急センターで働く救急救命士の第一人者。2024年1月1日発生した令和6年能登半島地震では、発災直後より本学生の安否確認などに奔走しながら現場に入り、避難所における支援で活躍。

「救助救命医療学演習」



海上保安庁や自衛隊と包括連携協定を締結しており、救命救助のプロフェッショナルから直接指導を受けることが出来ます。日体大では救急救命士の女性活躍を推進しており、経験豊富な教員が経験を踏まえて指導します。女性も安心してください。



担当教員 中澤 真弓
東京消防庁で20年間勤務し、救急隊員・機関員・隊長として豊富な現場経験を持つ。消防学校の教官としての指導経験もある。女性救急救命士の先駆者。

「国際救急システム実習」



世界一の救命率を誇る米国シアトル市の消防・医療関係者と良好な関係を築いています。2年次の国際救急システム実習ではシアトルで救急医療を学べるほか、シアトルから日本に講師をお招きし、世界最先端の救命技術を直接学ぶことができます。



担当教員 成川 憲司
大学卒業後に米国留学しパラメディックの資格を取得。サンディエゴで救急隊員として勤務。帰国後は、救急医療関係の民間企業勤務経験もあり、世界的に活躍。

「スポーツ救急基礎(救護)&シミュレーション[~Ⅵ]」



1年次から4年次まで、学生がステップアップできる実習です。VR(バーチャルリアリティ)を使って、救急現場の模擬体験をしたり、Sim Captureというシステムで学生の実技修得度を記録、フィードバックし、学生の成長をサポートしています。



担当教員 原田 諭
山口市消防本部で20年間勤務。消防学校教官として消防業務全般の指導、指導救命士として救急救命士の指導的立場で活躍した。VR研究の第一人者として活躍中。

救急医療学科

充実した講義や
演習、実習を通して

理論と感性に秀でた医療人を育成。

国家試験合格に向けて、基礎医学・臨床医学全般の講義及び救急・災害医療の講義や演習だけでなく、全国各地の消防本部での救急車同乗実習や有名臨床指定病院実習などの充実した現場経験と学術的な卒業研究指導を通して、様々な分野で活躍する理論と感性に秀でた医療人を育てます。



WEB版はこちら

授業 PICK UP

01 解剖学Ⅱ、Ⅲ(解剖見学実習を含む)

救急医療の現場に不可欠な人体構造を
肉眼解剖で学ぶ

解剖学は、臨床現場で医療人に求められる専門知識・技術の体得の基礎となります。本学科では人体の構造を3次元的にしっかりと理解するために、肉眼解剖学実習を複数回実施する解剖に重きを置いたカリキュラムになっています。教科書だけでは得られない肉眼解剖とおして生命の神秘を感じ、自己成長につなげます。解剖学Ⅲでは、肉眼解剖の先生から講義も受けられます。



02 スポーツ救急実習Ⅰ～Ⅳ

海、雪山、河川、山岳で実践する
人命救助活動で災害医療に強くなる

1年次は海で仲間との絆を深め、2年次の雪山では、特殊環境での救急活動を経験します。3年次の河川と4年次の山岳は、地域の消防機関との連携により、現役消防官から人命救助技術を習得します。スポーツ救急実習では大自然の雄大さと恐ろしさも学び、どのような環境にも対応できる、災害医療に強い救急救命士を目指します。



03 救急医療総合演習Ⅰ・Ⅱ

救急救命士に必要な知識を
総合的に学ぶ

多くの学生が大学入学後、初めて医療の勉強をスタートします。学生が救急救命士国家試験に自信を持って臨めるように、救急医療総合演習では国家試験と同じ形式の問題に取り組み、様々な科目で習得した知識を確認できます。他にも1年次から参加できる国試対策講座や模試に取り組むことで、卒業までに国家試験合格レベルを目指します。



04 外傷・侵襲学、外科学(総論・各論)

緊迫した外傷現場にも対応できる知識を
経験豊富なエキスパートから学ぶ

重症な怪我を負った傷病者を的確に観察・評価し、必要な処置を迅速に行い、命を救う。病院前救急医療において、外傷対応は最もダイナミックかつ自らの能力が試される場となります。経験豊富な外傷医・外科医でもある教員からの講義とおして、緊迫した現場にも対応できる知識の習得を目指します。



カリキュラム		1年次	2年次	3年次	4年次
救急医療学科専門教育科目	スポーツ救急系	スポーツ救急基礎(救護) スポーツ救急実習Ⅰ(水難救助)	スポーツ救急実習Ⅱ(雪山救助)	スポーツ救急実習Ⅲ(河川救助)	スポーツ救急実習Ⅳ(山岳救助)
	基礎医学系	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ(解剖見学実習を含む) 生理学 病理学 微生物学 養護概説(養護教諭の職務を含む)	解剖学Ⅲ(解剖見学実習を含む) 薬理学 基礎看護学	栄養学(学校給食を含む)	
	救急医学系	救急医学概論 救急処置総論 救助救命医療学演習 多職種・多機関連携演習	内科学Ⅰ(総合内科学・老年病学) 内科学Ⅱ(循環器病学) 内科学Ⅲ(呼吸器病学・腎臓病学・泌尿生殖器病学) 内科学Ⅳ(消化器病学・感染症学) 内科学Ⅴ(神経病学) 内科学Ⅵ(生体防御管理学・血液病学) 救急病態・症候学 救急処置各論 外傷・侵襲学 環境障害・急性中毒学 シミュレーションⅠ シミュレーションⅡ 救急車同乗実習Ⅰ 国際救急システム実習Ⅰ 病院実習Ⅰ 防災減災対策演習 災害医療ロジスティクス演習Ⅰ	外科学総論 外科学各論 整形外科 脳神経外科学 シミュレーションⅢ シミュレーションⅣ 救急搬送論 救急搬送システム実習Ⅱ 病院実習Ⅱ 災害医療ロジスティクス演習Ⅱ 災害医学 危機管理政策論 ヘルスカウンセリング 救急災害臨床統計学(機械学習含む)	小児科学 産科・女性診療学 神経・精神医学 放射線概論 シミュレーションⅤ シミュレーションⅥ 救急医事・医療安全学演習 在宅救急演習 ERシミュレーション 臨床救急医学(症例検討)
	総合			救急医療総合演習Ⅰ 救急医療総合演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	救急医療総合演習Ⅲ 救急医療総合演習Ⅳ 卒業研究Ⅲ 卒業研究Ⅳ
	教職科目			運動方法・武道(柔道)	養護実習(事前事後の指導を含む) 教職実践演習(養護)

病院実習Ⅰ・Ⅱ

本学科は、段階的な教育効果を狙い**病院実習Ⅰ(2年次)**と**病院実習Ⅱ(3年次)**の2年で行い、学生の精神面も配慮した**独自の病院実習体制**を構築しています。病院実習Ⅰでは**初期・二次救急医療機関**、病院実習Ⅱでは**三次救急医療機関(救命救急センター)**で実習を実施しています。

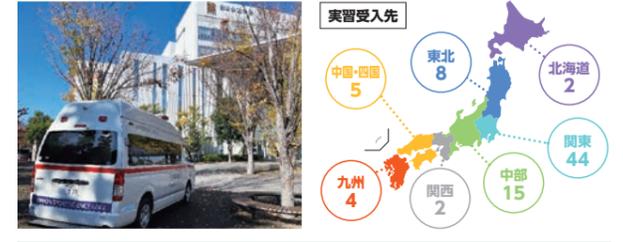
【病院実習Ⅰ(90時間)】 軽症～入院治療が必要な傷病者が搬送される医療機関 【提携医療機関数】 23施設 【実習時間】 合計40時間(5日間)
【病院実習Ⅱ(360時間)】 最重症(高度な医療が必要)な傷病者が搬送される医療機関 【提携医療機関数】 29施設 【実習時間】 合計300時間

救急救命士法の改正にも対応し、医療機関就職希望者に必要な講義や実習も行っています。



救急車同乗実習Ⅰ・Ⅱ / 救助救命医療学演習

東京都内、神奈川県内だけでなく、**学生の故郷**を含む全国各地の消防機関へ出向き、救急出動を現場目線で学習します。また、学内では**自走可能な救急車を用いた臨地実習**の実施や、1年次からは**海上保安庁や自衛隊施設での実習**も行い、幅広い救急救命士の活動をより近くで学習します。



【海上保安庁・自衛隊との包括連携協定の締結】
2020年に海上保安庁第三管区海上保安本部、2021年に自衛隊神奈川地方協力本部と包括連携協定を締結しました。学生が消防機関での救急活動だけでなく、**国難災害や海難救助における救急活動**についても、見識を深めることができる貴重な機会となっています。



*提携医療機関数、実習受入先は2024年度実績となります。



高度な学術研究により真理を探究し
身体にまつわる文化と科学の発展に貢献する。

Graduate School

大学院

大学院概要

日本体育大学大学院は、体育及びスポーツ、教科教育並びに保健医療に関する高度の学術研究により、その深奥をきわめ、学術の応用に貢献して競技力向上、教科教育の実践並びに保健医療に関する研究を推進するとともに、高度な学識と研究能力を持った専門家の養成と、社会の多様な分野で活躍し得る人間の育成を目標とし、スポーツ科学・文化の進展、新たな教科教育学の構築並びに保健医療の推進と人類の友好・親善に貢献することを目的としています。



様々な測定機材があり、最先端の研究を可能としている。



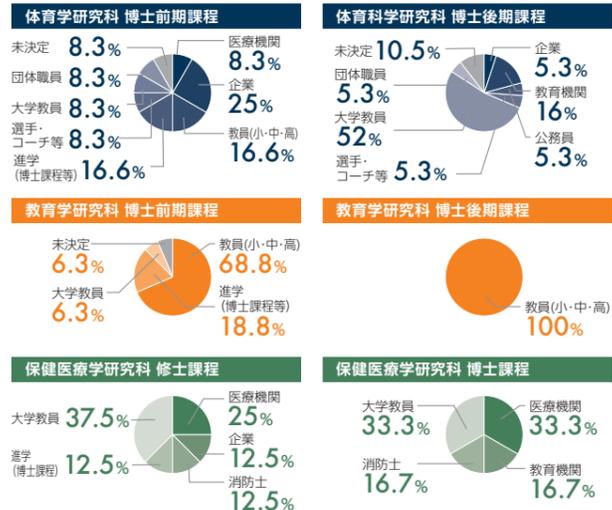
図書館所蔵の貴重書
[Physiologie du gout] [拳會角力圖會] [Annals of sporting]
[Petrus Montis de dignoscendis hominibus]

学術文化の 更なる発展のために

各研究科の定員

体育学研究科 体育学専攻	入学定員 前期:37名 後期:9名	博士(前・後期)課程
教育学研究科 実践教科教育学専攻	入学定員 前期:20名 後期:5名	博士(前・後期)課程
保健医療学研究科 保健医療学専攻	入学定員 8名	修士課程
保健医療学研究科 運動器柔道整復学専攻	入学定員 2名	博士課程
保健医療学研究科 救急災害医療学専攻	入学定員 2名	博士課程

進路統計



研究科の構成

		体育学研究科		教育学研究科	保健医療学研究科		
		体育学専攻	体育学専攻	実践教科教育学専攻	保健医療学専攻	運動器柔道整復学専攻	救急災害医療学専攻
修業年限	博士前期課程	2年	2年	2年	2年	3年	3年
	博士後期課程	3年	3年	3年			
学位について	博士前期課程	修士(体育科学) 修士(コーチング科学)	修士(体育実践学) 修士(コーチング実践学)	修士(教育学)	修士(柔道整復学)	博士(柔道整復学)	
	博士後期課程	博士(体育科学) 博士(コーチング科学)	博士(教育学)	博士(教育学)	修士(救急災害医療学)	博士(救急災害医療学)	

大学院研究科長代表挨拶



大学院研究科長代表
関根 正美
Sekine Masami

多くの人にとって大学院の存在は謎めいていると思います。大学院とは何をすることでしょか?それは研究をするところです。研究とは、問題の解答を考えるよりも、まずは問題を発見するところなのです。本学の大学院では、設置されている3研究科の前期・後期課程併せて200名を超える大学院生が体育スポーツ・教育・保健医療にまつわる謎を日夜追いかけています。体育スポーツに潜んでいる謎を自分の力で(教員の指導のもとに)発見し、解き明かしていく場が本学の大学院です。

本学の大学院は建学の精神に基づいて、各研究科で基礎研究と実践研究を高い水準で行っています。これまで大学院の教員と大学院生の研究から多くの成果を学術の世界、体育やスポーツの現場に送り出してきました。そしてこれからも、広く社会と体育スポーツ・教育・保健医療の現場のために研究を深化させていきます。キャンパスには数千に及ぶ体育スポーツの学生が集い、研究棟には最新の研究設備がそろい、図書館には貴重な文献資料が多くあります。このような環境から、私たちは体育学・教育学・保健医療学の研究を志す人を待っています。

山瀬先輩に聞く! Questions for seniors

この研究科・専攻を志望した理由は?

私は、学部時代に女子部活動でトレーニングコーチとして活動する中で選手から月経に関する相談を受ける機会が多かったです。しかし、その相談に対して自信を持って回答することができず、女性アスリートが抱える月経をはじめとする女性特有の問題を学び、女性アスリートが競技に集中できるようサポートしたいと考えました。そのため、生理学およびトレーニング科学的な専門性を深める必要があると感じ進学を決めました。

大学院に進学して成長した点は?

自分自身を分析できるようになったことだと感じています。大学院では自分が成長するために自分自身の足りない点や改善すべき点に気づき、何が必要かを考え、どう行動を起こすべきかを考えるようになりました。これは、研究活動を行う中で、多くの人とコミュニケーションをとり得られたことであり、さらに、自分自身を客観的に分析できるようになったからだと考えます。

この研究科・専攻に進んでよかった点は?

目的とする課題に対してすぐに答えを求めるのではなく、何が問題で何が必要なのかを深く細かく捉えることの重要性に気づけた点です。課題に対する一つの要因を洗い出すことは、研究を進める中で飛躍した答えを出さないために重要なことであると考えます。また、先輩方、先生方にご指導いただくことで恵まれた環境に身を置いていることを実感し、自分自身の研究を深めたいという意欲につながっています。

将来の目標は?

大学院では、科学的な視点から多くの課題を考え、そのような経験を将来、選手のトレーニングおよびコンディショニングのサポートに活かしていきたいと考えています。現在、私は「女性アスリート」「月経」「パフォーマンス」をキーワードに研究を行っており、日本体育大学という恵まれた環境でトップアスリートに対するサポートを学んでいます。具体的な目標はまだ定まっておきませんが、これらの経験を活かした指導者になりたいと考えています。

体育学研究科
体育学専攻
山瀬 花
神奈川県/
茅ヶ崎高等学校

体育学研究科

体育学専攻

体育学研究科 体育学専攻

専攻の目的

体育及びスポーツに関する高度の学術研究により、その深奥をきわめ、学術の応用へ貢献して競技力向上に関する研究を推進するとともに、高度な学識と研究能力を持った専門家の養成と、社会の多様な分野で活躍し得る人間の育成を目標とし、スポーツ文化の進展と人類の友好親善に貢献することを目的としています。

教育研究組織

	学位プログラム	コース		学位
博士前期課程	体育科学	体育スポーツ文化社会学 トレーニング科学 身体教育・健康教育	スポーツマネジメント 健康スポーツ医科学	「研究学位」修士(体育科学)
	体育実践学	スポーツマネジメント	身体教育・健康教育	「専門学位」修士(体育実践学)
	コーチング科学			「研究学位」修士(コーチング科学)
	コーチング実践学			「専門学位」修士(コーチング実践学)
博士後期課程	体育科学	体育スポーツ文化社会学 健康スポーツ医科学	トレーニング科学 身体教育・健康教育	博士(体育科学)
	コーチング科学			博士(コーチング科学)

資格について

博士前期 中学校教諭専修免許状(保健体育)、高等学校教諭専修免許状(保健体育)、養護教諭専修免許状が取得可能です。
なお、取得にあたっては一種免許状を取得していることが条件となります。

体育学研究科 教員一覧

青柳 徹 石井 隆憲 池田 祐介 市川 優一郎 伊藤 雅充 岩原 文彦 内山 治樹 荻 浩三 大石 健二 大塚 光雄
 大本 洋嗣 岡田 隆 岡田 美穂 岡本 孝信 岡本 美和子 奥田 拓史 梶 規子 菊池 直樹 城所 哲宏 木村 直人
 小泉 和史 河野 徳良 小林 史明 小林 正利 齋藤 一雄 齋藤 隆志 齋藤 義信 佐野 昌行 佐良土 茂樹 三瓶 舞紀子
 鹿野 晶子 白旗 和也 杉田 正明 鈴川 一宏 須永 美歌子 関根 正美 高井 秀明 田中 良 田村 優樹 津田 博子
 津山 薫 寺岡 英晋 中里 浩一 南部 さおり 西山 哲成 根本 研 野井 真吾 畠田 好章 波多腰 克晃 日比野 幹生
 黄 仁官 福井 元 三村 寛 三宅 良輔 山口 和之 山本 洋祐 横田 匡俊 依田 充代 梁 凌詩 Nancy



※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください <https://www.nittai.ac.jp/gakubu/kyoin/>

Graduate School

学位論文執筆における実践的な能力を身に付ける

「研究報告演習」

体育スポーツ科学分野における研究遂行能力および問題解決能力を習得

学位論文(修士および博士論文)に関連する研究の進捗状況を発表することにより、プレゼンテーション技術、研究遂行能力および問題解決能力の習得を目指します。また、体育スポーツ科学分野全般に渡る基礎から実践に渡る研究報告に接し、体育スポーツ科学に関する幅広い実践的能力や専門的教養を身に付けます。



アクティブラーニングで学ぶ

「コーチング学演習Ⅰ」

コミュニケーションスキルを含むコーチング能力向上を目指す

コーチング学演習では、効果的なコーチングに求められる思考・判断のスキルやコミュニケーションスキル等を、アクティブラーニングを通して学びます。具体的には、さまざまなケースをもとに問題解決型学習をおこなったり、クラス内での模擬コーチング等を通してスキルを向上させます。



実習形式でデータの取得方法・解釈・限界を学ぶ

「健康スポーツ医科学研究法」

健康スポーツ医科学研究の様々な方法について学ぶ

健康スポーツ医科学分野の様々な測定機器(MRI、超音波画像診断、血管柔軟性、呼気ガス分析、二重X線吸収測定など)におけるデータの取得方法・解釈・限界などに関して、実際の測定を行いながら実習形式で講義を展開します。同時に測定データから推察されることについて議論を行い、健康スポーツ医科学研究における実践力を身に付けることを目指します。



論文執筆のための方法論を学ぶ

「特別研究指導ⅠⅡⅢ」

博士学位論文の作成に必要な能力を身につける

論文作成のために、各学生のテーマに沿った文献の選択、先行研究の検討とレビュー、調査や分析の方法を学び、発表内容について討論を行います。問題意識を形成し、論文執筆のための方法論を学んでいくことによって学会発表や投稿論文の内容と検討を行い、学位論文の完成を目指します。



学費と研究活動の支援について

- 学費** ・入学金:300,000円 ※本学出身者は半額・授業料:738,000円(年間)・その他(健康管理費、学生会費、同窓会準会員費)
- 奨学生制度** 研究業績が優秀な者、国際大会における競技成績が優秀かつ研究意欲が高い者のうちから特別奨学生として指定された場合は学費の全額または一部免除となる制度あり。
- 研究支援** 大学院生用自習室あり。
- 海外学会発表補助** 国際的な会議等に参加して研究論文等の発表を行う場合に、必要な費用の一部を補助しています。
- 研究活動奨励費** 博士後期課程の院生を対象とした研究における金銭面の補助を行います(公募制)。

学費について詳しくは





教育学研究科・体育
佐藤 実優
神奈川県／
聖ドミニコ学園
中学高等学校

佐藤先輩に聞く! Questions for seniors

この研究科・専攻を志望した理由は?

より専門的な教育に関する知識や指導力を身に付けたいと考えたからです。私は、大学時代に経験した教育実習や教育関係のボランティア活動から、自分自身の教育に関する知識や指導力の未熟さを痛感しました。子どもたち1人1人に最適な学びを提供するため、現代の教育について研究し、自らのスキルを培った上で小学校教諭になりたいと考えたことから、教育学研究科を志望いたしました。

大学院に進学して成長した点は?

自ら学び続ける姿勢です。各地で開催されている学会や研究授業、イベントに参加し、児童の個性や能力を尊重した教育の実現のため、これまで以上に子どもや教育、小学校の教科について、自ら積極的に考え、学ぶようになりました。今後も、著しく成長する子どもたちのより良い教育について、探求し続けていきたいです。

この研究科・専攻に進んでよかった点は?

大学院の講義で小学校の各教科の本質をより深く学び、考えることができるという点です。各教科の固有性や存在意義、その教科で育成する人間性などをより深く習得できるだけでなく、受講している方々と考えを共有でき、新たな視点を得られる環境がとても学びになります。また、教育学研究科で学んだ知識や指導方法を小学校の授業で実践できることから、より質の高い教育についてじっくり探求できることに感謝しています。

将来の目標は?

私の目標は、教育について探求し続ける小学校教諭であることです。大学院の先生方を始め、多くの方から学ばせて頂ける教育学研究科の環境を活かしつつ、これからの時代を担う子どもたちのかけがえのない一瞬一瞬を、より良いものにするため、現状に満足せず、教育に関する知識や実践的指導力を身に付け、今後も成長し続けていきたいです。

教育学研究科

実践教科教育学専攻

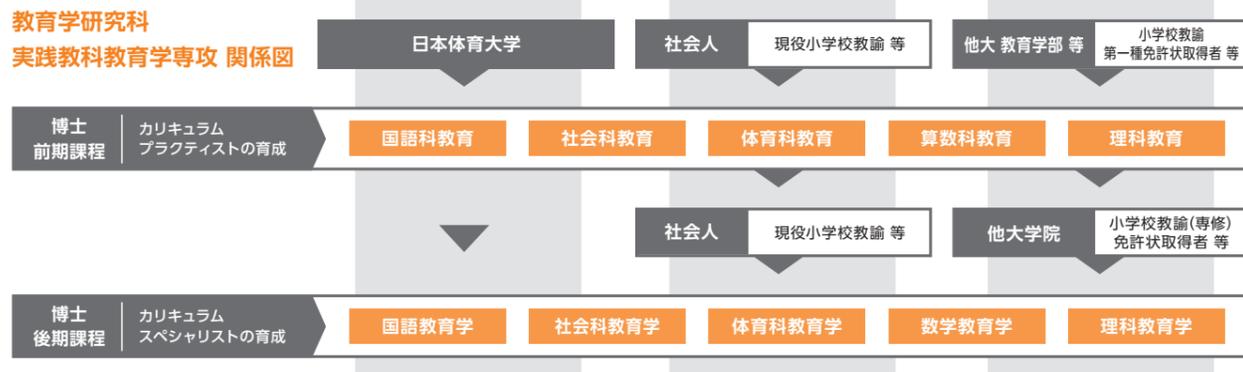
教育学研究科 実践教科教育学専攻

専攻の目的

教科教育に関する高度の学術研究により、その深奥をきわめ、学術の応用に貢献して実践的な教育力及び学び続ける教師に関する研究を推進するとともに、絶えることなく授業改善を行う教師の養成を目標とし、教科の共通性を基底に各教科の固有性を保持する新しい教科教育学の構築と人類の友好・親善に貢献することを目的としています。

教育学研究科

実践教科教育学専攻 関係図



資格について

博士前期 小学校教諭専修免許状が取得可能です。なお、取得にあたっては一種免許状を取得していることが条件となります。

教育学研究科 教員一覧

稲田 結美 近藤 智晴 白旗 和也 杉本 直美 鈴木 康介 田口 紘子 村田 翔吾

※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください <https://www.nittai.ac.jp/gakubu/kyoin/>



Graduate School

「基盤科目・共通科目」

(教科教育特論・教科学習指導論 等)



実践教科教育学専攻
博士前期課程
清水 来洲

授業を通して各教科の特性や本質を学ぶことができました。他教科と比較し、各教科の固有性について考えることでその教科の特性や学ぶべき内容、育成可能な人間性について考え直すことができたと同時に、各教科の必要性を強く感じることができました。また、授業内でのグループディスカッションを通して個々の視点や経験を共有することで自分の意見を考え直すことや、新たな視点を得ることができ、より理解を深めることができました。

「研究発表会」

前期課程1年目の6月に行われる研究計画発表会では、研究テーマや研究計画について、そして12月に行われる研究発表会では、研究の進捗状況や今後の計画について発表します。これらの発表会の最大の特徴は、様々な教科から構成される教育学研究科の先生方から助言をいただけることだと感じています。こうした助言は、自らの研究内容を批判的に捉えることや、論理構成に一貫性があるかの問い直しに繋がり、研究をより確実で意義のあるものにしていくことができます。



実践教科教育学専攻
博士前期課程
良田 直優

「研究指導」

実践教科教育学専攻 博士前期課程
北澤 陽奈子



私のゼミでは、子どもたちに運動の楽しさを伝えるための工夫について考えています。また、先生や同じ専攻の学生と共に、体育科教育学に関する専門知識を深め、研究能力の向上を目指す場でもあります。さらに、研究の計画や実践、論文の執筆を通じて、自らのアイデアを発展させ、学術的な視点から問題を掘り下げています。そして、プレゼンテーションやディスカッションを通じて、仲間からフィードバックを受け取り、自らの考えを磨いています。

「教育現場での活動」(非常勤講師)

実践教科教育学専攻 博士前期課程
元川 淳也



私は、この研究科で実践的な教科教育を専門に学びながら、小学校の非常勤講師として学校現場で働いています。この二つの立場を通じて、理論と実践の両面から教育を深く理解することにつながっていると感じます。現場では、児童が直面する課題を理解し、それに応じた指導方法や教材の工夫について研究科での学びをもとに考えることで、より効果的で、児童が楽しいと思えるような授業を展開できるように自己研鑽に努めています。こうした学びと実践を両立できるのは、この研究科のカリキュラムの大きな特徴でありメリットだと思っています。

学費と研究活動の支援について

- 学費** ・入学金:300,000円 ※本学出身者は半額 ・授業料:800,000円(年間) ・その他(健康管理費、学生会費、同窓会準会員費)
- 学費減免制度** 本学独自の制度として、教育学研究科在学中で現職の小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭は、授業料のうち10万円が免除されます。
- 研究支援** 大学院生用自習室あり。定められた研究活動経費内で、研究指導教員の指導のもと研究活動にかかる費用を支援しています。
- その他** 厚生労働省の教育訓練給付制度(一般教育訓練)の対象講座となっています。

学費について詳しくは





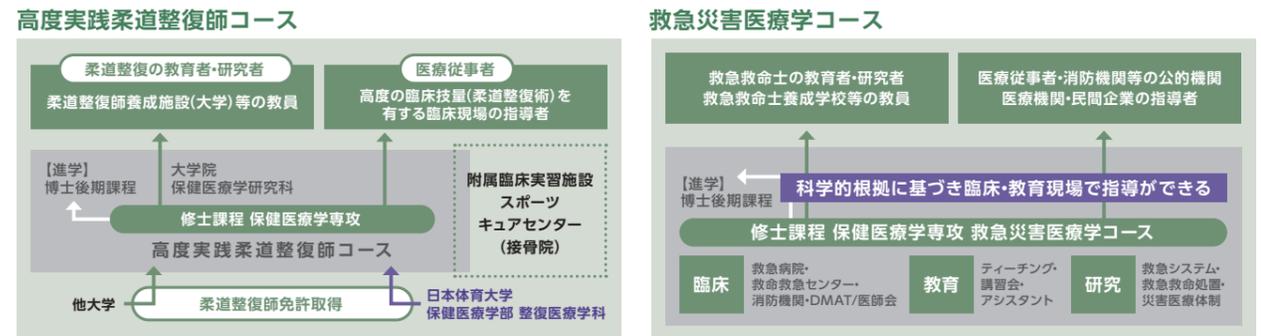
保健医療学研究科
運動器柔道整復学専攻
祈答院 隼人
福岡県／宗像高等学校

保健医療学研究科

保健医療学専攻(修士)・運動器柔道整復学専攻(博士)・救急災害医療学専攻(博士)

保健医療学研究科 保健医療学専攻(修士)

専攻の目的 現代医学に精通し、施術所での問題解決能力や安全管理能力、コミュニケーション能力に優れ、科学的根拠に基づく高度の臨床技量を有する臨床現場の指導者や柔道整復の教育者・研究者と、高度な医学知識に基づく臨床能力を有し、病院前救急救命処置と災害医療分野の研究・教育を実践できる人材を育成します。



保健医療学研究科 運動器柔道整復学専攻(博士)

専攻の目的 運動器柔道整復学専攻は、柔道整復に関する高度の学術研究により、その深奥をきわめ、学術の応用貢献して柔道整復領域の臨床研究を推進するとともに、柔道整復師の社会的役割を創造し、運動器疾患に対する柔道整復術や予防、運動器の抗老化(アンチエイジング)に取り組み、健康寿命の延長を図る人材の養成を目標とし、柔道整復領域の学術的基盤の構築と人類の友好・親善に貢献することを目的とします。

保健医療学研究科 救急災害医療学専攻(博士)

専攻の目的 救急災害医療分野における学術研究により、スポーツ救急や災害医療システム構築などの臨床・教育現場における研究を推進するとともに、アクティブラーニングの実践を通して、地域社会に還元できる人材育成を目標とし、救急災害医療学の発展と人類の友好・親善に貢献することを目的とします。

保健医療学研究科 教員一覧

- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 伊藤 謙 | 稲川 郁子 | 岡田 隆 | 上倉 将太 | 川上 康彦 | 久保山 和彦 | 鴻崎 香里奈 | 小嶋 新太 | 小林 正利 | 小林 喜之 |
| 小山 浩司 | 白石 聖 | 鈴木 健介 | 中里 浩一 | 中澤 真弓 | 成川 恵司 | 橋本 俊彦 | 橋本 典生 | 原田 諭 | 服部 辰広 |
| 樋口 毅史 | 平沼 憲治 | 増野 智彦 | 松田 康宏 | 山田 真史奈 | 渡邊 学 | | | | |

※各教員のプロフィール、担当科目はホームページをご覧ください <https://www.nittai.ac.jp/gakubu/kyoin/>



祈答院先輩に聞く! Questions for seniors

この研究科・専攻を志望した理由は?

学部生の頃から研究に触れる機会を通じ、特にアスリートのコンディショニングについて深い関心を持つようになりました。社会人として臨床現場で得た経験をさらに深めるため、より専門的かつ実践的な知識を深める必要性を感じ、それを満たす充実した研究環境と指導体制が整う本大学院を志望しました。理論と臨床を架橋し、多くのアスリートに貢献する道を切り拓きたいと考えています。

大学院に進学して成長した点は?

研究活動を通じて、文献の批判的読解力やデータを多角的に分析する能力が、徐々に身に付いていると感じています。単に知識を蓄えるだけでなく、「より良い問い」を見つける力が養われ、研究を体系的に進めることができるようになってきました。また、プレゼンテーションや学会発表を通じて「人に伝える力」が身につく、エビデンスをもとに課題を突き詰める姿勢が行動の基盤となっています。社会人としても、理論と実践を結び付ける視点が明確になりました。

この研究科・専攻に進んでよかった点は?

充実した研究設備と綿密な指導により、日々新たな学びを得ることができる点は大きな魅力です。疑問が浮かんだ際は、指導教員や先輩方と活発に意見交換ができ、研究を進める上で強力な支えになっています。さらに、多様な経験を持つ院生との交流を通じて、知識や視点を共有できる環境が整っており、学術的探究心を刺激し合うことが可能です。社会人としても、論理的思考やエビデンス重視の姿勢が一段と強化できています。

将来の目標は?

研究者として柔道整復学の発展に微力ながら貢献しつつ、次世代の人材育成にも携わりたいと考えています。特にアスリートの外傷予防に関する研究を推進し、その成果を臨床現場や教育活動へ還元していきます。常に学び続ける姿勢を忘れず、理論と実践の両面で専門性を高め、アスリートだけでなく、すべての人の生活をサポートできる柔道整復師として精進していきたいと考えています。

数学が苦手でも学びやすい

「医療統計学特論」 データリテラシーおよびデータサイエンスの向上を目指します。

統計学は、難しいというイメージで苦手意識を持たれやすいですが、本講義では、数式の利用を最小限にしています。その為、数学が苦手な方でも学びやすい内容になっています。具体的には1.データリテラシーの基礎となる統計学の知識、データを読む力、データ分析ツールを活用した分析を学びます。2.統計における「偽りの有意性」を作り出すリスクについても学ぶことで、信憑性の高い情報を見分ける力を養います。3.最新の統計手法を常にキャッチアップする方法を理解します。



議論を通じて研究上の問題意識を創造する

「整復医療実践治療学特論」

担当教員の基で専門的な研究視点を研く

現代医療における医学知識に基づいて、治療や施術などの根拠を理解した上で、保健や医療などの患者や医療人などを取り巻く慣習や制度に視野を広げて学修します。自身が考えた実践の場における課題や問題点を挙げて、他者との議論を通じて研究上の問題意識を創造する科目です。



研究手法や倫理的配慮など研究能力を身につける

「救急災害医療学特講」

救急・災害医学に関する最新の知識及び社会情勢を学び、自立した研究活動能力を養う

防災・減災対策や、救急救命処置に関する最新の知見を学び、検索した論文をPICO/PECOでまとめながらディスカッションを行い、研究手法や倫理的配慮など研究能力を身につけることを目指します。

「米国King County Medic Oneにて救急車同乗実習」

救急医療の世界一と言われている米国シアトルのKing County Medic Oneにて救急車同乗実習を行います。救急蘇生医学演習(博士前期課程)及び国際救急・災害システム演習(博士後期課程)実施しています。King Countyに所属する全Paramedicが、継続教育の一環として参加するTuesday Seriesに参加し、またドクターヘリのモデルとなったAir Liftの視察等を通して、日本の救急医療体制との違いをディスカッションします。



学費と研究活動の支援について

- 学費** ・入学金:300,000円 ※本学出身者は半額 ・授業料:800,000円(年間) ・その他(健康管理費、学生会費、同窓会準会費)
- 研究支援** 大学院生用自習室あり。定められた研究活動経費内で、研究指導教員の指導のもと研究活動にかかる費用を支援しています。
- その他** 厚生労働省の教育訓練給付制度(一般教育訓練)の対象講座となっています。

学費について詳しくは



そして、 栄光は続く。

OLYMPIC
PARALYMPIC × NSSU

ギリシャ・アテネで第1回の近代オリンピック大会が開催される2年前、1894(明治27)年に結成された国際オリンピック委員会(IOC)。その3年前、1891(明治24)年に設立された、本学の源流である「体育会」(翌年「日本体育会」に改称)。ほぼ同じ時代を歩んできた日本体育大学と近代オリンピックはこれまでも、これからも、時に協力しながらスポーツの振興に貢献していきます。

●1896年/第1回アテネ大会(ギリシャ)。日本体育会(現・日本体育大学)は、体育の奨励・推進の観点からいち早くオリンピックに注目。日本体育会機関紙「文武叢誌」(第29、30号)で紹介。

●1900年/日本体育会監事・山根正次が第2回国際体育会議に日本を代表する体育団体のメンバーとして出席。

1905年には、日本のオリンピック初参加に向けて委員会を設けるよう、ギリシャ皇太子が書簡で山根正次に要請。

●1909年/日本体育会会員(後に顧問、大日本体育協会初代会長)の嘉納治五郎がIOC委員に就任。

第5回ストックホルム大会(スウェーデン)への日本選手の参加をIOCから要請され、日本体育会会長・加納久宜に出席選手を選出・派遣するための組織づくりを依頼。

●1912年/第5回ストックホルム大会(スウェーデン)。日本がオリンピックに初参加。

●1928年/第9回アムステルダム大会(オランダ)。日本体育会体操学校(現・日本体育大学)出身生として初めて中澤米太郎が出場し、棒高跳びで6位入賞(記録3.90m)。開会式では日本選手団の旗手も務めた。

●1964年/第18回東京大会(日本)。日本体育大学は全学的な協力体制を実現。ボランティアとして大会運営をサポートするほか、オリンピック前に開催されたオリンピック東京大会横浜フェスティバルの模範演技に出演。オリンピック・ムーブメントの盛り上げに大きな役割を果たす。以降、

日本体育大学はトップアスリート育成を強化。優れた選手、指導者を多数輩出。

●2014年/「日体大アスリートサポートシステム(Nittaidai Athlete Support System: NASS)」開始。日体大が蓄積してきた技術力向上の知見を集結した「日体大アスリートサポートシステム」により、世界で活躍できる選手を多く輩出・育成するための学生アスリート支援を行う。

スポーツ関係者の交流を促進する国際的な中核拠点として、文部科学省「スポーツ・アカデミー形成支援事業」の委託先大学に決定。

●2015年/日体大の附置機関の研究所として「オリンピックスポーツ文化研究所」設置。幅広い視点からのオリンピック研究を展開。

●2016年/国際オリンピック委員会のトーマス・バッハ会長に日本体育大学名誉博士称号(第11号)授与。授与式には竹田恒和(日本オリンピック委員会会長)、森喜朗(東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長)が出席。東京・世田谷キャンパスに記念のオリーブを植樹。

日体大に関係のあるオ

リンピアンが集い、「日本体育大学オリンピアンズクラブ」設置。

●2021年/2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、教授、学生が医療スタッフ、ボランティアとして協力。

●2022年/2022年北京オリンピック・パラリンピック競技大会。日体大から学生、卒業生8名が選手として出場。

●2024年/2024年パリオリンピック・パラリンピック競技大会。日体大から学生、卒業生48名が選手として出場。

SILVER
MEDAL

- 2024年(パリ)
- 阿部 詩(柔道・混合団体)
 - 阿部 一二三(柔道・混合団体)
- 2024年(パリパラリンピック)
- 窪田 幸太(競泳・100m背泳ぎS8)
 - 福永 凌太(陸上・400mT13)
- 2022年(北京)
- 高木 美帆(スケート・500m)(スケート・1500m)(スケート・チームパシュート)

- 本橋 麻里(カーリング)
- 2016年(リオデジャネイロ)
- 白井 健三(体操・跳馬)
 - 箱山 愛香(水泳・シンクロ(チーム))
- 2016年(リオデジャネイロパラリンピック)
- 辻 沙絵(陸上400m(T47))
- 2012年(ロンドン)
- 早川 漣(アーチェリー・団体)
 - 松本 隆太郎(レスリング・グレコローマン60kg級)
- 2008年(北京)
- 北島 康介(競泳・4×100mメドレーリレー)
 - 谷 亮子(柔道・48kg級)
 - 中村 礼子(競泳・200m背泳ぎ)
- 2004年(アテネ)
- 北島 康介(競泳・4×100mメドレーリレー)

- 2024年(パリ)
- 東 晟良(フェンシング・団体フルーレ)
- 2024年(パリパラリンピック)
- 富田 宇宙(競泳・400m自由形・100mバタフライS11)
 - 梶原 大暉(バドミントン・ダブルスWH2)
- 2020年(東京)
- 村上 菜愛(体操・ゆか)
 - 屋比久 翔平(レスリング・グレコローマンスタイル77kg級)
 - 河田 悠希(アーチェリー・団体)
- 2020年(東京パラリンピック)
- 梶原 大暉(バドミントン・ダブルス(車いす))
 - 富田 宇宙(競泳・200m個人メドレーSM11)
- 2018年(平昌)
- 高木 美帆(スケート・1000m)
 - 高梨 沙羅(スキー・スキージャンプノーマルヒル)

BRONZE
MEDAL

1/4が日体大!

オリンピックにおける
日本メダル獲得数の

メダル獲得数と選手

1952年のヘルシンキ(第15回オリンピック夏季競技大会)以来、日体大関係者は1980年のモスクワを除いてすべての夏季競技大会でメダルを獲得してきました。冬季競技大会を含めると総数は153個を数えます。これは、日本人がこれまでに獲得した総メダル数の約25%を占めます。

GOLD
MEDAL

- 2018年(平昌)
- 高木 美帆(スケート・チームパシュート)
- 2016年(リオデジャネイロ)
- 白井 健三(体操・団体)
 - 内村 航平(体操・団体)(体操・個人総合)
 - 山室 光史(体操・団体)
- 2012年(ロンドン)
- 内村 航平(体操・個人総合)
- 2008年(北京)
- 北島 康介(競泳・100m平泳ぎ)(競泳・200m平泳ぎ)

- 2020年(東京)
- 阿部 詩(柔道・混合団体)
 - 阿部 一二三(柔道・混合団体)
 - 文田 健一郎(レスリング・グレコローマンスタイル60kg級)
- 2020年(東京パラリンピック)
- 赤石 竜我(車いすバスケットボール)
 - 高杉 義伸(車いすバスケットボール)
- 2018年(平昌)
- 高木 美帆(スケート・1500m)
- 2016年(リオデジャネイロ)
- 樋口 黎(レスリング・フリー57kg級)
 - 太田 忍(レスリング・グレコローマン59kg級)
- 2016年(リオデジャネイロパラリンピック)
- 田中 まい(自転車競技(パイロット)・タンデム個人ロードタイムトライアル(視覚障害))
- 2012年(ロンドン)
- 内村 航平(体操・団体)(体操・ゆか)
 - 山室 光史(体操・団体)
 - 北島 康介(競泳・4×100mメドレーリレー)
 - 近賀 ゆかり(サッカー)
 - 丸山 桂里奈(サッカー)
 - 川澄 奈穂美(サッカー)

- 小林 雅英(野球(投手))
 - 高山 樹里(ソフトボール(投手))
 - 田南部 カ(レスリング・フリー55kg級)
 - 中村 礼子(競泳・200m背泳ぎ)
- 1996年(アトランタ)
- 有森 裕子(陸上・マラソン)
 - 太田 拓弥(レスリング・フリー74kg級)
- 1992年(バルセロナ)
- 相原 豊(体操・団体)
 - 池谷 幸雄(体操・団体)
 - 畠田 好章(体操・団体)
- 1988年(ソウル)
- 小西 裕之(体操・団体)
 - 山田 隆弘(体操・団体)
 - 山本 洋祐(柔道・65kg級)

- 藤本 素子(ソフトボール(内野手))
- 2004年(アテネ)
- 北島 康介(競泳・100m平泳ぎ)(競泳・200m平泳ぎ)
 - 谷 亮子(柔道・48kg級)
 - 水鳥 寿忠(体操・団体)
- 2000年(シドニー)
- 田村 亮子(柔道・48kg級)
- 1992年(バルセロナ)
- 古賀 稔彦(柔道・71kg級)
- 1988年(ソウル)
- 佐藤 満(レスリング・フリー52kg級)
- 1984年(ロサンゼルス)
- 具志堅 幸司(体操・個人総合)(体操・吊輪)
 - 森末 慎二(体操・鉄棒)
- 1976年(モントリオール)
- 監物 永三(体操・団体)
 - 高田 裕司(レスリング・フリー52kg級)
 - 塚原 光男(体操・鉄棒)(体操・団体)

- 2008年(北京)
- 内村 航平(体操・個人総合)(体操・団体)
 - 沖口 誠(体操・団体)
 - 中瀬 卓也(体操・団体)
 - 松永 共広(レスリング・フリー55kg級)
 - 湯元 健一(レスリング・フリー60kg級)
- 2004年(アテネ)
- 藤丸 真世(水泳・シンクロ(チーム))
 - 山本 博(アーチェリー・個人)
- 2000年(シドニー)
- 高山 樹里(ソフトボール(投手))
 - 田島 寧子(競泳・400m個人メドレー)
 - 永田 克彦(レスリング・グレコローマン69kg級)
- 1996年(アトランタ)
- 古賀 稔彦(柔道・78kg級)
 - 中村 大伸(野球(外野手))
- 1992年(バルセロナ)
- 有森 裕子(陸上・マラソン)
 - 池谷 幸雄(体操・ゆか)
- 1984年(ロサンゼルス)
- 梶谷 信之(体操・平行棒)
 - 具志堅 幸司(体操・跳馬)
 - 長島 偉之(レスリング・フリー82kg級)

- 1984年(ロサンゼルス)
- 山本 博(アーチェリー・個人)
 - 小高 正宏(ウエイトリフティング・56kg級)
 - 砂岡 良治(ウエイトリフティング・82.5kg級)
 - 梶谷 信之(体操・団体)
 - 森末 慎二(体操・団体)
 - 外村 康二(体操・団体)
 - 具志堅 幸司(体操・団体)(体操・鉄棒)
 - 外村 康二(体操・ゆか)
 - 高田 裕司(レスリング・フリー52kg級)
- 1976年(モントリオール)
- 塚原 光男(体操・個人総合)(体操・平行棒)
- 1972年(ミュンヘン)
- 監物 永三(体操・平行棒)(体操・あん馬)
 - 塚原 光男(体操・吊輪)

- 2024年(パリ)
- 藤波 朱理(レスリング・フリー53kg級)
 - 文田 健一郎(レスリング・グレコローマン60kg級)
 - 日下 尚(レスリング・グレコローマン77kg級)
 - 樋口 黎(レスリング・フリー57kg級)
 - 清岡 幸太郎(レスリング・フリー65kg級)
 - 阿部 一二三(柔道・66kg級)
- 2024年(パリパラリンピック)
- 梶原 大暉(バドミントン・シングルスWH2)
- 2022年(北京)
- 高木 美帆(スケート・1000m)
- 2020年(東京)
- 入江 聖奈(ボクシング・フェザー級)
 - 阿部 詩(柔道・52kg級)
 - 阿部 一二三(柔道・66kg級)
- 2020年(東京パラリンピック)
- 梶原 大暉(バドミントン・シングルスWH2)

- 藤本 俊(体操・団体)
- 1972年(ミュンヘン)
- 岡村 輝一(体操・団体)
 - 監物 永三(体操・団体)
 - 塚原 光男(体操・団体)(体操・鉄棒)
 - 森田 淳悟(バレーボール)
- 1968年(メキシコシティ)
- 監物 永三(体操・団体)
 - 塚原 光男(体操・団体)
- 1964年(東京)
- 鶴見 修治(体操・団体)
 - 花原 勉(レスリング・グレコローマンフライ級)
 - 山下 治廣(体操・団体)(体操・跳馬)
- 1960年(ローマ)
- 相原 信行(体操・徒手)(体操・団体)
 - 竹本 正男(体操・団体)
 - 鶴見 修治(体操・団体)

- 森末 慎二(体操・跳馬)
- 1976年(モントリオール)
- 監物 永三(体操・あん馬)(体操・鉄棒)
 - 塚原 光男(体操・跳馬)
- 1972年(ミュンヘン)
- 監物 永三(体操・個人総合)
- 1968年(メキシコシティ)
- 藤本 英男(レスリング・グレコローマンフェザー級)
 - 森田 淳悟(バレーボール)
- 1964年(東京)
- 鶴見 修治(体操・個人総合)(体操・あん馬)(体操・平行棒)
- 1960年(ローマ)
- 竹本 正男(体操・鉄棒)
- 1956年(メルボルン)
- 相原 信行(体操・徒手)(体操・団体)
 - 河野 昭(体操・団体)
 - 竹本 正男(体操・団体)
- 1952年(ヘルシンキ)
- 上迫 忠夫(体操・徒手)
 - 竹本 正男(体操・跳馬)

- 1968年(メキシコシティ)
- 監物 永三(体操・鉄棒)
- 1964年(東京)
- 相原 俊子(体操・団体)
 - 池田 敬子(体操・団体)
 - 千葉 吟子(体操・団体)
- 1960年(ローマ)
- 鶴見 修治(体操・あん馬)
- 1956年(メルボルン)
- 竹本 正男(体操・鉄棒)(体操・平行棒)(体操・吊輪)
- 1952年(ヘルシンキ)
- 上迫 忠夫(体操・跳馬)

世界で活躍する

日体大 アスリート Special Interview



■ KIYOOKA KOTARO 清岡 幸大郎

男子フリースタイル65kg級
・2001年4月21日生
・出身:高知県高知市
・現所属:三恵海運
オリンピック ・2024パリ65kg級:金
全日本選手権 ・2023:優勝

■ HIGUCHI REI 樋口 黎

男子フリースタイル57kg級
・1996年1月28日生
・出身:大阪府茨木市
・現所属:ミキハウス
オリンピック ・2024パリ57kg級:金
・2016リオデジャネイロ57kg級:銀
世界選手権 ・2023ベオグラード57kg級:銀
・2022ベオグラード61kg級:金

■ FUJINAMI AKARI 藤波 朱理

女子フリースタイル53kg級
・2003年11月11日生
・出身:三重県四日市市
オリンピック ・2024パリ53kg級:金
世界選手権 ・2023ベオグラード53kg級:金
アジア選手権 ・2023アスタナ53kg級:金
・2022ウランバートル53kg級:金

■ YUMOTO KENICHI 湯元 健一

元レスリング部コーチ
・1984年12月4日生
・出身:和歌山県和歌山市
オリンピック ・2012ロンドン60kg級:5位入賞
・2008北京60kg級:銀
世界選手権 ・2011イスタンブール60kg級:銅

■ MATSUMOTO SHINGO 松本 慎吾

体育学部教授 レスリング部 部長・監督
・1978年3月3日生
・出身:愛媛県宇和島市
オリンピック ・2008北京84kg級:15位
・2004アテネ84kg級:7位入賞
・2006ドーハ84kg級:銅
・2002釜山84kg級:金
アジア大会
・2008済州84kg級:金
・2005武漢84kg級:銀

■ FUMITA KENICHIRO 文田 健一郎

男子グレコローマンスタイル60kg級
・1995年12月18日生
・出身:山梨県韮崎市
・現所属:ミキハウス
オリンピック ・2024パリ60kg級:金
世界選手権 ・2023ベオグラード60kg級:銀
・2022ベオグラード60kg級:銅
・2019ヌルスタン60kg級:金
・2017パリ59kg級:金

■ KUSAKA NAO 日下 尚

男子グレコローマンスタイル77kg級
・2000年11月28日生
・出身:香川県高松市
・現所属:三恵海運
オリンピック ・2024パリ77kg級:金
世界選手権 ・2023ベオグラード77kg級:銅
アジア選手権 ・2024ビシケク77kg級:金

メダルへの思い

■ パリ五輪を振り返り、現在の心境は

文田 「僕は性格がひねくれているので、東京五輪で銀メダルを持って報告に行っても、素直に祝福を受け入れられなかったのですが、今はしっかり受け止めています。そこが、金メダルと銀メダルの差だと感じます」

樋口 「僕はひねくれていないので、たくさんの方が応援してくれたことに温かみを感じます。周りから持ち上げられているときこそ、自分の方向性や人間力を見

失わないよう、地に足をつけて周りに感謝していかねければと思っています」

日下 「自分もひねくれていないので、純粋にうれしかったですね。相撲の経験があるので、大相撲中継の解説にも呼ばれましたが、それも金を取ったからこそ。今後は解説にも挑戦し、その腕も磨いていきたいです」

清岡 「僕は五輪も初めてなら、海外の大きな大会も初めてでした。世界で闘うことの素晴らしさやすごさを改めて実感しました」

藤波 「自分自身は何も変わっていないけど、周りの人の反応などを見て、五輪はほかの大会と何か違うと感じました」

文田選手は東京大会、樋口選手はリオデジャネイロ大会で銀メダル、そこからの金メダル獲得でした

文田 「準決勝の後、東京五輪の決勝で負けた悔しさを思い出し、あんな思いを二度と味わいたくないと感じながら過ごしました。勝った瞬間は、喜びよりむしろ安堵の気持ちが強かったですね」

樋口 「前々回のリオが銀メダルで終わりで、東京は出場自体を逃した悔しさがあったので、それを原動力に自分の足りなさを見つめ直してきました。大会の日はあとは勝つだけという状況で心配はなかったです」

レスリング競技初日で頂点に立った文田選手が金メダルを見せびらかしていたという噂が

樋口 「差はしながら『金メダル見る?』って」
文田 「やってないよ!でも、僕は出場が初日だった時点で絶対に優勝して、プレッシャーをかけてやろうって思っていました」

樋口 「最悪!」
文田 「23年の世界選手権のときは、樋口が先に内定を取ったんですよ。僕が減量しながら現地に行ったら、ココアを飲みなが

ら「お疲れ～」と言ってきて。そのとき絶対やり返すと決めました。今回ついにやり返しました」

樋口 「メダルを持って部屋に来て、みんながメダルを触っていたけど、僕は運気を吸い取られると思ったので、近寄らないようにした」

日下 「僕は目の前にメダルがきたので、触らざるを得ませんでした」

五輪初出場の日下、清岡、藤波選手は振り返っていかがですか

日下 「全試合を通して自分のレスリングができました。決勝だけ自分のパターンにはめられなくて、少し焦ったけど、根性と体力で突き破った感じです」

藤波 「決勝で対戦した選手は、23年の世界選手権で一時期リードを許した相手でした。今まで対戦相手に合わせた練習はしてこなかったのですが、湯元先生たちと映像を見ながら勝つための対策を練り、それを試合で活かしたことや、対策をして勝つという経験を得られたのが大きかったですね」

樋口 「それまでは対策する必要もないぐらい余裕だったってことだ?」

藤波 「違いますって!」

清岡選手の出番は最終日でした。みんながメダルを取って、プレッシャーがあったのでは

清岡 「むしろ早く試合をしたいという気持ちで過ごしていました。日本勢がメダルを取っていくので、自分も金メダルを取る流れやなって。それが自信につながり、不安感も一切なくマットに上がることができた」

文田 「じゃあ先頭を切った俺のおかげだね」

清岡 「え?」

先生方は選手たちの活躍を見て

松本 「金メダルなので、それが評価です。もう一人、(男子グレコローマンスタイル67kg級の)曾我部京太郎(ALSOK)も日体大出身です。初戦で負けてしまいましたが、よく頑張ったと思います」

湯元 「意外に選手全員、いつも通りだなと。文田の最初の準決勝までは移動中で見られず、到着後に結果を知ったんです。それもライバルの選手に勝ったと聞いて、うれしかったですね。文田が勢いをもた



らしてくれた。着いた瞬間からいい雰囲気を感じました」

エッフェル塔の前で減量トレ

準決勝が終わって、翌日の決勝に向けて、樋口選手だけが取材対応がありませんでした

樋口 「櫻井翔さんが取材エリアにいたらいいんですけど、体重を落とすことに集中していたために、気が付かなくて」

文田 「シカトしたんだろ」

樋口 「いやいや本当に気付かなくて。準決勝の後も減量のためにベンチコートとサウナスーツを着て、エッフェル塔の前をひたすら走っていました。あの場面を撮影していただければよかった」

日体大レスリング部で5個の金メダルを獲得。強さの秘訣はどこにありますか

文田 「大学1年目から世界で闘う選手がいる環境で練習し、その選手と自分の差を日々実感しながら練習できるのが日体大です。普通は大学1位や日本一を目指しレベルアップし、目標もその都度変わりますが、上を目指す選手にとって、入部した時から最終目標である世界との差を意識しながら練習できるのが強み。だからこそ、強くなれたのだと思います」

樋口 「僕は環境が整っているところかなと。単に設備が充実しているだけでなく、最高のスタッフ陣による最高の指導があり、栄養や解剖学などの授業もたくさんある。さらに、世界で闘っている人たちと毎日練習し、彼らのメンタリティーやマインド、食事、生活を間近で

学べるのが大きいと思います」

樋口選手と切磋琢磨してきた清岡選手はいかがですか

清岡 「そうですね。そういった環境や、歴史と伝統が他の大学と違うところも大きいと思います。五輪や世界の舞台で闘ったコーチ、先輩、OBから学べる点が多く、日体大のシングレットを着て試合に出るからには、それ相応の闘いをしないといけないというプレッシャーも感じました。OBや強い選手を倒して、自分がその舞台に立とうと頑張るけど、下からの追い上げもすごい。現状に甘んじていたらトップには立てません。常に進化し続けたいといけない環境は素晴らしいと感じています」

境は他の大学と違ってうちにしかない。1964年東京五輪から常に選手を送り出して、76人の選手を輩出してきました。これまで金メダルは3個しか取っていませんでしたが、今回でいきなり5個上積みされて8個になった。次は「これ以上」という声が上がっているけど、そのために頑張っていきます」

これからの学生たちにアドバイスはありますか

文田 「五輪を見て、憧れやすごさを感じたと思いますが、そうした気持ちを持ち続けてほしいと思います。その中には数%のねたみや嫉妬もあると思いますが、そういう感情が一番大事。その憧れの選手と一緒に練習するのが成長への一番の近道です」

樋口 「僕は逆に「憧れない」というの言いたい。あの人はすごいから五輪に行ってメダルを取ったんだっていうんじゃないで、誰にでも平等にチャンスがあります。自分には無理だという気持ちを捨てて、どうやれば五輪に出ている選手に勝てるのかっていうのを常に研究する。その積み重ねで必ずチャンスがめぐってきます」

文田選手と樋口選手は同級生ですが、ライバル心が見え隠れしますね

文田 「負けたくないという思いは強く、常に意識しています。ただ普段は減量の話とかを情報共有していて、一人で勉強するよりも倍の知識を得ている実感があり、ありがたく思っています」

樋口 「中学生の頃、同じ大会で彼が1位、僕が3位。高校では1回だけ勝てたけど、その悔しさがあって、どうしても勝ちたい気持ちが強かった。同時に、練習法や減量方法に興味を持ち、吸収して見習おうとやってきました。一緒に会話やトレーニングをする中で、一番影響を受けたと思います」



在学中の藤波選手は日体大の良さをどう感じていますか

藤波 「ウエート、心理、栄養サポートを日体大で利用させていただいて、自分がわからない部分も一緒になって闘ってくれたので、本当に感謝しています。同じクラスに冬季競技の世界チャンピオンがいて、他の競技との関わりもある日体大ならではの環境を積極的に活かして学生生活を送っています」

なってもらいました。信頼できるコーチと対話をしながら、同じ方向を見て進むことが大事だと感じています」

日下 「腰をケガした際、トレーナーさんに怒られました。練習が正義だと思っていたけど、体のメンテナンス、休息、食事を高い水準で考えてやっていくことが一流のトップアスリートだと学びました」

最後にこれからの目標について教えてください

文田 「レスリングをやめる気はありません。モチベーションや向き合い方の変化を楽しみながら、引き続きレスリングに取り組んでいきます」

樋口 「ヨーロッパのレスリングは学生時代から各地で見えてきましたが、アメリカにはほとんど行く機会がありませんでした。まずはニューヨークのコーネル大やリーハイ大に行って、いろいろ吸収したいですね」

日下 「五輪のスケールのでかさ、五輪というものに改めて魅せられました。あとは(藤波)朱理ちゃんの連勝記録を抜きたいですね」

清岡 「五輪2連覇を目標にやっていきます。ただ、それはあくまでも直近の目標で、レスリングをメジャースポーツにするというのが、今回五輪で優勝して改めてできた目標です」

藤波 「自分は目標に向かっていっているときが一番生きている感覚がして、楽しい。ロスでの2連覇はもちろん、その2年前にあるアジア大会は名古屋で行われるので、地元(三重)の方に応援してもらいながら優勝するのが目標です」

体力低下も経験で勝てる

藤波選手は連勝記録も続いています。不安や悩みはありますか

藤波 「若さゆえに、不安を練習量で自信に変えてきましたが、今は足や肘に疲れがたまり、体の声を無視しながら練習を続けることで大きなケガをすることも。実際、五輪前にもケガをしました。調整方法にはすごく興味があります」

文田 「練習量を少し落としてみて、周りの選手との感覚や、いつも取れているものが取れなくなると、ちょっと練習が足りないと感じることもあります。それは他の人が決められることではなく、自分と自分の体にしかわからないこと。これから体力は落ちていきますが、その分、経験が積みまれていくので、その経験をうまく活かして勝つことができると思っています」

樋口 「僕は一人でやるのは限界があると思っています。小さい頃から憧れていた湯元先生を目指してやってきて、コーチに

松本先生に金メダルを贈りたい



日下選手は松本先生と厳しい練習を積んできました

日下 「大学1年のときから、尋常ではないくらい練習して、そのおかげで今回勝てました。松本先生と授業の合間も練習して、マジでしんどかったけど、練習してよかった。自分もきついですが、松本先

生もきつかったと思います」

松本 「きつくありません」

日下 「朝もお昼休みも午後も練習、そんな生活を繰り返してきましたが、本当に感謝しかありません」

夢に出てくるようなこともあったのでは

日下 「それはないけど、松本先生だけはマナーモードでも音が鳴るように設定しています」

樋口 「24時間対応可だ」

松本 「日下は1年生のころから授業の合間に練習を重ね、逃げずに継続する努力ができる人間でした。例えば、眠いからといって別の理由をつけて「授業があるので今日はできません」と言うこともなく、授業の合間ややらないといけない仕事があっても、必ず練習に姿を見せると思っていました」

日下 「何回も携帯を手にとって「休んでいいですか」って言おうとした。携帯を取るまではしたけど、かけるまではできなかった」

松本 「努力する姿勢がメダルという結果につ

ながったと思いますね」

教え子の金メダル「僕が一番」

松本先生の教え子はこれまで銀メダルが最高でした。金メダルを贈りたいという気持ちはありましたか

文田 「そこはすごく意識していました。初日が僕だったので、絶対に金メダルの第1号になろうと思って」

日下 「松本先生がいなかったら、自分がこの結果になることは絶対にありませんでした」

松本 「(両手を差し出して)なにか形で」

日下 「ここは第1号の選手、文田先輩が贈り物をしますと思います」

文田 「いや、そこはやっぱりみんなまで……」

松本 「みんな、日体大を選んできて進学し、結果を残してくれた。他の大学と違うのは意識の差だと思います。世界を身近に感じて、その環境でその選手を倒せば、自分が世界に打って出られる。そういう環



Club

次の栄光を掴む アスリートは、 ここから生まれる。

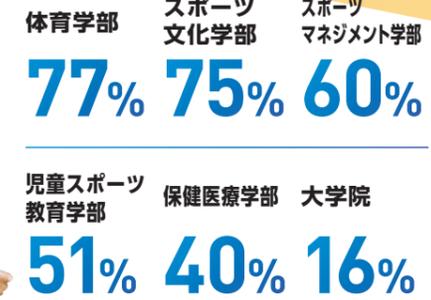
日体大の学生生活の基軸ともいえるのが、クラブ活動です。

時に仲間として、時にライバルとして戦い、高め合える友人、先輩、後輩との出会いは、

敵はもちろん、自分自身に打ち克つための力をきつと磨いてくれるはず。

彼らとのたくさんの思い出や経験は、必ず「一生の宝物」になります。

学部別学友会加入率



※令和6年度CREDOより抜粋

学友会 [全78団体]

学友会組織図《2025年度》

日本体育大学の学友会には、総務部を中心に運動部、応援部、厚生文化部、運動部2部、研究・調査部、公認団体があります。日体大生のスポーツマインドとチャレンジ精神は、クラブ活動によって培われます。さまざまなスポーツ、または文化活動を通して、仲間との協調性、責任感、リーダーシップを養い、自分自身の糧としていってください。

総務部

クラブ [65団体]

運動部 [42団体]

- アーチェリー部
- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- ウエイトリフティング部
- カヌー部
- 空手道部
- 剣道部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 山岳部
- 自転車競技部
- 柔道部
- 少林寺拳法部
- 新体操部
- 水泳部
- スキー部
- スケート部
- 相撲部
- ソフトテニス部
- ソフトボール部
- 体操競技部
- 体操部
- 卓球部
- ダンス部

- チアリーダー部
- テニス部
- トリアスロン部
- トランポリン競技部
- 軟式野球部
- バスケットボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- ハンドボール部
- フェンシング部
- ボート部
- ボクシング部
- ライフセービング部
- ラグビー部
- ラクロス部
- 陸上競技部
- レスリング部

応援部 [2団体]

- 応援団部
- プラスバンド部

厚生文化部 [2団体]

- 家政部
- 研修部

運動部2部 [13団体]

- アルティメット部
- インラインホッケークラブ
- エアロビク同好会
- 基礎スキー研究会
- 弓道部
- 近代五種競技部
- 準硬式野球部
- スカッシュ部
- セパタクロー部
- ダブルダッチ部
- なぎなた部
- フィンスイミング部
- ホッケー部

研究・調査部 [6団体]

- アクアスポーツ部
- キャンパスインストラクターアカデミー(CIA)
- 社会体育研究会
- スポーツマネジメント部
- トレーナー研究会
- 保育研究部

公認団体 [12団体]

- 救急医療部
- キンボールクラブ
- 混合バレーボール部
- 心理サポート研究会
- スポーツクライミング部
- スポーツパフォーマンスアナリシスクラブ
- ソングリーディングクラブ
- タッチラグビー部
- 伝統芸能・和太鼓同好会
- ボディビル・パワーリフティング部
- ヒップホップ同好会
- フットサル同好会

クラブの詳しい紹介は別冊クラブパンフレット2025をご覧ください。



アスリートの医学をサポートする

NASS

日体大スポーツの価値を高め、その魅力を広めることで大学スポーツ全体の発展を目指す「日本体育大学アスレティックデパートメント」には「競技力強化支援部門」があります。ここでは、その中核を担うサポートシステム「NASS」について紹介します。



■「NASS (Nittaidai Athlete Support System)」とは？

全学生を対象に行っている日体大独自の学生アスリート支援システム。長年にわたって本学が蓄積してきたノウハウを集結し、さまざまな分野のアスリートを「支える」側の学生を育成する仕組みも備えています。

詳しくは「NASSリーフレット」をご覧ください。



医・科学サポート

パフォーマンス分析サポート

アスリートの体力や技術、実際の競技における戦術等に関して評価・把握するために、定量化できる側面からの分析サポートを行います。

フィットネスチェック

アスリートの体力に関する身体組成、持久力、筋力、瞬発力などをスポーツ医学的見地から専門的に測定・分析し、評価・把握をすることにより、競技力の向上へ繋げるサポートを行います。

映像・情報技術サポート

ビデオ映像による動作分析、ゲームパフォーマンス分析(試合分析)を行えるソフトウェアを活用したサポートを行います。

トレーニングサポート

スポーツトレーニングセンターを中心にトレーニングに精通する研究室が連携し、競技種目やクラブの強化目標に合わせたトレーニングプログラムを提案・提供します。

フィットネスチェック

スピード、バランス、持久力など、ストレンクス以外の体力要素を高めるためのトレーニングプログラムの作成、実施指導・補助を行います。

ストレンクス

ストレンクストレーニングを中心に筋力、パワー、筋持久力など筋機能を総合的に高めることを目的に行います。ピリオダイゼーションを基にトレーニングプログラムの作成、トレーニングの実施指導・補助、測定・評価を一連の流れとしてサポートを実施します。

メディカルサポート

スポーツ医学・アスレティックトレーニングに関する教員、アスレティックデパートメントのスポーツ医・科学サポートスタッフ(トレーナー)、日体大クリニックの連携・協力によりアスレティックトレーニングサポートを行います。

アスレティックトレーニング

メディカルチェック、コンディショニングなどにより、スポーツでの外傷・傷害を予防。外傷・傷害を負った場合は、治療とリハビリテーションを行います。

学生トレーナーの派遣

学友会トレーナー研究会の協力の下、学生トレーナーを現場へ派遣し、テーピングやアイシングなど簡単なアスレティックトレーニングを実施します。また、遠征(合宿や競技会など)に帯同することも可能です。

血液検査

メディカル部門では、日本体育大学クリニックと連携し、血液検査によるコンディショニングチェックを実施しています。検査結果については、スポーツ医学の専門医がフィードバックを行い、必要に応じて診察や治療を受けることができ、また栄養面でのサポートが必要な場合は、スポーツ栄養士の担当者からアドバイスを受けることもできます。

心理サポート

スポーツ心理学、臨床心理学の専門家が、選手の特性や状況に合わせて心理サポートを提供。自分で考え、自己調整ができる、自己管理能力の高い選手の育成を目指します。

心理セミナー

選手や監督から心理的課題をヒアリングし、必要なメンタルトレーニングの知識や技術を提供。

栄養サポート

栄養状態を整えることは、選手がよりよいコンディショニングで練習やトレーニングを行うための準備のひとつです。競技目標達成を目指して、学生アスリートが自ら適切な栄養管理を行えるようになるために、栄養セミナー、個別サポートなどを実施して支援します。

個別サポート

選手の栄養状態を確認し、改善計画を作成。実践・継続できるように多方面から支援を行います。

女性アスリートサポート

女性特有の課題に対応したプログラム構築のための支援を実施。女性の生理的・心理的特性を考慮したコンディショニング、トレーニングプログラムを取り入れ、競技力向上を目指します。

女性アスリートの三主徴に関するアセスメント

食事摂取状況や月経に関する調査、骨密度および体組成測定(DXA法)を行い、女性アスリートの三主徴(利用可能エネルギー不足、無月経、骨粗しょう症)の予防・改善に役立ちます。

女性アスリートセミナー

女性アスリートが発症しやすい障害や疾患の予防、月経周期に応じたコンディショニングに関するセミナーを実施。女性アスリートの情報交換の場としても役立ちます。



コーチングサポート

各クラブの学生首脳陣や学生コーチ、または将来コーチを目指す学生を対象とし、特に競技力向上に焦点を当てたコーチングスキルの開発を支援します。

ワークショップの開催

リーダーシップスキルやチームマネジメントなど学生首脳陣や学生コーチのニーズに沿ったワークショップやレクチャーの開催。

実践コミュニティ形成・運営支援

同じ立場にある学生首脳陣がそれぞれの経験や課題解決策などを共有し、共に学び合う実践コミュニティの形成と運営支援。

コンサルティングおよびテイラーメイドの支援

各クラブの課題解決に向けたコンサルティングや、ニーズに合わせたクラブ単位での支援。

パラアスリートサポート

パラアスリート一人ひとりの身体的特徴にあったトレーニングプログラムの提供など、障害の特性を踏まえた適切なサポートを目指します。また、東京科学大学との連携協定を活用し、より質の高い器具・装具類の開発・改良を推進していきます。

学生スタッフの養成

セミナーを開催し、フィットネスチェック、映像・情報技術サポートを補助する学生スタッフを育成しています。ストレンクスコーチを目指す学生には、ストレンクスの学生指導スタッフ育成セミナーを実施。スキル修得後は、各運動部のトレーニングサポートに参加できます。

国際交流センター

日体大は国際交流を積極的に推進し、国際化・グローバル化社会で活躍できる人材の育成を目指しています。



ミッション：スポーツを通じて国際化社会に対応できる人材の育成

- MISSION 1 グローバル人材育成の強化 (キャリア支援プログラムの充実を含む)
- MISSION 2 海外協定大学との交流促進 (留学推進を含む)
- MISSION 3 JICAとの連携強化、JICA海外協力隊 (短・長期)への参加促進
- MISSION 4 語学学習の機会提供

国際交流について

本学では、世界を舞台に活躍し、グローバルな視野と積極性を持つ人材の育成を目指しています。そのため、教職員や学生(学部生・大学院生)を対象に、交換留学制度、多様なスポーツ交流プログラム、学術研究交流、海外研究への派遣、国際共同研究への協力など、幅広い国際交流活動を展開しています。

交換留学 1年間 大学を休学し、海外協定校の授業に参加するプログラム。協定校によっては単位取得も可能。	英語 短期語学留学 春季休暇中開講 英語の語学力向上とフィリピン文化体験を目的とした3週間滞在型プログラム。協定大学生とパティを組み合わせながら、集中的に語学を学ぶ事を目的とした留学。	短期留学 夏季・春季休暇中開講 海外協定校の授業に参加するプログラム。	韓国語 短期語学研修 夏季・春季休暇中開講 韓国語の語学力向上を目的としたプログラム。
交換留学 ●清華大学:体育部【中国】 ●北京体育大学【中国】 ●上海体育大学【中国】 ●国立台湾体育運動大学【台湾】 ●国立体育大学【台湾】 ●ナショナル大学【フィリピン】 ●クイニョン大学【ベトナム】 ●ドイツスポーツ大学ケルン【ドイツ】 ●国立パラツキー大学(オロモウツ):体育科学学部【チェコ】 ●リンネ大学:社会科学学部【スウェーデン】 ●リトアニア体育大学【リトアニア】 ●デ・ラサール大学【フィリピン】	短期語学留学 ●ナショナル大学【フィリピン】	短期語学研修 ●慶熙大学校 国際教育院【韓国】	短期留学 ●オレロップ体育アカデミー
スポーツ交流 ●清華大学:体育部【中国】 ●北京体育大学【中国】 ●上海体育大学【中国】 ●国立台湾体育運動大学【台湾】 ●国立体育大学【台湾】 ●ナショナル大学【フィリピン】 ●クイニョン大学【ベトナム】 ●デ・ラサール大学【フィリピン】 ●国立パラツキー大学(オロモウツ):体育科学学部【チェコ】 ●リトアニア体育大学【リトアニア】			

JICA海外協力隊について

日本政府ODA(政府開発援助)予算により、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施しています。この事業を通して、開発途上国における体育・スポーツの普及・振興を図るとともに、大学の知見を有効に活用することで、国際協力分野における人材を育成することを目的としています。本学では2014年度から2024年度まで大学連携案件の短期派遣として、延べ150名の学生がカンボジア、ネパール、ブラジルへ派遣されました。

アジア ●ウズベキスタン ●キルギス ●インド ●スリランカ ●モルディブ ●ネパール ●バングラデシュ ●ブータン ●インドネシア ●カンボジア ●フィリピン ●ベトナム ●マレーシア ●ミャンマー ●ラオス ●東ティモール ●モンゴル ●中華人民共和国	アフリカ ●スーダン ●エチオピア ●ケニア ●ウガンダ ●ルワンダ ●ブルンジ ●タンザニア ●マラウイ ●モザンビーク ●ザンビア ●ジンバブエ ●ボツワナ ●マダガスカル ●セネガル ●ガーナ ●ベナン ●ブルキナファソ ●ニジェール ●カメルーン ●ガボン
中東 ●イエメン ●エジプト ●シリア ●チュニジア ●モロッコ ●ヨルダン	中南米 ●メキシコ ●ペルー ●グアテマラ ●ホンジュラス ●エルサルバドル ●ニカラグア ●コスタリカ ●パナマ ●ジャマイカ ●ドミニカ共和国 ●セントルシア ●セントビンセント ●コロンビア ●ブラジル ●エクアドル ●ペルー ●ボリビア ●チリ ●パラグアイ ●ウルグアイ
大洋州 ●パラオ ●ミクロネシア ●バブアニューギニア ●ソロモン ●バヌアツ ●フィジー ●サモア ●トンガ ●マーシャル	欧州 ●ポーランド ●ハンガリー ●ルーマニア



■ NIS-Nittai International Students

学生によるボランティア団体として、留学生のサポートと日体大の国際交流発展を担うべく、日々活動しています。

■ 国際交流センター主催のプログラム

国際交流センターでは、様々なプログラムを開催しています。それぞれの目的に合わせてぜひ活用してください!

- 英会話教室
- 超初級!英文法講座
- 留学生向け日本語講座

キャリア支援

日体大生は授業やクラブ活動を通して豊かな人間力を養い、社会の多様なニーズに応える力を習得していきます。この力をフルに活かして、希望する進路へと進めるように、日体大では一人ひとりに合ったキャリア支援を実施しています。先輩たちも果敢に就職戦線を読み切り、満足度の高い就職を実現しています。

日体大が考える「キャリア支援」

卒業までに「自分の人生を自分で進める」ことができるように導きます



学生が自走できるよう、一人ひとりに合った支援をしています。

学生一人ひとりに応じたサポートで、激動する社会を生き抜く力を養う。

高度情報化やグローバル化の進展、少子高齢化の加速、SDGsの推進など、現代は変化の激しい時代です。働き方改革、終身雇用の崩壊など労働環境も大きく変わる中、社会はこれまで以上に自分で自分の人生を設計し、ステップアップしていける人材を求めています。日体大は、こうした社会を生き抜く学生の応援団でありたいと考えています。一人ひとりと向き合い、背中を押したり、共感したり、新たな視点を提示したり。それぞれに合った形でサポートしています。

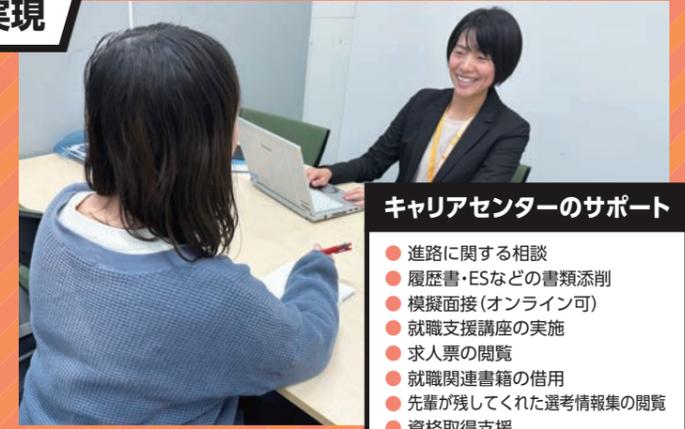
支援するのは「就職」ではなく「学生が「どう生きるか」。

日体大が行っている「キャリア支援」は、「就職支援」とは違います。なぜなら、私たちがサポートしているのは、学生一人ひとりのキャリアデザインだからです。「自分はどう生きるか」を考え、未来への設計図を描き、自ら目標に向かって歩みを進めていく。そんな力を学生に身に付けてもらうことがミッションです。「就職」は、彼らが目標に到達するための手段のひとつではありません。

確かなサポート体制で高い就職率を実現

キャリアコンサルタントが常駐するキャリアセンターが親身に対応。

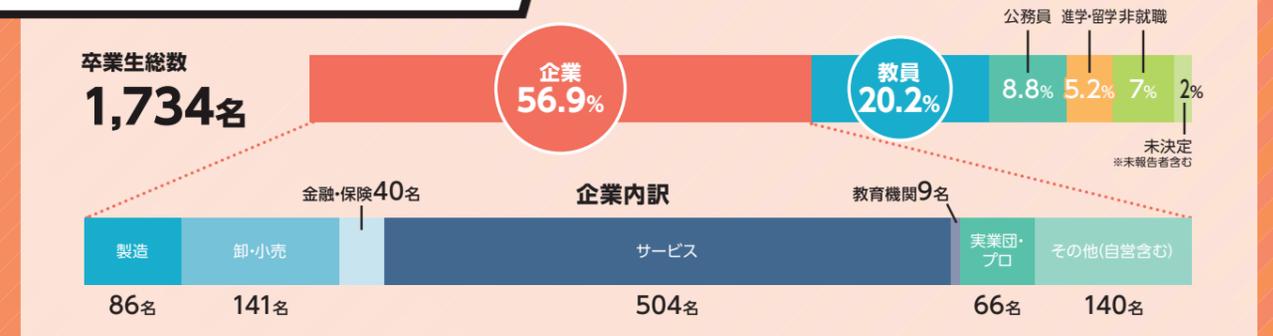
日体大でキャリア支援を行っているのが、学生生活全般をサポートする「キャリアセンター」です。キャリアセンターには、キャリアコンサルタントが常駐しています。「自分は〇〇になりたい」と決めている学生から、「将来、何をしたらいいかわからない」という学生まで、マンツーマンで対応し、一人ひとりの希望や適性に合ったキャリアデザインをサポートします。早く「なりたい自分」が見つければ、学ぶべきことも明確になり、より有意義な大学生活を送れます。



キャリアセンターのサポート

- 進路に関する相談
- 履歴書・ESなどの書類添削
- 模擬面接（オンライン可）
- 就職支援講座の実施
- 求人票の閲覧
- 就職関連書籍の借用
- 先輩が残してくれた選考情報集の閲覧
- 資格取得支援
- 教職に関する相談・説明会

日体大生のキャリア分布 (令和5年度)



教員、公務員、一般企業、いずれも多数の学生が合格。

学生たちが日体大での学びを着実に自分のものとし、社会が求める人材へと成長したからこそその実績です。

(令和5年度)
公務員試験合格者 152名

人気の公務員にも多くの学生が合格

公務員志望の学生のために、公務員試験対策講座や公務員公開模試、個別の模擬面接などを実施。多くの学生が警察官、消防官、自衛官、刑務官のほか、一般行政職や保育職などに進んでいます。

教員採用試験合格者(公立・私立含む) 437名

在学生合格者数: 120名 卒業生合格者数: 317名
※学内での調査に基づき算出 ※教育委員会の調査に基づき算出(公立のみ)

多くの卒業生たちが教育現場で活躍中

多くの教員を輩出してきた日体大。2023年度(令和5年度)も卒業生・在学生合わせて437名が合格しました。教育現場で活躍している先輩たちのネットワークも、学生の大きな強みになっています。

企業希望者の就職決定率 (令和5年度)

日体大で培った力で高い就職決定率を実現

授業や実習、クラブ活動を通じて身に付けた忍耐力や協調性、リーダーシップなどが高い就職率につながっています。日体大で培った力が、社会で高く評価されていることのひとつの証しです。

98.6%

令和6年度
**柔道整復師
国家試験
合格率 88.4%**

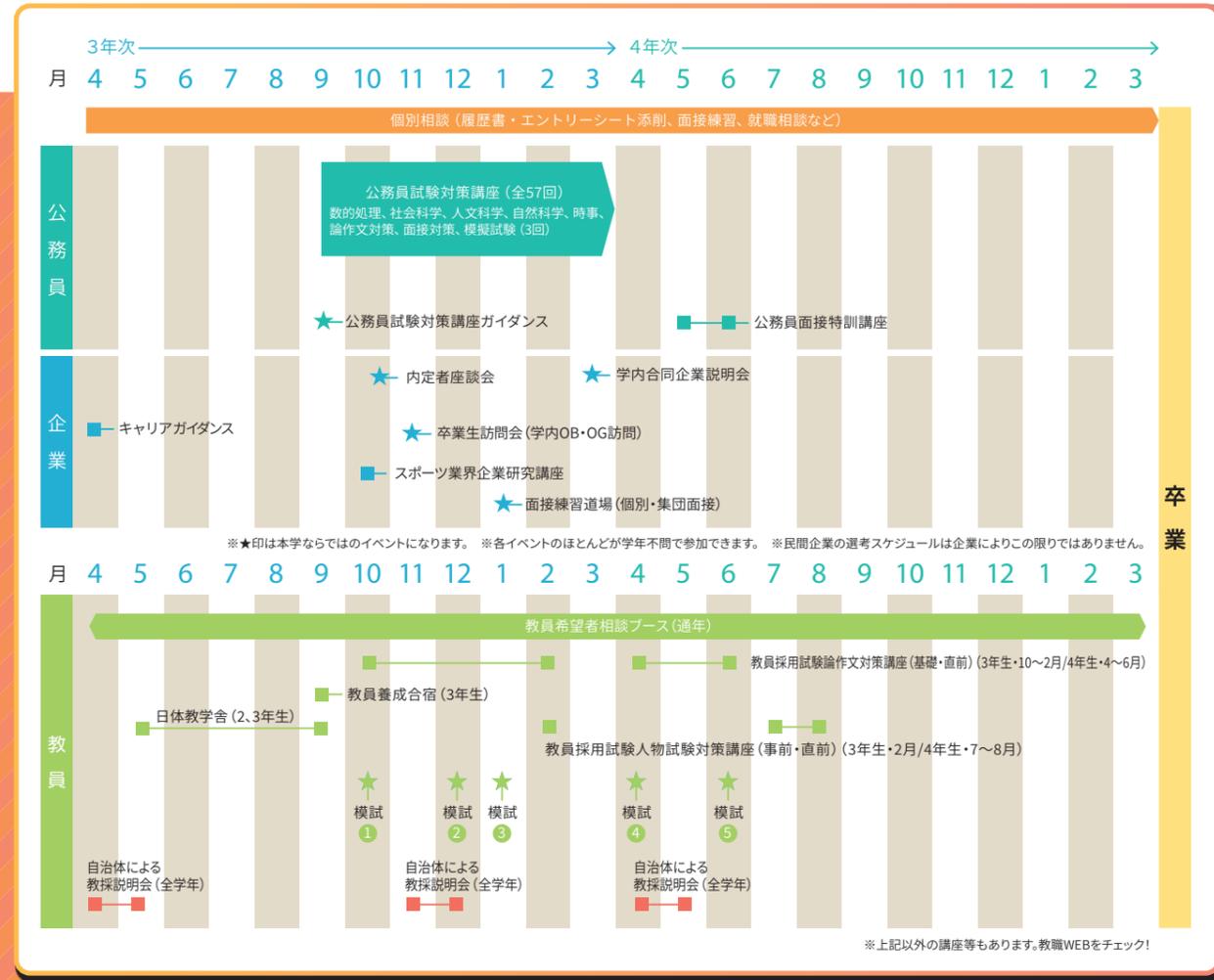
実践的な学びでより高い合格率を目指す。 **全国新卒合格率75.9%**

令和6年度
**救急救命士
国家試験
合格率 98.8%**

救急救命士になれるよう特別プログラムでサポート。

キャリア支援講座・ガイダンス (2025年度実施予定)

公務員、企業、教員など、希望する進路に合わせて、きめ細かくサポートしていきます。



2023年度 主な就職先一覧 (順不同)

- 【教員・職員】**
- 《公立学校》
 - 小学校教諭
 - 中学校保健体育教諭
 - 高等学校保健体育教諭
 - 養護教諭
 - 特別支援学校教諭 ほか
 - 《私立学校》
 - 日本体育大学
 - 東京医科大学
 - 埼玉医科大学
 - 木更津総合高等学校
 - 八雲学園中学校・高等学校
 - 国際学院中学校・高等学校
 - 創志学園高等学校
 - 森村学園中等部・高等部 ほか
- 【国家・地方公務員】**
- 防衛省 (自衛隊)
 - 法務省 (刑務官)
 - 海上保安庁
 - 青森県庁
 - 佐賀県庁
 - 愛媛県庁
 - 佐野市役所

- 流山市役所
- 世田谷区役所
- 日野市役所
- 東御市役所
- 藤沢市役所
- 八王子市役所
- 厚木市役所
- 小田原市役所
- 横浜市役所
- 茅ヶ崎市役所
- 横須賀市役所
- 警視庁
- 神奈川県警察本部
- 千葉県警察本部
- 茨城県警察本部
- 群馬県警察本部
- 山梨県警察本部
- 大阪府警察本部
- 愛媛県警察本部
- 東京消防庁
- 稲城市消防本部
- 鎌原市消防本部
- 鎌倉市消防本部
- 茅ヶ崎市消防本部
- 大和市消防本部

- 【プロ・実業団】**
- 三菱重工浦和レズレディース
 - ルートインジャパン株式会社
 - 株式会社東芝
 - 株式会社デンソー
 - 株式会社カマタマール讀岐
 - 新日本プロレスリング株式会社
 - 東洋水産株式会社
 - 総合警備保障株式会社
 - 株式会社アルビレックス新潟
 - 株式会社読売巨人軍
 - 東京プロバスケットボールクラブ株式会社
 - 株式会社日立製作所
 - 株式会社七十七銀行
 - 株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ
 - 公益財団法人JKA
 - トヨタ自動車女子バスケットボール部 アンテロープス
 - 株式会社川崎フロンターレ
 - 東京プロバスケットボールクラブ株式会社

- 【スポーツクラブ・幼児体育】**
- セントラルスポーツ株式会社
 - コナミススポーツ株式会社
 - 株式会社ジャクパ
 - 株式会社ルネサンス
 - 株式会社biima
 - リーラス株式会社
 - 株式会社LAVA International
 - スポーツコミュニティ株式会社
 - 株式会社ダンロップスポーツウェルネス
 - 幼児活動研究会株式会社
 - 野村不動産ライフ&スポーツ株式会社 ほか
- 【スポーツ用品 (製造・小売)】**
- 美津濃株式会社
 - 株式会社アシックス
 - デサントジャパン株式会社
 - ピンゴルフジャパン株式会社
 - 株式会社ジニススポーツ
 - 株式会社ドーム
 - 株式会社ヒマラヤ
 - 株式会社アルペン
 - ヨネックス株式会社 ほか

- 【製造】**
- 山崎製パン株式会社
 - 株式会社デンソー
 - 大同特殊鋼株式会社
 - 協同乳業株式会社
 - 株式会社イトーキ
 - NHジャパンフード株式会社
 - 株式会社でん六
 - JFEスチール株式会社
 - 豊田合成株式会社
 - 株式会社島津理化学
 - アイリスオーヤマ株式会社
 - TOPPAN株式会社
 - パナソニック コネクト株式会社
 - 太平洋セメント株式会社
 - 味覚糖株式会社
 - 株式会社ツムラ
 - Tesla Motors Japan合同会社
 - 株式会社前川製作所
 - JFEエンジニアリング株式会社
 - 株式会社和光ケミカル
 - 株式会社 日洋
 - 株式会社バスクリン
 - 日本食研株式会社
 - 株式会社ナガオカ ほか

- 【水道・ガス・電気】**
- 日本テクノ株式会社
 - 東京ガスライフパル株式会社 ほか
- 【運輸・通信】**
- ANAエアポートサービス株式会社
 - 日本通運株式会社
 - ジェットスター・ジャパン株式会社
 - 日本郵便株式会社
 - 株式会社はとバス
 - ヤマト運輸株式会社
 - JR東日本コンサルタンツ株式会社 ほか
- 【卸・小売】**
- トヨタモビリティ東京株式会社
 - 株式会社ファーストリテイリング
 - 株式会社シロ
 - ボルボカー・ジャパン株式会社
 - 富士フィルムビジネスソリューション株式会社
 - 株式会社ネクステージ
 - 株式会社エービーシー・マート
 - 日本生命保険相互会社
 - 日本食研ホールディングス株式会社
 - 株式会社スズキ自販神奈川
 - 株式会社サンドラッグ

- 【金融・保険】**
- 株式会社みずほフィナンシャルグループ
 - 株式会社名古屋銀行
 - 株式会社富山銀行
 - 株式会社鹿児島銀行
 - 岐阜信用金庫
 - 富士信用金庫
 - 湘南信用金庫
 - 広島信用金庫
 - 日本生命保険相互会社
 - 第一生命保険株式会社
 - 株式会社かんぽ生命保険
 - リテラ・クリア証券株式会社
- 【建設・土木・不動産】**
- 積水ハウス株式会社
 - 大和ハウス工業株式会社
 - 株式会社一条工務店
 - 住友林業株式会社
 - 旭化成ホームズ株式会社
 - 日本道路株式会社
 - 三菱地所ハウスネット株式会社
 - 野村不動産ソリューションズ株式会社
 - 戸田建設株式会社 ほか

- 【サービス】**
- アパホテル株式会社
 - セコム株式会社
 - 株式会社星野リゾート
 - 株式会社オリエンタルランド
 - 株式会社すかいらーくホールディングス
 - 株式会社ウィルオブ・ワーク
 - セントラル警備保障株式会社
 - 株式会社東急キッズスペースキャンパ
 - コナミグループ株式会社
 - ルートインジャパン株式会社
 - 株式会社博報堂プロダクツ
 - 株式会社リクルート

- 【病院・医療施設】**
- 中部徳洲会病院
 - 日本赤十字社医療センター
 - 昭和大学病院
 - 医療法人社団美会 AOI国際病院
 - 日本赤十字社 成田赤十字病院
 - 座間総合病院
 - 医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院
 - 日本医科大学武蔵小杉病院
 - 千葉大学医学部附属病院
 - 株式会社まごころグループ
 - iCureテクノロジー株式会社
 - 株式会社ほねごり
 - 株式会社シー・エム・シー
 - 株式会社エルフレッチェ
 - あおば鍼灸整骨院
 - 株式会社TSL イルカ整骨院グループ
 - 株式会社クラシオン ほか

- 【保育園・幼稚園】**
- 学校法人平野学園 印内保育園
 - 社会福祉法人しらとり保育園
 - みたけ台幼稚園
 - 月影学園幼稚園
 - 世田谷いちい保育園南ウイング

- 【増成幼稚園】**
- 学校法人矢田学園 横浜昭和幼稚園
 - 株式会社日本保育サービス
 - 学校法人日本力行会 りっこう幼稚園
 - 株式会社ポピンズエデュケア
 - 学校法人石渡学園 美しの森幼稚園
 - 株式会社学研ココファン・ナーサリー ほか

同窓会や保護者と連携したプログラムも実施

同窓会では、企業就職や教員を目指す学生と卒業生に対して、各都道府県単位で企業に就職した卒業生からの講話や教員採用試験対策の研修会を実施。出題傾向に沿った筆記や面接対策の指導をしています。保護者会からは、就職支援講座に関する補助金などサポートをいただき、時代に合った講座やセミナー、資料配布など学生に還元するプログラムを提供しております。これは日体独自のシステムです。また、各地で行われる就職対策懇親会などでは、大学・同窓会・保護者会の三者が連携し、積極的に情報交換をしています。



キャリア支援講座 Pick up

公務員試験対策講座 (全学部)

公務員試験に向けて、年間153時間の講座と3回の模擬試験を実施 (2023年度実績)。クラブ活動等で受講できない学生向けの講座動画配信サービスや個別相談、面接対策等のサポートも行っています。講座受講生の公務員試験合格率は約85%という高さです。

学内合同企業説明会

日体大生をよく知る面接経験のある企業人事採用担当者による企業・団体を100社程度招き、学生とのマッチングを図ります。クラブ活動等で学外のイベントに参加が困難な学生にとっても参加しやすく、例年本イベントをきっかけに就職する学生も多数おります。

面接練習道場

日体大生をよく知る面接経験のある企業人事採用担当者にご協力頂き、模擬面接を行います。採用者目線で、自己分析の不足点、面接官のチェックポイントなど丁寧なフィードバックを実施しています。学生が自信を持って本番に臨み、「自分らしさ」をアピールできるよう指導します。

幼児教育・保育関連へのサポート

児童スポーツ教育学科幼児教育保育コースでは、コース掲示板で求人票をいつでも閲覧できるようにしています。実践経験が積めるように、保育のアルバイトやボランティア募集も掲示板で紹介。求人票の見方や就職試験の準備等の指導も、随時行っています。

公務員試験対策講座 (救急医療学科)

主に消防士を志望する学生を対象とした公務員試験対策講座。東京都及び政令指定都市公安職における上級1次試験受験のための基礎講座 (10月~3月)、直前対策講座 (3月~5月)、地方消防直前試験対策 (8月~9月) と受験の時期と対象に合わせて展開しています。

資格取得支援 (MOSなど)

MOSは、パソコンスキルを客観的に証明する資格です。就職活動でのアピールポイントを増やすこと、就職先で知識を生かしていち早く活躍することを目的とし、日体大では令和3年度よりMOS対策講座を実施。受講生の試験合格率は約98%という高さです。

学内合同企業説明会 (整復医療学科)

柔道整復師を募集している企業や教員推薦の企業など、整復医療学科の強みを生かせる企業が多数参加する企業説明会です。参加学生は整復医療学科に限定されるため、より特化した内容を聞くことができ、接骨院業界の情報など収集が困難な情報も手に入ります。

教職の支援は次のページをチェック!

教員志望の学生への 充実した支援!



日体大の教職支援とは？

教職への理解を促し、教員を目指す者として最低限必要な心構えから教員採用試験対策まで、4年間にわたり学生をサポートしています。本学では、「将来を担う子供たちの教育に対する強い使命感のもと、社会が期待する教育の推進・充実に資する資質・能力を有し、実践できる教員」の養成を目指しています。そのために、「養成すべき4つの力」を掲げ、身に付けるためのさまざまな講座を開講しています。

人間性

教育者としての
人間性を身に付け、
高めていく力

具体的な資質・能力等

道徳心、思いやり、
誠実、協調性、
人間的魅力等

専門性

日本体育大学の歴史と
伝統に培われた本学
ならではの理論と
実践に基づいた
専門性を身に付け、
高めていく力

具体的な資質・能力等

教養、専門的知識、児童生徒理解、
指導力、企画力、言語能力、
表現力、創意工夫等

養成する教員像と 養成すべき4つの力

Point.1

教育現場での経験豊富な教員による**相談・支援**

Point.2

教員採用試験対策講座、個別相談など
独自の特別プログラムで、
“合格”までを計画的・組織的にサポート

本気で教員を目指す学生のために、
1年次からさまざまな
取り組みを行っています。



Point.3

“日本一”の
ネットワーク
ここにあり!
日本中どこにいても
サポートします



日体大独自の特別プログラムで 採用試験合格まで全力サポート!

キャリアセンターではさまざまな講座を開講しています。講座に参加することで学生は教職に就く意欲が高まり、専門的知識を習得できるとともに恒常的に学習する習慣を身につけられます。

社会性

子供たちの
模範となる
社会性を身に付け、
高めていく力

具体的な資質・能力等

責任感、コミュニケーション能力、
課題解決力、組織人の一員
としての自覚等

国際性

世界的な
視野のもとで、
教育に貢献できる
国際性を身に付け、
高めていく力

具体的な資質・能力等

多様性、伝統・文化理解、国際的
なコミュニケーション能力、多
様な言語・表現力等

教員希望者相談ブース

教員養成プログラムの中核として各講座と連携。教員希望の在学生や卒業生にあらゆる支援を行うことを目的とし、講師が一人ひとりに合わせた試験対策、学習相談などのサポートを行います。さらに、ミニ講座等のイベントを開催し、教員希望者の学習意欲の向上を図ります。

参加可能時期	1年次から
実施時期	通年

教員養成合宿

教員採用試験で実施される面接や集団討議などの人物検査対策を行う2泊3日の合宿です。人物試験はテクニックだけでは合格できず、知識と自分の中の「教師像」の確立が重要です。本講座では教育課題等についての理解を深め、その解決の在り方を学習。また、互いに高め合い、応援し合える仲間をつくります。

参加可能時期	3年次
実施時期	9月中旬

日体教学舎

日体教学舎とは、小学校教諭、中・高等学校保健体育科教諭、養護教諭、特別支援学校教諭を目指す学生や卒業生が集い、互いに切磋琢磨し、学び合うための場です。現場で即戦力として活躍するための「教師力」を養成します。

参加可能時期	2・3年次 ※教採合格者のみ4年次可
実施時期	5月～12月

教員採用試験人物試験対策講座(事前・直前)

全国の自治体で実施される教員採用試験の二次試験の内容について対策を行います。多くの教員採用試験受験者の指導に携わってきた、本学卒業生を中心に講師を招聘し、本番前に集中的に行うことで合格につなげます。

参加可能時期	参加可能時期
<事前>2・3年次 (次年度受験者)	<直前>4年次(当該年度受験者) 卒業生も参加可能
実施時期	実施時期
<事前>2月上旬	<直前>7月下旬～8月中旬

教員採用試験論文対策講座(基礎・直前)

論文対策講座は(基礎)と(直前)を用意しており、1・2・3年次に(基礎)において基礎的な力を養います。添削を教員希望者相談ブースの講師が行うため、ブースと併用することで、直接細かな指導を受けることも可能です。4年次には(直前)において、自由に作成した論文を教員採用試験対策専門の学外業者と提携して添削を行い、新たな発見や直前の対策に繋がります。

参加可能時期	参加可能時期
<基礎>1年次から<直前>4年次	
実施時期	実施時期
<基礎>後学期<直前>前学期	

見事合格した先輩たちから一言!

日体大では基本的な幼児教育の知識だけではなく、幼児の身体を中心に、運動あそびを多く学びました。また、保育の現場体験を通じて、多くの子どもたちや保育者と関わることができました。学んだことを活かし、歌うことの楽しさや、運動あそびを通じて体を動かすことの楽しさを子どもたちに伝えたいです。



子どもたちが
楽しく登園できるような
クラスに

児童スポーツ教育コース
児童スポーツ教育学科
幼児教育保育コース
2024年度卒業
安藤 真央
東京都/
東京女子館
高等学校

日体大で学んでよかったことは、多くの教員養成プログラムを通して教員を目指す仲間と切磋琢磨できた事と応援してくれる仲間がたくさん出会った事の2つです。先輩、同級生、後輩から多くの刺激や学びを受け、このような環境で学べたことは良かったと感じており、教員を目指す際に応援してくれた仲間には感謝しています。



生徒とともに
成長し続け、心情を
動かせる教員に

スポーツ文化学部
スポーツ国際学科
2024年度卒業
二川 寿孔
東京都/
東亜学園高等学校

看護臨床実習での学びが一番身についたと思います。この実習では、一人の命を救うために医師、看護師の方々がチームを組み行動する姿に感動するとともに、学校現場では私が児童生徒の心と体を守る役割であると、とても実感させられました。チームとして行動することの大切さ、様々な患者さんとの向き合い方を学ぶことができました。



児童生徒、先生からも
頼ってもらえる
養護教諭に

体育学部
健康学科
2024年度卒業
海老沼 初音
群馬県/
館林女子高等学校

免許・資格

教職員が連携してさまざまな免許・資格取得をサポートします。

将来の目標に合わせて、授業やクラブ活動と両立させながら、多彩な免許・資格にチャレンジすることが可能です。

日体大のカリキュラムで 取得を目指す免許・資格一覧		資格内容						取得の流れ	活躍のフィールド			
		体育学部 体育学科	健康学部 健康学科	スポーツ文化学部 武道教育学科	スポーツマネジメント学部 スポーツ国際学科	スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科	児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育コース 幼児教育保育コース			保健医療学部 整復医療学科 救急医療学科		
教員免許・国家資格	中学校教諭一種免許状(保健体育)						※1		中学校における保健体育の教員になるための免許です。保健体育の先生として体育実技の指導をするだけでなく、心身の健康についての知識を指導します。	卒業要件単位修得 + 教職課程科目修得	中学校、中等教育学校	
	高等学校教諭一種免許状(保健体育)								高等学校における保健体育の教員になるための免許です。保健体育の先生として体育実技の指導をするだけでなく、心身の健康についての知識を指導します。	卒業要件単位修得 + 教職課程科目修得	高等学校、中等教育学校	
	特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)※中または高(保健体育)免許取得必須	スポーツ教育専攻※2								特別支援学校や、小・中学校の特別支援学級で、自立支援教育や通常の学校に準じた教育を行う教員のための免許です。なお、中学校または高等学校教諭の免許状取得が必要です。	卒業要件単位修得 + 教職課程科目修得 + 特別支援学校教諭教職課程科目修得	特別支援学校
	養護教諭一種免許状		ヘルスプロモーション専攻※3							「保健室の先生」として、児童や生徒の健康管理と保健指導を行います。病気やケガはもちろん、さまざまな心の悩みにも対応する必要があります。中学・高等学校など学校の種類に関係のない、共通の免許状です。	卒業要件単位修得 + 教職課程科目修得	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校
	小学校教諭一種免許状									小学校の教員になるための免許です。すべての教科を受け持ち知的能力の向上を目指すほか、ホームルームなどを通じて、児童一人ひとりの個性や人間性を育てていくことも重要な役割となっています。	卒業要件単位修得 + 教職課程科目修得	小学校
	幼稚園教諭一種免許状									幼稚園で働くために必要な免許です。幼稚園教諭は教育の観点から、知育や運動発達、社会性の発達を重視した活動を行う中で、幼児の心身を育て、力を伸ばす指導を行います。	卒業要件単位修得 + 教職課程科目修得	幼稚園
	保育士									保護者に代わって6歳までの子どもを預かり、子どもが安心して安全に過ごせるように保育を行うための資格です。	卒業要件単位修得 + 保育士資格科目修得	保育所および乳児院・児童養護施設などの児童福祉施設
	社会福祉士(受験資格)		ウェルネスライフ専攻※4							ソーシャルワーカーとも呼ばれ、人が生活していく上で遭遇する、病気、障がい、生活資金の不足、子育ての問題、災害など、さまざまな困難や危機に適切な助言をして問題解決を図ります。	必要な単位修得 + 実務 + 筆記試験	福祉事務所や社会福祉協議会、福祉施設、病院、地域包括支援センター など
	第一種衛生管理者									労働者の健康を守るための作業環境管理、作業方法の管理、健康の保持増進措置が主な役割です。常時50人以上の従業員が働く事業所では、衛生管理者を必ず1人以上置くことが義務付けられています。	学位取得 + 必要な単位修得	一般企業 など
	社会福祉主事(任用)									社会福祉における相談業務をするための資格であり、公務員として福祉事務所に勤務した際、現業員(家庭訪問、面談、生活指導等を行う役職)として任用される者に要求される任用資格です。	必要な単位修得	各種地方公共団体 など
柔道整復師(受験資格)									一般的に、ほねつぎ、柔道整復師として広く知られています。柔術の「活法」を基本とし、ケガ人を回復させる技術として伝承されています。	卒業要件単位修得 + 筆記試験	医療機関、介護・福祉関連施設、スポーツクラブや各種競技団体、プロスポーツチーム など	
救急救命士(受験資格)									医師以外には禁止されていた医療行為の中で、救命処置に役立つ「特定医療行為」を認められています。救急現場において、医師と電話で緊密な連絡を取りながら指示を仰ぎ、患者の命を救います。	必要な単位修得 + 筆記試験	消防署や警察署をはじめとする地方公共団体、医療機関 など	
民間資格	共通科目Ⅲ免除								(財)日本スポーツ協会共通科目Ⅲの受講免除を受けることができます。	必要な単位修得 + オンライン試験		
	水泳コーチ3(受験資格)								広域スポーツセンターやトレーニング拠点において、水泳競技における専門的な指導能力を生かし、高いレベルの実技指導を行うための資格です。	必要な単位修得 + 検定試験	地域のスポーツクラブや学校、競技団体など	
	ハンドボールコーチ1(受験資格)								地域スポーツクラブ(スポーツ少年団など)や小・中・高等学校の部活動の指導者、そして今後指導者をを目指す者を対象に基礎的な実技指導を行うための資格です。	必要な単位修得 + 検定試験	地域のスポーツクラブや学校、競技団体など	
	バドミントンコーチ2(受験資格)								地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等のコーチングスタッフ、監督・ヘッドコーチの活動を通して、地域でのバドミントンの普及および強化の役割を担い、都道府県内でのコーチ間の連携を支援する資格です。	必要な単位修得 + 検定試験	地域のスポーツクラブや学校、競技団体など	
	アスレティックトレーナー(受験資格)							※5 ※人数制限有	競技者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・傷害の救急処置、アスレティックリハビリテーションおよび体カトレーニング、コンディショニングなどを行うための資格です。	必要な単位修得 + BLS + 検定試験	スポーツクラブや各種競技団体、プロスポーツチーム、アマチュアスポーツチーム など	
	ジュニアスポーツ指導員(受験資格)								発達期の子どもの身体的・心理的特徴についての専門的な知識と指導ノウハウを持ち、おおよそ2歳くらいの幼児から15歳までの子どもたちを対象に指導に当たるための資格です。	必要な単位修得 + 検定試験	地域のスポーツクラブやスポーツ教室、公共施設 など	
	アシスタントマネジャー(受験資格)								総合型地域スポーツクラブなどにおいて、会員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネージャーを補佐し、クラブ運営のための諸活動をサポートするための資格です。	必要な単位修得 + 検定試験	地域のスポーツクラブやスポーツ教室など	
	(公財)日本レクリエーション協会公認スポーツ・レクリエーション指導者								ゲームや歌、集団遊び、スポーツといったアクティビティを効果的に活用し、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」など、対象や目的に合わせてプログラムを企画・展開します。	必要な単位修得	社会福祉関係、教育関係業	
	(公財)日本パラスポーツ協会公認初級パラスポーツ指導員								地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援します。	必要な単位修得	障がい者に対するスポーツ指導やパラスポーツの大会、イベントなどの障がい者スポーツ事業の普及や振興	
	(公社)全国保育サービス協会認定認定ベビーシッター								ベビーシッターに必要な職業倫理や専門知識・技術を備えた人に付与されるものであり、いわば在宅保育のプロフェッショナルです。	必要な単位修得	個人で子どもを預かるベビーシッター など	
	(一社)学校心理士認定運営機構 准学校心理士								学校生活の問題について、アセスメント・コンサルテーション・カウンセリングなどを通して、子ども自身、子どもを取り巻く保護者や教師、学校に対して、心理教育的援助サービスを行う「学校心理士」に準ずる資格です。	必要な単位修得	幼小中等学校、特別支援学校、教育委員会、教育相談所 など	
	(公財)日本スポーツ施設協会 スポーツ施設管理士(受験資格)								スポーツ施設の管理者として、屋内外のスポーツ施設、体育館、プール、音響や照明、芝生といった施設全般の維持管理・運営に関する総合的な知識が必要な資格です。	必要な単位修得 + 検定試験	体育施設、スポーツ施設 など	
	(公財)日本スポーツ施設協会 スポーツ施設運営士(受験資格)								スポーツ施設の運営者として、スポーツ活動や施設の組織運営、管理コスト、施設の利用促進、ホスピタリティなどの知識・技能を持った指定管理者制度や事業運営に対応するための資格です。	必要な単位修得 + 検定試験	体育施設、スポーツ施設 など	
	(一社)全国体育スポーツ系大学協議会 JPSUスポーツトレーナー(受験資格)								「運動指導実践」と「救急・予防対応能力」を兼ね備え、経済産業省が推奨する「社会人基礎力(前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)」を保持した指導者資格のこと。	必要な単位修得 + BLS + 資格 + 講習 + 検定試験	地域のスポーツクラブ、スポーツ教室、学校、競技団体 など	
	特定非営利活動法人 日本トレーニング指導者協会 JATI認定トレーニング指導者資格(JATI-ATI)(受験資格)								一般人からトップアスリートまで、あらゆる対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムの作成と指導ができる専門家であることを証明する資格です。	必要な単位修得 + 認定試験	地域のスポーツクラブ、スポーツ教室、学校、競技団体など	
	認定特定非営利活動法人 日本防災士機構 防災士(受験資格)								災害からの被害を最小限にとどめ、地域防災力の担い手・地域の防災リーダーとしての活躍が期待される資格です。	必要な単位修得 + 検定試験	官公庁・自治体・民間企業の防災危機管理部門、災害ボランティア等	
	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 介護予防運動指導員(カリキュラム申請中)※8								東京都健康長寿医療センター研究所(老年学研究所の国内主要機関)がもつエビデンスに基づいた介護予防の知識、実践方法を習得した介護予防のスペシャリストです。	必要な単位修得 + 修了試験	介護予防の現場など	
	National Strength and Conditioning Association NSCA-CSCS	スポーツ科学専攻							ウェルネスライフ専攻※7	傷害予防とスポーツパフォーマンス向上を目的とした安全で効果的なトレーニングプログラムを計画・実行する知識と技能を有する人材を認定する資格です。	必要な単位修得 + 試験	アスリート、スポーツチームなど
National Strength and Conditioning Association NSCA-CPT	スポーツ科学専攻							ウェルネスライフ専攻※7	健康と体力のニーズに関して、評価・動機づけ・教育・トレーニングやコンディショニング全般の指導を行う、優れた専門的能力をもつ人材を認定する資格です。	必要な単位修得 + 試験	アスリートに限らず幅広い層を対象	
公益財団法人健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士									保健医療関係者と連携しつつ安全で効果的な運動を実施するための運動プログラム作成及び実践指導計画の調整等を行う役割を担う者をいいます。	必要な単位修得 + 試験	フィットネスクラブ、病院、福祉施設など	
公益財団法人健康・体力づくり事業財団 健康運動実践指導者									積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導できる能力を有すると認められ、自ら見本を示せる実技能力と特に集団に対する運動指導技術に長けた者をいいます。	必要な単位修得 + 試験	フィットネスクラブ、病院、福祉施設など	

ほかに
こんな資格を取得している先輩が！

- NAUISクワダイバーCカード
- SAJ級別テスト(バッジテスト)
- (公財)日本体操協会公認 一般体操指導員

- (公財)日本サッカー協会公認 サッカー公認審判員
- ライン・ダンススポーツインストラクター
- 日本ライフセービング協会公認 ベーシックサーフライフセーバー

- 日本赤十字社公認 救急法救急員
- 柔道段位
- 剣道段位級位 など、多種多様な取得実績があります。

※1 当該カリキュラムは小学校教員の養成を主たる目的としているため、小学校教諭一種免許状に加えて中学校教諭一種免許状(保健体育)の取得が可能となります。なお、教育実習は小学校で実施します。 ※2 特別支援教育プログラムのみ取得可能です。 ※3 養護教諭プログラムのみ取得可能です。 ※4 地域健康サポートプログラムのみ取得可能です。 ※5 サブプログラムを選択することで取得可能です。

※6 スポーツ科学専攻は、サブプログラムを選択することで取得可能です。 ※7 健康ウェルネスプログラムのみ取得可能です。 ※8 課程認定が承認されなかった場合は、該当資格の取得は出来ません。

体育学部の免許・資格取得につきましてはこちらをご覧ください▶



輝く未来

日体大で培った経験を活かし、活躍する先輩たち。

幅広い分野で躍動する彼・彼女らも大学で学び、成長したからこそ今の活躍があるのです。

先輩たちがどのような機知を得て、何に迷い、どんな成長・経験をしたのかがうかがってみました。



鉄道 駅務員

東急電鉄株式会社
望月 風歌さん

2019年度 体育学部 武道学科 卒業

大学時代に身につけた主体性とコミュカが仕事の武器に!

日体大への進学理由は?

体育教員を目指して、日本トップの体育大学を志望

小さい頃からダンスを習い、体を動かすことが好きでした。周りと協力し、「この動きはこうしたほうがいいよ」と話し合う時間が楽しく、次第に体を動かす楽しさや喜びを伝えたいと思うように。そのとき体育の教員を目指すことを決意し、日本トップの体育大学である日体大を志望しました。また、大学で少林寺拳法の練習に参加し、統率が執られた組織に魅力を感じ、一緒にやりたいと思ったのも理由のひとつです。

自分の成長につながった大学時代の思い出

日体大で培ったスキルを仕事でも大いに活用

高校生までは話し合いの場で自分の意見を言わないタイプでした。平和に取まればいいと思っていましたが、大学では少林寺拳法の部活を運営する中で、意見がぶつかる場面があっても、自分の意見を伝えることで、建設的な相乗効果が生まれることを実感。仲間と話し合いを重ねるうち、意見を言えるようになりました。コミュニケーション力や自分から率先して動くことも大学で得た力で、仕事で大いに役立っています。

仕事の志望理由と高校生へのひとこと

安全を支える鉄道業界なら自分らしさをより活かせる!

部活で役職を任せられ、みんなの当たり前を支えたいと思うようになりました。その思いを実現できる職業を考え、毎日の安全と安定を支える鉄道業界に魅力を感じ、志望を変更。体育教員への未練もありましたが、責任感の強さをより活かせる、安全を徹底する鉄道業界では強みになると考えたからです。日体大では全国から集まった志高い仲間と過ごす学生生活が待っています。それが人生の財産になると信じて、頑張ってください。

パーソナル トレーナー

トータル・ワークアウト
プレミアムマネジメント株式会社
高崎 大さん

2014年度 体育学部 体育学科 卒業

アメフト部で培った土台を武器に、職人性と人間性が鍵のトレーナーに

日体大への進学理由は?

一番の理由は日体大出身の恩師に勧められたこと

中学時代の体育の先生が印象深く、その影響で漠然と体育教師を目指すようになりました。地元が山形県だったこともあり、高校時代は東北の大学への進学を考えていましたが、日体大剣道部出身の学年主任の先生と出会い、話を聞くうちに日体大の魅力を知り、進学を勧められました。「日体大に行けるかもしれない」と思ったときには、不安よりも希望やワクワク感がのほうが大きかったですね。

自分の成長につながった大学時代の思い出

今の自分をつくった大学4年間の人のつながり

中学高校では陸上部に所属していましたが、チームスポーツに挑戦したいという思いから、アメフト部に入部しました。ありきたりな表現ですが、そこで得た経験は一生の財産です。鍵は、今の仕事にも通じる「人」の存在です。ケガをしても折れずに立ち続けられたのは、仲間の存在が大きかったから。切磋琢磨し、助け合うことができたのは、日体大アメフト部というレベルの高い環境があったからこそだと感じています。

仕事の志望理由と高校生へのひとこと

トップレベルの環境に身を置き、自分の可能性を磨こう!

文武両道で教員免許も取得しましたが、職人性と人間性の両方を追求できるトレーナーの道を選びました。教師として人を育てる道も魅力的でしたが、体の構造や仕組みを深く理解し、専門性を極めることにも惹かれたからです。その土台はアメフト部の経験です。日体大には突出した人材が集まり、広大な敷地と充実した設備、しっかり学べるカリキュラムが整っています。トップオブトップの環境に身を置くチャンスは逃す手はありません!

化粧品製造・販売 営業職

東京サラヤ株式会社
角津 澄滯さん

2022年度 体育学部 体育学科 卒業

日体大で鍛えた「場を読む力」が、仕事の現場で武器になる!

日体大への進学理由は?

ハンドボールへの挑戦と教員を目指して日体大へ

高校から始めたハンドボールを大学でも続けたいと思ったため、一部リーグに所属する日体大を志望しました。中学のときに所属していたソフトボール部では理論的な指導を受け、説明されて自分が納得するとモチベーションが上がることを実感。一方、高校のハンドボール部では熱血指導に魅力を感じ、論理的かつ熱い指導ができる教員になり、部活動の指導者としても関わりたいと思い、日体大への進学を選択しました。

自分の成長につながった大学時代の思い出

社会に出ても通用する縦社会を学べたのが強みです

ひたすらがむしゃらに毎日過ごす中、部活の先輩に叱られることもありましたが、そうした経験を通じて、気遣いや場を読む力、人間力が育まれ、コミュニケーション能力が養われたと感じています。同じことを伝えるにも、言い方や接し方、タイミングを少し工夫することで、物事が円滑に進み、自分にとってよい回答を得られることもあります。縦社会を学べたことは、日体大生ならではの強みです!

仕事の志望理由と高校生へのひとこと

多様性のある日体大は刺激的! 人間力も伸ばせます

「一度社会に出てから教員を目指すほうがあなたにプラスになる」というアドバイスに背中を押され、衛生業界に飛び込みました。今の職場に決めたのは、生き生きと働く日体大の先輩から相談しやすい環境があると聞いたからです。多様性に富む日体大は刺激的で、漠然と人間力を伸ばしたいという思いで選んでも、それを実現できる場所。いろいろなことに挑戦し、自分なりの強みを見つけられるはずですよ。



ゴルフ用品メーカー
マスターフィッター

テーラーメイド ゴルフ株式会社
高橋 みさとさん

2023年度 スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科 卒業

大学時代にゴルフを一番楽しみ、ゴルフに関わる仕事を実現!

日体大への進学理由は?

スポーツと経営を学べる学部に魅力を感じて

高校生の時点でゴルフ歴は10年ありましたが、2年生のときにプロを目指すことを決めました。大学では競技を続けたかったため、候補のひとつだった日体大のオープンキャンパスに参加。その際、スポーツと経営を学べるスポーツマネジメント学部が新設されると知り、いろいろと調べていくうちにますます魅力を感じたので、進学を決意しました。そして最終的にはスポーツ推薦で入学することができました。

自分の成長につながった大学時代の思い出

ゴルフを教える側を経験し、自分の言葉で伝えられるように

ゴルフ部に入学し、厳しくも温かいご指導をいただいたおかげで、目上の方の話方やコミュニケーション力を身につけることができました。ゴルフ実習で指導員として教える側を経験したことも、印象深い思い出です。それまでは感覚的にプレーしていたため、ゴルフを知らない人にどう教えるかをひとりで考え、言葉で説明するのが難しかったのですが、少しずつ伝えられるようになり、貴重な経験となりました。

仕事の志望理由と高校生へのひとこと

自分の強みを見つけたらそれを信じて突き進め!

世界中で活躍するプロが信頼するゴルフブランドで働きたいという思いから、テーラーメイド ゴルフでアルバイトを始め、大学3年次にはビジネス現場実習でインターンも経験しました。仕事で心がけているのは、自分自身が楽しむこと。大学時代にゴルフが一番楽しんでいたため、それを仕事にも活かしていると感じています。進路選びでは自分の強みが何かを考え、その強みを活かせる道を選ぶのがいいと思います。それが見えてきたら、自分を信じて突き進んでください!



警察官

警視庁
永長 健也さん

2016年度 体育学部 社会体育学科 卒業

選択と挑戦でつかんだ夢の道。これからも選択を正解に導く生き方をしたい

日体大への進学理由は?

世界で活躍する指導者を夢見て

中学1年のとき、担当の体育教諭に憧れ、日体大への進学を決意。シニアリーグでの海外遠征を機に、世界で活躍する指導者になることが夢になりました。高校は、日体大への最短ルートとして、日本体育大学荏原高等学校を選択。部活ではけがや病気を乗り越え、精神的にも成長しました。指定校推薦は叶いませんでしたが、夢をあきらめきれずに一般入試に挑戦し、日体大に合格しました。

自分の成長につながった大学時代の思い出

心身ともに限界突破! 仲間がかけがえのない財産です

社会人になる前に何かで日本一になると目標を定め、新たな競技に挑戦。ラクロス部(男子)に入学し、3年次には創部初の日本一を経験、チームに貢献しました。また、エッサッサにも取り組みました。部活動とエッサッサの両方を通じて、どんな苦難に当たっても粘り強く物事と向き合い、仲間と切磋琢磨することで乗り越えていけるという限界突破力を学びました。強靱な体力と心のスタミナは大学で培った賜物です。

仕事の志望理由と高校生へのひとこと

人生は選択と挑戦の連続。心から楽しんでください

体育教員が別の道かを目指して悩んでいたある日、『警察24時』を見てカッコいいと感じ、警視庁警察官を志しました。現在は、テレビで見えるような現場が頻繁におこる部署に所属しています。私は日体大に入り、夢をつかみました。みなさんも若いからこそできる選択と挑戦を楽しんでほしいと思います。そして、多様な価値観や指導者、仲間とのふれあいを大切に、無限の可能性のもと、大学生活を謳歌してください。



ホテル
サービス業

TRUNK(HOTEL)
瀧澤 友彬さん

2019年度 体育学部 社会体育学科 卒業

日体大で培った力が、ハイレベルな環境で活かされている

日体大への進学理由は?

日体大は目標に必要なすべてが揃う環境

理由は3つあります。1つ目はオーストラリア留学で出会った体育教師の指導に感銘を受けたこと。2つ目は母校の体育の先生が日体大OBで、その熱い指導に触発され、体育教員になりたいと思ったこと。3つ目はトレーナーの道も考え、他大学を視野に入れていたものの、国内アメフトの決勝戦を観戦してアメフトに魅力を感じたため。結果、アメフト部があり、体育教員やトレーナーを目指す日体大を志望しました。

自分の成長につながった大学時代の思い出

継続力・人間力・忍耐力を身につけることができた

テーピングやアイシングなどの授業で、緊急時に役立つ知識と技術が育まれました。アメフト部では継続力、人間力、忍耐力が鍛えられたと感じています。例えば、筋トレを続けた成果は見た目にも表れます。それは社会に出ても同じ。やり続ければ達成できると実感しているからこそ、困難に負けない今の自分があります。アスリートや多くの人と出会ったことも大きな財産。職場の後輩たちの育成では、教育実習での経験が活かされています。

現在の仕事と高校生へのひとこと

日体大で得たスキルは未来を切り開く力になる

現在はTRUNKでプライダルの責任者を務めています。多様なお客様への対応に日体大の学びが活かされています。日体大に入学したら、ぜひ部活に入ってください。楽しくておもしろい授業ももちろんですが、部活を通じて自己成長に必要なスキルが身につきます。チーム力や団結力、集団で動く中での立ち居振る舞いなどを学べるのも日体大ならではです。得意・不得意は関係ありません。不得意なところも、日体大に入れば伸ばせます!



幼稚園教諭

つくば市立谷田部幼稚園
山中 麻未さん

2019年度 児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科 幼児教育保育コース 卒業

粘り強さと探究心は、日体大での経験の賜物です

日体大への進学理由は?

理想のキャリアを築くために選びました

自分の好きなこと、得意なことを生かせる職業を目指したのがきっかけです。私は幼い頃から体を動かすことが好きで、体育の授業の楽しさを感じてから、先生という職に憧れをもつようになりました。そんなとき幼児の運動能力低下の記事を見て、幼少期に体を動かす大切さを伝えたいという思いに。日体大では幼稚園教諭と保育士資格を取得できるため、理想に近づける学びができると考え、進学を決めました。

自分の成長につながった大学時代の思い出

時間の大切さに気づき、まわりから得た刺激が財産に

大学まで毎日2時間半かけて通っていましたが、サークルや保育園でのバイトにも挑戦。限られた時間の中で隙間時間を見つけたり、時間を組み立てたりする意識がついたことは、自分の強みに繋がったと感じています。また、粘り強さと探究心は、日体大での経験が生かされていると思っています。日体大には向上心の強い学生が多く、たくさんの刺激を受けました。周りを見てヒントを探し、自分の技術にしようとするところは、日体大で身についたものだと感じます。

仕事の志望理由と高校生へのひとこと

今の自分があるのは、大学の4年間があったからこそ

幼稚園、保育園、施設での実習を経験し、教育的な立場から子どもたちの成長をサポートしたいと思い、幼稚園教諭になりました。日体大での4年間があったからこそ、今の自分があると思っています。日体大の先生方は親身になって話を聞いてくださり、就職活動でたくさん支えていただきました。オンとオフを切り換える環境も整っています。日体大を目指す皆さんにもいろいろなことに挑戦し、経験を積みながら充実した4年間を送って欲しいと思います。

東京・世田谷 キャンパス

体育学部

スポーツ文化学部

児童スポーツ教育学部



施設MAP

スポーツ科学 研究の場

スポーツ棟、教育研究棟、多目的グラウンドの3つのエリアから成り、実技と研究のための充実した設備が整っている東京・世田谷キャンパス。教育研究棟のエントランスには、日体大の象徴であるブロンズ像「EOS」が鎮座しています。

施設概要

住居表示 東京都世田谷区深沢七丁目1-1
敷地面積 39,894.68m²
建築面積 15,221.20m²
延床面積 56,582.07m²
階数 地下2階・地上6階・塔屋2階
構造種別 鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造

付帯施設

- みずほ銀行ATM
- 学生サポートデスク
- 店舗(ローソン、三善堂、ササキスポーツ)

- 教育研究棟
図書館／コンピューター室／
保育演習室／
福祉演習室／介護実習室など

■ 多目的グラウンド

- スポーツ棟
メインアリーナ／中体育館／
小体育館／多目的プール／
スポーツトレーニングセンターなど

アスリートと研究者の学びを支える “世界水準”の環境

都心に近い、桜並木と小川に沿った閑静な住宅街にある東京・世田谷キャンパス。「身体にまつわる文化と科学の総合大学」にふさわしい最先端の施設を備え、アスリートにとっても研究者にとっても“世界水準”で学べる環境が整っています。また、文化としての体育スポーツを国内外に発信し、広く社会に貢献するための情報センターという役割も担っています。



★
メインアリーナ

部活動や式典など、多機能スペースとして活用。通常は電動間仕切りで2つの空間に区切られ、バスケットボール部やバレーボール部などが使用。



★
中体育館(体操場)

写真の体操場をはじめ、小体育館と中体育館、合わせて14の体育館を完備。それぞれの部が快適に活動できるよう、こだわりが随所に盛り込まれています。



★
小体育館(ダンス場)

二重窓で遮音性も考慮した設計のため、音楽もダンスも存分に楽しむことができます。



★
ランニング走路

スポーツ棟の3階に設置。メインアリーナを囲む、1周約240mのブルータータントラックです。



★
コンピューター室

充実したIT環境で学生の活動を支援。学業や研究のほか、さまざまな用途に利用することができます。



★
大教室

200人が入れる大教室のほか、大小用途に合わせた教室があります。

スマホやPCで バーチャル見学もできます。

360度画像で キャンパスツアー体験

★マークが付いている施設は下のQRコードから楽しめる「360°View」でも紹介しています。



気になる施設を 3D画像で見学

QRコードが付いている施設は3D映像でもご紹介しています。現実には見られない真上からの眺めなど、さまざまな角度からのぞいてみてください。



★
多目的グラウンド

東京ドームと同じ人工芝の上に各種競技用のラインが引かれ、さまざまな競技が実施可能なグラウンド。100m走路も併設されています。



★
100m走路

目に優しく、心理的に落ち着きをもたらすといわれているブルータータンを採用。



★
多目的プール

中体育館3つとともに、スポーツ棟の地下に併設。短水路25mが7レーン設けられています。



★
中体育館(剣道場)

「検」を使用しており、素足での練習も安心して行うことができます。



★
中体育館(柔道場)

290畳の広さを誇り、公式の練習場が3面とれる大きさとなっています。



★
小体育館(レスリング場)

授業などでも使用する、本格的な専用のレスリング場です。壁にはシボルのライオンが描かれています。



★
小体育館(トランポリン場)

天井の高さ10mのトランポリン専用体育館。安全に練習するためのバンジーも設置されています。



★
スポーツトレーニングセンター

年間で延べ10万人以上が利用。トップアスリートの競技力向上や、学生の基礎体力づくりの理論・実践の研究に活用されています。



★
中央測定室

主に大学院の研究で使われる施設です。さまざまな測定機材が置いてあり、最先端の研究がここで行われています。



★
図書館

体育スポーツ関連の専門書は日本屈指の蔵書数を誇り、学外の利用者も多いのが特徴です。



★
福祉演習室・介護実習室

病院や介護施設と同等の設備が備わった実習室で、質の高い介護実習を行うことができます。



★
保育演習室

幼児教育保育コースの専用演習室として使用。日々、実際の現場を想定した実践的な授業が行われています。



★
キャリアセンター

就活・教職サポートの拠点で、専任スタッフ、キャリアカウンセラーが常駐し、職種別にキャリア支援行事を開催しています。



★
学生食堂

500人以上が同時に利用可能。リーズナブルながらも栄養学に基づいたメニューを取り揃えています。



★
ブロンズ像「EOS」

文化勲章受章者・中村晋也の代表作。躍動感あふれる名馬が、古代ギリシャのオリンピック種目・戦車競走の戦車を全力疾走で引きます。



★
記念講堂

記念講堂には600人以上を収容可能。席は可動式で、収納時には体育館、展開時には講演や式典などの行事用の講堂として利用できます。



ドローン撮影による
キャンパス紹介
ムービーです。
ぜひご覧ください。



日体大 学食

東京・世田谷キャンパスでは、500人以上収容可能な学生食堂で、がっつりメニューからヘルシーメニューまで幅広く提供しています。ほかにも豊富なメニューをご用意!

947 kcal

唐揚げ丼(並)

420円

みんな大好きなボリューム満点の大人気メニューです。



923 kcal

カツカレー(並)

450円



570 kcal

かき揚げうどん

420円



392 kcal

きつねそば

350円



373 kcal

醤油ラーメン

390円



ここに注目!
学食スタッフが考案した、野菜が苦手な学生でも無理なく野菜を摂れるメニューを用意。栄養に関する情報も定期的に発信しています。



Set Meal (Pork & Beef)
ハワイアンハンバーグ
グレービーソース

520円

日替わりで楽しめるメニューです。



KARAKUSA CAFE

東京・世田谷キャンパスのスポーツ棟にあるカフェスペースです。1・2階の席はゆったりとした空間になっており、コーヒーやソフトクリーム、手作りのスイーツ、軽食などが利用できます。また、24時間利用できるキャッシュレスの「コーヒーマシーン」や「冷凍弁当自販機」も利用できます。

1階:22席、2階:48席(6人掛けボックス席×8)

営業時間:10:30~17:00(平日のみ)

※各諸行事、授業日程等の関係で変更あり



男子寮 深沢寮

学生寮公開

日体大生の約1/4は寮生活を送っています。食事、門限など、彼らは一体どんな生活を送っているのか、その気になる暮らしぶりについてまとめてみました。

〒158-0081 東京都世田谷区深沢5-12-17
☎ 03-5706-0904 (学生支援センター)

最大定員 **256名** 部屋数 **69室**

集団生活での規律、礼儀作法、コミュニケーション力を身に付けることができる環境です。

管理人が常駐	キャンパスまで徒歩5分
エッサッサの太鼓が起床の合図	栄養士が食事をサポート

寮納費内訳(2025年度予定)

納入区分	入寮費	寮費	食費	合計金額	納入期限		
一括 全納	4月~3月分	¥20,000	¥384,000	¥442,320	¥846,320	4月25日	
分割	初回分	4月~5月分	¥20,000	¥64,000	¥97,870	¥181,870	4月25日
	2回分	6月~7月分	—	¥64,000	¥87,910	¥151,910	5月23日
	3回分	8月~9月分	—	¥64,000	¥20,110	¥84,110	7月25日
	4回分	10月~11月分	—	¥64,000	¥98,820	¥162,820	9月26日
	5回分	12月~1月分	—	¥64,000	¥67,520	¥131,520	11月28日
	6回分	2月~3月分	—	¥64,000	¥70,090	¥134,090	12月26日
合計		¥20,000	¥384,000	¥442,320	¥846,320	—	

【食費】1日3食 1,620円(朝食430円・昼食520円・夕食670円)
給食期間は4月1日朝食~翌年3月16日朝食までです。
ただし、夏休みと年末、年始は休食となります。

生活時間	平日	土・日・祝日
点呼	6:30	7:30
朝食	掃除終了後~9:30	
昼食	11:45~14:00	
夕食	17:30~24:00	
入浴	16:00~24:00	
門限	22:00	
消灯	23:00	

*料金については、一部変更されることがあります。
*入寮費は初年度のみ、2年目以降は入寮更新費として10,000円を徴収します。
*光熱水費は寮費に含まれます。(寮費:月額32,000円)
*寮納費の支払い方法は、所定用紙による振込となります。

深沢寮の1日の食事例

※食事メニューは、栄養士によって考えられています。
※ごはん、味噌汁、キャベツはおかわり自由。

朝	昼	晩
<ul style="list-style-type: none"> ベーコンエッグ ポテトサラダ パンorご飯 オニオンスープ フルーツ・ヤクルト 	<ul style="list-style-type: none"> チキンソテー わかめスープ マカロニサラダ 	<ul style="list-style-type: none"> きのこの炊き込みごはん ジャケのうま味醤油焼き ハムカツ 焼きなす デザート・豚汁

■その他 クラブ等で運営している寮・合宿所(東京・世田谷キャンパス周辺)

柔道部克己寮	剣道部亢龍館	相撲部洗心寮
スキー部男子合宿所	スキー部女子合宿所	男子バスケットボール部LIONS HOUSE

※費用等については、各クラブにお問い合わせください。

特別メニューも!? SNSをチェック!



女子寮 和泉寮

最大定員 **250名** 部屋数 **125室**

明るく開放的な和泉寮。キャンパスからも近く、安全で快適な生活を提供します。

管理人が常駐	キャンパスまで徒歩8分
先輩とも交流が深まる2人部屋	栄養士が食事をサポート

寮納費内訳(2025年度予定)

納入区分	入寮費	寮費	食費	合計金額	納入期限		
一括 全納	4月~3月分	¥20,000	¥384,000	¥442,320	¥846,320	4月25日	
分割	初回分	4月~5月分	¥20,000	¥64,000	¥97,870	¥181,870	4月25日
	2回分	6月~7月分	—	¥64,000	¥87,910	¥151,910	5月23日
	3回分	8月~9月分	—	¥64,000	¥20,110	¥84,110	7月25日
	4回分	10月~11月分	—	¥64,000	¥98,820	¥162,820	9月26日
	5回分	12月~1月分	—	¥64,000	¥67,520	¥131,520	11月28日
	6回分	2月~3月分	—	¥64,000	¥70,090	¥134,090	12月26日
合計		¥20,000	¥384,000	¥442,320	¥846,320	—	

【食費】1日3食 1,620円(朝食430円・昼食520円・夕食670円)
給食期間は4月1日朝食~翌年3月16日朝食までです。
ただし、夏休みと年末、年始は休食となります。

生活時間	平日	土・日・祝日
起床	6:30	7:30
点呼	6:35	7:35
朝食	点呼終了後~9:30	
昼食	11:30~14:00	
夕食	17:45~23:00	
洗濯	朝点呼後~23:15	
清掃	夜点呼後~22:15	
入浴	浴室 朝点呼後~9:30	
	シャワー 朝点呼後~22:00	
門限	22:00	
点呼	22:00	
消灯	23:15	

*料金については、一部変更されることがあります。
*入寮費は初年度のみ、2年目以降は入寮更新費として10,000円を徴収します。
*光熱水費は寮費に含まれます。(寮費:月額32,000円)
*寮納費の支払い方法は、所定用紙による振込となります。

和泉寮の1日の食事例

※食事メニューは、栄養士によって考えられています。
※ごはん、味噌汁、キャベツはおかわり自由。

朝	昼	晩
<ul style="list-style-type: none"> 目玉焼き・納豆、ふりかけ ウィンナー・パン、ご飯 ひじきれんこんサラダ 味噌汁・お新香 牛乳orジョアorオレンジジュース 	<ul style="list-style-type: none"> カルボナーラ サラダ パン スープ デザート 	<ul style="list-style-type: none"> チキンカツ コーン煮 アスパラとえびの和え物 さつまいもレモン煮 ミートボール 味噌汁 ご飯 お新香 デザート

桜新町

和やかな雰囲気が魅力の街
最寄り駅の「桜新町」はサザエさんの街としても有名。都心でありながらどこか懐かしい雰囲気ただよう閑静な住宅街が続きます。

沿線には人気の街がズラリ!

渋谷
ファッション、グルメ、何でも揃う流行の発信地。再開発でさらに魅力アップ。

三軒茶屋
下町感あふれる商店街とおしゃれなカフェや雑貨店、両方を楽しめる街。

桜新町
東急田園都市線で渋谷から9分

二子玉川
大型商業施設を中心に洗練された文化を発信。多摩川沿いで自然も満喫。

東京・世田谷キャンパス

横浜・健志台 キャンパス

体育学部

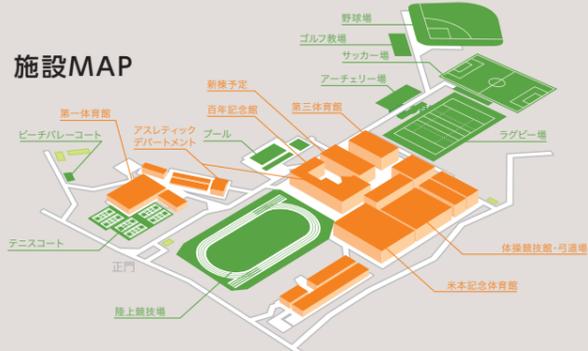
スポーツマネジメント学部

保健医療学部



Campus Life x
Yokohama-Kenshidai
Campus

施設MAP



スポーツ文化 創造の場

教室や健康管理センター、スポーツトレーニングセンターなどが併設された百年記念館を中心に、各種スポーツ施設を完備。図書館なども用意され、学生は安心して学修、クラブ活動に打ち込みます。

施設概要	付帯施設
住居表示 神奈川県横浜市青葉区 鴨志田町1221-1	■ みずほ銀行ATM
敷地面積 172,341.89m ²	■ 学生サポートデスク
建築面積 21,793.18m ² (12棟体育館など含む)	■ 店舗(三省堂、ササキスポーツ)
延床面積 56,582.07m ²	
構造種別 陸上競技場、プール棟(50m、飛込)、 野球場、サッカー場、ラグビー場、 テニスコート、ゴルフ教場、 アーチェリー場	

公式大会で使用できる施設が揃った“スポーツの聖地”

豊かな緑に囲まれた、約17万m²もの広さを誇る横浜・健志台キャンパス。東京・世田谷キャンパスの4倍以上の敷地のなかには、教室や研究室をはじめ、4棟の体育館、陸上競技場、プール、専用競技場など、各種体育スポーツ施設が揃っています。トレーニングセンターなども備えた、スポーツに打ち込むのに最適な環境です。



米本記念体育館(第Iアリーナ)

2階部分は可動式の観覧席で、1,500人を収容可能。普段は収納され、走路として使用されています。米本記念体育館には第Iから第IIIまでの3つのアリーナを併設。



野球場

キャンパスの奥に併設された野球グラウンド。観戦用スタンドやナイター設備も完備され、首都大学野球リーグの開催球場としても使用されています。

スマホやPCで バーチャル見学もできます。

360度画像で キャンパスツアー体験

★マークが付いている施設は下のQRコードから楽しめる「360°View」でも紹介しています。



気になる施設を 3D画像で見学

QRコードが付いている施設は3D画像でもご紹介しています。現実には見られない真上からの眺めなど、さまざまな角度からのぞいてみてください。



第一体育館

最も多くの先輩たちが汗を流してきた伝統ある体育館です。柔道場も併設されています。



アーチェリー場

公式戦にも対応した90mの射場です。防音・防風・防雨対策が施され、天候にかかわらず、いつでも練習が可能です。



米本記念体育館(第IIIアリーナ)

半面はレスリング場として専用のマットが敷いてあり、もう半面は多目的スペースとして使用されています。レスリングや剣道の授業などで利用されています。



サッカー場

全面に人工芝を使用したサッカー専用ピッチ。500人を収容できる観客席も設けられた、本格的な競技用施設です。



プール

屋外温水プールで、競泳・水球用の50mと、水深5mの飛込専用プールがあります。ダイビングの事前実習時にも使用されます。



ゴルフ教場

2017年4月にリニューアルしたゴルフ練習場。14打席が設置され、パター練習場も併設しています。



スポーツトレーニングセンター

多くの人が待たずに一度で利用できるよう、豊富な種類のマシンを数多く設置しています。



1402教室

扇形に広がる階段型の教室。授業のほか、講演会や各種イベントなど、さまざまな用途で使用されています。



ラグビー場

観客席や更衣室・シャワー室が設置されたクラブハウスもあります。



テニスコート

広い敷地内には、全天候型の硬式用コートが2面、ソフトテニス用が4面設置されています。



ビーチバレーコート

2017年に設置された大学としては全国的にもめずらしい施設です。ビーチバレーは五輪種目です。

ドローン撮影による
キャンパス紹介
ムービーです。
ぜひご覧ください。



体操競技館

体操競技専用の体育館。大学としては全国レベルの充実した施設で、公式試合に使用されるものと同等の器具が揃っています。



陸上競技場

国内大会が開催できる公認施設。全面にブルートラックを採用し、全天候型の400mトラックやナイター設備も完備しています。

2025年4月 アカデミック・コア棟(仮)誕生



地上7階建て、主に研究室やゼミ室、教室などのスペースが確保されるほか、1階には学生食堂、最上階の7階にはスポーツや身体に関する書籍が揃う図書館が整備され、学生にとってより快適な学習環境を提供します。

日体大 学食

身体づくりには大切な食事。横浜・健志台キャンパスには「グレートライオン食堂」「選手村」「カラクサフードメンテナンス」と3つの学食が、それぞれ特色のあるメニューを提供しています。

ボリュームなメニューが揃った グレートライオン食堂

グレートライオン食堂のセットメニューは具だくさんの豚汁付。1日に必要な野菜量の約1/3を補えます。野菜を手軽に摂れる50円の小鉢も人気です。ほかにも様々なメニューを用意しています。



から揚げカレー

480円

看板メニューのから揚げとカレーのコラボ。悩んだらコレ!



かつカレー

480円

サクサクの豚ロースかつをトッピングした贅沢な1品です。



919 kcal

から揚げ定食

500円

日本唐揚協会認定のサクサクから揚げです。



474 kcal

かき揚げうどん

400円

1つ1つ手作業で揚げているジャンボかき揚げが自慢の1品です。



339 kcal

そば

310円

そば粉を3割使用した喉越しの良い蕎麦を使用しています。

お洒落な雰囲気人気の カラクサフードメンテナンス



週替わりカレー
バターチキンカレー

600円

いつも早々に売り切れる大人気メニュー!特製レシピで作った管理栄養士イチオシの一品です。



週替わりでA・B・Cの3パターンのメニューがあり、テイクアウトメニューも。カフェにはこだわりのコーヒーやソフトクリームもあります。



日本体育大学 応援食堂
GREAT LION
FOOD COURT
NITTAIDAI

男子寮 健志台寮

〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区 鶴志田町上谷946-2
☎ 045-963-7905 (学生支援センター)

学生寮 公開

日体大生の約1/4は寮生活を送っています。食事、門限など、彼らは一体どんな生活を送っているのか、その気になる暮らしぶりについてまとめてみました。

〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区 鶴志田町550-1
☎ 045-963-7905 (学生支援センター)

女子寮 健志台桜寮

最大定員 **492名** 部屋数 **132室**

“健志台合宿寮”は2023年4月より建物を移転し、“健志台寮”に名称を改め、再スタートしました。

管理人が常駐	健志台キャンパス 徒歩3分	アスリートにおすすめの3食ご飯食べ放題、トレーニング室付き
--------	---------------	-------------------------------

寮納費内訳 (2025年度予定)

入寮費	20,000円 (初年度)
更新費	10,000円 (2年目以降 ※令和5年度新入寮生より徴収)
寮費	33,000円/月 (4名1室) 光熱水費通信費込み
食費	50,000円/月 (1日3食1日1,680円×30日:朝食440円、昼食540円、夕食700円)
合計	83,000円/月 ※毎月末に指定口座より引落し

生活時間		* 入寮費は初年度のみ、2年目以降は更新費として毎年10,000円を徴収します。 * 光熱水費は寮費に含まれます。 * 寮納費の支払い方法は、口座自動引落しとなります。
平日・土曜日	日・祝祭日	
朝食 7:00~9:00	7:45~9:00	* 料金については、一部変更されることがあります。 * 入寮費は初年度のみ、2年目以降は更新費として毎年10,000円を徴収します。 * 光熱水費は寮費に含まれます。 * 寮納費の支払い方法は、口座自動引落しとなります。
昼食 11:45~13:00		
夕食 17:45~21:00	17:30~20:00	
洗濯 6:00~24:00		
入浴 17:00~22:00		
門限 23:00		
点呼(朝) 23:00		
点呼(夜) 23:00		
消灯・就寝 24:00		
シャワーは清掃時間(10:00~12:00)を除き終日利用可		

健志台寮の1日の食事例

朝	昼	晩
<ul style="list-style-type: none"> ごはん又はパン・焼き魚 温泉卵・生野菜サラダ 味噌汁 キムチ 牛乳(ジュース) 	<ul style="list-style-type: none"> ごはん スープ(味噌汁) 主菜(料理/種類のどちらか) A:鶏もものチーズオープン焼き B:醤油ラーメン イカメンチ 	<ul style="list-style-type: none"> ごはん・スープ(味噌汁) 主菜(料理/種類のどちらか) A:チキンカツカレー B:ボンゴレスパゲティ 焼餃子・生野菜サラダ ヨーグルト

■その他 クラブ等で運営している寮・合宿所(横浜・健志台キャンパス周辺) ※費用等については、各クラブにお問い合わせください。

ラグビー部合宿所	陸上競技部短距離合宿所	陸上競技部中距離合宿所	陸上競技部駅伝合宿所(男子)	陸上競技部駅伝合宿所(女子)	陸上競技部女子合宿所
水泳部競泳男子第一合宿所	水泳部競泳男子第二合宿所	水泳部競泳女子合宿所	水泳部水球男子合宿所	水泳部合宿所(飛込)	体操競技部男子合宿所
ソフトテニス部女子合宿所	体操競技部ジムナストハウス(女子)	ソフトテニス部球心荘	日体レスリング会館	バレーボール部男子合宿所	

特別メニューも!? SNSをチェック!



最大定員 **132名** 部屋数 **80室**

2007年にオープンしたセキュリティ体制万全の寮です。学生の心身をサポートし、快適な生活を提供します。

管理人が常駐	備え付けの家具が充実した部屋	朝・夕・手づくりの食事
--------	----------------	-------------

寮納費内訳 (2025年度予定)

納入区分	入寮費	1人部屋 (25名)	寮費	2人部屋 (10名)	食費(概算) (1ヶ月25日)	1人部屋	合計	2人部屋
初回分 4月分	¥20,000	¥52,000	¥36,000		¥27,500	¥99,500	¥83,500	
2回分 5月分	—	¥52,000	¥36,000		¥27,500	¥79,500	¥63,500	
3回分 6月分	—	¥52,000	¥36,000		¥27,500	¥79,500	¥63,500	
...
11回分 2月分	—	¥52,000	¥36,000		¥27,500	¥79,500	¥63,500	
12回分 3月分	—	¥52,000	¥36,000		¥27,500	¥79,500	¥63,500	
合計	¥20,000	¥624,000	¥432,000		¥330,000	¥974,000	¥782,000	

【食費】1日2食 1,100円(税込) (朝食330円・夕食770円(税込))

期間:1年間(4月1日朝食~翌年3月31日迄)

日曜日と夏期・冬期に食事のない日があります。ミニキッチンがあります。

生活時間		備考
平日・土・日・祝日		
起床 7:00		* 料金については、一部変更されることがあります。 * 入寮費は初年度のみ、2年目以降は更新費として毎年10,000円を徴収します。 * 光熱水費は寮費に含まれます。 * 寮納費の支払い方法は、口座自動引落しとなります。
朝食 7:00~9:00	日曜は食事なし	
昼食	*****	
夕食 19:00~22:00	日曜は食事なし	
洗濯 6:00~23:00	日曜は7:00~22:00	
入浴 17:00~23:30	シャワー室24H利用可	
門限 23:00	部屋によって多少前後します	

健志台桜寮の1日の食事例

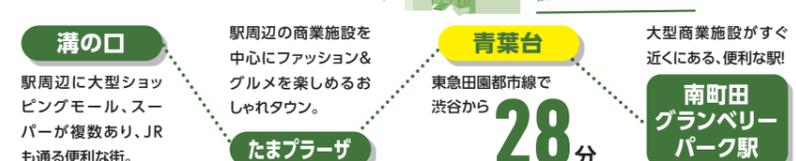
朝	晩
<ul style="list-style-type: none"> ごはん、パン・焼魚・味噌汁orスープ 肉じゃが・ふりかけ・牛乳、ジュース 	<ul style="list-style-type: none"> ごはん・からあげ・汁物・中華うま煮 サラダ・デザート・もずく

青葉台

緑豊かで落ち着いた街

最寄り駅の「青葉台」は、駅前には充実した商業施設でにぎわっています。キャンパス周辺には、一変して緑豊かな自然が広がっています。

沿線には人気の街がズラリ!



Nittai Column

-日体コラム-

名誉博士

一流の実績を正しく評価

日本体育大学名誉博士称号授与規程に基づき、学術文化や国際交流を通じ本学または外国の教育研究に寄与した功績が顕著な人物、また、国際交流や国際平和への功績が顕著な人物に名誉博士の称号を授与しています。

日本体育大学 歴代名誉博士称号授与者 一覧

名譽博士 第1号 平成14年2月21日 授与
サンジベグジン・トゥムルオチル氏 [モンゴル国国家大講 議長]
 トムルオチル氏は、モンゴル国と我が国のスポーツをはじめとする国際交流を促進することに貢献したことによる。

名譽博士 第2号 平成15年2月22日 授与
趙永植氏 [慶熙大学 学長]
 趙氏は、本学の前身である日本体育専門学校で学び、その後、韓国に総合大学である慶熙大学を創設するとともに、平和研究を通して国連と連携した活動を行ったことによる。

名譽博士 第3号 平成17年11月22日 授与
坂口美代子氏 [財団法人坂口国際英英学財団 理事長]
 坂口氏は、本学の前身である日本体育専門学校で学び、その後、教育・研究界において多数の役員を歴任するとともに、財団法人坂口国際英英学財団を設立し、アジア諸国やその他の国から我が国の大学へ留学する者を支援したことによる。

名譽博士 第4号 平成20年10月23日 授与 [クウェート国皇太子]
シェイク・アハマド・アル・ファハド・アル・アハマド・アル・サーバーハ氏
 アジアのみならず、国際的な立場から学術・文化・教育・スポーツの発展に寄与され、かつ我が国と、クウェート国、アジア・オリンピック評議会との間の交流を促進した顕著な功績による。

名譽博士 第5号 平成23年6月23日 授与
猪谷千春氏 [国際オリンピック委員会 元副会長]
 長年にわたる国際オリンピック委員会の委員・理事及び副会長として、内外のオリンピック・ムーブメント推進に尽力し、スポーツを通じた国際社会の平和の実現に向けて顕著な功績による。

名譽博士 第6号 平成23年12月5日 授与
森喜朗氏 [第85-86代 内閣総理大臣]
 森氏は、1998年5月の「スポーツ振興投票の実施等に関する法律」、2005年6月の「食育基本法」、2011年6月の「スポーツ基本法」等の制定を実現させるとともに、日本体育協会・日本プロスポーツ協会・日本ラグビーフットボール協会等の会長として日本のスポーツの普及・発展に尽力し、さらに2011年7月に日本体育協会及びJOC創立100周年記念事業を委員長として成功に導き、「スポーツ宣言日本」を内外に発信してスポーツによる平和な国際社会の実現をアピールされた功績による。

名譽博士 第7号 平成24年7月9日 授与 [アフガニスタン・イスラム共和国 大統領]
ハミド・カルザイ氏
 カルザイ氏は、五輪など国際大会に選手を派遣し、戦乱によって混乱し、不安定な国内情勢にあって疲弊した国民に希望を与え、スポーツの推進を通じて国際社会の友好と親善を図り、平和な国際社会の樹立を目指した功績による。

名譽博士 第8号 平成25年4月8日 授与
ブルーノ・グランディ氏 [国際体操連盟 会長]
 グランディ氏は、国際体操連盟(FIG)会長として、長きにわたり体操の普及に尽力し、オリンピック・ムーブメントを推進し平和な国際社会の実現を図った功績による。

名譽博士 第9号 平成26年3月7日 授与
岡本昭氏 [横綱審議委員会 委員]
 岡本氏は、相撲をはじめとする日本の伝統武道の奨励・促進や、日朝スポーツ交流を通じたオリンピック・ムーブメントの推進により平和な国際社会の実現を図った功績による。

名譽博士 第10号 平成26年3月7日 授与
金正幸氏 [韓国オリンピック委員会 会長]
 柔道をはじめとするスポーツを通じて韓日スポーツ交流の発展に尽力するとともにオリンピック・ムーブメントを推進して平和な国際社会の実現を図った功績による。



名譽博士 第11号 平成28年10月21日 授与
トーマス・バッハ氏 [第9代国際オリンピック委員会(IOC)会長]
 国際オリンピック委員会の会長としてオリンピック・ムーブメントの推進に尽力し、スポーツを通じた国際社会の平和の実現に向けて顕著な功績による。

名譽博士 第12号 平成29年3月10日 授与
池田敬子氏 [日本体育大学 名誉教授]
 体操選手として国内外の競技大会で顕著な成績をおさめ、女性アスリートの先駆者として活躍するとともに、長年にわたりジュニア世代の育成に携わり我が国の体操の発展に顕著な功績による。

名譽博士 第13号 平成29年3月10日 授与
松浪健四郎氏 [学校法人日本体育大学 理事長]
 日本を代表するトップアスリートとして優れた成績をおさめ指導者として多数のオリンピックを育成するとともに、体育スポーツに関する教育と研究を通して我が国のスポーツ振興に尽力し、スポーツを基盤とした国際交流に顕著な功績による。

名譽博士 第14号 平成30年4月3日 授与
二階俊博氏 [元国務大臣 衆議院議員]
 観光庁及びスポーツ庁創設に主導的な役割を果たし、また、本学と全国50を超える自治体とのスポーツ交流への支援を通して、地域活性化を図るとともに、二十数か国の発展途上国の友好議員連盟の会長の重責を担うなど平和社会の実現に向けて顕著な功績があったことによる。

名譽博士 第15号 令和元年12月19日 授与
川淵三郎氏 [日本サッカー協会相談役]
 サッカー選手として優れた成績をおさめ、Jリーグ及びBリーグの創設・発展に主導的な役割を果たされた。さらに、スポーツ界のリーダーとして競技力向上のみならず、広く社会に貢献され我が国のスポーツの発展に顕著な功績があったことによる。

名譽博士 第16号 令和3年12月15日 授与
水野正人氏 [ミスノ株式会社相談役会長]
 スポーツメーカーの立場から長年にわたりオリンピックに携わり、2001年より日本オリンピック委員会(JOC)の役員を歴任。東京2020オリンピック・パラリンピック招致でも多大な貢献を果たす。スポーツと環境の問題に取り組むなど、多方面から国内外のスポーツの振興・発展に寄与された功績による。

名譽博士 第17号 令和5年7月18日 授与
シェイク・タミム・ビン・ハマド・アール・サーニ氏 [カタール国首長]
 国際オリンピック委員会の委員として活躍し、また2019年第17回世界陸上競技選手権大会ではそのリーダーシップを発揮され成功に導いた。さらに、中東・アラブ地域として初めての開催となった2022年第22回FIFAワールドカップ大会では、組織委員会の長としてその手腕を発揮され成功に導く。また、ドーハに日本人学校を設立する等、カタール国と我が国の関係をより強固なものへと発展させる。多年に渡る、スポーツの振興、スポーツの学術・文化の発展への寄与とともに、二国間の交流の進展に寄与された功績による。

施設・設備

競技施設・体育館数 45施設

東京・世田谷キャンパスにはメインアリーナ、小・中体育館、プール、多目的グラウンド、ブルータータン走路、そして横浜・健志台キャンパスには体育館4棟、プールのほか、陸上競技場をはじめとした屋外練習場・グラウンドを競技別に設置。

グラウンド総面積 81,224㎡

学生スポーツの総本山として、屋外グラウンドは面積、種類ともに圧倒的な数量。特に横浜・健志台キャンパスには、全面がブルートラックで、全天候型の400mトラックやナイター設備も完備された陸上競技場のほか、野球場、サッカー場、ラグビー場、テニスコート、アーチェリー場、ゴルフ教場などが緑豊かな敷地に広がっています。

各種実習施設 17施設

福祉演習室・介護実習室、調理実習室、作法室、保育実習室、AT(Athletic Training)実習室、音楽室、ピアノ室、コンピュータ教室、基礎医学実習室など、技能や実践的な能力を養うための演習・実習室が目別に多彩に用意されています。

一流を育む学びの場

現代において、スポーツ競技の技術向上やスポーツ科学の発展の鍵は、そこで練習を積み、研究を重ねる「人」を支える「場」にあります。日体大には、学生の確かな学びと成長を実現する充実した施設・設備がそろっています。

図書館蔵書数・データベース 530,000冊

図書館の蔵書数は、体育スポーツ関連分野を中心に約53万冊。データベースは、スポーツ・医学・健康・教育系の学術論文や書誌情報のほか、新聞記事など、国内外の37種が利用可能です。

研究施設・実験室 818㎡

スポーツ科学の推進に担うにふさわしく、温度・湿度を自由に変えることができる人工気候室、さまざまなバイオメカニクスの測定が可能な中央測定室、主に筋肉の形状や体組成などを非侵襲的に測定し、研究するためのMRI室などを併設しています。

称号一覧

日本体育大学功労スポーツマスター称号一覧

日本体育大学功労スポーツマスターは、本学の卒業生の中から、体育・スポーツの競技者または指導者として多年にわたり、顕著な成績を残した者、我が国の体育・スポーツ文化の深化・発展に対し、多年にわたる優れた貢献が認められる者に授与される称号です。

加藤 広志	バスケットボール	昭和35年卒
渡邊 公二	陸上競技駅伝	昭和35年卒
春藤 英徳	バレーボール	昭和39年卒
山口 良治	ラグビー	昭和40年卒
山口 彦則	体操競技	昭和42年卒
高嶋 仁	硬式野球	昭和45年卒
吉川 歩	バレーボール	昭和38年卒
泉 勝壽	剣道	昭和40年卒
渡邊 靖弘	ハンドボール	昭和41年卒
鶴谷 邦弘	陸上競技駅伝	昭和42年卒
監物 永三	体操競技	昭和45年卒
大澤 友博	レスリング	昭和52年卒
古賀 稔彦	柔道	平成2年卒
佐久本 嗣男	空手道	昭和45年卒
長澤 宏行	ソフトボール	昭和51年卒
横森 巧	サッカー	昭和40年卒

キャンパスカレンダー

■行事・イベント ■実習

スポーツの試合や発表会、実習など、日体大には年間を通じてさまざまな行事が盛りだくさん。充実した毎日、退屈している暇なんてありません。

Campus Life × Event

4月

- 入学式
- 新入生オリエンテーション
(履修申告、学生証手続、健康診断ほか)
- 在学生オリエンテーション
(健康診断ほか)
- 前学期授業開始



4月 入学式

紅白の垂れ幕と校旗に囲まれた厳かな雰囲気の入学式。130年を超える歴史の重みを感じながら大学生活が始まります。

- 養護実習
 - ・健康学科ヘルスプロモーション専攻
 - ・救急医療学科
- 地域ボランティア実習
(3月末まで/事前・事後指導を含む)
- ・スポーツ文化学部
- 障害者スポーツ現場実習(3月末まで)
- ・スポーツライフマネジメント学科
- スポーツ現場実習(12月まで)
- ・児童スポーツ教育学部
- 臨床実習Ⅳ
- ・整復医療学科



4月

新入生オリエンテーション/日体大の歴史

4月に大学生活について、日体大の伝統であるエッサッサ(男子の応援スタイル)、荏原体育(女子の応援スタイル)、集団行動についてレクチャーを受けます。



6月

- 相談援助実習
 - ・健康学科ウェルネスライフ専攻
- 教育実習Ⅱ
 - ・児童スポーツ教育コース
- 教育実習(幼稚園)
- ・幼児教育保育コース
- 教育実習Ⅱ
 - ・児童スポーツ教育コース
- ウォーターセーフティ理論・実習
- ・スポーツライフマネジメント学科

8月

- キャンプ理論・実習
- ・スポーツライフマネジメント学科
- ゴルフ実習
- ・体育学科
- 救助救命医療学演習
- ・救急医療学科
- 看護臨床実習
- ・健康学科ヘルスプロモーション専攻
- 保育実習Ⅰ(施設)
- ・幼児教育保育コース
- 病院実習Ⅰ・Ⅱ
- ・救急医療学科

9月

- 開学記念日(20日)
- 後学期授業開始
- ホームルーム期間
- スポーツ救急実習Ⅲ(河川救助)
- ・救急医療学科
- スポーツ国際実習A(事前事後の指導を含む)
- ・スポーツ国際学科
- マリンスポーツ理論・実習
- ・スポーツライフマネジメント学科
- 教育実習(小学校)
- ・児童スポーツ教育コース
- 救急車同乗実習Ⅰ・Ⅱ
- ・救急医療学科
- 特別支援教育実習
- ・体育学科
- 伝統芸能実習Ⅱ
- ・武道教育学科



7月 海浜実習

日体大の伝統ある実習。選泳などで心身を鍛えると同時に自然環境の大切さ、集団生活に必要な「和」を体得します。

5月

- 教育実習
 - ・体育学部
 - ・スポーツ文化学部
 - ・スポーツマネジメント学部
 - ・保健医療学部
- 保育現場体験(幼稚園)
- ・幼児教育保育コース

7月

- 前学期授業終了
- 夏季休業
- 海浜実習
 - ・体育学部・スポーツ文化学部
 - ・スポーツマネジメント学部
 - ・児童スポーツ教育学部
 - ・保健医療学部
- キャンプ実習
 - ・体育学部・スポーツ文化学部
 - ・スポーツマネジメント学部
 - ・児童スポーツ教育学部
 - ・保健医療学部
- ゴルフ理論・実習
- ・スポーツマネジメント学部
- 介護等体験(2月まで)
- ・体育学部
- ・スポーツ文化学部
- ・スポーツマネジメント学部
- ・児童スポーツ教育学部
- ・保健医療学部
- スポーツ救急実習Ⅰ(水難救助)・Ⅳ(山岳救助)
- ・救急医療学科

10月

- 臨床実習Ⅱ
- ・整復医療学科
- 保育現場体験(保育所・施設)
- ・幼児教育保育コース
- スポーツマネジメント現場実習
- ・スポーツマネジメント学部

12月

- 冬季休業
- スキー理論・実習
- ・スポーツライフマネジメント学科

11月

- 日体フェスティバル期間
- 体育研究発表実演会
- 保育実習Ⅱ/Ⅲ
- ・幼児教育保育コース



11月 体育研究発表実演会

2月

- ホームルーム期間
- スケート実習
 - ・体育学部
 - ・スポーツ文化学部
 - ・スポーツマネジメント学部
 - ・児童スポーツ教育学部
 - ・保健医療学部
- スキー実習
 - ・体育学部
 - ・スポーツ文化学部
 - ・スポーツマネジメント学部
 - ・児童スポーツ教育学部
 - ・保健医療学部
- 海外語学研修
 - ・スポーツ文化学部
 - ・スポーツマネジメント学部
- 伝統文化交流実習A(事前事後の指導を含む)
- ・武道教育学科
- スポーツ国際実習A(事前事後の指導を含む)
- ・スポーツ国際学科
- スポーツ国際支援実習(事前事後の指導を含む)
- ・スポーツ国際学科
- スケート理論・実習
- ・スポーツライフマネジメント学科
- 保育実習Ⅰ(保育所)
- ・幼児教育保育コース



2月 スケート実習

公式大会にも使用される山梨県内のリンクで行われる実習です。3泊4日でスピードスケート、アイスホッケー、フィギュアスケートを取得します。



2月 スキー実習

1953年から始まった伝統ある実習。4泊5日で、全日本スキー検定1級～3級の資格取得を目指します。

1月

- 後学期授業終了
- 海外アウトドアリゾート理論・実習
- ・スポーツライフマネジメント学科



11月 日体フェスティバル

キャンパスライフのハイライトともいえる学園祭です。スポーツ体験教室やバスケットボール大会、模擬店、ライブなど、盛りだくさんの内容で、学外からも多数の来場者がいらっやいます。

3月

- 卒業式
- 春季休業
- 海外整復医療総合実習
- ・整復医療学科
- 国際救急システム実習Ⅱ
- ・救急医療学科

3月 卒業式

学業や部活でお世話になった先輩たちを送るセレモニー。先輩たちとの別れはさみしいですが、4月からは自分が「先輩」として後輩たちを導く立場になるのです。



2026年度 入学者 選抜案内

2026年度入学者選抜に関する情報については、2025年4月現在の情報であり、一部変更が生じることがあります。詳細内容および募集人員は、本学ホームページでご確認ください。なお、本紙において公開している選抜区分は全て実施を予定しております。

あなたに合った選抜方法でチャレンジできます！

日体大では個性をアピールできるさまざまな選抜制度を用意しています。志望する学部・学科(コース)と選抜タイプから、あなたに合った選抜を探してみてください。

対象学部 体 体育学部 文 スポーツ文化学部 マ スポーツマネジメント学部 児 児童スポーツ教育学部 保 保健医療学部

志望する学部	選抜タイプ
体育学部	将来の展望や学びの目的をアピール！ A
	学力でチャレンジ！ J
	運動能力でチャレンジ！ C
	スポーツの実績でチャレンジ！ B E
	高校時代の成果でチャレンジ！ F G
スポーツ文化学部	将来の展望や学びの目的をアピール！ A
	学力でチャレンジ！ J
	スポーツの実績でチャレンジ！ B E
	高校時代の成果でチャレンジ！ F
スポーツマネジメント学部	将来の展望や学びの目的をアピール！ A
	学力でチャレンジ！ J
	スポーツの実績でチャレンジ！ B E
	高校時代の成果でチャレンジ！ F H
児童スポーツ教育学部	将来の展望や学びの目的をアピール！ A
	学力でチャレンジ！ J
	スポーツの実績でチャレンジ！ E
	高校時代の成果でチャレンジ！ F G
保健医療学部	論理的に意見を述べる力をアピール！ A
	学力と熱意をアピール！ J
	基礎学力でチャレンジ！ D
	スポーツの実績でチャレンジ！ E
	高校時代の成果でチャレンジ！ F

選抜タイプ	選抜方法	概要
A	学部別選考方式(Ⅰ期・Ⅱ期) Ⅰ期 体 文 マ 児 保 Ⅱ期 体 文 マ 児 保 ↑(スポーツ国際学科のみ)	志望する学部・学科(コース)の特色を理解し、学びたいこと・学んだことを活かしたいことが明確である受験者を対象にした選抜方法です。意欲・適性を評価する面接試験や、意欲・適性・知識を資料作成やプレゼンテーションを通して評価する選抜試験や、知識や能力を評価する小論文・論述試験等を評価する選抜試験です。志望する学部・学科(コース)の特色を理解して、対策を進めていく必要があります。 ※選抜方法は、学部毎に異なりますので必ず学生募集要項を確認してください。
	トップアスリート方式 10月 体 文 マ 2月 体 (体育学科のみ) 文 (武道教育学科のみ)	優秀な競技実績(国際大会出場や日本選手権・インターハイ等の全国大会上位成績等)を有し、本学入学後も国際大会や国内トップレベルで活躍するために、更なる競技力の向上を目指す受験者を対象にした選抜方法です。意欲・適性を評価する面接試験や小論文試験で評価される選抜試験です。 ※競技成績の基準は、出願学部・学科毎に異なりますので、必ず学生募集要項を確認してください。
	実技方式 体	競技実績ではなく、潜在的な身体能力を有し、入学後に自身の能力を活かしてスポーツ活動に取り組むことを目指す受験者を対象にした選抜方法です。身体能力を評価する実技試験(4種目)や、意欲・適性を評価する面接試験等で評価される選抜試験です。
B	基礎学力方式 保	志望する学部・学科の特色を理解し、学びたいこと・学んだことを活かしたいことが明確であり、これまでに修得した学力を、専門性のある分野に展開し、大学入学後により高め、学修に積極的に取り組む意欲のある受験者を対象にした選抜方法です。学力試験を通して知識・能力を評価する筆記試験(国語・数学・英語)および意欲・適性を評価する面接試験で評価される選抜試験です。
	スポーツ推薦 体 文 マ 児 保	優れた競技実績(日本選手権やインターハイ、国民体育大会など全国規模の競技大会出場以上)を有し、大学入学後も競技力の向上を目指すとともに、高校時代の成果を高等学校長が評価し推薦された受験者を対象にした選抜方法です。意欲・適性を評価する面接試験や小論文試験で評価される選抜試験です。
C	指定校推薦 体 文 マ 児 保	本学が指定する高等学校より、志望する学部・学科(コース)の特色を理解し、学びたいこと・学んだことを活かしたいことが明確かつ、高校時代の成果を高等学校長が評価し推薦された受験者を対象にした選抜方法です。意欲・適性を評価する面接試験や小論文試験で評価される選抜試験です。 ※詳細は指定する高等学校長宛に連絡いたします。
	指定校推薦(地域教員養成方式) 体 児 ↑(児童スポーツ教育コースのみ)	本学が指定する高等学校より、志望する学部・学科(コース)の特色を理解し、学びたいこと・学んだことを活かしたいことが明確かつ、高校時代の成果を高等学校長が評価し推薦された受験者を対象にした選抜方法です。意欲・適性を面接試験で評価される選抜試験です。 ※詳細は指定する高等学校長宛に連絡いたします。
D	指定校推薦 体 文 マ 児 保	本学が指定する高等学校より、志望する学部・学科(コース)の特色を理解し、学びたいこと・学んだことを活かしたいことが明確かつ、高校時代の成果を高等学校長が評価し推薦された受験者を対象にした選抜方法です。意欲・適性を評価する面接試験や小論文試験で評価される選抜試験です。
	スポーツマネジメント推薦 マ	高等学校在学中に授業、行事、課外活動(運動部など)、地域スポーツクラブ等でマネジメント活動を通じ、学びたいこと・学んだことを活かしたいことが明確かつ、高校時代の成果を高等学校長が評価し推薦された受験者を対象にした選抜方法です。意欲・適性を評価する面接試験や小論文試験で評価される選抜試験です。
E	一般推薦 文 児 保 ↑(スポーツ国際学科のみ)	志望する学部・学科(コース)の特色を理解し、学びたいこと・学んだことを活かしたいことが明確かつ、高校時代の成果を高等学校長が評価し推薦された受験者を対象にした選抜方法です。意欲・適性を評価する面接試験や小論文試験で評価される選抜試験です。
	一般選抜 A日程 体 文 マ 児 保 B日程 体 文 マ 児 保 ※A日程は武道教育学科、幼児教育保育コースの実施はありません。 ↑(入学共通テスト方式) 体 文 マ 児 保	高等学校において修得した学力を、専門性のある分野に展開し、大学入学後により高め、学修に積極的に取り組む意欲のある受験者を対象にした選抜方法です。学力試験を通して知識・能力を評価する筆記試験(国語・英語)または、大学入学共通テストの成績で評価される選抜試験です。一部の学部・学科では面接試験や実技試験が行われます。

総合型選抜

学校推薦型選抜

一般選抜

選抜方法	概要
帰国生及び国際バカロレア資格選抜 体 文 マ 児 保	外国において学校教育を受けた日本国籍を有する受験者や日本国内の高等学校等で、国際バカロレア(IB)資格を取得した受験者を対象とした選抜方法です。海外での経験や修得した知識を含めて、プレゼンテーションや小論文試験等で評価される選抜試験です。
外国人留学生選抜 体 文 マ	外国籍を有しており、外国の学校を卒業した受験者を対象とした選抜方法です。海外での経験を含めて、プレゼンテーションや小論文試験等で評価される選抜試験です。また本学において修学に必要な日本語能力も必要になります。
リカレント選抜 体 文 マ 児 保	社会人経験がある受験者を対象とした選抜方法です。社会人としての経験を含めて、プレゼンテーションや小論文試験等で評価される選抜試験です。
飛び入学選抜 体	秀でた競技実績(オリンピック・パラリンピック・世界選手権上位入賞等)を有し、高等学校3年課程を修了せずとも大学でより一層競技力の向上を目指す受験者を対象とした選抜方法です。競技生活での経験・実績を含めて、プレゼンテーションや小論文試験等で評価される選抜試験です。

選抜スケジュールについての詳細は、本学ホームページでご確認ください。

	～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
オープンキャンパス							
進学相談会		【1期】出願	【1期】選考試験	【1期】合格発表 【2期】出願 一次合格発表 選考試験	【2期】二次合格発表		
オープンキャンパス							
進学相談会		【10月】出願	【10月】一次合格発表 選考試験	【10月】合格発表		【2月】出願 一次合格発表	【2月】選考試験 二次合格発表
オープンキャンパス							
進学相談会		出願	選考試験	合格発表			
オープンキャンパス							
進学相談会		出願	選考試験	合格発表			
オープンキャンパス							
進学相談会				出願 一次合格発表	選考試験 二次合格発表		
オープンキャンパス							
進学相談会				出願	選考試験 合格発表		
オープンキャンパス							
進学相談会				出願 選考試験	合格発表		
オープンキャンパス							
進学相談会				出願 選考試験	合格発表		
オープンキャンパス							
進学相談会						出願	選考試験 合格発表

2026年度 入学者選抜案内

2026年度入学者選抜に関する情報については、2025年4月現在の情報であり、一部変更が生じることがあります。詳細内容および募集人員は、本学ホームページでご確認ください。なお、本紙において公開している選抜区分は全て実施を予定しております。

2026年度 入学者選抜スケジュール

対象学部 体 体育学部 文 スポーツ文化学部 マ スポーツマネジメント学部 児 児童スポーツ教育学部 保 保健医療学部

総合型選抜 学部別選考方式(Ⅰ期) ※各選抜の実施学部・学科は、P136-137を参照

出願期間	2025年9月10日(水)～2025年9月22日(月) 体 文 児 保 2025年9月10日(水)～2025年9月16日(火) マ
一次合否発表日	2025年10月2日(木) マ
試験日・二次選考日	2025年10月18日(土) 児 保 2025年10月19日(日) 体 文 マ
選考方法	体 書類審査、小論文(資料分析型)、集団面接 文 書類審査、個人面接、実技試験※実技試験は武道教育学科のみ実施(動画提出) マ 一次選考:書類審査、二次選考:ショートプレゼンテーション 児 書類審査、小論文、個人面接 保 書類審査、小論文、個人面接
試験会場	東京・世田谷キャンパス
合格発表日	2025年11月1日(土) 体 文 マ 児 保
入学手続締切日	2025年11月14日(金) 体 文 マ 児 保

総合型選抜 学部別選考方式(Ⅱ期) ※各選抜の実施学部・学科は、P136-137を参照

出願期間	2025年11月1日(土)～2025年11月6日(木) 体 2025年11月1日(土)～2025年11月10日(月) 文 マ 児 保
一次合否発表日	2025年11月12日(水) 体 2025年11月27日(木) 文 マ
試験日・二次選考日	2025年11月16日(日) 体 2025年12月13日(土) 文 マ 児 保
選考方法	体 一次選考:書類審査、二次選考:プレゼンテーション 文 一次選考:書類審査、二次選考:プレゼンテーション マ 一次選考:書類審査、二次選考:プレゼンテーション 児 書類審査、小論文、個人面接 保 書類審査、小論文、個人面接
試験会場	東京・世田谷キャンパス
合格発表日	2025年12月4日(木) 体 2025年12月25日(木) 文 マ 児 保
入学手続締切日	2025年12月12日(金) 体 2026年1月9日(金) 文 マ 児 保

総合型選抜 トップアスリート方式 ※各選抜の実施学部・学科は、P136-137を参照

	10月	2月
出願期間	2025年9月10日(水)～2025年9月16日(火)	2026年1月7日(水)～2026年1月13日(火)
一次合否発表日	2025年10月2日(木)	2026年1月22日(木)
二次選考日	2025年10月18日(土)	2026年2月2日(月)
選考方法	一次選考:書類審査 二次選考:小論文、集団面接	一次選考:書類審査 二次選考:小論文、集団面接
試験会場	東京・世田谷キャンパス	東京・世田谷キャンパス
合格発表日	2025年11月1日(土)	2026年2月9日(月)
入学手続締切日	2025年11月14日(金)	2026年2月16日(月)

総合型選抜 実技方式 ※各選抜の実施学部・学科は、P136-137を参照

出願期間	2025年9月10日(水)～2025年9月22日(月)
試験日	2025年10月12日(日)
選考方法	書類審査、実技試験(50m走、立ち5段跳び、メディシンボール投げ、3コーンドリル)、集団面接
試験会場	東京・世田谷キャンパス
合格発表日	2025年11月1日(土)
入学手続締切日	2025年11月14日(金)

総合型選抜 基礎学力方式 ※各選抜の実施学部・学科は、P136-137を参照

出願期間	2025年9月10日(水)～2025年9月22日(月)
試験日	2025年10月19日(日)
選考方法	書類審査、基礎学力試験(国語・数学・英語)、集団面接
試験会場	東京・世田谷キャンパス
合格発表日	2025年11月1日(土)
入学手続締切日	2025年11月14日(金)

学校推薦型選抜 ※各選抜の実施学部・学科は、P136-137を参照

	スポーツ推薦	指定校推薦	指定校推薦(地域教員養成方式)	スポーツマネジメント推薦	一般推薦
出願期間	2025年11月1日(土)～2025年11月10日(月)			2025年11月1日(土)～2025年11月5日(水)	
一次合否発表日	2025年11月27日(木)	—	—	—	—
選考日	二次選考:2025年12月14日(日)	2025年12月14日(日)	2025年12月14日(日)	2025年11月15日(土)	2025年11月15日(土)
選考方法	一次:書類審査 二次:小論文、集団面接	書類審査、小論文、集団面接	書類審査、個人面接	書類審査、小論文、集団面接	書類審査、小論文、集団面接
試験会場	東京・世田谷キャンパス	東京・世田谷キャンパス	東京・世田谷キャンパス	東京・世田谷キャンパス	東京・世田谷キャンパス
合格発表	2025年12月25日(木)			2025年12月4日(木)	
入学手続締切日	2026年1月9日(金)			2025年12月12日(金)	

一般選抜 ※各選抜の実施学部・学科は、P136-137を参照

	体育学部	スポーツ文化学部	スポーツマネジメント学部	児童スポーツ教育学部	保健医療学部
出願期間	2025年12月22日(月)～2026年1月9日(金)				
試験日	【A日程】2026年2月1日(日) 【B日程】2026年2月2日(月) ※【A日程】のみ体育学部・スポーツ文化学部・スポーツマネジメント学部の同一日併願ができる(学部内併願は不可)。				
試験方法	筆記試験(60分)／合計200点 国語:「現代の国語」及び「言語文化」(古典を除く)／100点 英語:「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」及び「論理・表現Ⅰ」／100点				
試験方法	実技試験(動画提出) ※武道教育学科のみ 武道実技試験は、柔道・剣道・相撲・空手道・少林寺拳法・合気道・弓道・なぎなた・伝統芸能のうち各自が選択した種目で行う。		面接試験(10分) 本学保健医療学部の学生としての適性を判断する。		
試験会場	本学(東京・世田谷キャンパス)、札幌、高崎、名古屋、大阪				
試験方法	大学入学共通テスト(合計300点) 【必須】国語100点、外国語:英語100点 【選択】地理歴史・公民、数学、理科、情報100点 ※「国語」は110点を100点換算する				
試験方法	実技試験(動画提出) ※武道教育学科のみ実施 内容は、A・B日程と同じ。		面接試験(10分) 本学保健医療学部の学生としての適性を判断する。		
試験方法	大学入学共通テスト ●「国語」は近代以降の文章のみ。●「英語」はリーディングのみ。●選択科目は得点の高い1科目を採用する。 (地理歴史・公民の「地理総合/歴史総合/公共」は2科目あわせて1科目として扱う。) (理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は、2科目あわせて1科目として扱う。)				
合格発表日	2026年2月9日(月)				
入学手続締切日	2026年2月16日(月)				

保健医療学部 面接試験について(詳細については、学生募集要項をご確認ください。)

<A・B日程、大学入学共通テスト利用方式を併願(他学部含む)する場合>

<大学入学共通テスト利用型のみ出願する場合>

・試験日は受験票で通知し、筆記試験終了後に面接を実施する。

・個人面接(オンライン)を実施する。試験日は2月1日、2日から受験者が選択する。

本学会場:集団面接(対面) サテライト会場:集団面接(オンライン)

・保健医療学部の同一学科を併願する場合の面接は1回のみ実施する。

特別選抜 ※各選抜の実施学部・学科は、P136-137を参照

出願期間	2025年11月1日(土)～2025年11月10日(月)
試験日	2025年12月14日(日)
選考方法	小論文、プレゼンテーション、実技試験(武道教育学科のみ)
試験会場	東京・世田谷キャンパス
合格発表	2025年12月25日(木)
入学手続締切日	2026年1月9日(金)

2025年度 入試データ

※令和7年3月1日現在

学科アイコン

- 体育 体育学科
- 健康 健康学科
- 武道 武道教育学科
- 国際 スポーツ国際学科
- マネ スポーツマネジメント学科
- ライフ スポーツライフマネジメント学科
- 児童 児童スポーツ教育コース
- 幼児 幼児教育保育コース
- 整復 整復医療学科
- 救急 救急医療学科

※単位:人(競争率は倍) ※競争率は受験者数÷合格者数で算出しています。 ※合格者数は、補欠線上合格者を含みます。

総合型選抜

学部	選抜区分	学科	志願者数		受験者数		一次合格者数		二次受験者数		合格者数		入学者数		競争率
			合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
体育学部	トップアスリート方式10月	体育	89	45	89	45	89	45	88	44	88	44	86	44	1.01
		健康	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	89	45	89	45	89	45	88	44	88	44	86	44	1.01
	トップアスリート方式2月	体育	14	4	14	4	14	4	13	4	10	3	10	3	1.40
		健康	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	14	4	14	4	14	4	13	4	10	3	10	3	1.40
	小論文方式	体育	440	137	426	132					230	92	220	87	1.85
		健康	103	75	101	73					94	69	93	69	1.07
		計	543	212	527	205					324	161	313	156	1.63
	プレゼンテーション方式	体育	143	29	143	29	33	12	33	12	22	7	22	7	6.50
		健康	22	14	22	14	22	14	22	14	21	14	20	13	1.05
		計	165	43	165	43	55	26	55	26	43	21	42	20	3.84
実技方式	体育	68	19	64	19					15	6	14	6	4.27	
	健康	0	0	0	0					0	0	0	0	0	
	計	68	19	64	19					15	6	14	6	4.27	
スポーツ文化学部	トップアスリート方式10月	武道	14	3	14	3	12	2	12	2	10	2	10	2	1.40
		国際	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	1.00
		計	16	3	16	3	14	2	14	2	12	2	12	2	1.33
	トップアスリート方式2月	武道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際	22	12	20	12					12	9	12	9	1.67
		計	22	12	20	12					12	9	12	9	1.67
	小論文方式	武道	32	12	32	12					31	12	31	12	1.03
		国際	54	24	52	24					43	21	43	21	1.21
		計	86	36	84	36					74	33	74	33	1.16
	プレゼンテーション方式	国際	10	4	10	4	10	4	9	3	8	3	8	3	1.25
		マネ	8	5	8	5	8	5	8	5	4	2	4	2	2.00
		計	18	9	18	9	18	9	17	8	12	5	12	5	1.50
トップアスリート方式10月	ライフ	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1.00	
	計	9	5	9	5	9	5	9	5	5	2	5	2	1.80	
	計	9	5	9	5	9	5	9	5	5	2	5	2	1.80	
小論文方式	マネ	211	67	207	66					72	43	71	43	2.88	
	ライフ	53	20	53	20					41	17	41	17	1.29	
	計	264	87	260	86					113	60	112	60	2.30	
プレゼンテーション方式	マネ	64	14	64	14	12	3	12	3	4	2	4	2	16.00	
	ライフ	18	4	18	4	9	3	9	3	3	3	3	3	6.00	
	計	82	18	82	18	21	6	21	6	7	5	7	5	11.71	
小論文方式	児童	72	35	68	35					64	35	64	35	1.06	
	幼児	28	24	28	24					17	17	17	17	1.65	
	計	100	59	96	59					81	52	81	52	1.19	
プレゼンテーション方式	児童	10	4	10	4	5	1	5	1	2	0	2	0	5.00	
	幼児	9	4	9	4	7	4	7	4	3	2	3	2	3.00	
	計	19	8	19	8	12	5	12	5	5	2	5	2	3.80	
小論文方式	整復	147	60	143	58					44	26	44	26	3.25	
	救急	100	25	99	25					60	21	60	21	1.65	
	計	247	85	242	83					104	47	104	47	2.33	
プレゼンテーション方式	整復	36	12	36	12	8	3	7	2	3	2	3	2	12.00	
	救急	27	4	27	4	9	3	9	3	2	2	2	2	13.50	
	計	63	16	63	16	17	6	16	5	5	4	5	4	12.60	

学校推薦型選抜

学部	選抜区分	学科	志願者数		受験者数		一次合格者数		二次受験者数		合格者数		入学者数		競争率
			合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
体育学部	指定校推薦	体育	130	38	130	38					130	38	130	38	1.00
		健康	49	29	49	29					49	29	49	29	1.00
		計	179	67	179	67					179	67	179	67	1.00
	スポーツ推薦	体育	358	108	358	108	347	108	346	107	345	107	345	107	1.04
		健康	23	16	23	16	23	16	23	16	23	16	23	16	1.00
		計	381	124	381	124	370	124	369	123	368	123	368	123	1.04
	指定校推薦	武道	15	3	15	3					15	3	15	3	1.00
		国際	31	11	31	11					31	11	30	11	1.00
		計	46	14	46	14					46	14	45	14	1.00
	スポーツ推薦	武道	56	12	56	12	56	12	56	12	56	12	56	12	1.00
		国際	16	4	16	4	16	4	16	4	16	4	16	4	1.00
		計	72	16	72	16	72	16	72	16	72	16	72	16	1.00
一般推薦	国際	17	3	17	3					3	2	3	2	5.67	
	マネ	39	8	39	8	11	4	11	4	2	2	2	2	19.50	
	ライフ	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2.00	
指定校推薦	マネ	109	24	109	24					109	24	109	24	1.00	
	ライフ	35	13	35	13					35	13	34	12	1.00	
	計	144	37	144	37					144	37	143	36	1.00	
スポーツ推薦	マネ	63	18	63	18	59	16	59	16	59	16	59	16	1.07	
	ライフ	32	7	32	7	31	7	31	7	31	7	31	7	1.03	
	計	95	25	95	25	90	23	90	23	90	23	90	23	1.06	
一般推薦	マネ	29	6	29	6					1	0	1	0	29.00	
	ライフ	15	5	14	5					2	2	2	2	7.00	
	計	44	11	43	11					3	2	3	2	14.33	
指定校推薦	児童	49	25	49	25					49	25	49	25	1.00	
	幼児	33	27	33	27					33	27	33	27	1.00	
	計	82	52	82	52					82	52	82	52	1.00	
スポーツ推薦	児童	16	14	16	14	16	14	16	14	16	14	16	14	1.00	
	幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	16	14	16	14	16	14	16	14	16	14	16	14	1.00	
一般推薦	児童	10	4	10	4					1	1	1	1	10.00	
	幼児	4	1	4	1					0	0	0	0	0.00	
	計	14	5	14	5					1	1	1	1	14.00	
指定校推薦	整復	43	16	43	16					43	16	43	16	1.00	
	救急	22	6	22	6					22	6	22	6	1.00	
	計	65	22	65	22					65	22	65	22	1.00	
スポーツ推薦	整復	5	3	5	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2.50	
	救急	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0.00	
	計	6	3	6	3	4	2	4	2	2	2	2	2	3.00	
一般推薦	整復	23	6	23	6					2	2	2	2	11.50	
	救急	9	1	9	1					1	0	1	0	9.00	
	計	32	7	32	7					3	2	3	2	10.67	

一般選抜

学部	選抜区分	学科	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		競争率
			合計	女性	合計	女性	合計	女性	合計	女性	
体育学部	A日程	体育	248	65	241	62	40	18	18	8	6.03
		健康	59	19	58	19	31	15	14	5	1.87
		計	307	84	299	81	71	33	32	13	4.21
	B日程	体育	97	25	92	25	25	11	13	5	3.68
		健康	23	13	22	13	13	8	8	5	1.69
		計	120	38	114	38	38	19	21	10	3.00
	大学入学共通テスト利用方式	体育	136	43	136	43	9	5	0	0	15.11
		健康	36	18	35	18	7	3	1	1	5.00
		計	172								

本学では、人物・学業ともに優れた者の育英、経済的理由により修学が困難な者に対する援助を目的とした奨学金制度を設けています。主に取り扱っている奨学金制度は次のものです。

日本体育大学独自減免・給付

日本体育大学奨学生制度

本学では、学業成績または競技成績が優秀で心身ともに健全な学生に対し、奨学生制度を設け、学費について右表の通り減免を行っています。なお、この制度は本学奨学生選考委員会の選考を経て、年度ごとに採用されるものです。そのため、前年度に奨学生であっても、学業成績や競技成績などにより奨学生選考委員会の選考の結果、翌年度は奨学生ではなくなる場合があります。予めご了承ください。

名称	対象	免除する費目・給付額	申請時期等
特別奨学生A	競技成績優秀者 [体育学部、スポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部、児童スポーツ教育学部*] ※児童スポーツ教育コースのみ対象	入学金、授業料、施設整備費、教育充実費 1年次 入学金、施設整備費 2～4年次 施設整備費、教育充実費	申請不要 (学費納入時に 該当者に通知)
特別奨学生B	入学試験(総合型選抜基礎学力方式)合格者の上位の者 [保健医療学部]	1年次 入学金	
一般奨学生	学業成績優秀者(1年次前学期GPA等) [体育学部、スポーツマネジメント学部、児童スポーツ教育学部]	1年次 入学金、施設整備費	申請不要 (1年次前学期成績 確定後に通知)
	学業成績優秀者(1年次前学期GPAおよびTOEIC IPテスト等) [スポーツ文化学部]	1年次 入学金、施設整備費	申請不要 (1年次前学期成績 確定後に通知)
メイデー・MCS・ 長谷川奨学金	課外活動等の大学生活において目標に向けて強い志を持って取り組んでいる者(2～4年次)	一律25万円を給付	前年度後学期に申請 (1～3年次に申請)
	奨学金の貸与を受けている者でかつ経済的に困難し修学困難な者(1～4年次)	一律20万円を給付	9～10月に申請

日体大の学費減免制度について

本学では、学費納付者の負担軽減を図るために学費減免制度を設けています。詳細は右の通りです。

対象	免除する項目	申請時期等	備考
同一の扶養者により扶養されている兄・姉が本学に在学する入学生(双子入学の場合はどちらか1名)	[入学金]	入学した年度の6月末まで	
日本学生支援機構等奨学金の貸与を受けても、なお学費納入が困難で学業成績が平均水準以上の者(2、3、4年次)	後学期「施設整備費・教育充実費」 (単年度採用)	7月	採用枠あり
1年以内に家計に急変があり日本学生支援機構奨学金を併用してもなお学費納入が困難な者	当該学期「施設整備費・教育充実費」 (単年度採用)	随時応相談	

外部団体給付・貸与

日本学生支援機構奨学金 (https://www.jasso.go.jp/index.html)

お問い合わせ先／学生センター(日本学生支援機構奨学金専用)
【東京・世田谷キャンパス】03-5706-0969

奨学金選考スケジュール

入学後、給付・貸与を希望する場合は、募集説明会は4月なので入学前から保護者とよく相談するようお願いいたします。初年度からの貸与開始は6月頃となりますので前学期分学費、当面の生活費は予めご準備ください。

	4月	4月～5月	6月	6月頃
募集説明会		申込み、選考	給付・貸与決定	給付・貸与開始

奨学金利用状況 給付10%・貸与35%

■ 募集説明会は原則、年に2回、4月上旬および9月上旬に開催
■ 2年次からも申請可能!

学業と部活を両立させるため、多くの学生が利用しています!

給付

高等教育の修学支援新制度の給付型奨学金です。給付奨学生として採用されてから卒業する(修業年限の終期)まで、世帯の所得金額に基づく区分に応じて、学校の設置者(国公立・私立)及び通学形態(自宅通学・自宅外通学)により定まる右表の金額(月額)が、原則として毎月振り込まれます。ただし、毎年度、所得や学業成績による適格認定が行われ、区分の変更および停止・廃止となる場合があります。必ずしも卒業する(修業年限の終期)まで、給付を受けられるわけではありません。

区分	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	38,300円 (42,500円)	75,800円
第Ⅱ区分	25,600円 (28,400円)	50,600円
第Ⅲ区分	12,800円 (14,200円)	25,300円
第Ⅳ区分	9,600円 (10,700円)	19,000円

※生活保護世帯(受けている扶助の種類を問いません)で自宅から通学する人及び児童養護施設等*から通学する人はカッコ内の金額となります。

*「児童養護施設等」とは、児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設(情緒障害児短期治療施設から改称)、児童自立生活援助事業(自立援助ホーム)を行う者、小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)を行う者、里親を指します。

貸与

経済的理由により修学が困難な学生等に対し、利子なし(第一種)、利子付(第二種)で奨学金を貸与しています。どちらも、卒業後返済義務があります。また1年以内に家計に急変が生じた場合は、随時相談に応じます。なお「予約採用」という制度があり、大学入学前に在籍している高等学校等に申請を行うこともできます。詳しくは日本学生支援機構(JASSO)ホームページをご確認ください。

第一種奨学金(無利子貸与)

	自宅通学	自宅外通学(寮・下宿など)
貸与金額(全員選択可)	月額20,000円～40,000円のうち1万円単位で選択	月額20,000円～50,000円のうち1万円単位で選択
貸与金額(最高月額※)	54,000円	64,000円

※申込時の収入・所持金額によって最高月額の選択の可否が決まります。

第二種奨学金

(有利子貸与 年3.0%を上限とした利率)

貸与額	2万円～12万円の中で1万円単位で選択
-----	---------------------

※詳細については、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)のホームページをご覧ください。https://www.jasso.go.jp/

高等教育の修学支援新制度減免・給付

高等教育の修学支援新制度 (https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm)

真に支援が必要な低所得者世帯の者に対し、社会で自立し、及び活躍することができる豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するために必要な質の高い教育を実施する大学等における修学の支援を行い、その修学に係る経済的負担を軽減することにより、子どもを安心して生み、育てることができる環境の整備を図り、もって我が国における急速な少子化の進展への対応に寄与することを目的に実施するものです。(大学等における修学の支援に関する法律第一条より)

制度の概要	授業料・入学金の免除または減額と、給付型奨学金により、意欲ある学生の「学び」を支援
支援内容	1. 授業料・入学金の免除または減額 2. 日本学生支援機構給付型奨学金の支給
支援対象	住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生 ※支援を受けられる年収目安と支援額は、日本学生支援機構ホームページにてご確認ください。 日本学生支援機構 進学資金シミュレーター https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html
申請方法	日本学生支援機構奨学金(給付)申込手続きを行ってください。



令和7年度からの多子世帯の学生等に対する大学等の授業料・入学金の無償化等については、文部科学省HP(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)をご確認ください。

地方公共団体(都道府県等)奨学金

大学を通じて募集があるものと、直接個人が申し込むものがあります。各地方公共団体によって制度の違いがあるため、詳細につきましては保護者の居住している地域の各自治体、教育委員会等にお問い合わせください。

学費案内

学部	費用	前学期(1年次)	後学期(1年次)
1 学費	入学金(入学時のみ)	300,000円	
	授業料	400,000円	400,000円
	施設整備費	125,000円	125,000円
	教育充実費	100,000円	100,000円
	健康管理費	10,000円	
2 その他費用	学生会費	13,000円	
	保護者会費	15,000円	
	同窓会準会費(入学時のみ)	10,000円	
前学期・後学期 分納の場合		973,000円	625,000円
一括納入の場合(1+2)			1,598,000円

■ 授業料・施設整備費・教育充実費は全額の1/2相当額を後学期に分納することができます。その場合、入学手続時の納入金額は、2の金額となります。

■ 入学金・同窓会準会費以外の費目(金額)については、2年次以降も納入していただきます。

■ 学外集中実技を履修した際は、その都度費用をお支払いいただくことになります。

■ スポーツ文化学部では、必修の海外での実習費をお支払いいただけます。

■ 日本体育大学奨学生は、上記のうち、学費の一部が免除されます。詳細については、P.142の「日本体育大学奨学生制度」をご覧ください。

保健医療学部 整備医療学科

費用	前学期(1年次)	後学期(1年次)
1 学費	300,000円	450,000円
授業料	450,000円	450,000円
施設整備費	150,000円	150,000円
教育充実費	125,000円	125,000円
健康管理費	10,000円	
実習費	100,000円	
2 その他費用	13,000円	
学生会費	13,000円	
保護者会費	15,000円	
同窓会準会費(入学時のみ)	10,000円	
前学期・後学期 分納の場合	1,173,000円	725,000円
一括納入の場合(1+2)		1,898,000円

保健医療学部 救急医療学科

費用	前学期(1年次)	後学期(1年次)
1 学費	300,000円	450,000円
入学金(入学時のみ)	300,000円	
授業料	450,000円	450,000円
施設整備費	150,000円	150,000円
教育充実費	125,000円	125,000円
健康管理費	10,000円	
実習費	250,000円	
2 その他費用	13,000円	
学生会費	13,000円	
保護者会費	15,000円	
同窓会準会費(入学時のみ)	10,000円	
前学期・後学期 分納の場合	1,323,000円	725,000円
一括納入の場合(1+2)		2,048,000円

オープンキャンパスは、受験やキャンパスライフなど、日本体育大学に関する様々な情報を得られる絶好の機会です。どんなプログラムが行われるのか、ここで簡単にご紹介します。入退場自由ですので、ぜひ足を運んでみてください。

「日本体育大学」について理解を深めたいなら

大学紹介「日体大ってどんな大学？」

各学部の特徴や講義内容など、日本体育大学がどんな大学なのかを具体的に細かく紹介します。開催日ごとに重点学部が設定されている時もあるので、ホームページを事前にチェックしておきましょう。

日体大キャンパスツアー

現役の日体大生の案内でキャンパスをまわります。所要時間は30分。日体大が誇る実技施設の数々は圧倒的です。見てみたい施設を事前にチェックし、開催日と合わせて会場にきてください。



講義内容やキャンパスライフについて興味があるなら

体験授業

学部の名称や説明を読んでも、どんなことを学ぶのかいまいちわからない人は少なくありません。そこで、各学部の学問領域がよくわかる体験授業を用意しています。専門的知識や科学的根拠を基に実践していくのが大学の体育・スポーツ。ぜひ、この機会に大学での講義を体験してみてください。事前予約は不要です。



トークショー

毎回様々なテーマで開催しています。現役の日体大生数名が登場し、進行役の質問に答える形でディスカッションを展開。在学生の生の意見や考えに触れることができます。入試の対策や合格の秘訣も聞くことができます。会場のゲストからの質問も受け付けますから、知りたいことがある人にはチャンスです。



いろいろ相談したいなら

先生と話そう

学部・学科の授業内容や特色について、直接先生から話を聞くことができます。魅力的な日体大の先生たちが、あなたの疑問・質問にお答えすべくお待ちしています。



にったい先輩広場

入試、部活、大学生活など、日体大の先輩もあなたと同じようなことで悩んだり、不安になったりしてきたはず。この機会に気になっていること、心配なことなどについて、ぜひ先輩たちに尋ねてみてください。



個別相談コーナー

寮、奨学金、就職など、大学生活を送る上で気になること、心配なことに、日体大の職員がお答えします。

入試情報が知りたいなら

入試説明会

選抜方式それぞれの説明と、最新の受験情報を紹介します。「入試のポイントがよくわかる」と、参加者から好評です。

オープンキャンパススケジュール

全日程 10:20~15:00開催予定 (受付 10:00~)

入退場も自由です

東京・世田谷 キャンパス	6/8日	8/9土	8/10日	8/11月祝	12/21日
横浜・健志台 キャンパス	7/19土	7/20日	9/7日	2026 3/22日	



※開催日時は追加・変更になる場合があります

進学相談会

※開催時間、会場は追加・変更になる場合があります。

各地の会場やオンラインで、日体大が皆さんの質問・疑問にお答えする相談会です。日体大への進学に興味をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。開催日時や方法につきましては、本学HPよりご案内いたします。



入学願書の入手方法

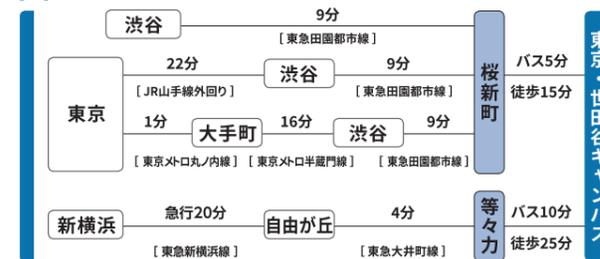
総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜 (大学入学共通テスト利用方式含む)	特別選抜
7月中旬頃、日本体育大学 ホームページに掲載予定。 https://www.nittai.ac.jp		12月上旬頃、日本体育大学 ホームページに掲載予定。 https://www.nittai.ac.jp	7月中旬頃、日本体育大学 ホームページに掲載予定。 https://www.nittai.ac.jp



アクセス

※下記の時間はおおよその目安です。

東京・世田谷キャンパス



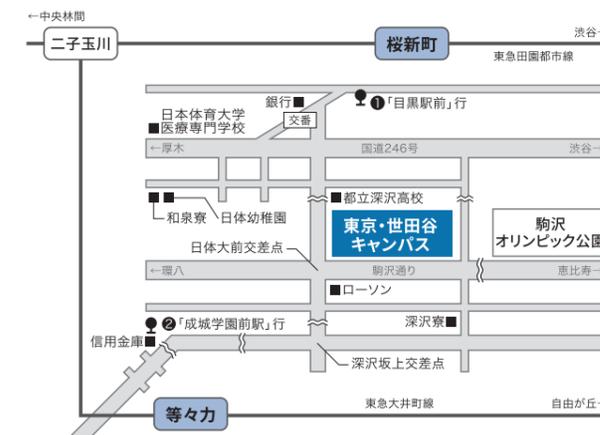
東急田園都市線「桜新町」駅より、徒歩15分またはバス5分

①「目黒駅前」行、「日本体育大学前」にて下車

東急大井町線「等々力」駅より、徒歩25分またはバス10分

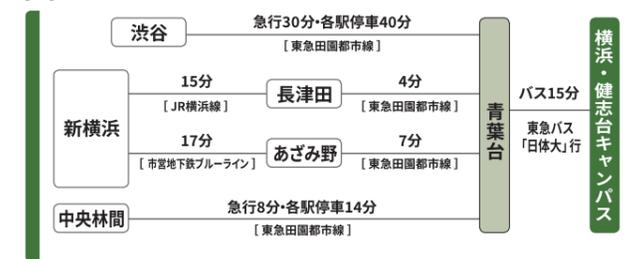
②「成城学園前」行、「日本体育大学前」にて下車

Access Map



〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 TEL:03-5706-0900(代) / FAX:03-5706-0823(代)

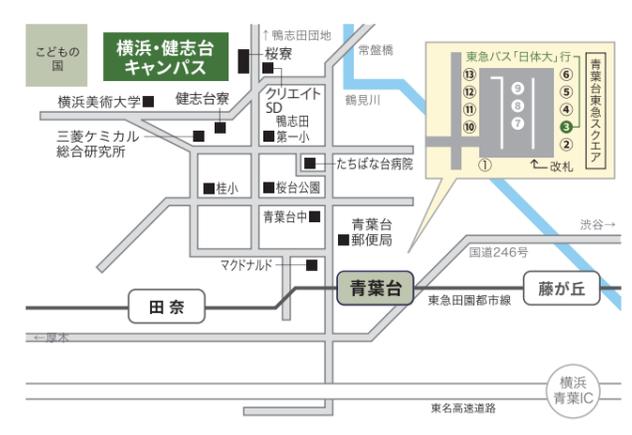
横浜・健志台キャンパス



東急田園都市線「青葉台」駅より、バス15分

改札口を出て右に、バスロータリーに沿って歩き
3番乗り場 東急バス「日体大」行に乗り、終点にて下車

Access Map



〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鶴志田町1221-1 TEL:045-963-7900(代) / FAX:045-963-7903

【東京・世田谷キャンパス ↔ 横浜・健志台キャンパス シャトルバス】

授業開講日に運行



【注意事項】シャトルバスを利用する前に確認すること

※乗車の際、学生証と乗車券が必要となります。

※ルール・マナーの守れない学生は乗車できないことがあります。

※運行時間の詳細についてはバス停でご確認ください。

※交通状況等によりバスが遅延した場合にも、遅刻等の対応は致しません(余裕を持って利用してください)。

★利用方法については、随時変更になる場合がございます。